

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第7集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群6

2011,10

ふじみ野市教育委員会

はじめに

ふじみ野市は平成 17 年 10 月の合併により新たな歴史を歩みはじめました。

市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場庁舎など、多くの文化財が存在し、2 万数千年前の旧石器時代から現代までの長い歴史をみることができます。それぞれに特色のある地域の歴史も、一つの大きな流れとして捉えると、改めてこの地域の繋がりや関係の深さを感じます。そして、現在のふじみ野市も歴史的に大きな画期にあるといえます。

ふじみ野市は、都心から 30km 圏内という立地条件にあるため、昭和 30 年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施されました。人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きな変化をしてきました。そして今、合併により更なる変貌を遂げようとしています。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることができました。発掘調査の成果は、近年の開発ラッシュに伴う店舗や住宅建設によるものが主体です。長い歴史の中で繰り返し住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

本書は、民間の開発事業者からの委託を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の成果を記録した報告書です。将来にわたってこれらの資料を、地域の文化・歴史を学ぶ糧として広く皆様方に活用していただければ幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担と、ご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁・埼玉県教育委員会生涯学習文化財保護課・市関係各課・調査関係者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼と感謝を申し上げます。

ふじみ野市教育委員会
教育長 矢島 秀一

例　　言

1. 本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の、試掘調査38件と発掘調査9件の報告書である。

2. 2008年度に行なった試掘調査、個人住宅の本調査及び整理作業は、総経費13,002,657円に対し、国庫(6,500,000円)、県費(3,250,000円)の補助金の交付を受け、2008(平成20)年4月7日から2009(平成21)年3月31日まで実施したものである。

3. 調査組織

調査主体者	ふじみ野市教育委員会	文化財保護調査担当者	高崎直成
担当課	生涯学習課文化財保護係		鍋島直久
教育長	松下勇司(平成20年4月1日～平成21年11月30日)	庶務担当	松原靖子(～平成21年3月31日)
	矢島秀一(平成22年3月19日～)		國分英良(平成21年4月1日～)
生涯学習課長兼事務	田中節子(平成20年4月1日～平成21年3月31日)		柳澤健司(平成23年4月1日～)
綾部誠(平成21年4月1日～)		発掘調査員補	越村 篤
文化財保護係長	坪田幹男(～平成23年3月31日)	嘱託員	藤牧守絵
橋本鶴人(平成23年4月1日～)		臨時任用職員	高橋京子

4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。

本書の執筆は高崎が行なった。まとめについては文末に記した。

遺物接合・復元：中田藤子　石器実測：大久保明子、鈴木千恵子

土器実測：石垣ゆき子、大久保明子、鈴木千恵子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子

遺構・遺物図トレス：小林登喜枝

図版作成：青山奈保美、大久保明子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子

遺構写真：高崎直成、越村篤　遺物写真：高崎直成

図版作成の一部を(有)アルケーリサーチ、石器実測の一部を(有)文化財COMに委託した。放射性炭素年代測定に関しては㈱加速器分析研究所、自然化学分析に関してはパリノ・サーヴェイ(株)に委託した。

5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。(敬称略)

会田明、阿部常樹、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、上田寛、越前谷理、大久保淳、大柴英雄、岡田賢治、加藤秀之、梶原勝、梶原喜世子、神木繁彦、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井潔、酒井智晴、桜井信枝、佐藤啓子、佐藤良博、塩野賀一、鈴木清、高木文夫、田中信、丹治剛、角田史雄、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、一木絵理、平野寛之、藤波啓容、堀善之、松本富雄、水村孝行、柳井章宏、和田晋治

埼玉県教育局生涯学習文化財課、大井郷土資料館、(有)文化財COM、(有)アルケーリサーチ、

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略) 明石千とせ、新井和枝、飯塚泰子、井川弘、壹岐ヒサ子、井上晴江、井上麻美子、岩城英子、白井孝、内田潔、大久保明子、大曾根キク子、大野英理子、長田弘毅、金子君子、川中ひろみ、菊口繁子、小林こずい、西城満朗子、坂本民子、佐久間ひろ子、佐竹里佳、篠崎忠三、清水公子、杉本佳久、鈴木勝弘、関田成美、高貝しづ子、高橋智也、滝沢久嘉、張民愛、寺井美和子、沼澤岩男、野岡由紀子、比嘉洋子、福田美枝子、増沢勝実、宮崎達夫、山内康代、山田陽子、米田昇三、若林紀美代

〈整理作業参加者〉(敬称略) 青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、鈴木千恵子、須藤さち子、高橋けい子、高橋智也、丹治つや子、寺井美和子、中田藤子

凡　例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1)縮尺は原則として

遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30

土器実測図 1:4 土器拓影図 1:4 石器実測図 1:4, 2.3 銭 1:1

(2)遺構断面図の水系高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3)遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

撹乱 地山(ローム) 焼土 粘土 烧粘土

土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート▲ 磁 ○

(4)土器断面図は、■が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

(5)土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180 度回転させて復元実測したことを示す。

(6)遺物図版における screen-tone の指示。

スス付着 タール状付着 塗彩部分 軸薬

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会生涯学習課に保管してある。

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群6 目次

はじめに	i
例 言	ii
凡 例	iii
目 次	iv
挿図目次	v
表 目 次	vii
写真図版目次	viii
第1章 遺跡と調査の概要	1
I 調査に至る経過	1
II ふじみ野市の立地と環境	3
III 市内の遺跡	4
第2章 川崎遺跡の調査	10
I 遺跡の立地と環境	10
II 川崎遺跡第25地点	14
III 川崎遺跡第26地点	19
IV 川崎遺跡第27地点	35
V 川崎遺跡第28地点	37
VI 川崎遺跡第29地点	45
VII 川崎遺跡第30地点	54
第3章 ハケ遺跡の調査	68
I 遺跡の立地と環境	68
II ハケ遺跡C区第8地点	68
第4章 権現山遺跡の調査	72
I 遺跡の立地と環境	72
II 権現山遺跡第23地点	73
第5章 亀居遺跡の調査	76
I 遺跡の立地と環境	76
II 亀居遺跡第63地点	76
III 亀居遺跡第64地点	86
第6章 松山遺跡の調査	87
I 遺跡の立地と環境	87
II 松山遺跡第44地点	90
III 松山遺跡第45地点	91
IV 松山遺跡第46地点	104
第7章 東久保遺跡の調査	105
I 遺跡の立地と環境	105
II 東久保遺跡第66地点	105
第8章 東久保西遺跡の調査	110
I 遺跡の立地と環境	110
II 東久保西遺跡第19地点	110
第9章 東中学校西遺跡の調査	112
I 遺跡の立地と環境	112
II 東中学校西遺跡第32地点	112
III 東中学校西遺跡第33地点	113
第10章 亀久保堀跡遺跡の調査	115
I 遺跡の立地と環境	115
II 亀久保堀跡遺跡第31地点	115
第11章 駒林遺跡の調査	119
I 遺跡の立地と環境	119
II 駒林遺跡第5地点	121
III 駒林遺跡第6地点	121
IV 駒林遺跡第7地点	122
第12章 西ノ原遺跡の調査	125
I 遺跡の立地と環境	125
II 西ノ原遺跡第142地点	127
III 西ノ原遺跡第143地点	127
第13章 神明後遺跡の調査	128
I 遺跡の立地と環境	128
II 神明後遺跡第33地点	128
III 神明後遺跡第34地点	140
IV 神明後遺跡第35地点	140
V 神明後遺跡第36地点	141
第14章 小田久保遺跡の調査	142
I 遺跡の立地と環境	142
II 小田久保遺跡第7地点	142
第15章 本村遺跡の調査	144
I 遺跡の立地と環境	144
II 本村遺跡第119地点	147
III 本村遺跡第120地点	147
第16章 東台遺跡の調査	149
I 遺跡の立地と環境	149
II 東台遺跡第50地点	153
III 東台遺跡第51地点	154
第17章 石塔畠遺跡の調査	184
I 遺跡の立地と環境	184
II 石塔畠遺跡第1地点	184
III 石塔畠遺跡第2地点	184
IV 石塔畠遺跡第3地点	184
V 石塔畠遺跡第4地点	186
VI 石塔畠遺跡第5地点	186
第18章 まとめ	187
附 編 自然化学分析	189
写真図版	194
抄 錄	239

挿図目次

第 1 図	ふじみ野市の位置と周辺の地形	4
第 2 図	周辺の遺跡 (1/50,000)	6
第 3 図	ふじみ野市遺跡分布図 (1/30,000)	8
第 4 図	川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	10
第 5 図	川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)	13
第 6 図	川崎遺跡第 25 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	14
第 7 図	川崎遺跡第 25 地点柱立建物跡・ピット (1/60)	15
第 8 図	川崎遺跡第 25 地点溝・地下室 (1/60)	16
第 9 図	川崎遺跡第 25 地点出土遺物 (1/1・1/4)	18
第 10 図	川崎遺跡第 26・28・29・30 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	19
第 11 図	川崎遺跡第 26 地点 H 52 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)	22
第 12 図	川崎遺跡第 26 地点 H 52 号住居跡掘方 (1/60)、竈 (1/30)	23
第 13 図	川崎遺跡第 26 地点 H 53 号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)	24
第 14 図	川崎遺跡第 26 地点 H 53 号住居跡竈 (1/30)	25
第 15 図	川崎遺跡第 26 地点 H 54 号住居跡・掘方 (1/60)	26
第 16 図	川崎遺跡第 26 地点 H 54 号住居跡遺物出土状況図 (1/60)、竈 (1/30)	27
第 17 図	川崎遺跡第 26 地点土坑・ピット (1/30・1/60)	28
第 18 図	川崎遺跡第 26 地点 H 52 号住居跡出土遺物① (1/4)	31
第 19 図	川崎遺跡第 26 地点 H 52 号住居跡出土遺物②・H 53 号住居跡出土遺物 (1/4・2/3)	32
第 20 図	川崎遺跡第 26 地点 H 54 号住居跡出土遺物 (1/2・1/4)	33
第 21 図	川崎遺跡第 26 地点土坑・ピット・遺構外出土遺物 (1/4)	34
第 22 図	川崎遺跡第 27 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/4)	35
第 23 図	川崎遺跡第 27 地点溝 1・土坑 1 (1/60)	36
第 24 図	川崎遺跡第 28 地点 H 55・H56 号住居跡・掘方 (1/60)	38
第 25 図	川崎遺跡第 28 地点 H 55 号住居跡竈 (1/30)	39
第 26 図	川崎遺跡第 28 地点 H 57 号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)	40
第 27 図	川崎遺跡第 28 地点 H 57 号住居跡竈 (1/30)	41
第 28 図	川崎遺跡第 28 地点土坑 1 (1/60)、土坑 2 (1/30)	42
第 29 図	川崎遺跡第 28 地点 H 55・H 56・H 57 号住居跡出土遺物 (1/4)	43
第 30 図	川崎遺跡第 28 地点土坑・遺構外出土遺物 (1/4)	44
第 31 図	川崎遺跡第 29 地点 H 58 号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)	46
第 32 図	川崎遺跡第 29 地点 H 58 号住居跡竈 (1/30)	47
第 33 図	川崎遺跡第 29・30 地点 H 59 号住居跡 (1/60)	48
第 34 図	川崎遺跡第 29・30 地点 H 59 号住居跡竈 (1/30)	49
第 35 図	川崎遺跡第 29・30 地点 H 59 号住居跡掘方・遺物出土状況図 (1/60)	50
第 36 図	川崎遺跡第 29 地点溝 1・2 (1/60)	51
第 37 図	川崎遺跡第 29 地点 H 58・H 59 号住居跡・溝・遺構外出土遺物 (1/1・1/4)	53
第 38 図	川崎遺跡第 30 地点 H 60 号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)、微細図 (1/30)	55
第 39 図	川崎遺跡第 30 地点 H 60 号住居跡竈 (1/30)	56
第 40 図	川崎遺跡第 30 地点 H 61 号住居跡 (1/60)	57
第 41 図	川崎遺跡第 30 地点 H 61 号住居跡掘方・遺物出土状況図 (1/60)	58
第 42 図	川崎遺跡第 30 地点 H 61 号住居跡竈 (1/30)	59
第 43 図	川崎遺跡第 30 地点 H 62 号住居跡・掘方 (1/60)	60
第 44 図	川崎遺跡第 30 地点溝・土坑・ピット (1/60)	61
第 45 図	川崎遺跡第 30 地点土坑 (1/60)	62

第 46 図 川崎遺跡第 30 地点井戸	(1/60)	64
第 47 図 川崎遺跡第 30 地点 H 60・H 61・H 62 号住居跡出土遺物	(1/4)	66
第 48 図 川崎遺跡第 30 地点土坑・溝・遺構外出土遺物	(1/4・2/3・1/1)	67
第 49 図 ハケ遺跡の地形と調査区	(1/4,000)	68
第 50 図 ハケ遺跡遺構分布図	(1/2,000)	70
第 51 図 ハケ遺跡 C 区第 8 地点遺構配置図	(1/300)、土層図 (1/60)、出土遺物 (1/4)	71
第 52 図 権現山遺跡の地形と調査区	(1/4,000)	72
第 53 図 権現山遺跡遺構分布図	(1/2,000)	74
第 54 図 権現山遺跡第 23 地点遺構配置図	(1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/4)	75
第 55 図 亀居遺跡の地形と調査区	(1/4,000)	76
第 56 図 亀居遺跡遺構分布図	(1/1,500)	77
第 57 図 亀居遺跡第 63 地点遺構配置図	(1/300)、土層図 (1/150)	79
第 58 図 亀居遺跡第 63 地点 16 号住居跡・不明遺構	(1/60)	80
第 59 図 亀居遺跡第 63 地点トレンチ 1 溝	(1/60)	81
第 60 図 亀居遺跡第 63 地点トレンチ 2 ピット	(1/60)	82
第 61 図 亀居遺跡第 63 地点トレンチ 3・4 ピット	(1/60)	83
第 62 図 亀居遺跡第 63 地点トレンチ 5 ピット	(1/60)、不明遺構・土坑・ピット・溝・遺構外出土遺物 (1/4・1/2)	84
第 63 図 亀居遺跡第 64 地点調査区域図	(1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/4)	86
第 64 図 松山遺跡の地形と調査区	(1/4,000)	87
第 65 図 松山遺跡遺構分布図	(1/3,000)	89
第 66 図 松山遺跡第 44 地点遺構配置図	(1/300)、土層図 (1/150)	90
第 67 図 松山遺跡第 45 地点遺構配置図	(1/300)、土層図 (1/150)	92
第 68 図 松山遺跡第 45 地点 H 34 号住居跡	(1/60)	93
第 69 図 松山遺跡第 45 地点 H 34 号住居跡掘方	(1/60)	94
第 70 図 松山遺跡第 45 地点 H 34 号住居跡竪 (1/30)	95	
第 71 図 松山遺跡第 45 地点 H 35 号住居跡・掘方	(1/60)	96
第 72 図 松山遺跡第 45 地点 H 35 号住居跡遺物・炭化物出土状況図	(1/60)	97
第 73 図 松山遺跡第 45 地点 1 号掘立柱建物跡	(1/60)	98
第 74 図 松山遺跡第 45 地点 3 号掘立柱建物跡	(1/60)	99
第 75 図 松山遺跡第 45 地点溝 1 ~ 6	(1/60)	100
第 76 図 松山遺跡第 45 地点溝 7	(1/100)	101
第 77 図 松山遺跡第 45 地点溝 8 ~ 10・ピット	(1/60)	102
第 78 図 松山遺跡第 45 地点 H 34・H 35 号住居跡・遺構外出土遺物	(1/2・1/4)	104
第 79 図 松山遺跡第 46 地点遺構区域図	(1/300)	104
第 80 図 東久保遺跡の地形と調査区	(1/4,000)	105
第 81 図 東久保遺跡第 66 地点遺構配置図	(1/300)、土層図 (1/150)	107
第 82 図 東久保遺跡第 66 地点溝 1 ~ 3	(1/60)、出土遺物 (1/4)	108
第 83 図 東久保西遺跡の地形と調査区	(1/4,000)	110
第 84 図 東久保西遺跡第 19 地点調査区域図	(1/300)	111
第 85 図 東中学校西遺跡の地形と調査区	(1/4,000)	112
第 86 図 東中学校西遺跡第 32・33 地点遺構配置図	(1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60)	114
第 87 図 亀久保塙跡遺跡の地形と調査区	(1/4,000)	115
第 88 図 亀久保塙跡遺跡遺構分布図	(1/2,500)	116
第 89 図 亀久保塙跡遺跡第 31 地点遺構配置図	(1/300)、土層図 (1/150・1/60)、塙跡 (1/120)	118
第 90 図 駒林遺跡の地形と調査区	(1/5,000)	119
第 91 図 駒林遺跡遺構分布図	(1/2,000)	121

第 92 図	駒林遺跡第 5 ~ 7 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/2) ······	123
第 93 図	駒林遺跡第 7 地点溝 1 ~ 3 (1/60)、出土遺物 (1/2) ······	124
第 94 図	西ノ原遺跡の地形と調査区 (1/4,000) ······	125
第 95 図	西ノ原遺跡第 142・143 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60) ······	127
第 96 図	神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000) ······	128
第 97 図	神明後遺跡遺構分布図 (1/1,500) ······	130
第 98 図	神明後遺跡第 33 地点遺構配置図 (1/300)、トレンチ 1 溝 (1/60) ······	132
第 99 図	神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 溝・土坑・ピット (1/60) ······	133
第 100 図	神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 井戸・溝・土坑・ピット (1/60) ······	134
第 101 図	神明後遺跡第 33 地点トレンチ 2 落とし穴・溝・土坑・ピット (1/60) ······	135
第 102 図	神明後遺跡第 33 地点トレンチ 2 溝・土坑・ピット (1/60) ······	136
第 103 図	神明後遺跡第 33 地点トレンチ 3 溝・土坑・ピット (1/60) ······	137
第 104 図	神明後遺跡第 33 地点トレンチ 3・4 溝・土坑・ピット (1/60) ······	138
第 105 図	神明後遺跡第 33 地点井戸・土坑・溝・ピット・遺構外出土遺物 (1/1・1/2・2/3・1/4・1/6) ······	139
第 106 図	神明後遺跡第 34 ~ 36 地点遺構配置図 (1/500・1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60) ······	141
第 107 図	小田久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000) ······	142
第 108 図	小田久保遺跡第 7 地点調査区域図 (1/300)、土層図 (1/150) ······	143
第 109 図	本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000) ······	144
第 110 図	本村遺跡遺構分布図 (1/3,000) ······	145
第 111 図	本村遺跡第 119・120 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、溝状遺構 (1/60) ······	148
第 112 図	東台遺跡の地形と調査区 (1/4,000) ······	149
第 113 図	東台遺跡遺構分布図 (1/2,000) ······	150
第 114 図	東台遺跡第 50 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150・1/80)、出土遺物 (1/4・1/2) ······	153
第 115 図	東台遺跡第 51 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150) ······	154
第 116 図	東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)、炉 (1/30) ······	155
第 117 図	東台遺跡第 51 地点 178・181 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60) ······	156
第 118 図	東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡炉 (1/30)、ピット (1/60) ······	157
第 119 図	東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)、炉 (1/30) ······	159
第 120 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡 (1/60) ······	160
第 121 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡遺物出土状況図 (1/60) ······	162
第 122 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡炉・遺物出土状況図 (1/30) ······	163
第 123 図	東台遺跡第 51 地点 182 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60) ······	165
第 124 図	東台遺跡第 51 地点土坑・ピット (1/60) ······	166
第 125 図	東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡出土遺物① (1/4) ······	174
第 126 図	東台遺跡第 51 地点 177 号②・74 号・182 号住居跡出土遺物 (1/4) ······	175
第 127 図	東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡出土遺物① (1/4・2/3) ······	176
第 128 図	東台遺跡第 51 地点 178 号②・179 号住居跡出土遺物 (1/4・2/3) ······	177
第 129 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物① (1/4) ······	178
第 130 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物② (1/4) ······	179
第 131 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物③ (1/4) ······	180
第 132 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物④ (1/4・1/2) ······	181
第 133 図	東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物⑤ (1/4・2/3) ······	182
第 134 図	東台遺跡第 51 地点土坑・ピット・遺構外出土遺物 (1/4・2/3) ······	183
第 135 図	石塔畠遺跡の地形と調査区 (1/4,000) ······	184
第 136 図	石塔畠遺跡第 1 ~ 4 地点調査区域図 (1/300)、土層図 (1/150) ······	185
第 137 図	石塔畠遺跡第 5 地点調査区域図 (1/500)、土層図 (1/60) ······	186

表 目 次

第 1 表	過去 3 年間の調査件数と面積一覧表	88
第 2 表	2008(平成 20)年度埋蔵文化財調査一覧表	90
第 3 表	2008(平成 20)年度立会い調査一覧表	103
第 4 表	周辺の遺跡一覧表	103
第 5 表	ふじみ野市遺跡一覧表	106
第 6 表	縄文時代中期時期分対比表	107
第 7 表	川崎遺跡調査一覧表	109
第 8 表	川崎遺跡古代住居跡一覧表	111
第 9 表	川崎遺跡第 25 地点遺構一覧表	113
第 10 表	川崎遺跡第 25 地点出土遺物觀察表	117
第 11 表	川崎遺跡第 26 地点遺構一覧表	117
第 12 表	川崎遺跡第 26 地点出土遺物觀察表	120
第 13 表	川崎遺跡第 27 地点遺構一覧表	122
第 14 表	川崎遺跡第 28 地点出土遺物觀察表	122
第 15 表	川崎遺跡第 28 地点遺構一覧表	126
第 16 表	川崎遺跡第 29 地点遺構一覧表	129
第 17 表	川崎遺跡第 29 地点出土遺物觀察表	130
第 18 表	川崎遺跡第 30 地点遺構一覧表	131
第 19 表	川崎遺跡第 30 地点出土遺物觀察表	140
第 20 表	ハケ遺跡調査一覧表	143
第 21 表	ハケ遺跡縄文時代住居跡一覧表	146
第 22 表	ハケ遺跡古代住居跡一覧表	151
第 23 表	ハケ遺跡 C 区第 8 地点出土遺物觀察表	152
第 24 表	権現山遺跡調査一覧表	153
第 25 表	権現山遺跡第 23 地点遺構一覧表	158
第 26 表	権現山遺跡第 23 地点出土遺物觀察表	158
第 27 表	亀居遺跡調査一覧表	164
第 28 表	亀居遺跡住居跡一覧表	164
第 29 表	亀居遺跡第 63 地点遺構一覧表	164
第 30 表	亀居遺跡第 63 地点出土遺物觀察表	168
第 31 表	亀居遺跡第 64 地点出土遺物觀察表	168
第 32 表	松山遺跡調査一覧表	88
第 33 表	松山遺跡古代住居跡一覧表	90
第 34 表	松山遺跡第 45 地点遺構一覧表	103
第 35 表	松山遺跡第 45 地点出土遺物觀察表	103
第 36 表	東久保遺跡調査一覧表	106
第 37 表	東久保遺跡第 66 地点遺構一覧表	107
第 38 表	東久保遺跡第 66 地点出土遺物觀察表	109
第 39 表	東久保西遺跡調査一覧表	111
第 40 表	東中学校西遺跡調査一覧表	113
第 41 表	亀久保遺跡調査一覧表	117
第 42 表	亀久保遺跡第 31 地点遺構一覧表	117
第 43 表	駒林遺跡調査一覧表	120
第 44 表	駒林遺跡第 7 地点遺構一覧表	122
第 45 表	駒林遺跡第 6・7 地点出土遺物觀察表	122
第 46 表	西ノ原遺跡調査一覧表	126
第 47 表	神明後遺跡調査一覧表	129
第 48 表	神明後遺跡住居跡一覧表	130
第 49 表	神明後遺跡第 33 地点遺構一覧表	131
第 50 表	神明後遺跡第 33 地点出土遺物觀察表	140
第 51 表	小田久保遺跡調査一覧表	143
第 52 表	本村遺跡調査一覧表	146
第 53 表	東台遺跡調査一覧表	151
第 54 表	東台遺跡住居跡一覧表	152
第 55 表	東台遺跡第 50 地点出土遺物觀察表	153
第 56 表	東台遺跡第 51 地点(178 号)住居跡ビット一覧表	158
第 57 表	東台遺跡第 51 地点(179 号)住居跡ビット一覧表	158
第 58 表	東台遺跡第 51 地点(180 号)住居跡ビット一覧表	164
第 59 表	東台遺跡第 51 地点(181 号)住居跡ビット一覧表	164
第 60 表	東台遺跡第 51 地点遺構一覧表	164
第 61 表	東台遺跡第 51 地点出土遺物觀察表	168

写真図版目次

写真図版 1	川崎遺跡第 25 地点	194
写真図版 2	川崎遺跡第 26 地点(1)	195
写真図版 3	川崎遺跡第 26 地点(2)	196
写真図版 4	川崎遺跡第 26 地点(3)	197
写真図版 5	川崎遺跡第 26 地点(4)	198
写真図版 6	川崎遺跡第 26 地点(5)	199
写真図版 7	川崎遺跡第 26 地点(6)、27 地点	200
写真図版 8	川崎遺跡第 28 地点(1)	201
写真図版 9	川崎遺跡第 28 地点(2)	202
写真図版 10	川崎遺跡第 28 地点(3)	203
写真図版 11	川崎遺跡第 29 地点(1)	204
写真図版 12	川崎遺跡第 29 地点(2)	205
写真図版 13	川崎遺跡第 29 地点(3)	206
写真図版 14	川崎遺跡第 30 地点(1)	207
写真図版 15	川崎遺跡第 30 地点(2)	208
写真図版 16	川崎遺跡第 30 地点(3)	209
写真図版 17	川崎遺跡第 30 地点(4)	210
写真図版 18	川崎遺跡第 30 地点(5)	211
写真図版 19	ハケ遺跡 C 区第 8 地点、権現山遺跡第 23 地点、亀居遺跡第 63 地点(1)	212
写真図版 20	亀居遺跡第 63 地点(2)、64 地点	213
写真図版 21	松山遺跡第 44 地点、45 地点(1)	214
写真図版 22	松山遺跡第 45 地点(2)	215
写真図版 23	松山遺跡第 45 地点(3)	216
写真図版 24	松山遺跡第 45 地点(4)、46 地点	217
写真図版 25	東久保遺跡第 66 地点、東久保西遺跡第 19 地点、東中学校西遺跡第 32・33 地点	218
写真図版 26	亀久保遺跡第 31 地点、駒林遺跡第 5～7 地点(1)	219
写真図版 27	駒林遺跡第 7 地点(2)、西ノ原遺跡第 142・143 地点	220
写真図版 28	神明後遺跡第 33 地点(1)	221
写真図版 29	神明後遺跡第 33 地点(2)	222
写真図版 30	神明後遺跡第 33 地点(3)	223
写真図版 31	神明後遺跡第 33 地点(4)	224
写真図版 32	神明後遺跡第 34～36 地点	225
写真図版 33	小田久保遺跡第 7 地点、本村遺跡第 119・120 地点、東台遺跡第 50 地点	226
写真図版 34	東台遺跡第 51 地点(1)	227
写真図版 35	東台遺跡第 51 地点(2)	228
写真図版 36	東台遺跡第 51 地点(3)	229
写真図版 37	東台遺跡第 51 地点(4)	230
写真図版 38	東台遺跡第 51 地点(5)	231
写真図版 39	東台遺跡第 51 地点(6)	232
写真図版 40	東台遺跡第 51 地点(7)	233
写真図版 41	東台遺跡第 51 地点(8)	234
写真図版 42	東台遺跡第 51 地点(9)	235
写真図版 43	東台遺跡第 51 地点(10)	236
写真図版 44	東台遺跡第 51 地点(11)	237
写真図版 45	石塔塚遺跡	238

第1章 遺跡と調査の概要

I 調査に至る経過

埼玉県ふじみ野市は、首都圏 30 km 圏内の県南西部に位置する。2005(平成 17)年 10 月 1 日に、上福岡市と大井町が合併して誕生した。面積 14.67 km²、人口は 2010(平成 22)年 2 月末現在 106,601 人である。

旧上福岡市地域では明治・大正時代頃までは畑作と稻作、旧大井町地域では畑作を中心とする農村地帯であった。また、近世以降は川越街道(大井宿)や新河岸川(福岡河岸)、東武東上線(上福岡駅)などの交通網が発達した交通の要所でもあった。

昭和初期の太平洋戦争時には、福岡に通信施設や火工廠(造兵廠)が建設され、戦後の昭和 30 年代以降には各市町で中・小の宅地開発や大規模な団地が誕生し人口が急増した。また企業の工場や研究所も多数進出してきた。昭和 60 年代以降、旧大井町地域では大規模な土地区画整理事業が進み、埋蔵文化財の発掘調査も活発に行なわれた。現在は上福岡駅周辺の再開発とふじみ野駅周辺の民間開発が活発に行なわれている。

ふじみ野市では平成 17 年から国庫・県費の補助を受けて、「市内遺跡群発掘調査事業」(旧上福岡市、旧大井町では昭和 53 年度から合併まで)として試掘・確認調査及び個人住宅建設に伴う発掘調査を実施してきた。また民間の開発に伴う本調査も原因者と協議の上、協定書並びに契約書を締結し原因者負担のもと、市教育委員会が主体となって本調査を実施している。

埋蔵文化財の調査は、庁内関係各課と連絡調整を行ない、農業委員会事務局からの農地転用許可申請段階、建設課からの建築確認申請段階、都市整備課から

の開発行為の事前申請段階等でそれぞれチェックされる。その後、教育委員会では開発主体者または土地所有者から「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」の提出を受けて事前協議を行なった。埋蔵文化財包蔵地内及びその縁辺部の申請に対して遺跡地図と照合のうえ、現地踏査を実施し現地の状況を確認の上、遺跡に影響を及ぼすとみなされる開発行為に対して申請者に連絡をし、協議を行なった。

協議後、文化財保護法第 99 条第 5 項にもとづき、民間・公共事業を問わず確認調査については全て公費で対応し、埋蔵文化財包蔵地の詳細な範囲の把握を積極的に実施してきている。また専そ個の個人の用に供する住宅(個人住宅)の建設に伴う発掘調査についても、教育委員会が発掘調査主体者となって調査を実施した。

2008 年度は、国庫・県費補助対象の調査を 25 件、市単独費対象の調査 13 件を合わせ 38 件の試掘及び発掘調査を実施した。試掘調査の結果本調査を行なうことになったのは、個人住宅建設に伴う本調査が 8 件、公共事業に伴う本調査が 1 件、民間開発に伴う本調査は 3 件である。開発面積は 18,016 m² で、そのうち実質調査面積は 5,167 m² である。

過去 3 年間の調査件数と調査面積を第 1 表にあげてみる。また、2008 年度に行なった調査は第 2 表のとおりである。2008 年の 10 月以降、開発申請は急減しており、経済情勢を如実に示している。

今後、中小規模の再開発を含む民間開発の増加が見込まれる中で、埋蔵文化財の保存及び調査体制の強化が求められるところである。

第1表 過去 3 年間の調査件数と面積一覧表

年度	件数・内訳	個人住宅 本調査件数	原因者負担 本調査件数	調査原因の内訳
	試掘件数	開発面積(m ²)	開発面積(m ²)	
2006(平成 18)年度	54 件	8 件	9 件	個人住宅 23、共同住宅 7、集合住宅・店舗 1、分譲住宅 5、店舗 4、園舎改築 1、建物解体 1、宅地造成 8、学生寮 1、保育所 1、小学校 1、コンテナボックス設置 1
	59,934	1,340	26,988	
2007(平成 19)年度	33 件	4 件	9 件	個人住宅 11、共同住宅 6、分譲住宅 4、共同住宅及び分譲住宅 1、消防分団車庫 1、変電所 1、公民館分館 1 小学校 2、寺院・庫裏 2、駐車場 1、学習塾 1 店舗兼事務所 1、道路築造 1
	69,902	1,580	55,564	
2008(平成 20)年度	38 件	8 件	4 件	個人住宅 24、共同住宅 1、分譲住宅 5、分譲及び店舗 1、行'屋 1、道路築造 2、寄宿舎 2、プール 1、公園整備 1
	18,016	3,208	2,592	

第2表 2008(平成20)年度埋蔵文化財調査一覧表

	道路・地点名	申請地住所	調査面積 (m)	開発面積 (m)	原因	試験期間	調査期間	備考
1	川崎25	川崎字宅地番203番1の一部 203番3の一部	55	1,033	個人住宅建設	4/14	4/15~17	奈良時代の掘立柱建物跡1、溝、近代以降の地下室1、本調査
2	川崎26	川崎字宅地番230番5	228	228	個人住宅建設	4/21	4/22~5/17	奈良・平安時代竪穴住居跡4、土坑、ピット、近代以降の新戸1、本調査
3	川崎27	川崎1-7-1	112	350	分譲住宅建設	5/15~21		時期不明の溝1、土坑1、工事立会
4	川崎28	川崎字宅地番230-7	160	434	個人住宅建設	7/4.8.9	7/10~8/8	奈良・平安時代竪穴住居跡2、土坑、ピット、本調査
5	川崎29	川崎字宅地番230番1	108	203	個人住宅建設	7/9.10.11	7/14~8/22	奈良・平安時代竪穴住居跡2、溝3、本調査
6	川崎30	川崎字宅地番230番6	200	200	個人住宅建設	7/17	7/18~9/5	奈良・平安時代竪穴住居跡4、井戸3、土坑、溝5、本調査
7	ハケC区8	福岡3丁目2069-9	11	99	個人住宅建設	3/17		住居跡確認、工事立会
8	樺山23	潤1丁目6番7	12	1,576	古墳整備	10/23~29		土坑、集石、工事立会
9	亀居63	亀久保2丁目3番5	312	998	モルタルム	9/17~ 10/3.14.15		縄文時代の住居跡1、土坑、ピット、近世以降の溝1、工事立会
10	亀居64	鶴ヶ岡2丁目28番10	56	907	分譲住宅建設	9/1.2		遺構・遺物無し、慎重工事
11	松山44	篠塚3丁目2-10.2-14	35	132	個人住宅建設	6/9~11		遺構・遺物無し、慎重工事
12	松山45	篠塚3丁目4-7の一部 外6筆	390	390	道路(上下水道含む) む)施設	9/4~30	10/1~23	奈良・平安時代竪穴住居跡2、掘立柱建物跡2、竪穴状遺構1、時期不明の溝10、土坑、ピット、本調査
13	松山46	篠塚3丁目1-33の一部 部1-35の一部	28	309	個人住宅建設	2/17		遺構・遺物無し、慎重工事
14	東久保66	ふじみ野2丁目19番4.19番5	261	862	分譲住宅建設	5/22~6/11		溝3、慎重工事
15	東久保西19	ふじみ野2丁目11-3.11-4	186	824	個人住宅建設	7/2.3		遺構・遺物無し、慎重工事
16	東中学校西32	ふじみ野3丁目10番12	302	1,231	分譲及び店舗建設	6/13~25		遺構・遺物無し、慎重工事
17	東中学校西33	ふじみ野4丁目3-8の一部	37	215	個人住宅建設	10/3		遺構・遺物無し、慎重工事
18	亀久保塙跡31	ふじみ野2丁目15-4	240	661	個人住宅建設	2/6~10	2/12.13	古代～中世の塙跡1、本調査
19	駒林5	大字駒林字新田前 256(仮換地指定 30街区2)	509	509	分譲住宅建設	4/9~16	5/30~6/28	縄文時代集石3、中世の地下式坑1、竪穴状遺構25、溝4、柵列、ピット、本調査
20	駒林6	大字駒林字新田前 248-2(仮換地1街区 27号付1)	40	257	個人住宅建設	8/27		遺構無し、工事立会
21	駒林7	駒林地区古墳理事業 地内28街区5箇所	54	152	個人住宅建設	2/3	2/4.5	時期不明の壠、溝2、本調査
22	西ノ原142	うれし野1丁目6-2	63	296	寄宿舎(24戸)	4/4~7		遺構・遺物無し、慎重工事
23	西ノ原143	うれし野2丁目11-7-3	47	287	寄宿舎(25戸)	3/23		遺構・遺物無し、慎重工事
24	神明後33a	苗間240-2	209	298	個人住宅建設	4/25~5/16		時期不明の落として穴1、中世以降の溝6、井戸2、土坑、ピット、工事立会
25	神明後33b	苗間240-2		357	分譲住宅建設			
26	神明後34	苗間字神明後283-1.284-1の一部	357	1,693	分譲住宅建設	4/30~5/15	5/16~28	縄文時代住居跡1、落として穴1、集石3、ピット、本調査
27	神明後35	苗間字神明後293番6.20	26	247	個人住宅建設	8/1		遺構・遺物無し、慎重工事
28	神明後36	苗間字神明後293-3	37	165	個人住宅建設	9/2		ピット1、遺物無し、慎重工事
29	小田久保7	大井字西原1023番9.8	108	333	個人住宅建設	5/19~21		遺構遺物無し、慎重工事
30	本村119	市沢3丁目14-24の一部	245	559	鉄共同住宅建設	5/27~6/4	6/4~19	中世の地下式坑2、土坑16、ピット58、本調査
31	本村120	市沢2丁目2番2	15	141	個人住宅建設	12/18		遺構遺物無し、慎重工事
32	東台50	大井字東台761の一部	208	646	小学校プール建設	7/14~22		遺構遺物無し、慎重工事
33	東台51	大井字東台648-2	297	297	個人住宅建設	3/10~17	3/18~5/7	縄文時代住居跡6、土坑、ピット、本調査
34	石塔壇1	大井字東台769番9	58	200	個人住宅建設	11/17~20		遺構・遺物無し、慎重工事
35	石塔壇2	大井字東台769番11.22	42	235	個人住宅建設	11/18~21		遺構・遺物無し、慎重工事
36	石塔壇3	大井字東台769番13.14	46	204	個人住宅建設	11/19~25		遺構・遺物無し、慎重工事
37	石塔壇4	大井字東台769番17	48	200	個人住宅建設	11/19~25		遺構・遺物無し、慎重工事
38	石塔壇緑辺	大井字東台763-4.6	22	289	個人住宅建設	1/13.14		遺構・遺物無し、慎重工事
	合計		5,164	18,016				

第3表 2008(平成20)年度立会い調査一覧表

	遺跡名	申請地住所	開発面積 (m ²)	原 因	立会い日	備 考
1	鶴ヶ岡外	亀久保字三角 1703-7	325	木造平屋建工場建設	7/22	現地表面下40cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、建物基礎は地下掘削がなく、工事立会
2	鶴ヶ岡外	亀久保大野原 1643番3	201	個人住宅建設	10/16	現地表面下150cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、保護層有、工事立会
3	北野	北野1-3110-2	217	集合住宅建設	5/15	地表面下30cmまで遺構遺物無し、慎重工事
4	北野	大原2丁目 2076番29	101	分譲住宅建設	6/17	現地表面下70cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、遺構遺物無し、慎重工事
5	北野	北野2丁目 1818-15,22,28	105	個人住宅建設	6/20	現地表面下110cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、保護層有、慎重工事
6	南	南3-23-3 141	369	個人住宅建設	6/6	現地表面下30cmは褐色土の客土、その下60~70cmは灰色の砂層客土し、慎重工事
7	長宮	中丸1丁目 5-17	87	個人住宅建設	8/4	盛土50cm、さらに30cm下で地山 ¹⁻¹ 層確認、保護層有、工事立会
8	長宮	西原2丁目 5-30	120	個人住宅建設	7/23	現地表面下90cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、保護層有、工事立会
9	長宮	西原2丁目 5-23	120	個人住宅建設	11/5	現地表面下80cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、保護層有、工事立会
10	亀居	鶴ヶ岡2丁目 28-14,15	298	個人住宅建設	7/24	現地表面下55cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、保護層有、工事立会
11	川辺	東久保1丁目 172番6	107	個人住宅建設	7/24	40~90cmの客土、保護層有、工事立会
12	東久保	ふじみ野2-3-17	100	個人住宅建設	7/28	現地表面下80cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、保護層有、工事立会
13	東久保南	ふじみ野1丁目 5-5	427	個人住宅建設	7/29	現地表面下50cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、15cm客土、保護層有、工事立会
14	駒林	駒林字新田前 259-4 ~ 2,260-1	284	区画整理事業に伴う 換地の造成	12/25	50cm以上盛土有、工事立会
15	神明後	苗間字神明後 272- 2,271-1 の一部	152	板住木造2階建て 建設	7/8,22	現地表面下70cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、保護層有、工事立会
16	神明後	苗間281番 12,16	100	個人住宅建設	8/6	現地表面下90cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、保護層有、工事立会
17	神明後	苗間 236-1	148	個人住宅建設	8/8	盛土30cm、さらに30cm下で地山 ¹⁻¹ 層確認、保護層有、工事立会
18	神明後	苗間 374-19	97	個人住宅建設	10/30	現地表面下90cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、保護層有、工事立会
19	神明後	苗間 271-1	1,518	個人住宅建設	1/23	現地表面下90~130cmで地山 ¹⁻¹ 層確認、50~60cm客土、 保護層有、工事立会
20	本村	大井2丁目8番4	320	個人住宅建設	5/19	地表下70~130cmで ¹⁻¹ 層保護層有、工事立会
	合計		5,193			

II ふじみ野市の立地と環境

ふじみ野市は埼玉県の南西部に位置し、市内には国道254号バイパス、東武東上線、川越街道（国道254号線）、関越自動車道といった、交通の幹線が北西から南東方向に平行して存在する。市の開発はこうした幹線沿いや、東武東上線と福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺を中心に進んでいるが、郊外には畠地や田園風景も多くみられる。

ふじみ野市を地形的にみると、武蔵野台地縁辺部と荒川低地の沖積地に大きく分かれる。

武蔵野台地は古多摩川が形成した扇状地で、扇頂部で標高180m、扇端部は標高15~20mで比高差10m前後の急斜面となって荒川低地と接している。台地には柳瀬川、黒目川、石神井川等の中河川が荒川低地へ向かって流れ、深い谷と冲積地を形成し、河川に沿って多くの遺跡が分布している。他にも多数の小河川が流れ、台地縁辺を鋸歯状に開析することが多いが、中には急崖もなく、緩斜面のまま低地に接していくことがある。この緩斜面はもともと低位の段丘面で、低位台地と呼ばれる。旧大井町地域を南北方向の断面図で見ると、北と南に高台が続き、その中间に低位台地

（大井台）がある。この大井台の中を3本の河川が東流し、河川の流域に遺跡が集中している。中でも砂川堀は狭山丘陵に流れを発する中河川で、本来大井台はこの砂川の段丘面と捉えることができる。また、福岡江川や富士見市との境を流れるさかい川、淨満寺川などの小河川は市内に湧水源をもつ。湧水源は浅い窪地から発しており、こうした窪地の形成は從来から伏流水が再湧出したことによるものと、宙水からの流出によるものとの二通りが考えられている。

荒川低地は、荒川により形成された沖積地で、ふじみ野市の北東部から東部にかけて広がる。荒川の支流であった新河岸川は川越市周辺に水源を発しその流れはふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市を経て東京都にまたがる。武蔵野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦に見えるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫できた旧河道（埋没河川）、自然堤防、後背湿地などの地形が存在する。

III 市内の遺跡

ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれている。

市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。

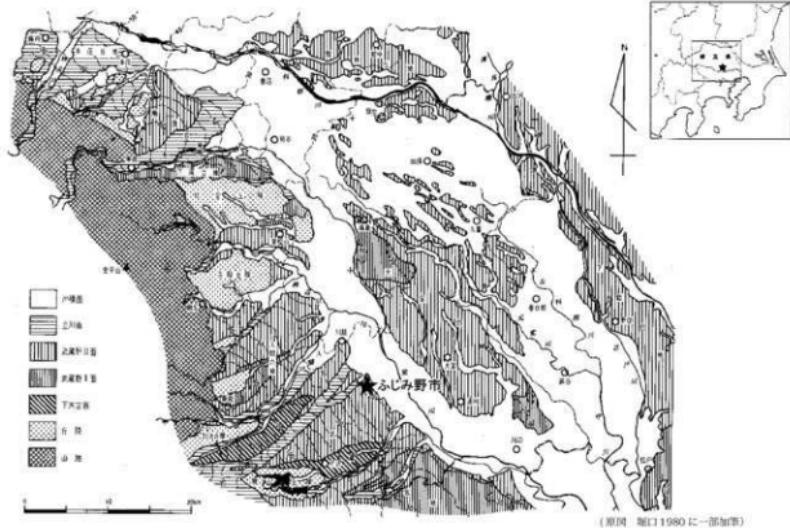
【旧石器時代・縄文時代】市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡（川越市）が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤間江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として著名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れ、台地東端は急峻を成し、崖線上には縄文時代中期のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手（北

側）を北に流れていたが現在は道路となっており、新河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に対峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期開山期の集落跡が確認されている。

川越江川の1km南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺域に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ舞遺跡では、旧石器時代立川ローム第IV層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保塙跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代から縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。

福岡江川の900m南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3km下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10遺跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中沢前遺跡、中沢遺跡・外記塙跡（富士見市）で立川ロームIII層～X層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を追うごとに、上流から下流



第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形

域へ集落の拠点を移していく傾向がみられる。

さかい川の800m南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狭山丘陵部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあと再び湧水してくる下流域である。下流域のふじみ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5~6mの急崖を形成する。この高台上には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連続と続く。一方砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるA T降灰前（立川ローム第Ⅶ層）の石器を本村遺跡の微高地から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ、本村遺跡では炉穴、落し穴が散在するのみである。

【弥生・古墳時代】荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐島遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線上の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群（埼玉県指定史跡権現山古墳群）は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳（2号墳）1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群（通称権現山南北古墳群）3基がある。他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに南約1.5kmの台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろまで続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉から9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な製鉄遺跡が現われ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐島遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。

またハケ遺跡からは鈎帶金具が、川崎遺跡からは瓦

片と布目瓦などが出土しており注目される。

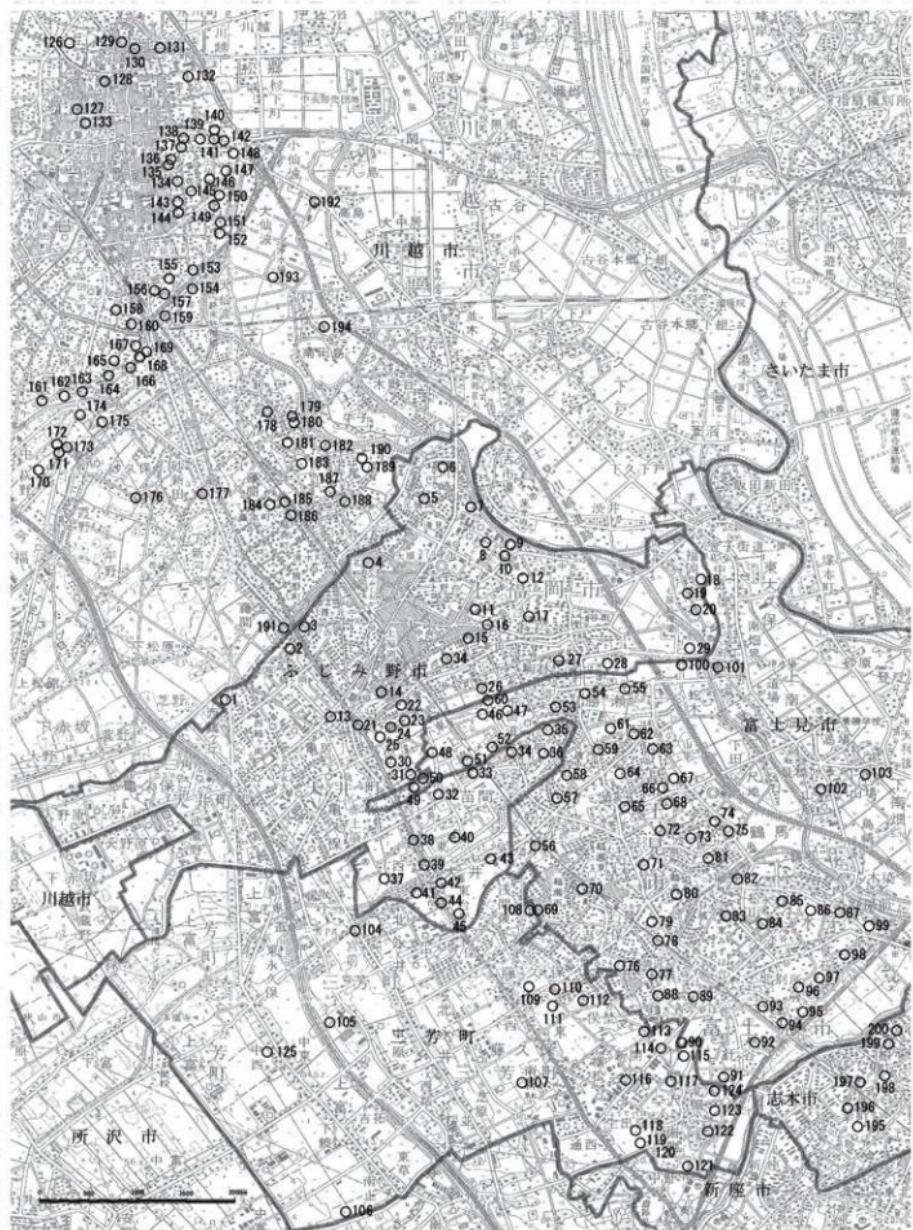
【中世】駒林遺跡では14世紀代に造立された板碑の下に、藏骨器が埋納された葺石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む掘跡状の溝覆土層中から、茶毬跡などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、本村遺跡などでは13~16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に本村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。

16世紀後半から17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、淨禪寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ばせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保堀跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宿の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宿遺跡、亀久保村地蔵院の江川南遺跡、旧苗間村の寺院跡である淨禪寺跡遺跡、長宮氷川神社周辺の長宮遺跡、新河岸舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などでまとまった遺構と遺物が確認されている。また鶯森遺跡で、近・現代の盛り土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

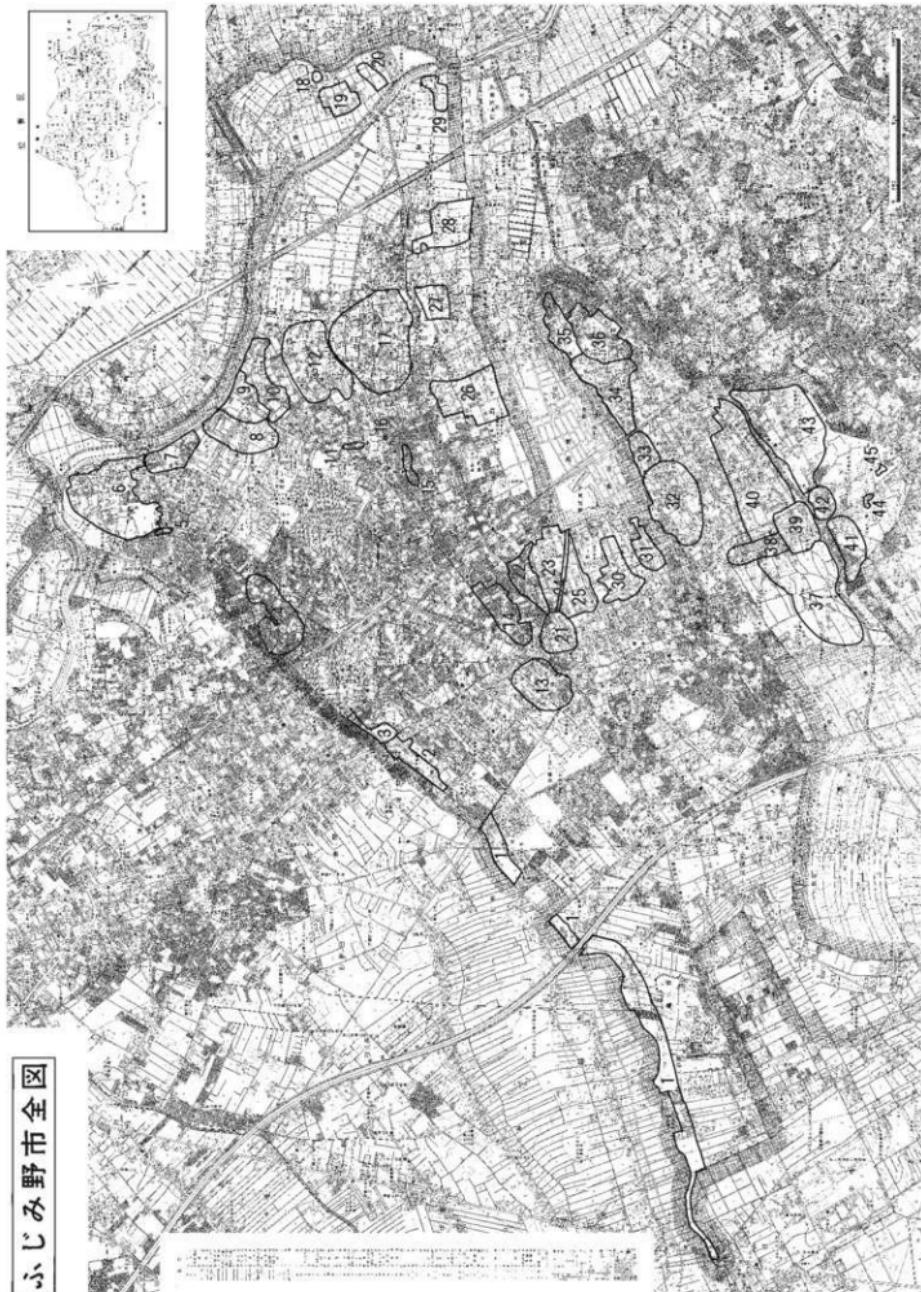
近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である造兵廠東京工廠福岡工場（通称火工廠）の跡地で、防爆土壁・防空壕・水溜・消火栓・排水沟などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。



第2図 周辺の遺跡 (1/50,000)

第4表 周辺の遺跡一覧表

No. 市町 村	遺跡名	時代				No. 市町 村	遺跡名	時代				No. 市町 村	遺跡名	時代			
		旧 石器	新 石器	青 銅 器	平安 以降			旧 石器	新 石器	青 銅 器	平安 以降			旧 石器	新 石器	青 銅 器	平安 以降
1. 三七五野村	鶴ヶ岡外道跡	○	○	○	○	68. 平塚遺跡	○	○	○	○	○	134. 小畠遺跡	○	○	○	○	
2.	鶴ヶ岡道跡	○	○	○	○	69. 谷内花道跡	○	○	○	○	○	135. 小仙崎町ノ内道跡	○	○	○	○	
3.	西道跡	○	○	○	○	70. 雄ノ門道跡	○	○	○	○	○	136. 鶴見原道跡	○	○	○	○	
4.	北野道跡	○	○	○	○	71. 谷津道跡	○	○	○	○	△	137. 多宝幡古墳	○	○	○	○	
5.	川崎橋穴場跡	○	○	○	○	72. 青駒道跡	○	○	○	△	△	138. 長多良塙内道跡	○	○	○	○	
6.	川崎道跡	○	○	○	○	73. 黒江口道跡	○	○	○	○	○	139. 小仙崎2丁目A道跡	○	○	○	○	
7.	八介道跡	○	○	○	○	74. 犬戸道跡	○	○	○	○	○	140. 小仙崎2丁目B道跡	○	○	○	○	
8.	上福岡日塙	○	○	○	○	75. 朝霞町多生野道跡	○	○	○	○	○	141. 小仙崎2丁目C道跡	○	○	○	○	
9.	雞山遺跡・ 雞岡山遺跡群	○	○	○	○	76. 本日道跡	○	○	△	○	○	142. 小仙崎2丁目D道跡	○	○	○	○	
10.	鳩道跡	○	○	○	○	77. 鶴道跡	○	○	○	○	○	143. 仙波古代集落遺跡	○	○	○	○	
11.	西筑波道跡	○	○	○	○	78. ハルヒ道跡	○	○	○	○	○	144. 弁天界敷	○	○	○	○	
12.	宮高道跡	○	○	○	○	79. 新田道跡	○	○	○	○	○	145. 弁天内道跡	○	○	○	○	
13.	龜居道跡	○	○	○	○	80. 鶴来道跡	○	○	○	○	○	146. 宮代川神社古墳	○	○	○	○	
14.	鶴ヶ舞道跡	○	○	○	○	81. 鷺山道跡	○	○	○	○	○	147. 小仙崎4丁目道跡	○	○	○	○	
15.	富士台行木古墳	○	○	○	○	82. 山崎道跡	○	○	○	○	○	148. 小仙崎1番塙跡	○	○	○	○	
16.	雁道跡	○	○	○	○	83. 打越道跡	○	○	○	△	○	149. 弁天南道跡	○	○	○	○	
17.	松山道跡	○	○	○	○	84. 治山道跡	○	○	○	○	○	150. 弁天北道跡	○	○	○	○	
18.	天神原道跡	○	○	○	○	85. 久保前道跡	○	○	○	△	○	151. 鶴ノ内道跡	○	○	○	○	
19.	城山道跡	○	○	○	○	86. 水子山塚	○	○	○	○	○	152. 鶴波氏塚	○	○	○	○	
20.	井谷道跡	○	○	○	○	87. 鳥取道跡	○	○	○	○	○	153. 木下神社古墳	○	○	○	○	
21.	江川南道跡	○	○	○	○	88. 開戸道跡	○	○	○	○	○	154. 愛宕神社古墳	○	○	○	○	
22.	江川東道跡	○	○	○	○	89. 松ノ木道跡	○	○	○	○	○	155. 仙波古道跡	○	○	○	○	
23.	東久保道跡	○	○	○	○	90. 新田道跡	○	○	○	○	○	156. 仙波古南道跡	○	○	○	○	
24.	南北保坂跡	○	○	○	○	91. 南通路道跡	○	○	○	○	○	157. 滝岸町社古墳	○	○	○	○	
25.	東久保坂跡	○	○	○	○	92. 北通路道跡	○	○	○	△	○	158. 里要道跡	○	○	○	○	
26.	鶴林道跡・ 鶴林小笠塙跡	○	○	○	○	93. 乗合ノヅ道跡	○	○	○	○	○	159. 旗峰神社遺跡	○	○	○	○	
27.	福岡街内道跡	○	○	○	○	94. 切所道跡	○	○	○	○	○	160. 新野2丁目道跡	○	○	○	○	
28.	黒古道跡	○	○	○	○	95. 正岡前道跡	○	○	○	○	○	161. 木赤道跡	○	○	○	○	
29.	伊佐島道跡	○	○	○	○	96. 正岡前道跡	○	○	△	△	○	162. 新野1番塙跡	○	○	○	○	
30.	東中学校西側跡	○	○	○	○	97. 東白石道跡	○	○	○	○	○	163. 中野山塙	○	○	○	○	
31.	東久保坂道跡	○	○	○	○	98. 神明道跡	○	○	○	○	○	164. 新野4丁目道跡	○	○	○	○	
32.	西ノ原道跡	○	○	○	○	99. 鶴ノ内道跡	○	○	○	○	○	165. 新野3丁目道跡	○	○	○	○	
33.	小引前道跡	○	○	○	○	100. 伊豆鳥道跡	○	○	○	○	○	166. 月岡山下の横穴	○	○	○	○	
34.	神代前道跡	○	○	○	○	101. 上子子道跡	○	○	○	○	○	167. 丹野神社片道跡	○	○	○	○	
35.	苗間久保坂道跡	○	○	○	○	102. 山明道跡	○	○	○	○	○	168. 沢野町一城穴	○	○	○	○	
36.	津津井古道跡	○	○	○	○	103. 薩摩山道跡	○	○	○	○	○	169. 月岡4号窓櫻穴	○	○	○	○	
37.	小山田古道跡	○	○	○	○	104. 大野前道跡	○	○	○	○	○	170. 中村1道跡	○	○	○	○	
38.	大野前道跡	○	○	○	○	105. 中央道跡	○	○	○	○	○	171. はた塚2号塙	○	○	○	○	
39.	大井川前道跡	○	○	○	○	106. 南正道跡	○	○	○	○	○	172. 中台B道跡	○	○	○	○	
40.	大井戸道跡	○	○	○	○	107. 南新井道跡	○	○	○	○	○	173. 中台A道跡	○	○	○	○	
41.	西行道跡	○	○	○	○	108. 沢野前道跡	○	○	○	○	○	174. 八雲神社古墳	○	○	○	○	
42.	大井戸1道跡	○	○	○	○	109. 久保坂道跡	○	○	○	○	○	175. 八雲東道跡	○	○	○	○	
43.	東白石道跡	○	○	○	○	110. 保坂東第2道跡	○	○	○	○	○	176. 研久保塙堀	○	○	○	○	
44.	大井戸2道跡	○	○	○	○	111. 保坂東第3道跡	○	○	○	○	○	177. 吉岡町社古墳	○	○	○	○	
45.	大井塙	○	○	○	○	112. 保壁道跡	○	○	○	○	○	178. 清谷道跡	○	○	○	○	
46. 堀井・保坂道跡	○	○	○	○	113. 二芳宿内道跡	○	○	○	○	○	179. 寺尾城	○	○	○	○		
47. 山街道跡	○	○	○	○	114. 新開道跡	○	○	○	○	○	180. 寺尾廻城	○	○	○	○		
48.	武藏坂道跡	○	○	○	○	115. 北京第一道跡	○	○	○	○	○	181. 国府原道跡	○	○	○	○	
49.	西ノ原道跡	○	○	○	○	116. 新開第一道跡	○	○	○	○	○	182. 河内道跡	○	○	○	○	
50.	モトカヨ・ 東久保古道跡	○	○	○	○	117. 北京道跡	○	○	○	○	○	183. 原道跡	○	○	○	○	
51.	中沢道跡	○	○	○	○	118. 生出津道跡	○	○	○	○	○	184. 藤原町西道跡	○	○	○	○	
52.	外記塙	○	○	○	○	119. 生出津道跡	○	○	○	○	○	185. 藤原町東道跡	○	○	○	○	
53.	鶴岡前道跡	○	○	○	○	120. 生出津道跡	○	○	○	○	○	186. 矢崎町道跡	○	○	○	○	
54.	鶴岡南・北道跡	○	○	○	○	121. 古井戸山道跡	○	○	○	○	○	187. 中野道跡	○	○	○	○	
55.	宮高道跡	○	○	○	○	122. 本村山道跡	○	○	○	○	○	188. 多成道跡	○	○	○	○	
56.	上久道跡	○	○	○	○	123. 木村北道跡	○	○	○	○	○	189. 桐原寺御塙跡	○	○	○	○	
57.	西渡戸道跡	○	○	○	○	124. 三無道跡	○	○	○	○	○	190. 寺尾貝塚	○	○	○	○	
58.	西渡戸道跡	○	○	○	○	125. 二富岡花地御道跡	○	○	○	○	○	191. 六幡神社道跡	○	○	○	○	
59.	美濃13道跡	○	○	○	○	126. 神奈川道跡	○	○	○	○	○	192. ぬれ道跡	○	○	○	○	
60.	福岡・保坂道跡	○	○	○	○	127. 丸山町1丁目道跡	○	○	○	○	○	193. 木仙道跡	○	○	○	○	
61.	御嶽前道跡	○	○	○	○	128. 元町2丁目道跡	○	○	○	○	○	194. 鹿山陰道跡	○	○	○	○	
62.	日野山道跡	○	○	○	○	129. 重明寺山道跡	○	○	○	○	○	195. 西原・塙山道跡	○	○	○	○	
63.	大谷道跡	○	○	○	○	130. 宮野町2丁目道跡	○	○	○	○	○	196. 菊ノ山塙	○	○	○	○	
64.	羽根道跡	○	○	○	○	131. 木田山道跡	○	○	○	○	○	197. 新谷道跡	○	○	○	○	
65.	羽根前道跡	○	○	○	○	132. 田越道跡	○	○	○	○	○	198. 中道道跡	○	○	○	○	
66.	山室道跡	○	○	○	○	133. 野村道跡	○	○	○	○	○	199. 滝山道跡	○	○	○	○	
67.	山室谷道跡	○	○	○	○						200.	浦山道跡	○	○	○	○	



第5表 ふじみ野市遺跡一覧表

No	遺跡名	主な時代	遺跡番号	No	遺跡名	主な時代	遺跡番号
1	鶴ヶ岡外遺跡	旧石器、縄文早期の集落跡	30-036	25	東久保西遺跡	旧石器、縄文早期・中期・近世の集落跡	30-042
2	鶴ヶ岡遺跡	旧石器、縄文早期・中期の集落跡	30-047	26	駒林遺跡	近世の堀跡・中世の墳墓	25-013
3	西遺跡	縄文中期の集落跡	25-001	27	福岡新田遺跡	縄文時代の散布地、中・近世寺院	25-015
4	北野遺跡	縄文中期・奈良・平安の集落	25-002	28	鷺森遺跡	縄文前期の集落跡	25-017
5	川崎横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-004	29	伊佐島遺跡	古墳前期・平安の集落跡	25-021
6	川崎遺跡	旧石器、縄文前期・中期・古墳前期・中期・奈良・平安の集落跡	25-003	30	東中学校西遺跡	縄文早期・中期・近世の集落跡	30-008
7	ハケ遺跡	縄文中期の集落跡・奈良・平安の集落跡	25-005	31	東久保南遺跡	旧石器、縄文早期・中期・近世の集落跡	30-032
8	上福岡貝塚	縄文前期・古墳前期・奈良・平安の集落跡	25-006	32	西ノ原遺跡	旧石器、縄文早期・中期・近世の集落跡	30-001
9	雅現山遺跡(古墳群)	古墳前期の集落跡・古墳群・縄文中期・奈良・平安の集落跡	25-007	33	中沢前遺跡	旧石器、縄文早期・中期・近世の集落跡	30-044
10	瀬遺跡	縄文時代・古墳前期・中期・奈良・平安の集落跡	25-008	34	神明後遺跡	旧石器、縄文早期・後期・奈良・平安の近世の集落跡	30-041
11	西原遺跡	縄文の散布地	25-025	35	苗間東久保遺跡	旧石器・縄文早期～後期	30-020
12	長宮遺跡	縄文前期・中・近世の集落跡	25-009	36	浮桜寺跡遺跡	旧石器・縄文早期・中期・中・近世の集落跡	30-022
13	庵居遺跡	旧石器・縄文前期・中期の集落跡	30-030	37	小田久保遺跡	旧石器・縄文早期～中期・中・近世の集落跡	30-040
14	鶴ヶ舞遺跡	旧石器・縄文中期・奈良・平安の集落跡	30-046	38	大井宿遺跡	近世～近代の宿場跡	30-010
15	土主館穴	古墳後期の横穴墓	25-011	39	大井氏館跡移行・大井戸遺跡	旧石器・縄文中期・中期・中・近世の集落跡	30-037
16	福遺跡	古墳後期の横穴墓	25-023	40	本村遺跡	旧石器・縄文早期～後期・中・近世の集落跡	30-034
17	松山遺跡	奈良・平安・中・近世の集落跡	25-010	41	西台遺跡	旧石器・縄文中期・奈良・平安・近世の集落跡	30-039
18	天神附遺跡	古墳中期の散布地	25-018	42	大井戸上遺跡	旧石器・縄文前期・中期・近世の集落跡	30-014
19	城山遺跡	中・近世の鉱脈跡	25-019	43	東台遺跡	旧石器・縄文早期～後期・奈良・平安の近世の集落跡	30-024
20	川袋遺跡	奈良・平安の散布地	25-020	44	大井宿木戸遺跡	近世～近代の宿場跡	30-048
21	江川南北遺跡	旧石器・縄文中期・中・近世の集落跡	30-007	45	石塔畠	中世の散布地	30-027
22	江川東遺跡	奈良・平安・近世の集落跡	30-045				
23	東久保遺跡	旧石器・縄文中期・近世の集落跡	30-009				
24	龜久保塙遺跡	中世の塙跡	30-006				

第6表 縄文時代中期時期細分対比表

本書 ①	2011 ②	安孫子昭二 鈴木・山本 1988	植木 弘 ③ 1994	黒尾和久 ④ 1995	谷井他 ⑤ 1982		考古学協会 ⑥ 1981
					勝坂	坂式	
猪沢・阿玉台Ib古	勝坂I様式	猪沢・阿玉台Ib古	猪沢・阿玉台Ib	勝坂	Ia 中前	阿玉台Ib前IVb	II期 阿玉台出現期
		勝坂II様式	勝坂II様式		Ia 新	阿玉台Ib前V a	III期
		II様式	II様式		1b	Vb	(勝坂最段階)
		III様式	III様式		2a 古	VI	(勝坂盛時段階)
		IV様式	IV様式		2a 新	VII	
		V様式	V様式		2b	VIII	V期 (勝坂終末)
加曾利E I古	加曾利E I 様式	加曾利E I直前	a 勝坂	加曾利E	3a		
		b	半		3b 古		加曾利E I古
		c	半		3b 新		
		E 1	1a		1b	IXa	
		中期	1b		1c	IXb	加曾利E I新
		2期	2a		2b	X	
加曾利E I新	加曾利E 2 様式	加曾利E I式	2 后	加曾利E	2c 古		
		3	后		2c 新		
		4	半		3a		
		5	半		2b		
		6	期		2c 古	XI	
					3c 新	XIIa	加曾利E II
加曾利E II	加曾利E 3 様式	加曾利E II式	2 加曾	加曾利E	3a		
		3	加曾		2b	XIIb	
		4	期		2c 古	XIII	加曾利E III
		5	期		3c 新		
		6	期		3b 新	XIV	加曾利E IV
					3c 新		
加曾利E III	加曾利E 4 様式	a 加曾利E III式	1 利期	加曾利E	4		
		b	2		4		
加曾利E IV			E		E4		

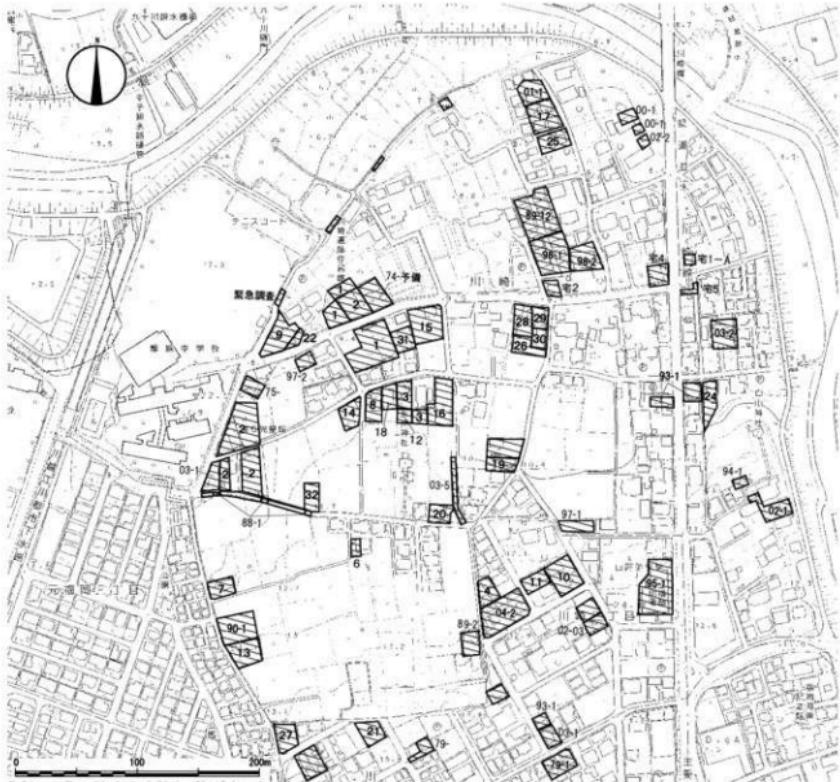
第2章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武藏野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武藏野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畠も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側基部に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917年（大正6年）台地の先端部で貝層が確認され1928年（昭和3年）の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980年以来36ヶ所で調査が行われ、21ヶ所で遺構が確認されている。主たる時代と遺構は縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下水式坑である。



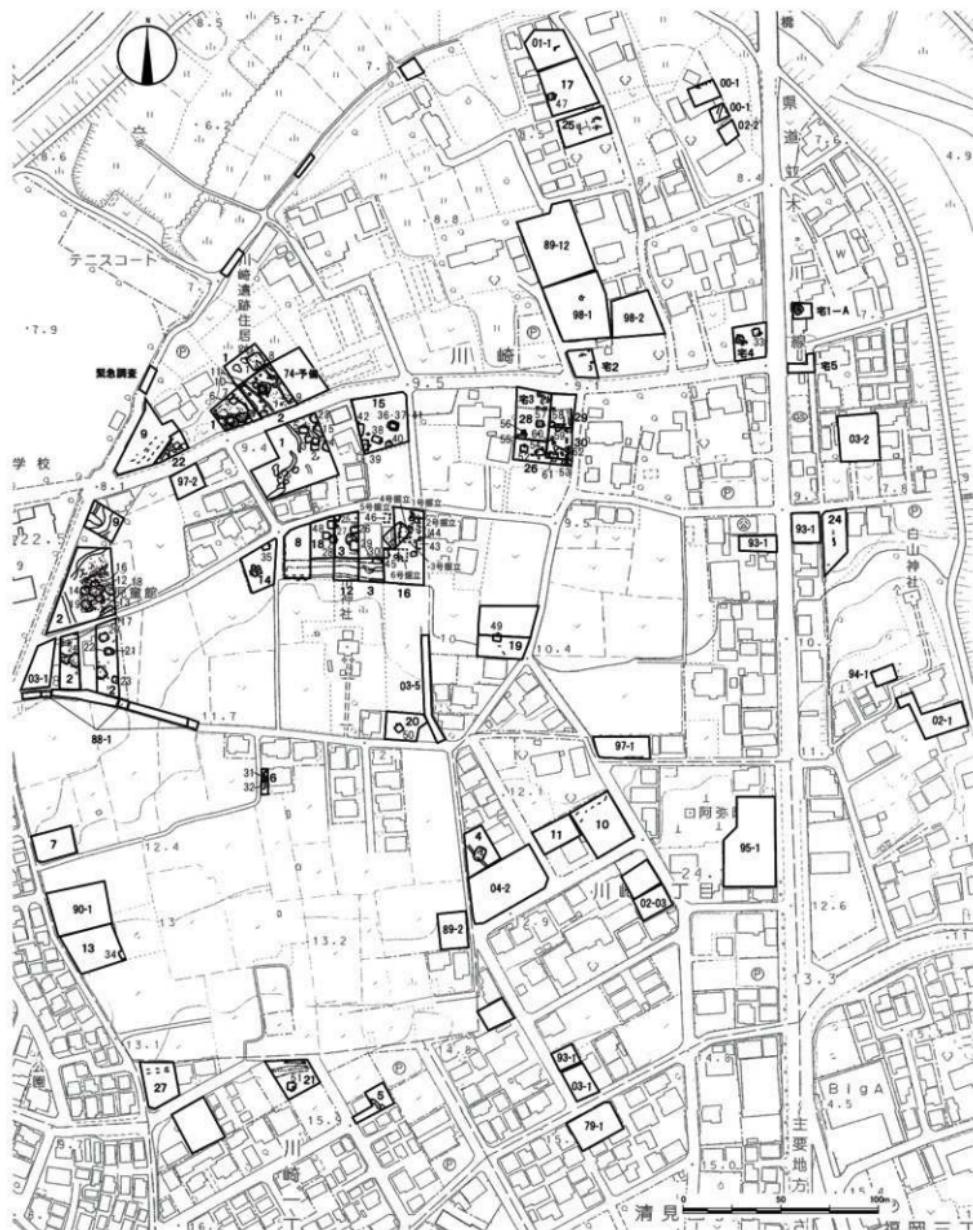
第4図 川崎遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第7表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()	面積 (m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書				
千葉分陥調査	川崎 160	(1974.3.25 ~ 4.6)	84	事前調査	少少 3. 土坑 2. ピット群。縄文土器、石器	上福岡古跡調査報告書				
1 次	川崎 162 ~ 176	1974.7.20 ~ 9.19	1,800	事前調査	住居跡 11(縄文前期 3. 古墳前期 1. 四分力)、溝 3. 縱 2. 土坑 5. 地下坑 6. 窓石 1	川崎遺跡第 1 次調査報				
緊急貸調査	人字川崎字青後 168-3	1975.3.30 ~ 5.10	198	個人住宅	溝 3. 縄文土器、石器。平安土器群・須恵器・灰釉陶器、布目瓦瓦	上福岡古跡調査報告書				
宅地添 1 次 (A 地区)	人字川崎字毛利添 122	1975.6.8 ~ 29	50	個人住宅	縄文早期住居跡 1. 繩文土器、石器。窓	上福岡古跡調査報告書				
2 次	川崎 137 ~ 174	1975.9.4 ~ 12.5	3,055	事前調査	縄文早期住居跡 9. 古墳時代 6. 平安平成住居跡 10. 中世遺構跡 2. 墓	川崎遺跡第 2 次調査報				
3 次	川崎 149-6	1977.11.1 ~ 12.3	300	住宅建設	縄文住居跡 2 (7.8). 平安平成住居跡 6 (1.2.4 ~ 6.9). 朱瓦敷地、川崎村、窓	川崎遺跡第 3 次調査報				
宅地添 2 次 (B 地区)	川崎 198	1978.5.15 ~ 25	170	宅地造成	土坑 3. ピット	埋蔵文化財の調査 (1)				
宅地添 3 次 (C 地区)	川崎 230	1978.5.23 ~ 31	130	住宅建設	井戸跡 2. 地下坑 1. 潟	埋蔵文化財の調査 (1)				
4 次	川崎 2-5-2	1979.4.19 ~ 5.11	304	宅地造成	縄文前期住居跡 1. 潟 1. 無文式土器、貝類	埋蔵文化財の調査 (3)				
5 次	川崎 1-1-4	1979.9.26 ~ 10.10	152	宅地造成	縄文住居跡	埋蔵文化財の調査 (3)				
1979 年度試掘 (清見)	清見 4-3-13	(1979.11.12 ~ 19)	260	宅地造成	溝 1	埋蔵文化財の調査 (3)				
6 次	川崎 102-5	1979.12.3 ~ 8	30	7 次	川崎 124-3	1980.1.11 ~ 27	316	個人住宅	窓無し。平安土器片	埋蔵文化財の調査 (3)
7 次	川崎 124-3	1980.1.11 ~ 27	30	8 次	人字川崎字青後 148-1	1984.1.17 ~ 26	400	住宅建設	窓無し。	埋蔵文化財の調査 (3)
9 次	川崎字青後 129	1984.9.25 ~ 10.9	361	住宅建設	縄文住居跡 1. 平安住居跡 1	埋蔵文化財の調査 (3)				
10 次	川崎字青後 172-1-2	1986.9.11 ~ 20	495	個人住宅	窓 2. 窓無し。廻転。平安土器敷地	埋蔵文化財の調査 (3)				
11 次	川崎 22-4	1987.11.24 ~ 30	603	個人住宅	窓 1	埋蔵文化財の調査 (3)				
12 次	川崎 2-6-2	1988.5.10 ~ 17	280	住宅建設	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (3)				
1988 年度試掘	市道 402 号線	(1988.9.19 ~ 21)	60	下水設置	住居跡 1	埋蔵文化財の調査 (3)				
1989 年度試掘 (1)	人字川崎字添 196-1	(1989.4.10 ~ 18)	1,045	住宅建設	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (2)				
1989 年度試掘 (2)	人字川崎字前 98-2	(1989.10.3 ~ 6)	264	住宅建設	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (2)				
12 次	川崎字前 149-4.5	1990.4.20 ~ 27	311	住宅建設	溝 2	埋蔵文化財の調査 (3)				
13 次	人字川崎字前 122	1990.5.1 ~ 17	480	住宅建設	住居跡 1	埋蔵文化財の調査 (3)				
1990 年度試掘 (1)	人字川崎字前 122	(1990.5.18 ~ 23)	530	範囲不明調査	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (3)				
14 次	人字川崎字前 145	1990.10.1 ~ 31	499	住宅建設	縄文前中期住居跡 1. 貝塚。平安住居跡 1	埋蔵文化財の調査 (3)				
15 次	川崎字前後 160-1	1991.10.23 ~ 11.20	499	個人住宅	平安住居跡 7. 土坑 1	埋蔵文化財の調査 (14)				
1992 年度試掘 (1)	人字川崎字山 9.5	(1992.3.18 ~ 198	168	病院用施設	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (15)				
1993 年度試掘 (1)	人字川崎 2-2.10.11	(1993.8.24)	131	個人住宅	窓 1. 開口。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (16)				
1993 年度試掘 (2)	川崎 1-1-1 の一部	(1993.9.10 ~ 13)	422	個人住宅	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (16)				
1994 年度試掘 (1)	川崎字前 258 他 1 事	(1994.11.17 ~ 24)	230	機器設置敷設	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (17)				
1995 年度試掘 (1)	川崎 2-7.2-3	(1995.10.13 ~ 19)	1,126	防護柵	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (18)				
16 次	川崎字前 150-2.3	1995.12.11 ~ 1996.3.8	828	駅場及び貨物取扱施設	縄文前中期住居跡 4. 住居跡 6. 世帯穴式造跡 2.	7 年度教育実習				
17 次	川崎字前 204 の一部	1996.7.15 ~ 23	279	個人住宅	住居跡 1. 窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (19)				
18 次	川崎字前 148-3	1996.11.18 ~ 25	198	個人住宅	住居跡 1. 窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (19)				
1997 年度試掘 (1)	川崎字前 21	(1997.4.14)	367	宅地造成	窓 (時刻不明)	埋蔵文化財の調査 (20)				
1997 年度試掘 (2)	川崎字前 165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (20)				
1997 年度試掘 (3)	川崎字前 199.1-2.5	(1998.1.22 ~ 16)	780	個人住宅	窓無し。遺物無し	9 年度教育実習				
1998 年度試掘 (1)	人字川崎字前 197-1	1998.10.27 ~ 11.6	996	宅地造成	窓 1. 前期住居 1. 窓 1 ほか	埋蔵文化財の調査 (21)				
市道 402 号線 2 次	川崎字前 201.2-10.11	2000.2.21 ~ 25	496	住宅建設	縄文前中期住居跡 1	11 年度教育実習				
2000 年度試掘 (1)	人字川崎字地添 209 の一部	(2000.6.19 ~ 25)	123	個人住宅	住居跡 1. 窓無し	埋蔵文化財の調査 (22)				
範囲不明調査	川崎字前地添 209	(2001.6.12 ~ 25)	100	申報	窓	埋蔵文化財の調査 (24)				
19 次	川崎字前 157 の一部	2001.9.18 ~ 10.4	289	個人住宅	平安初期住居跡 1	埋蔵文化財の調査 (24)				
2001 年度試掘 (1)	川崎字前地添 204-1	(2001.10.29.30)	825	宅地造成	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (24)				
2002 年度試掘 (1)	川崎 249-1 の一部	(2002.5.13)	341	貯庫	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (25)				
2002 年度試掘 (2)	川崎 210-1.2 の一部	(2002.10.28.29)	551	共同住宅	溝 1. 窓 1. 【土器・保存】	埋蔵文化財の調査 (25)				
2002 年度試掘 (3)	川崎 2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	窓無し。遺物無し	14 年度教育実習				
2002 年度試掘 (4)	川崎 2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	窓無し。遺物無し	14 年度教育実習				
2002 年度試掘 (5)	川崎字前 155 他	(2003.2.26)	164	住宅建設	窓無し。遺物無し	14 年度教育実習				
2003 年度試掘 (1)	川崎 137-1 の一部	(2003.6.8.7)	297	個人住宅	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (26)				
2003 年度試掘 (2)	川崎 226-14	(2003.12.8.19)	381	個人住宅	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (26)				
2003 年度試掘 (3)	川崎字前 222-3 先	2004.2.16 ~ 18	88	古跡初頭穴式住居跡 1【調査実施】	15 年度教育実習					
2004 年度試掘 (1)	川崎字前 157-1 の一部	(2004.6.14.5.15)	421	個人住宅	平安時代後半住居跡のカマドの一部	埋蔵文化財の調査 (27)				
2004 年度試掘 (2)	川崎 2-5-1	(2004.11.1 ~ 4)	881	宅地造成	窓無し。遺物無し	埋蔵文化財の調査 (27)				
20 次	川崎字前 153-5	(2005.11.28 ~ 12.2) (1.22 ~ 2.7)	257	個人住宅	古跡住居跡 1	市内遺跡群 1				
21	川崎 1-6-10	(2006.4.11)	298	個人住宅	奈良住居跡 1. 窓	市内遺跡群 3				
22	川崎 171-1.174-10	(2007.4.16 ~ 23)	104	消防分派所	窓 1. 窓 2. 大窓 1. 土坑 2	市内遺跡群 4				
23	川崎字前 102-4.6	(2007.6.4)	240	個人住宅	工事着工済みのため工事立会い	市内遺跡群 4				
24	川崎字前 225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	窓無し。遺物無し	市内遺跡群 4				
25	川崎字前地添 203 号 1 の一部	(2008.4.14)	1,033	個人住宅	奈良時代柱立柱建跡 1. 溝。近代以降の地下室 1	市内遺跡群 6				
26	川崎字前地添 230 号 5	(2008.4.15 ~ 17)	228	個人住宅	窓無し。平安代後半柱立柱建跡 1. 土坑。ピット。 窓 (以降の横の 1 号)	市内遺跡群 6				
27	川崎 1-7-1	(2008.5.15 ~ 5.21)	350	分譲住宅	時刻不明の窓 1. 土坑 1	市内遺跡群 6				
28	川崎字前地添 230-7	(2008.7.4 ~ 7.9)	434	個人住宅	奈良・平安時代穴式住居跡 2. 土坑。ピット	市内遺跡群 6				
29	川崎字前地添 230 号 1	(2008.7.9 ~ 7.10)	200	個人住宅	奈良・平安時代穴式住居跡 2. 窓 3	市内遺跡群 6				
30	川崎字前地添 230 号 5	(2008.7.17)	200	個人住宅	奈良・平安時代穴式住居跡 4. 窓 3. 土坑。窓 5	市内遺跡群 6				
31	川崎字前 161 号 5 の一部	(2009.10.28)	304	個人住宅	縄文時代中期住居跡 1. 奈良・平安時代穴式住居跡 2. ヒラ F 12	未報告				
32	川崎字前 140 の一部	(2011.2.24 ~ 25)	396	個人住宅	奈良・平安時代穴式住居跡 3. 土坑 2. 建物部分本調査	未報告				

第8表 川崎遺跡古代住居跡一覧表 (単位: cm)

住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形()	面積	炉 竈マダク	沿壁面 幅(マダク)	立方式 高さ(cm)	周溝	主軸方位	時期	参考	文献	
1	1974	第1次LN72	完掘	楕丸形	760 × 730 × 40	炉	地盤炉	60 × 50	○	N-60E	3C 終末	市指定文化財	川崎遺跡第1次調査	
2	1974	第1次LN05	完掘	方形	360 × 320 ×	K	東		○	N-5E	4分		□	
3	1974	第1次LN06	完掘	丸方形	320 × 320 ×	K	東		○	N-13W	9C 4半期		□	
4	1974	第1次LN07	完掘	方形	320 × 320 ×	K	東	80 × 90	○	N-83W	9C 中葉		□	
5	1974	第1次LN24	完掘	丸方形	470 × 340 × 50	K	北	120 × 75	○	N-5E	10C 1半期		□	
6	1974	第1次LN25	完掘	方形	320 × 300 ×	K	北	40 × 40	○	N-42E	9C 1半期		□	
7	1974	第1次LN26	内側未掘	(長方形)	× 300	K	東	50 × 60	○	N-69W	9C 3半期		□	
8	1974	第1次LN71	未調査未掘	(方形)	× 600								□	
9	1975	第2次LN79	部分	(長方形)									川崎遺跡第2次調査	
10	1975	第2次LN92	部分	(長方形)							10C 1半期		□	
11	1975	第2次LN72	完掘	楕丸形	250 × 250 × 13	K	南	50 × 80	○	N-18E	4分		□	
12	1975	第2次LN07	完掘	方形	720 × 720	K	北		○	N-32E	6C 後半	ビット多數 土葺	□	
13	1975	第2次LN04	完掘	方形	390 × 350	K	東	60 × 70	○	N-64E	6C 前半	前窓穴有り	□	
14	1975	第2次LN05	完掘	長方形	450 × 370	K	北	100 × 80	○	N-1E	10C 2半期		□	
15	1975	第2次LN19	部分	方型		K	東				9C 4半期	支脚が空脚	□	
16	1975	第2次LN14	完掘	長方形	370 × 260	K	北	90 × 80	○	N-4E	9C 3半期		□	
17	1975	第2次LN12	未調査未掘	長方形	700 ×						6C	坑跡串	□	
18	1975	第2次LN33	17往と大きく曲線し全44不明										□	
19	1975	第2次LN06	完掘	楕丸形	410 × 420	K	北東		○	N-45E	6C 後半	良好	□	
20	1975	第2次LN22	完掘	長方形	410 × 330	K	北	120 × 120	○	N-29W			□	
21	1975	第2次LN53	完掘	長方形	350 × 280	K	東	70 × 60	○	N-87E	10C 2半期	22往を切る	□	
22	1975	第2次LN54	部分	方形	330 × 320	K	北					五個	□	
23	1975	第2次LN20	3/3	(長方形)	× 350	K	北		○	N-23E	9C 2半期	礫山工頭跡	□	
24	1975	第2次LN21	ほぼ完掘	正方形	380	K	西北	50 × 70	○	N-43W	発見		□	
25	1977	第3次1号住居	南北衝突のみ(長方形)			K	東	途中で複数	○				川崎遺跡第3次	
26	1977	第3次2号住居	完掘	方形	350 × 330	K	北	70 ×	○		4分	鉄製品多い	□	
27	1977	第3次3号住居	(完B)	長方形	350 × 400	K	東	170 × 110	○		4分	□, 鋼文調査19		
28	1977	第3次3号住居	(完B)	長方形	350 × 320	K	東	120 × 90	○		4分	□, 鋼文調査19		
29	1977	第3次3号住居	4/5	正方形	440 ×	K	北	155 × 90	○		9C 4半期	焼失家跡	□	
30	1977	第3次9号住居	1/2	(方形)	415 ×						14分			
31	1979	第6次1号住居			340 ×						9C 2半期	埋蔵文化財の調査Ⅱ		
32	1979	第6次2号住居	1/3		340 ×	K	北	140 × 80	○		9C 1半期	鉄製品多い	□	
33	1984	地蔵堂第4次3号住居	完掘	正方形	340 × 340	K	東	120 × 100	○		8C 3半期	埋蔵文化財の調査Ⅲ		
34	1990	第13次1号住居	1/2~1/3		390 ×	K			○			7C 後半	埋蔵文化財の調査13	
35	1990	第14次2号住居	南1/2		340 ×	K	東		○		9C 1半期		□	
36	1991	第15次1号住居			395 × 285	K	北東				9C ~ 10C	埋蔵文化財の調査14		
37	1991	第15次2号住居			380 × 380	K	東				9C 中葉		□	
38	1991	第15次3号住居	完掘	長方形	265 × 430	K	南東		○		9C 初頭		□	
39	1991	第15次4号住居	1/2	正方形	580 ×	K	東		○		9C ~ 9C 初頭		□	
40	1991	第15次5号住居	3/4		280 ×	K	北		○		9C 前半~中		□	
41	1991	第15次6号住居			425 × 270	K	北		○		8C 後半	3506白土重復	□	
42	1991	第15次7号住居	1/2	正方形	570 ×	K	北		○		9C 前半	緑釉陶器、 焼失家跡	□	
43	1994	第16次1号住居	1/2		450 ×				○		9C 前半~後半	未報告		
44	1994	第16次2号住居			340 ×				○		9C 前半~後半		□	
45	1994	第16次5号住居	2/3		440 ×	K	東		○		9C 前半~後半		□	
46	1994	第16次6号住居	カマドのみ			K	東						□	
47	1994	第16次1号住居	2/3	長方形									□	
48	1994	第16次2号住居	西側柱のみ	長方形	南北2間						9C 前半~後半	42住と接続	□	
49	1994	第16次3号住居	完掘	長方形	南北3間	東西2間						□	□	
50	1994	第16次4号住居	完掘	長方形	南北3間	東西2間						□	□	
51	1994	第16次5号住居	1/2	長方形	南北2間	東西2間						□	□	
52	1994	第16次6号住居	完掘	南北3間	東西2間								□	
47	1996	第17次1号住居	完掘	長方形	400 × 400	K	東		○		4分	墨書き土器	埋蔵文化財の調査19	
48	1996	第18次2号住居	完掘	長方形	300 × 300	K	東		○		4分		埋蔵文化財の調査19	
49	2001	第19次1号住居	1/2		360 ×	K			○		9C 前半	埋蔵文化財の調査24		
50	2005	第20次1号住居	完掘	長方形	320 × 350	K	北西		○	N-45W	7C 前半~中	山内遺跡Ⅰ		
51	2006	第21次1号住居	完掘	長方形	410 × 365 × 10	K	東	145 × 125	○	N-106E	9C 後半	山内遺跡Ⅱ		
2008	第25次1号住居	長方形	南北2間	東西2間								山内遺跡Ⅲ	古内遺跡Ⅵ	
52	2008	第26地点H25号住居	完掘	方形	349 × 316 × 33	K	北	95 × 83	○	N-16E	9C 後半		□	
53	2008	第26地点H29号住居	北側のみ	(方形)	431 × 205 × 24	K	北	70 ×	○	N-16E	9C 後半		□	
54	2008	第26地点H30号住居	完掘	長方形	424 × 296 × 20	K	北	98 × 71	○	N-4-E	8C 後半		□	
55	2008	第28地点H31a号住居	北側のみ	(方形)	(390) × (233) × 15	K	北	88 × 84	○	N-19E	8C 中~後半		□	
56	2008	第28地点H31b号住居	北側のみ	(方形)	(404) × 325 × 2				○	N-18E			□	
57	2008	第28地点H32号住居	完掘	長方形	357 × 295 × 24	K	東	108 × 80	○	N-105E	8C 中~後半		□	
58	2008	第29地点H33号住居	北側のみ	(方形)	(214) × (205) × 16	K	東	(65) × (65)	○	N-98E	8C 後半~9C 初頭		□	
59	2008	第29地点H34号住居	完掘	方形	(378) × 372 × 12	K	北	71 × 90	○	N-16E	9C 後半	墨書き土器	□	
60	2008	第30地点H35号住居	完掘	長方形	294 × 252 × 26	K	東	141 × 88	○	N-104E	9C 前半		□	
61	2008	第30地点H37号住居	完掘	長方形	415 × 414 × 21	K	北	88 × 140	○	N-16E	9C 後半	緑釉陶器	□	
62	2008	第30地点H38号住居	1/2	(方形)	375 × (105) × 17				○	N-5-E	9C 後半	墨書き土器	□	



第5図 川崎遺跡遺構分布図(1/2,500)

II 川崎遺跡第25地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年3月12日付けで「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」(以下「埋蔵文化財事前協議書」)がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い台地上に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年4月14日に幅約2mのトレンチを2本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで40~50cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は2008年4月15日から同年4月17日まで、試掘調査で確認した遺構の場所を人力で表土除去後調査を行なった。調査の結果、平安時代の掘立柱建物跡、溝跡1条、近世の地下室を検出し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①掘立柱建物跡

【位置】調査区の北東側に位置する。遺跡全体の分布では北側に位置する。

【形状】2間×2間の長方形で、主軸方位はN-11°Eである。P1(土坑1)からP8(土坑8)の7基で構成されるが、土坑5も土坑4と対称の中心軸上にあり、その場合は2間×3間となる。規模は柱穴中心間の距離で桁行4.3m、梁行3.2mを測る。各柱穴は丸方形、覆土はローム粒を多量に含む暗褐色土で、特にP1, 2, 3は柱痕と版築された層が認められ、柱穴の中心部も一段低くなる。

P3の柱痕から灰釉陶器皿が出土した。

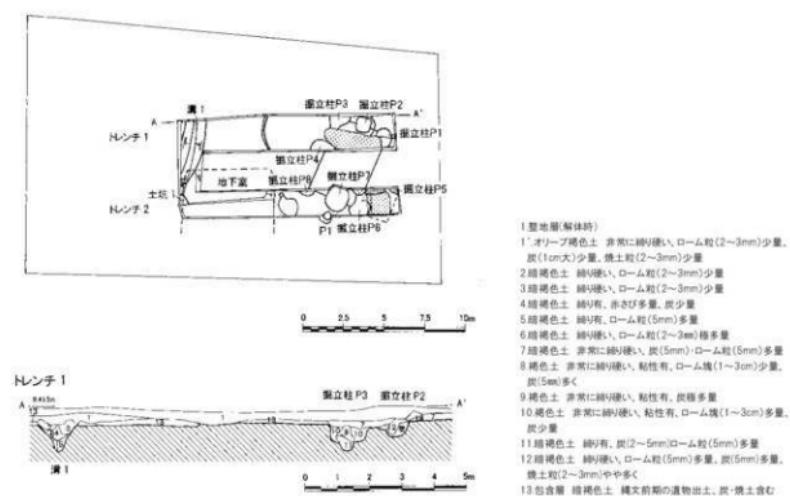
出土遺物から時期は平安時代。

②溝

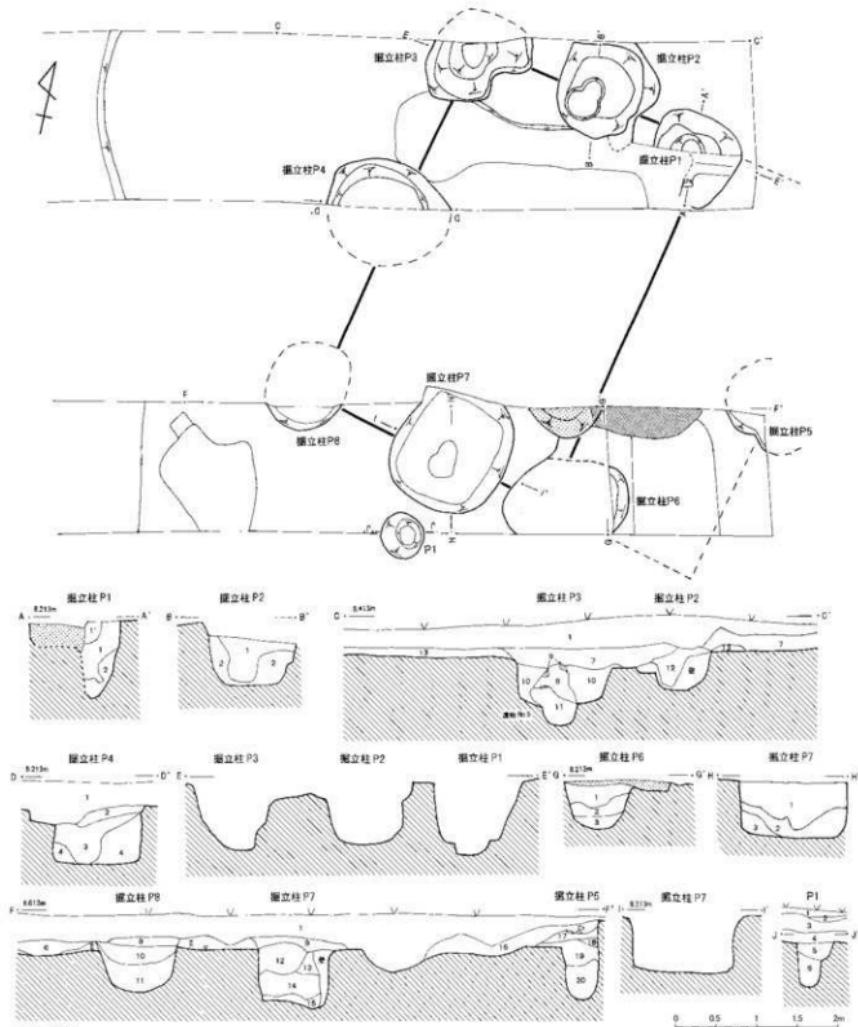
調査区西側に南北方向の溝を検出した。断面形態は「V」字形を呈する。検出した溝の長さは4m、上端幅は1.28m、下端幅は0.2~0.45m、確認面からの深さ0.9mである。磁器碗、瓦、火鉢破片が出土した。出土遺物から、時期は近世。

③地下室

調査区南西に地下室状の遺構を検出した。

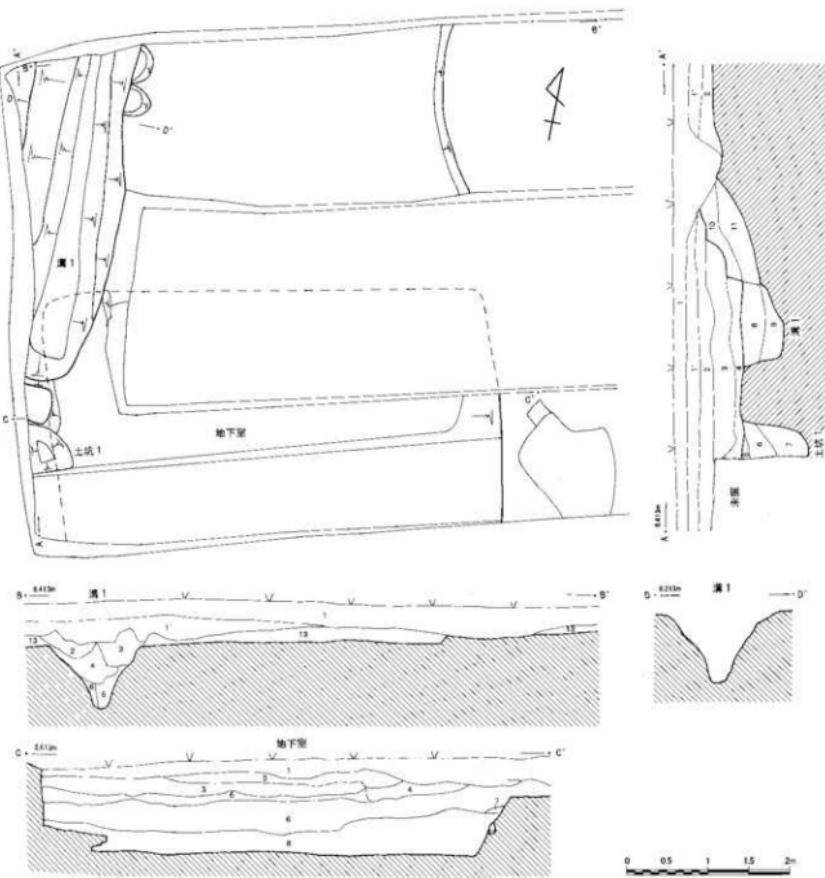


第6図 川崎遺跡第25地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)



- A-A': B-B'
1. 緑褐色土、紺り(便)、ローム粒(5mm)多量、炭(5mm)多量。焼土粒(2~3mm)やや多量
1. オリーブ褐色土、紺り(便)やや有、ローム粒(2~3mm)多量、炭(2~3mm)多量。水の影響
で色も変わったが、2層と同様
2. 緑褐色土、ローム塊(1mm)少量、炭・焼土1層と同じ
- C-C': F-F'
- II 地山 包含層
1. 整地層(解体跡) C-C'ぐず、ゴミ・焼土入
2. 緑褐色土、非常に硬い跡、黒色土塊少量混入。焼土(5mm)、炭(5mm)少量
3. ピット上層、非常に硬く、ローム粒(2~3mm)少量、炭(1cm大)少量。焼土粒(2~3mm)少量
4. 緑褐色土、紺り(便)、炭(1cm大)少量
5. 緑褐色土、紺り(便)、ローム粒(1mm)少量
6. 緑褐色土、紺り(便)、有、粘性有、土か、全て炭(1~10cm大)になっている、ローム塊(2cm大)やや多く、ローム粒(5mm)少量
7. 滾いた粘土(やや生け)と培養土の混合層
8. オリーブ褐色土、紺り有、粘性有、6層と同様土かブロック状(1~20cm大)、粘土粒
9. 緑褐色土、非常に硬い(便)、炭(5mm)、ローム粒(5mm)多量
10. 橙褐色土、紺り(便)、ローム塊(1~2cm大)多量
11. 緑褐色土、紺り有、ローム塊(1~2cm大)多量
12. 緑褐色土、紺り有、粘性有、ローム粒(5~10mm)多量、炭(2~3mm)やや多い
13. 12層よりローム粒子が多い
14. 緑褐色土、紺り有
15. 12層と同様、ローム粒子多い
16. 緑褐色土、紺り有、炭(1cm大)少量、粘土層
17. オリーブ褐色土、紺り(便)、粘土層
18. 緑褐色土、紺り(便)
19. 緑褐色土、紺り(便)、炭(5mm)多量、ローム粒(5mm)多く含む
20. 緑褐色土、紺り有、19層と同様

第7図 川崎遺跡第25地点掘立柱建物跡・ピット (1/60)



土坑 1・溝 1 A-A'

II 地層 包含層

I 整地層(解体時)

1. オリーブ褐色土 細り緻密、粘性有。炭(10mm大)少量、粘土含む

2. オリーブ褐色土 細り緻密、粘性有。ローム塊(5~30mm)多量、炭少

3. オリーブ褐色土 非常に細り緻密、粘性有。ローム塊(5mm)少量

4. 緑褐色土 細り緻密、粘性有。ローム塊(5mm)多量

5. オリーブ褐色土 細り緻密、粘性有。ローム塊(2~3mm)少量、炭(10mm大)少量

6. 緑褐色土 細り緻密、ローム塊(1mm)少量

7. 緑褐色土 細り緻密、ローム塊(10~100mm大)になっている。ローム塊(20mm大)やや多く、ローム塊(5mm)少量

8. オリーブ褐色土 細り緻密、粘性有。6層と同様土かブロック状(10~200mm大)、粘土状(オリーブ色)が多い

9. オリーブ褐色土 細り緻密、ローム塊(2~3mm)少量、水溶性の赤鉄が入る

10. 緑褐色土 細り緻密、ローム塊(5mm)少量

11. 緑褐色土 細り緻密、6層と同様、ローム塊少量、炭(5mm)やや多量

12. 緑褐色土 細り緻密、炭少

13. 緑褐色土 細り緻密、ローム塊(5mm)多量

14. 緑褐色土 細り緻密、ローム塊(2~3mm)多量

15. 緑褐色土 細り緻密、ローム塊(10mm大)多量

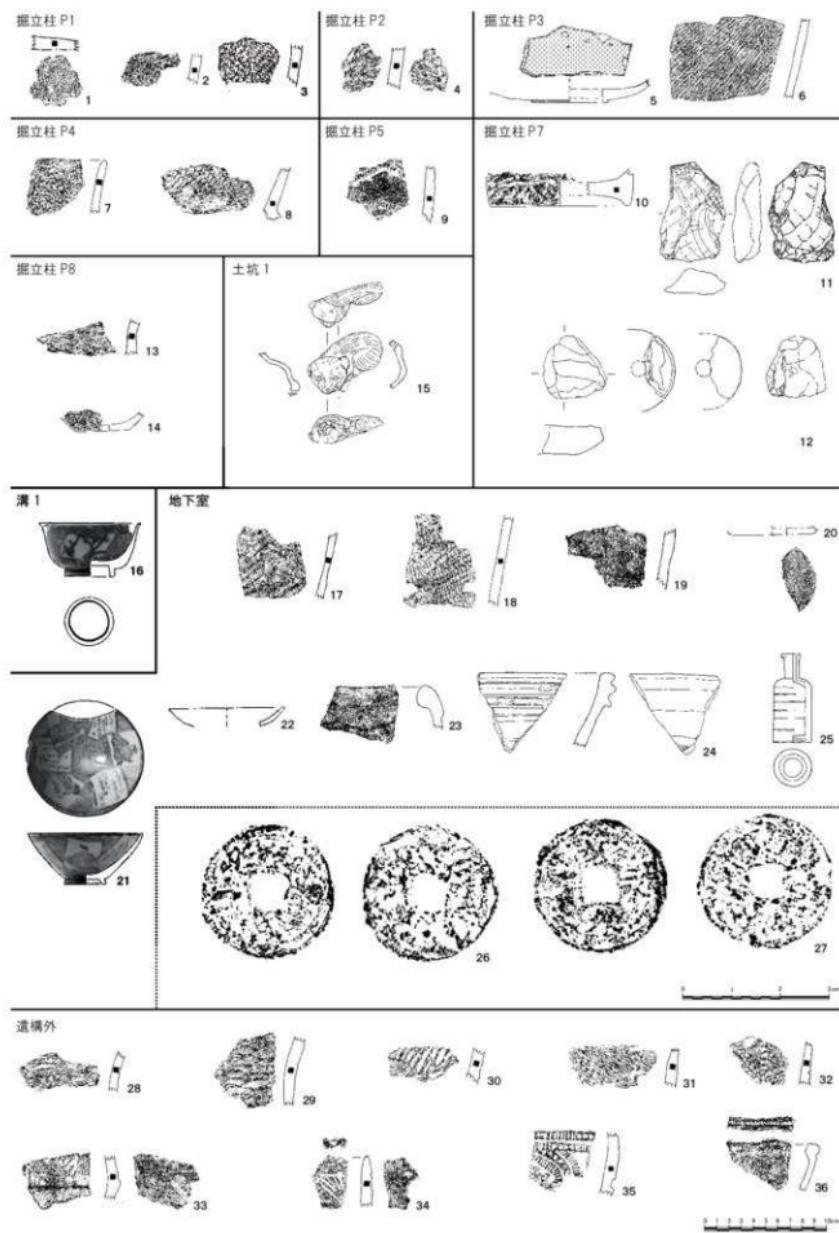
第8図 川崎遺跡第25地点溝・地下室 (1/60)

第9表 川崎遺跡第25地点遺構一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考	No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	圓柱形 隔丸方形下 段内円	108×105 36×(18)	70×70 23×15	74 90	旧土坑1	P8	(楕円形)	(47)×(45)	(68)×(19)	57	旧土坑8
2	圓柱形 隔丸方形 下段内円	115×101 55×45	74×73 50×38	76 79	旧土坑2	粘土範圓	(楕円形)	(135)×(40)			
3	圓柱形 隔丸方形 下段 (楕円)	(125)×70 56×(44)	116×(68) 32×30	55 82	旧土坑3、 縦輪出上	溝1	4m以上の 直線。断面 「V」字形	115～128	15～45	91	鹿野原、瓦、 火跡出土。地 下室より引
4	圓柱形 (楕円形)	(145)×(80)	(102)×(37)	70	旧土坑4	土坑1	(楕円形)	(47)×(45)	(30)×(18)	119	旧土坑9。陶 磁器出土。地 下室より引
5	圓柱形 (楕円形)	(42)×(42)	(40)×(35)	67	旧土坑5	地下室			560×(300)	65	土坑1、溝1 より新
6	圓柱形 隔丸方形 硬化面鑿空	153×(82)	×(52)	51	旧土坑6	P1	円形	52×52	28×18	54	
7	圓柱形 隔丸方形 硬化面鑿空	145×134 45×34	122×108	76	旧土坑7						

第10表 川崎遺跡第25地点出土遺物観察表 (単位cm)

回数 番号	埋蔵番号	遺構名	種別・器種	L・W・長	底径・幅	器高・厚	接法 / 文様 / その他	石材 / 推定 生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
1	1号掘立P1	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	口沿削り痕 / 繩維含む / 注No. 1D-1		縄文前期前半・ 羽状縞文系	底部破片
2	1号掘立P1	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	上帯L、下帯Rの無節羽状縞文 / 脇土に繩維含む / 注No. 1D-1		縄文前期・黒浜	脚部破片
3	1号掘立P1	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	上帯L、下帯RのLの結合した羽状縞文 / 脇土に 繩維含む / 注No. 1D-1		縄文前期・黒浜	脚部破片
4	1号掘立P1	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	脛土に繩維含む / 注No. 2D		縄文前期・黒浜	脚部破片
5	1号掘立P3	灰褐色踏面 / 跡	—	(6.2)	—	—	縄縞或は内面灰褐色。見込みにトชน跡 / 灰黃褐色 / 色注3D-2		9C 第2四 底部K1/4様式	
6	1号掘立P3	束縛面 / 跡	—	—	—	—	前面叩き目 / 灰色 / 海面骨合せ / 注No. 3D-1	南北企	奈良・平安	脚部破片
7	1号掘立P4	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	RL 縄文を縱に施文 / 脇土に繩維含む / 注No. 4D		縄文前期・黒浜	上縫部破片
8	1号掘立P4	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	RL 縄文を縦に施文 / 脇土に繩維含む / 注No. 4D		縄文前期・黒浜	脚部破片
9	1号掘立P5	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	連續繩文を左右から方に施文する / 脇土に繩維含む / 注No. 5D		縄文前期・ 黒浜(有尾尾)	脚部破片
10	1号掘立P7	縄文土器 / 跡	—	(11.3)	—	—	上げ底 / 羽状縞文 / 脇土に繩維含む / 注No. 7D-1		縄文前期・黒浜	底部
11	1号掘立P7	石器 / 刃製石斧	8.15	5.38	2.40	重量 108.6g / 注No. 7D-1	木シヤクル		縄文時代	完形
12	1号掘立P7	土製品 / 刃	—	—	—	—	先端部が崩壊する。刃部が削除 / 注No. 7D-1		奈良・平安	先端部破片
13	1号掘立P8	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	無節R 縄文を横位に施文 / 脇土に繩維含む / 注No. 8D		縄文前期・黒浜	脚部破片
14	1号掘立P8	土器器 / 鋼	—	(4.2)	—	—	脣部及び底部へ削りり / 赤褐色 / 角質含む / 注No. 8D		奈良・平安	底部
15	土坑1	磁器 / 天型水滴	—	—	—	—	型合せ成形、背中と卵に焼成剥離孔 / 口と耳に赤色の複合色 / 注No. 9D		19C～	口縫1/2
16	溝1	磁器 / 茶碗	8.4	4.0	4.3	—	輪縞或は縄縞貼付。松竹梅の扁縞 / 注No. 1M	幽川・美濃	1890年代～	口縫1/2
17	地下室1	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	羽状縞文 / 脇土に繩維含む / 注No. 地下室		縄文前期・黒浜	脚部破片 / 外曲磨滅
18	地下室1	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	L.R 縄文を横位に施文 / 脇土に繩維含む / 注No. 地下室		縄文前期・黒浜	脚部破片
19	地下室1	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	無文 / 注No. 地下室		縄文前期	脚部破片
20	地下室1	箆窓器 / 环	—	(7.4)	—	—	輪縞成形。底部削除後 / 灰褐色褐色 / 破片 (~ 1mm) 少量。削除針合せ / 注No. 地下室	南北企	奈良・平安	底部
21	地下室1	磁器 / 茶碗	9.5	3.4	4.2	—	輪縞或は縄縞貼付。百人一首 / 注No. 地下室	幽川・美濃	1890年代～	口縫1/2
22	地下室1	磁器 / 瓢	(9.0)	—	—	—	輪縞或は / 注No. 地下室		近世～	口縫部破片
23	地下室1	真貫土器 / 火鉢	—	—	—	—	輪縞或は / 注No. 地下室		近世～	口縫部破片
24	地下室1	燒結土器 / 燒結	—	—	—	—	輪縞或は / 注No. 地下室		19C～	口縫部破片
25	地下室1	ガラス製品 / 医 療用薬瓶	1.5	3.1	7.3	—	型吹き成形 (類似) / クロクサリボン / 無色・透明、気 泡有 / 侧面に目盛り線の刻印 / 注No. 地下室		1900～1910年代	完形
26	地下室1	鉢 / 外径 2.21	0.64	0.15	—	重量 2.67g / 注No. 地下室		中・近世	完形	
27	地下室1	鉢 / 外径 2.23	0.74	0.17	—	重量 2.93g / 薄造 / 「久文永寳」、四文銭 / 注No. 地下室		1863～1865	完形	
28	トレーンチ1 道構外	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	脇土に繩維含む / 注No. 1トレ-1		縄文前期・黒浜	脚部破片 / 外曲磨滅
29	トレーンチ1 道構外	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	縄文 / 脇土に繩維含む / 注No. 1トレ-1		縄文前期・黒浜	脚部破片 / 外曲磨滅
30	トレーンチ1 道構外	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	無節 L 縄文を横位に施文 / 脇土に繩維含む / 注No. 1トレ-1		縄文前期・黒浜	脚部破片
31	トレーンチ1 道構外	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	LR 縄文を横位に施文 / 脇土に繩維含む / 注No. 1トレ-1		縄文前期・黒浜	脚部破片
32	トレーンチ1 道構外	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	半裁切による過剰押さえ孔を複数 / 脇土に 繩維含む / 注No. 1トレ-1		縄文前期・ 黒浜(有尾尾)	脚部破片
33	トレーンチ1 道構外	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	繩維による幾何学的画と太線を充填。竹筋により 交互に平行斜交突起 / 内面は柔軟で滑潤		縄文早期・ 朝ノ鳥台	脚部破片
34	トレーンチ1 道構外	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	脇土に繩維含む / 注No. 1トレ-1		縄文早朝・ 朝ノ鳥台	口縫部破片
35	トレーンチ1 道構外	縄文土器 / 跡	—	—	—	—	沈縫による幾何学的画と管首による円 形斜交突起 / 脇土に繩維含む / 注No. 1トレ-2		縄文時代	脚部破片
36	トレーンチ1 道構外	縄文土器 / 浅鉢	—	—	—	—	扁平な底盤上に複数工具の削りと竹管による円 形斜交突起 / 脇土に繩維含む / 注No. 1トレ-2		口縫部破片	口縫部破片



第9図 川崎遺跡第25地点出土遺物 (1/1・1/4)

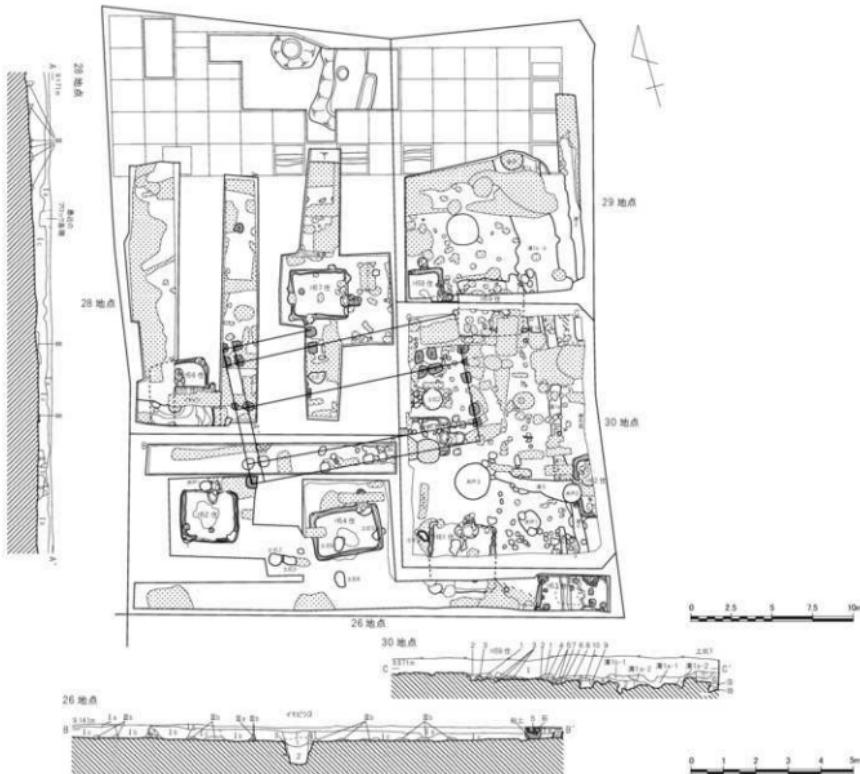
III 川崎遺跡第26地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年3月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い台地上に立地し、隣接地では古代の住居跡等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年4月21日に幅約2mのトレンチを3本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで40~50cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は2008年4月22日から同年5月17日まで、



A-A'

I a 黒褐色土 壱土・盛土・砂石、10mm以下ロームブロック、黒灰色土ブロック含む、転落受け、縫り強め

I b 黒褐色土 壱土、40mm以下ロームブロック多く含む、縫り強め

I c 黒褐色土 壱土・耕作土、20mm以下ロームブロック、ローム粒少し含む、縫り強め

II 黑褐色土 包含層、3mm以下ローム粒、10mm厚灰色粘土ブロック、2~10mm、縫土少し含む、上層土層含む(土師器部縁部)、縫り弱め

B-B'

I a 黒褐色土 縫り強め、粘性有、盛土層、40mm厚のローム主体層をはさむ

I b 黑褐色土 縫り有、粘性有、耕作土、最大10cm、およそ50mm以下ロームブロックをやや多く含む、イシビツの覆土はI b 層に似る

I c 黑褐色土 縫り有、粘性有、耕作土、縫り強め、3mm以下ローム少し、3mm以下鐵土わずかに含む、礎石に切られる、ミゾケの張り土のはI c 層に似る

II a 地山黒褐色土 3mm以下ローム粒、鐵土わずかに含む

1 黑褐色土 縫り強め、粘性有、30mm以下ロームブロック、ローム粒多く含む

2 黑褐色土 縫り強め、粘性有、30mm以下ロームブロック、ローム粒多く含む、I c 層より多め、1層土

が木・転落の影響で硬くなつたかの可能性あり

3 黑褐色土 縫り有、粘性や中程、40mm以下ロームブロック、ローム粒多く含む、1層より多め

4 黑褐色土 縫り強め、粘性有、20mm以下ロームブロック、ローム粒や多く含む

4.3 層が素面質でボーリングしている

5 黑褐色土 縫り強め、粘性有、15cm以下灰色粘土ブロック多く含む、3mm以下ローム粒少し含む、礎石

6 黑褐色土 縫り強め、粘性有、15mm以下ロームブロック・鐵土・灰白色粘土少し含む、15mm炭化物わずかに含む、掘方壁面は削り下してあるしている

第10図 川崎遺跡第26・28・29・30地点遺構配図図(1/300)、土層図(1/150)

試掘調査で確認した遺構の場所を重機で表土除去後、調査を行なった。調査の結果、奈良・平安時代の住居跡4軒、近世以降の溝状遺構、土坑を検出し、写真撮影・全測図作成・平板および造り方測量による遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H 52 号住居跡（旧 H 28 号住居跡）

【位置】調査区の西側に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。井戸1に竈西側の一部を壊されている。4.5 m東側にH54号住居跡、4 m北側にH55号住居跡、H56号住居跡がある。

【形状】主軸方位はN-16°-E、北壁中央に竈を備える。平面形態は方形、規模は主軸方位の南北3.16 m、東西3.49 m、確認面からの深さ0.33mである。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外に張り出して掘られている。両側の袖部に粘土が残る。竈の左右両壁が焼けて赤化する。奥壁は焼けていない。袖からの奥行き0.82 m、幅0.95 m。竈内部の幅0.36 m、深さ0.35 m。竈の手前に窪みがある。

【ピット】西壁と住居中央南側に小ピットがある。

【周溝】竈のある北壁と南壁中央を除き、壁際に浅い溝が巡る。幅18~22 cm、深さ3~6 cm。

【床・壁】住居跡中央の床面は硬化する。貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、中央を残して掘られ、凹凸が著しい。竈手前部分が広範囲に掘られる。

【出土遺物】住居全体から出土しているが、竈の手前と東壁際に集中箇所がある。須恵器壺・皿、土師器甕・台付甕、砥石等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から9世紀後半と推定される。

② H 53 号住居跡（旧 H 29 号住居跡）

【位置】調査区の東端に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。溝や近世以降の擾乱で床面の半分が壊されている。また、住居跡の東側と南側は調査区域外で範囲の確認はできなかった。2.6 m西側にH61号住居跡、3.5 m北側にH62号住居跡がある。

【形状】主軸方位はN-16°-E、北壁東側に竈を備える。平面形態は方形か長方形を呈する。規模は主軸方位の南北は2.05 m以上、東西4.31 m以上、確認面からの深さ0.24 mである。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外に張り出して掘られているが、北側はブロック塀の下に入り規模・形態不明。袖の粘土は崩れ、竈右側に流出する。燃焼部底面は良く焼け赤化する。幅は0.78 mを測る。近世以降の擾乱が著しい。

【ピット】全て後世の擾乱。

【周溝】北壁と西壁際に浅い溝が巡る。幅18~25 cm、深さ8~12 cm。

【床・壁】住居跡中央の床面は硬化する。貼床の土層はローム主体、暗褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は、凹凸がある。

【覆土】住居中央やや東寄り、36×29 cmの円形範囲で床面が焼け、赤化している。

【出土遺物】住居全体から出土している。須恵器壺・皿・甕、土師器甕・台付甕、鉄釘等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から9世紀後半と推定される。

③ H 54 号住居跡（旧 H 30 号住居跡）

【位置】調査区の中央に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。イモビツに竈の一部と西壁の一部を壊している。4.5 m西側にH52号住居跡、3 m東側にH61号住居がある。

【形状】主軸方位はN-4°-E、北壁東側に竈を備える。平面形態は長方形、規模は主軸方位の南北2.96 m、東西4.24 m、確認面からの深さ0.20 mである。覆土はローム粒を多量に含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外に張り出して掘られている。右側の袖部に僅かに粘土が残る。両壁の一部が焼けて赤化する。袖からの奥行き0.98 m、幅0.71 m。竈内部の幅0.51 m、深さ0.27 m。

中央部分は近世以降のイモビツで壊されるが、竈の主軸延長線上に幅0.38 m、深さ0.11 mの深い溝が延びる。煙道と思われる。

燃焼部の中央に支脚が上面を手前に横倒しの状態で出土した。支脚の上には長胴甕（図版20. No.56）が破片となって出土している。

竈の手前に窪みがある。また、竈右手前の床は薄く粘土が広がり、硬化している。

【周溝】竈を除き全面の壁際に浅い溝が巡る。幅15~33 cm、深さ8~15 cm。

【床・壁】住居跡南側中央の床面が硬化する。貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は、全体に浅く平坦に掘られている。

【出土遺物】住居全体から出土しているが、東側の竈

の手前がやや多い。須恵器壺・蓋・碗、土器器壺・甕等が出土した。須恵器壺の底部には墨書が認められる。(図版 56, No. 46, 47)

【時期】出土土器の特徴から 8世紀後半代と推定される。

④井戸

H28 号住居跡の竈西側を壊して構築される。深さ 2.35 m まで掘り、ピンポールで底面を確認したところ 0.8 m 下で疊層らしき面を確認した。

⑤土坑

土坑 1 はイモビツや礎石によって壊され、近世以前と思われる。

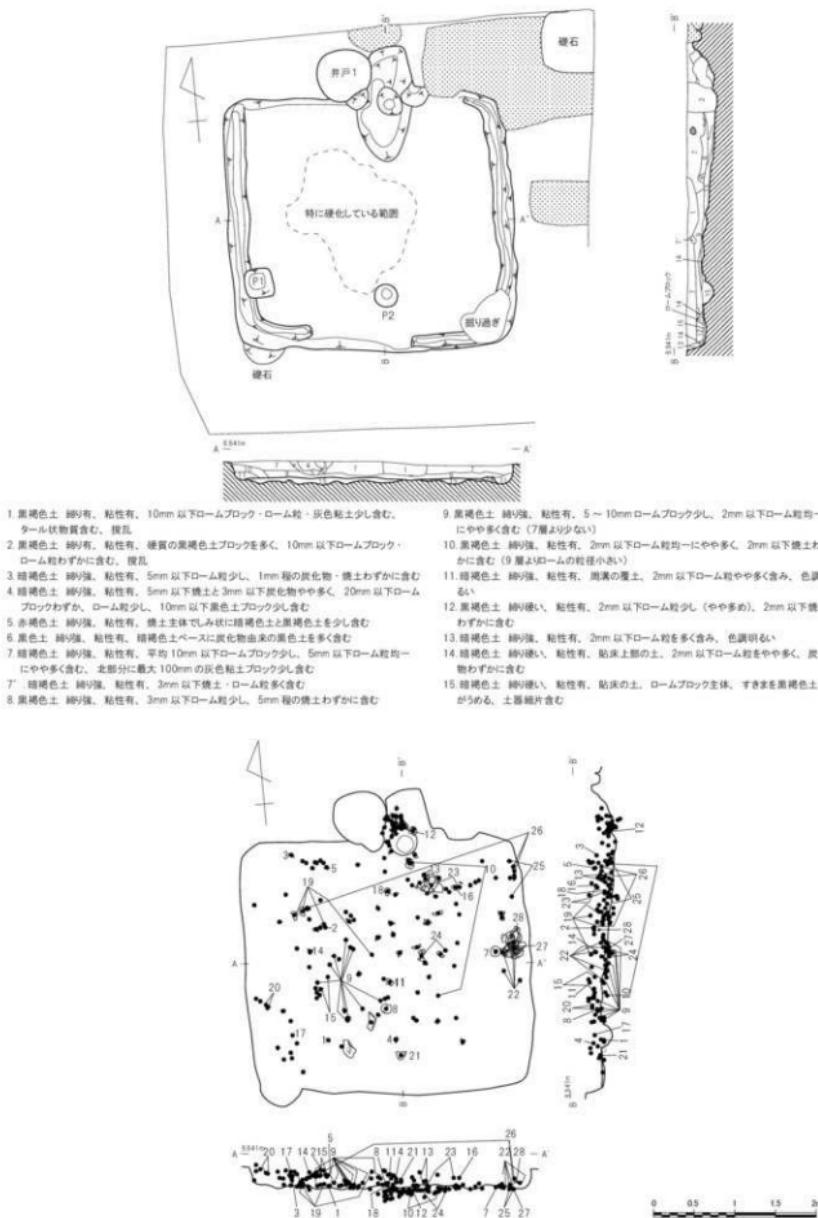
土坑 2 は動物骨が出土した。

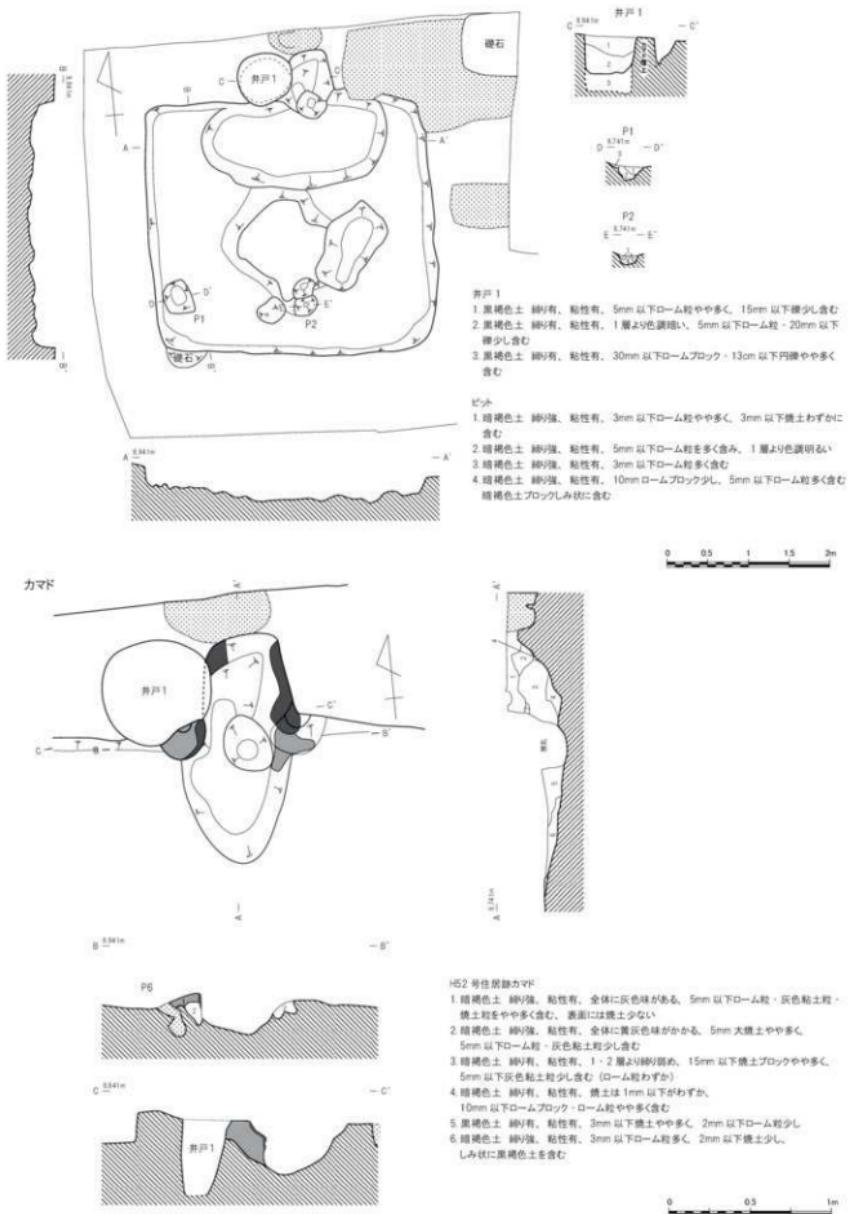
土坑 5・6 は H30 住居跡の床下より検出し、住居より古い。

なお、土坑 4、6、30 地点の土坑 4 は掘立柱跡の可能性もある。

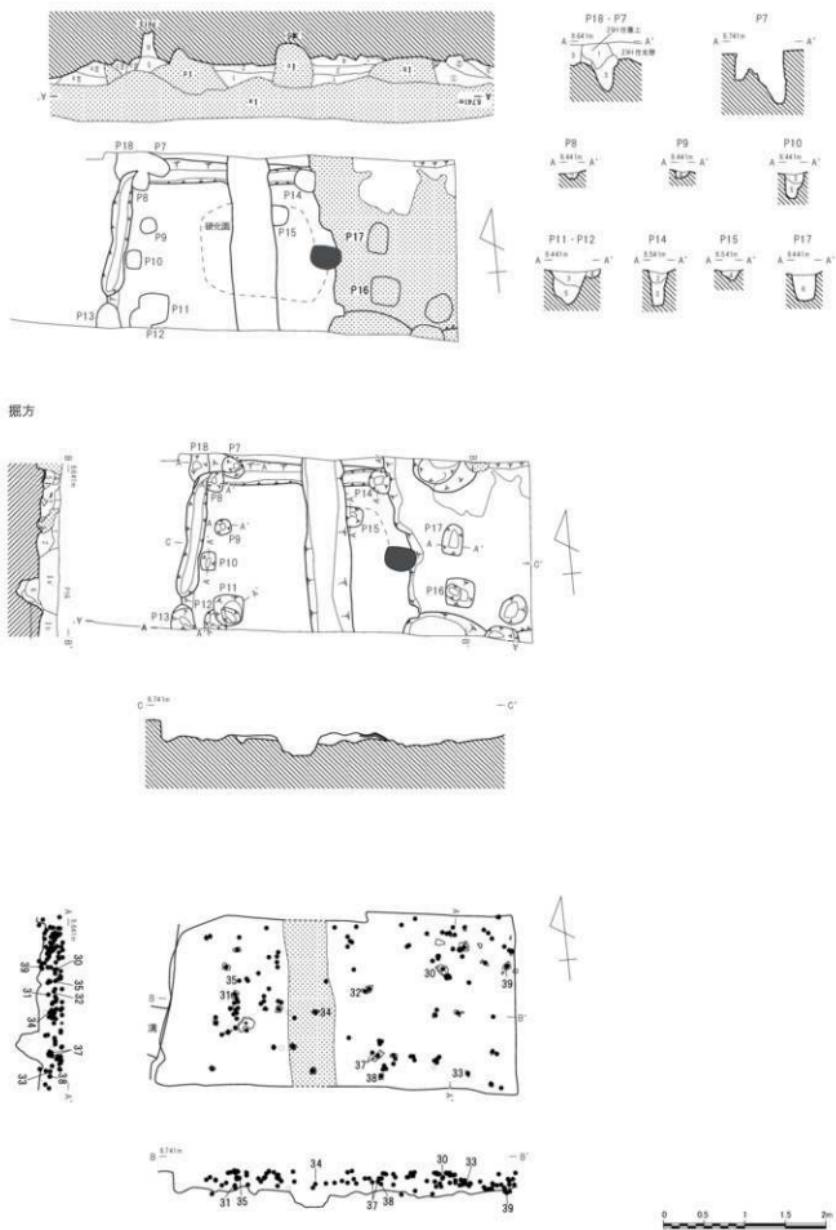
第 11 表 川崎遺跡第 26 地点遺構一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
H52 (住 P1)	楕丸方形	35 × 32	20 × 20	20	
H52 (住 P2)	円形	28 × 28	13 × 12	16	
持戸 1	円形	66 × 64	63) × (63)	22)	未完施、ビーエ出土
土坑 1	円形	98 × (65)	72 × (60)	16	イモビツ、礎石より旧
土坑 2	楕丸長方形	78 × 68	63 × 51	14	動物骨出土
土坑 3	長方形	77 × 50	62 × 37	18	
土坑 4	楕丸長方形	99 × 63	55 × 37	48	
土坑 5	椭円形	88 × 48	60 × 35	36	H54 号住居跡より旧
土坑 6	椭円形	90 × 62	52 × 42	54	H54 号住居跡より旧
P1	円形	28 × 25	15 × 15	22	中世以前
P2	(円形)	32 × (22)	6 × 5	20	イモビツより旧
P3	楕丸方形	35 × 35	20 × 18	25	動物骨出土
P4	円形	50 × 42	25 × 19	57	
P5	円形	26 × 26	12 × 8	34	土坑 1 より新
P6		28 ×	×		
P7	椭円形	24 × 18	6 × 6	62	
P8	椭円形	23 × 20	7 × 5	40	
P9	円形	20 × 19	6 × 6	36	
P10	方形	20 × 13	15 × 5	30	
P11	円形	42 × 41	18 × 8	82	P12 より新
P12	(円形)	30 × (18)	18 × (8)	42	P11 より旧
P13	不整形	35 × 30	16 × 7	57	
P14	楕丸方形	25 × 25	11 × 9	64	
P15	椭円形	25 × 21	10 × 5	30	
P16	方形	35 × 35	15 × 7	60	
P17	長方形	37 × 25	22 × 12	54	
P18	不整形	28 × 25	10 × 10	34	
P19	(円形)	85 × (35)	25 × (8)	58	掘立柱建物?
P20	不整形	76 × 60	18 × 12	55	
溝 5	直線、断面 U 字形	51 ~ 60	20 ~ 35	40	H53 号住居跡より新





第12図 川崎遺跡第26地点 H52号住居跡掘方 (1/60)、窓 (1/30)



第13図 川崎遺跡第26地点H53号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)

III 川崎遺跡第26地点

カマド

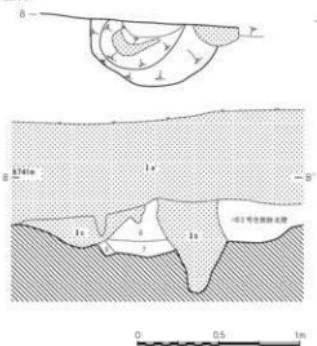


A-A'

A'



掘方



0 0.5 1m

H53号住居跡 A-A'

- ① 黒褐色土 粘り強、粘性有、5mm以下ローム粒・焼土少し含む。H53住1層に比べ灰色味がある
 ② 黒褐色土 粘り強、粘性有、5mm以下焼土・ローム・灰色粘土や多く含み、赤灰色味がある
 1a 黒褐色土 粘り強、粘性有、5~10mmロームブロック・2mm以下ローム粒・焼土少し含む
 1b 黒褐色土 粘り強、粘性有、5~10mmロームブロック・5mm以下ローム粒・焼土少し含む
 1c 黑褐色土 粘り強、粘性有、3mm以下ローム粒・焼土少し、10mm大ロームブロック少し。下部にローム粒やや多く含む
 1d 黑褐色土 粘り強、粘性有、5~40mmロームブロック・3mm以下ローム粒・5mm以下焼土少し、下部にローム粒やや多く含む
 2a 黒褐色土 粘り有、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む
 2b 黒褐色土 粘り有、粘性有、ソフロームを多く含み色調清明い
 2c 黒褐色土 粘り有、粘性有、3mm以下ローム粒・焼土少し含む
 2d 黒褐色土 粘り有、粘性有、5mm大ロームブロック・焼土少し、3mm以下ローム粒・焼土やや多く含む
 3 黑褐色土 粘り強、粘性有、3mm以下ローム粒・焼土を多く含む、2mm以下炭化物少しある。2よりより赤灰色味がある。3mm以下灰色粘土少し含む
 4 黑褐色土ベース 粘り硬、粘性有、15mm以下ロームブロック主体、2mm以下ローム粒・焼土やや多くはう黒褐色土が貫入する。貼床の土
 5 黑褐色土 粘り有、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、10mm程のロームブロック少しある
 6 黑褐色土 粘り有、粘性有、10mm以下ロームブロック・粒少し、やや多く、5mm以下焼土少し含む

カマド - 方

- 1a 黑褐色土 粘り強、粘性有、5~10mmロームブロック・2mm以下ローム粒少し、2mm以下焼土をわずかに含む。表土。1グリッド1・2層に対比。焼・ロームブロック含む
 1b 黑褐色土ベース 粘り有、粘性やや弱、40mm以下ロームブロック・經主体
 1c 黑褐色土 粘り強、粘性有、被熱、被熱したロームブロック (5~20mm) やや多く・しめ状に黒褐色土含む。5層近くに3mm以下ローム粒・焼土 (最大15mm) 多く含む
 1灰褐色土 粘り強、粘性有、5mm以下焼土やや多く含む
 2 黑褐色土 粘り強、粘性有、5~10mm 粘土やや多く含む
 3 黑褐色土 粘り強、粘性有、被熱したロームブロック・粒を多く含む、5~10mm 灰色粘土やや多く含む
 4 黑褐色土 粘り強、粘性有、上面は被熱化している。5~10mm 烧土・ローム粒をやや多く含む。贴床の土
 5 黑褐色土 粘り強、粘性有、20mm以下ロームブロック主体。すき間を黒褐色土が埋める。5mm程の焼土を少し含む
 6 黑褐色土 粘り強、粘性有、赤味を帯びる黒褐色土主体。5~10mm 烧土多く含む。しめ状の黒褐色土少し含む
 7 黑褐色土 粘り強、粘性有やや弱、被熱したロームブロック (20mm以下) 多く・5~10mm 烧土やや多く、10mmの灰色粘土少し含む
 8 黑褐色土 粘り強、粘性有、被熱したロームブロック (5~20mm) やや多く、3mm 烧土少し含む

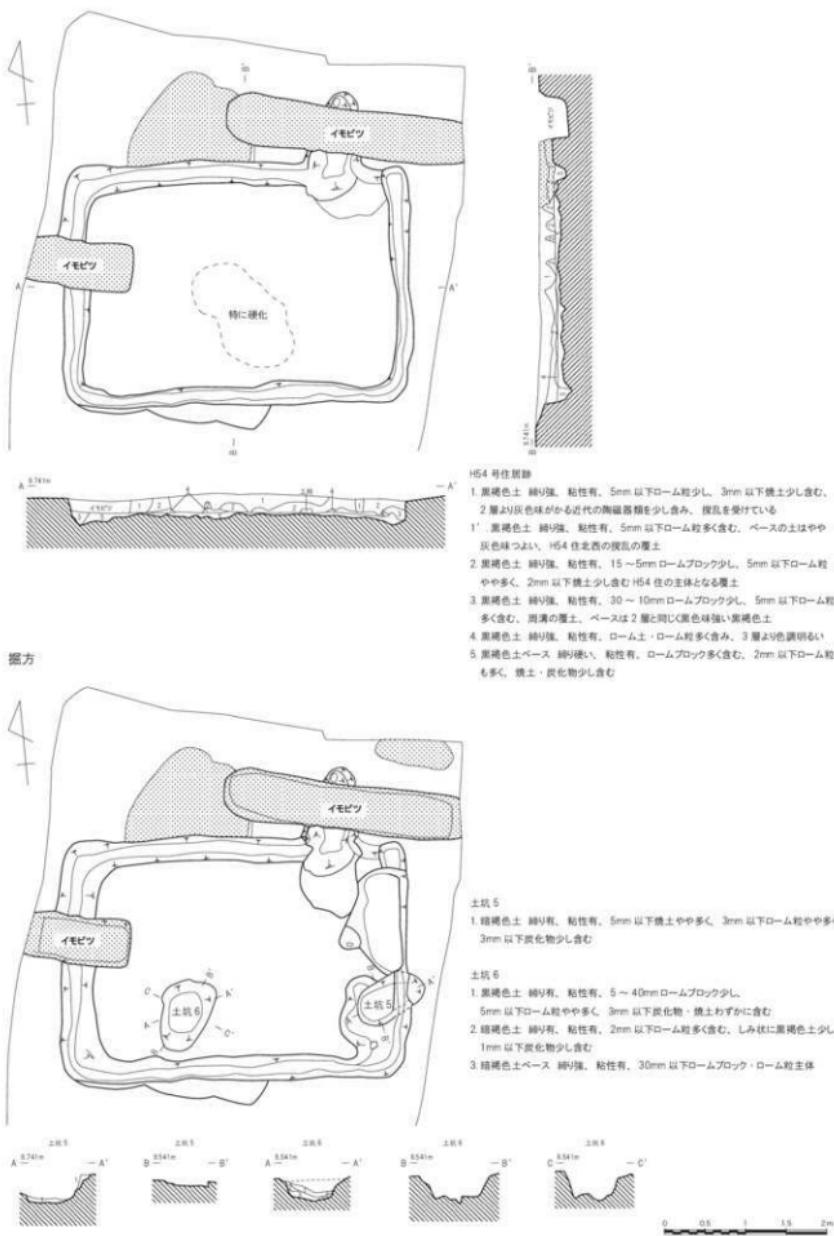
H53号住居跡カマドB-B'

- 1a' 黑褐色土 粘り強、粘性有、10mm以下ロームブロック・粒やや多く、5mm以下焼土少し含む
 1b 黑褐色土 粘り有、粘性有、耕作土・最大10mm、およそ50mm以下ロームブロックやや多く含む
 1c 赤褐色土 粘り強、粘性有、30mmの焼土粒ばかり少し、3mm以下焼土多く、3~15mm 灰色粘土少し含む、粘土層(?)の褐色土ベース
 2 黑褐色土 粘り強、粘性有、しめ状の灰色粘土含む、5mm以下焼土・ローム粒やや多く (南半部の焼土の粒径3mm以下と小さめ)。下部に10mm以下ロームブロック集中
 3 黑褐色土 粘り強、粘性有、10mm以下ロームブロック多く、3mm以下焼土少し含む
 4 灰色和土 粘り強、粘性有、しめ状の焼土・3mm以下焼土粒多く含む。しめ状の黒褐色土少し、3mm 炭化物をわずかに含む
 5 赤褐色土 粘り強、粘性有、赤味を帯びる黒褐色土主体。5~10mm 烧土多く含む。しめ状の黒褐色土少し含む
 6 黑褐色土 粘り有、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く含む
 7 黑褐色土 粘り有、粘性有、15mm以下ロームブロック少しある。5mm以下ローム粒主体

ピット

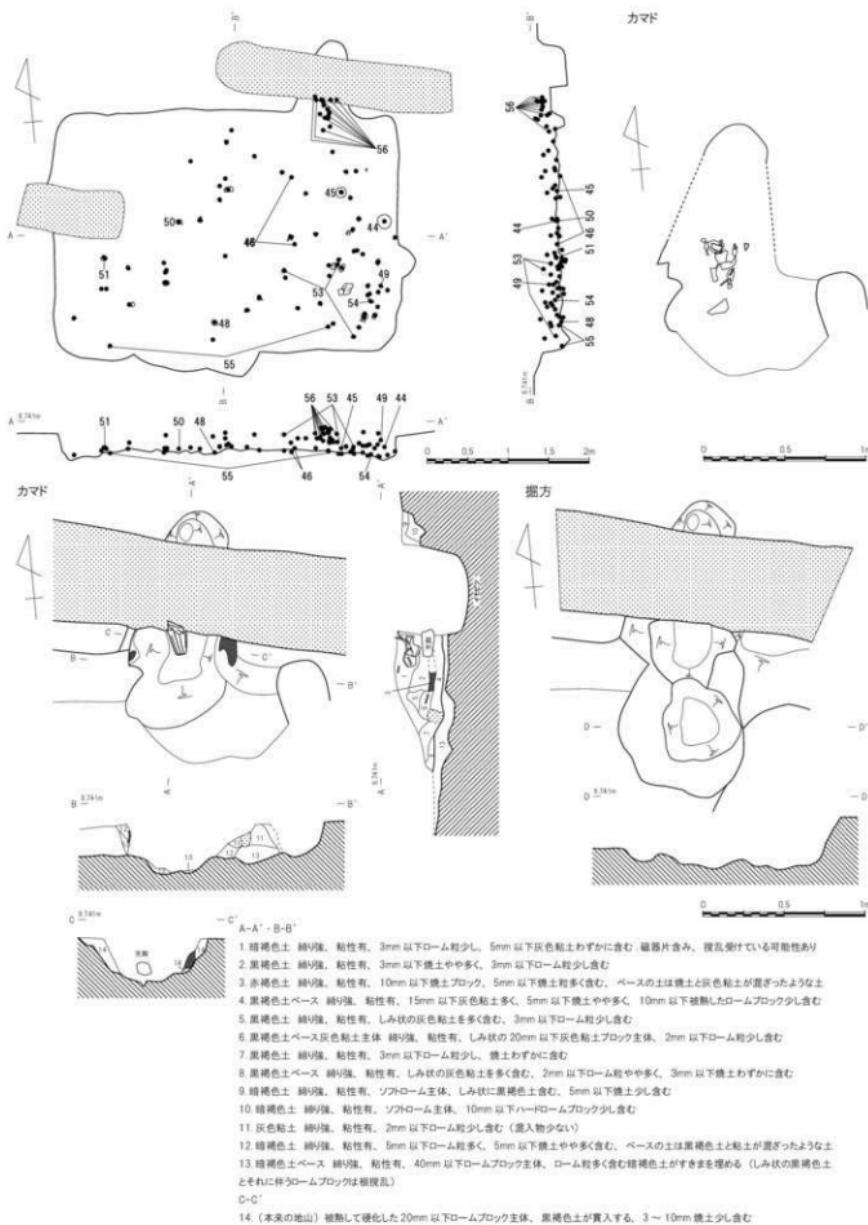
- 1 黑褐色土 粘り有、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む
 2 黑褐色土 粘り有、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く、10mm程のロームブロック少しある (周溝土も同じ)
 3 黑褐色土 粘り有、粘性有、10mm以下ロームブロック・粒少し、5mm以下焼土少し含む (P11はロームブロック5~50mmと大きい) (P18の焼土は5~10mm)
 4 黑褐色土 粘り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、20mm以下ロームブロック少しある。10mm程の焼土少し含む (貼床の土か)
 5 黑褐色土 粘りやや弱、粘性有、2層ほどに似るが、純白弱く、5mm以下ローム粒やや多く含む
 6 黑褐色土 粘り強、粘性有、20mm以下ロームブロック少しある

第14図 川崎遺跡第26地点 H53号住居跡竈 (1/30)



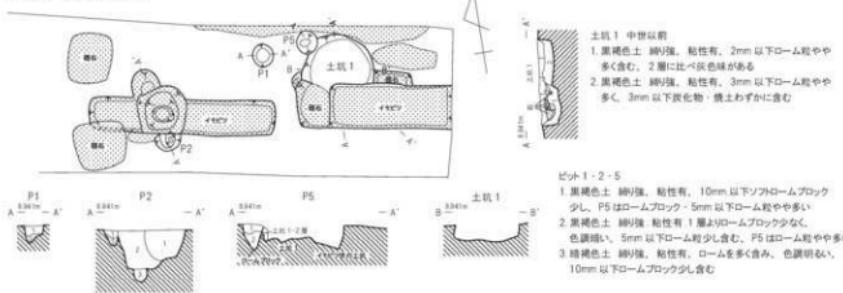
第15図 川崎遺跡第26地点 H54号住居跡・掘方 (1/60)

III 川崎遺跡第26地点

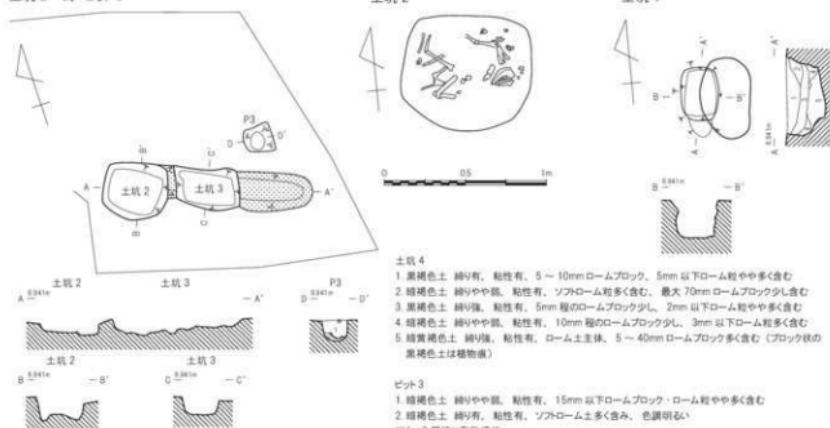


第16図 川崎遺跡第26地点 H54号住居跡遺物出土状況図 (1/60)、竈 (1/30)

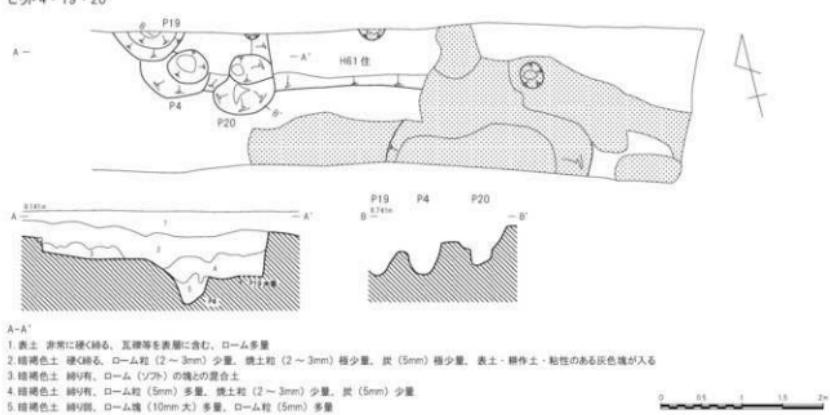
土坑 1、ピット 1・2・5



土坑 2・3、ピット 3



ピット 4・19・20

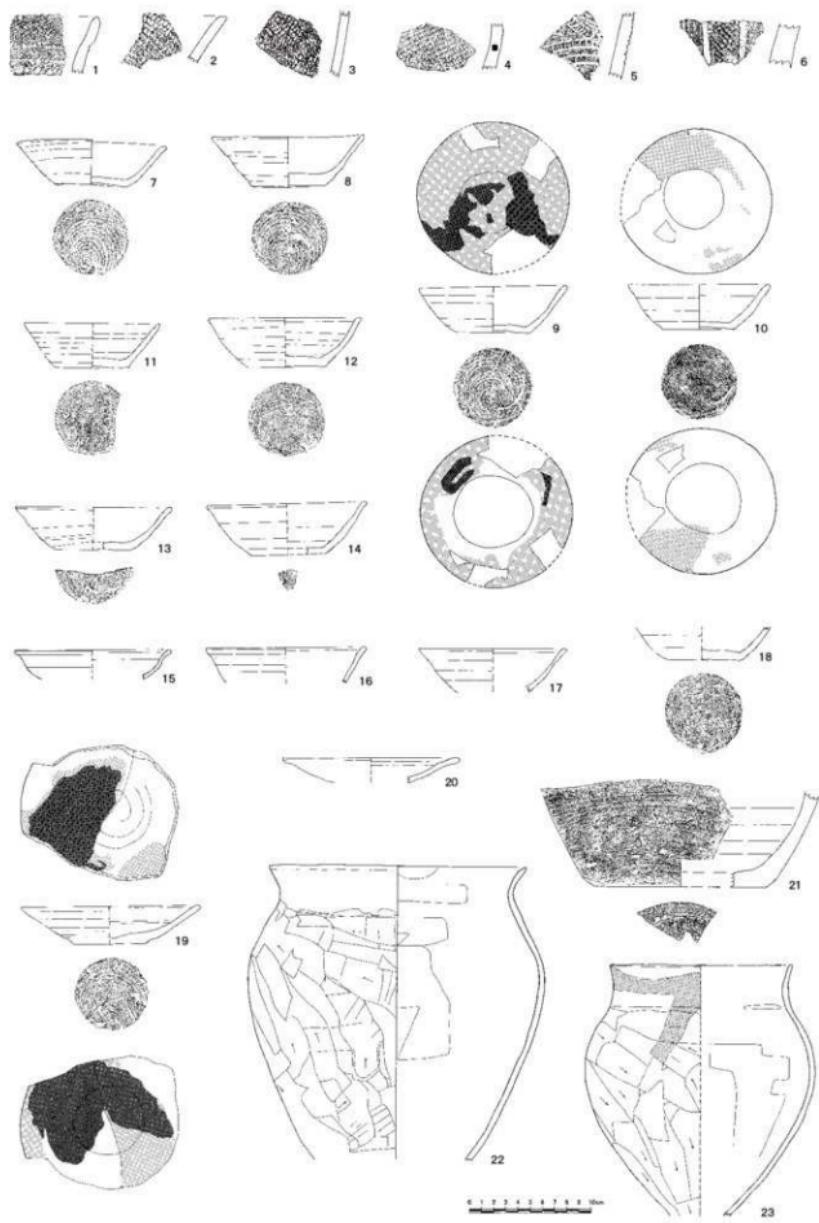


第 17 図 川崎遺跡第 26 地点土坑・ピット (1/30・1/60)

第12表 川崎遺跡 第26地点出土遺物観察表（単位cm）

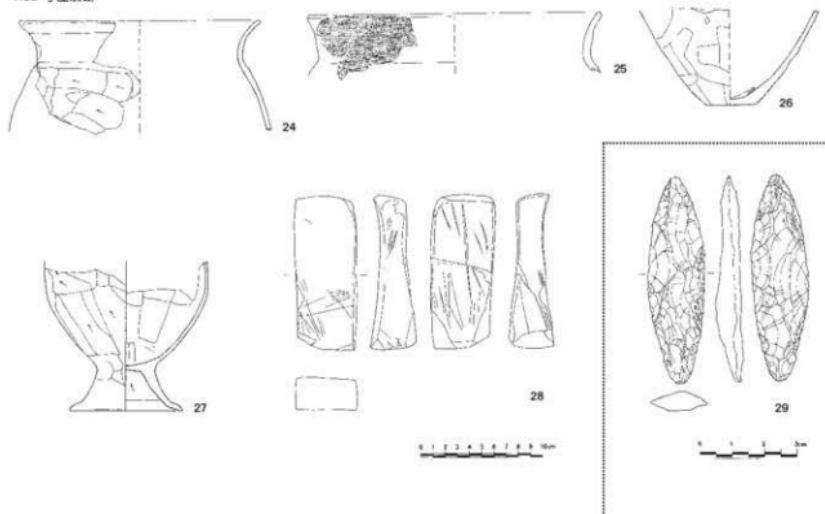
回収番号	規範番号	遺物名	種別・器種	口径・底径・高さ・厚さ	経文 / 文様 / その他	推定生産地	推定年代・時期	残存 / 破壊
	1	H52号住居跡	圓文土器	-	-	LR 繩文を横に施文。横筋の内側に波状文を施文し、洗拭上に圓文を施文する / 注36.73 (田H28号付)		圓文中期・五頭ヶ台 口縁部片
	2	H52号住居跡	圓文土器	-	-	RL 繩文を横に施文・繩縫合付 / 注36.47 (田H28号付)		圓文前期後半 口縁部片
	3	H52号住居跡	圓文土器	-	-	RL 圓文を横に施文・繩縫合付 / 注36.40 (田H28号付)		圓文前期後半 腹部片
	4	H52号住居跡	圓文土器	-	-	OD 3 条のLR 繩文 / 繩縫合付 / 注36.32 (田H28号付)		圓文中期・羽堤圓文系 腹部片
	5	H52号住居跡	圓文土器	-	-	輪広の円形文を施文 / 注36.37 (田H28号付)		圓文中期・羽堤古 腹部片
	6	H52号住居跡	圓文土器	-	-	輪広の底面 / 地文は圓文と羽堤圓文の複合文。輪広の底面へ、一部既 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / 邪灰色・砂粒 (～2mm) 多量含む / 注36.14 (田H28号付)	加賀利E III	脚部片
	7	H52号住居跡	漆器器・环	12.3	6.1	3.8 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / 邪灰色・砂粒 (～2mm) 多量含む / 注36.69 (田H28号付)	東金子	9C 中葉 完形
	8	H52号住居跡	漆器器・环	12.6	6.0	4.2 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / 邪灰色・砂粒 (～5mm) 多量含む / 注36.69 (田H28号付)	東金子	9C 中葉 完形
	9	H52号住居跡	漆器器・环	12.2	6.0	3.7 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / にぶい黃褐色・砂粒 (～0.5mm) 多量含む / 内底へ凹凸口縁。外側の内縁にかけ付材着。一部ケルヒル / 注36.51 - 53, 55, 61 - 67, 74 - 76, 98, 100, 108, CK1 + 2 (田H28号付)	南北企?	9C 中葉 3/4以上残存
	10	H52号住居跡	漆器器・环	11.6	6.0	3.7 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / にぶい黃褐色・砂粒 (～0.5mm) 多量含む / 内底へ凹凸口縁・脚部付着 / 注36.22, 163, 171, カラソン (田H28号付)	南北企?	9C 中葉 3/4以上残存
	11	H52号住居跡	漆器器・环	(11.1)	6.0	3.7 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / 灰色・砂粒 (～0.5mm) 多量含む / 注36.66 (田H28号付)	南北企?	9C 中葉 1/4以上残存
	12	H52号住居跡	漆器器・环	(12.5)	6.4	4.0 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / にぶい黃褐色・砂粒 (～0.5mm) 多量含む / 注36.11 (田H28号付)	東金子	9C 中葉 1/4以上残存
	13	H52号住居跡	漆器器・环	(12.8)	6.1	3.5 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / 粗色・砂粒 (～0.5mm) 粗色 / 海底付多量含む / 注36.20, 21 (田H28号付)	南北企?	9C 中葉 1/2以上残存
	14	H52号住居跡	漆器器・环	(13.0)	6.2	4.3 繩縫合式 / にぶい黃褐色・砂粒 (～0.5mm)。海面骨付多量含む / 注36.50 (田H28号付)	南北企?	9C 中葉 1/4以下残存
	15	H52号住居跡	漆器器・环	(12.8)	-	- 繩縫合式 / にぶい黃褐色・砂粒 (～0.5mm)。海面骨付多量含む / 注36.58, 59 (田H28号付)	南北企?	9C 中葉 口縁部片
	16	H52号住居跡	漆器器・环	(13.2)	-	- 繩縫合式 / にぶい黃褐色・砂粒 (～2mm)。海面骨付多量含む / 注36.17 (田H28号付)	南北企?	9C 中葉 口縁部片
	17	H52号住居跡	漆器器・环	(12.0)	-	- 繩縫合式 / 粗色・砂粒 (～0.5mm) 多量含む / 注36.88, H8 (田H28号付)	南北企?	9C 中葉 口縁部片
	18	H52号住居跡	漆器器・环	-	5.8	- 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / にぶい黃色・砂粒 (～2mm) 多量含む / 注36.34 (田H28号付)	東金子	9C 中葉 底部端片
	19	H52号住居跡	漆器器・皿	(14.7)	5.9	3.1 繩縫合式 / にぶい黃色・砂粒 (～2mm) 多量含む / 外底底面から側縁へかけ付材。内底は破損後保有 / 注36.54, 79, 80, 104 (田H28号付)	南北企?	9C 中葉 1/2以上残存
	20	H52号住居跡	漆器器・皿	(14.4)	-	- 繩縫合式 / にぶい黃褐色・砂粒 (～2mm) 多量含む / 外底底面から側縁へかけ付材 / 注36.84, 85 (田H28号付)	南北企?	9C 中葉 口縁部片
	21	H52号住居跡	漆器器・環	-	(14.0)	- 粘土被膜上。繩縫合式 / 崩落・周縁 / 砂粒 (～3mm) 多量含む / 注36.33 (田H28号付)	南北企?	9C 底部端片
	22	H52号住居跡	土師器・甕	21.0	-	- 粘土被膜上。口縁部横擦で。側部外斜面方向へのへり削り。側部内面横擦で。内底には植生有 / 黄褐色・砂粒 (～1mm) 多量含む / 外底底面から側縁へかけ付材 / 注36.11 ~ 13, 15, 170, A区14, B区15 (田H28号付)		9C 底部欠損
	23	H52号住居跡	土師器・甕	15.0	-	- 粘土被膜上。口縁部横擦で。側部外斜面方向へのへり削り。側部内面横擦方向のへり削り / 明赤褐色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 脱皮・側縁へかけた粘土被膜 / 注36.17, 27, A区14 (田H28号付)		9C 底部欠損, 1/4以上残存
	24	H52号住居跡	土師器・甕	(19.8)	-	- 粘土被膜上。口縁部横擦で。側部外斜面方向へのへり削り。側部内面横擦方向のへり削り / 明赤褐色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 脱皮・側縁へかけた粘土被膜 / 注36.16, 160 (田H28号付)		9C 口縁部片
	25	H52号住居跡	土師器・甕	(24.0)	-	- 粘土被膜上。口縁部横擦で。側部外斜面方向へのへり削り。側部内面横擦方向のへり削り / 明赤褐色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注36.16, 161 (田H28号付)		9C 口縁部片
	26	H52号住居跡	土師器・甕	-	4.0	- 粘土被膜上。内底内縁方向のへり削り / 明赤褐色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 脱皮・側縁へかけた粘土被膜 / 注36.3, 4, カラソン (田H28号付)		9C 底部片
	27	H52号住居跡	土師器・台付甕	-	9.2	- 粘土被膜上。側部横擦で。側部外斜面方向へのへり削り。側部内面横方向のへり削り / 白色・砂粒 (～1mm) 多量含む / 注36.110 (田H28号付)		9C 脚部下下~脚部
	28	H52号住居跡	石割品・砾石	12.5	5.1	3.1 重量304.27g / 表面と内側面の4面を砥面として使用。中央が鉋の痕有 / 注36.280 (田H28号付)	湖浜羽	古代 完形
	29	H52号住居跡	石器・尖頭器	6.35	1.80	0.83 重量434g / 斜面削除を素材中に、両側面を押印削離して調整し或用する。基盤に直角か丸み / 注36.1 (田H28号付)	豊山羽	旧石器 完形
	30	H53号住居跡	漆器器・环	(14.0)	6.4	5.8 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / 邪灰色・砂粒 (～5mm) 多量含む / 注36.70 (田H29号付)	南北企?	9C 後半 1/2以上残存
	31	H53号住居跡	漆器器・环	(13.0)	5.6	4.0 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / 粗色・砂粒 (～5mm) 多量含む / 注36.70 (田H29号付)	南北企?	9C 後半 1/4以上残存
	32	H53号住居跡	漆器器・环	(11.5)	5.0	4.0 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / 波状色・砂粒 (～5mm) 多量含む / 注36.61 (田H29号付)	南北企?	9C 後半 1/4以下残存
	33	H53号住居跡	漆器器・环	(11.0)	5.0	2.6 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / 邪灰黄褐色・砂粒 (～0.5mm) 多量含む / 外底へかけ付材 / 注36.62 (田H29号付)	南北企?	9C 後半 1/4以下残存
	34	H53号住居跡	漆器器・环	(12.0)	5.0	3.2 繩縫合式。底部右側斜面切妻未調節 / 波状色・砂粒 (～0.5mm) 多量含む / 外底へかけ付材 / 注36.62 (田H29号付)	南北企?	9C 後半 1/4以下残存
	35	H53号住居跡	漆器器・皿	(14.0)	-	- 繩縫合式 / 波状色・砂粒 (～0.5mm) 多量含む / 注36.18, H8 (田H29号付)	南北企?	9C 後半 口縁部片
	36	H53号住居跡	漆器器・皿	-	16.0	- 繩縫合式 / 波状色・砂粒 (～2mm) 含む / 注36.18 (田H29号付)	南北企?	9C 後半 底部端片

測量 番号	記載 番号	遺構名	種別・器種	口径・長 幅	底高・ 幅	器高・ 厚	様式 / 文様 / その他特徴 / 文様 / その他	推定生産地	推定年代・時期	残存 / 番考
19 回	37	H53号住居跡	土師器・甕	(14.0)	—	—	粘土組積上。口縁部模様で、底部一部部外側面のへら削り / 細目 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注36.51, 52(旧H29号位)	南北合	9C 後半	口縫部片
	38	H53号住居跡	土師器・甕	—	—	—	粘土組積上。口縁部模様で、底部一部部外側面のへら削り / 細目 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 外部一部保材着 / 注36.59(旧H29号位)	—	9C	口縫部片
	39	H53号住居跡	土師器・甕	—	4.4	—	粘土組積上。内部模様方向の擦で、外表面方向のへら削り / 砂目 / 砂粒 (～0.5mm) 多量含む / 外部一部保材着 / 注36.10(旧H29号位)	—	9C	底部片
	40	H53号住居跡	土師器・台付甕	—	6.7	—	粘土組積上。脚部模様で、脚部外側面方向へのへら削り。脚部内側面方向の擦で、明赤褐色 / 砂粒 (～1mm) 含む / 注36.11(旧H29号位)	—	9C	脚部
	41	H53号住居跡	瓦製品・釘	5.8	—	—	注36.11(旧H29号位)	—	—	—
	42	H53号住居跡	陶文器・土器	—	—	—	注36.11(旧H29号位)	—	绳文時代	—
20 回	43	H53号住居跡	陶文器・深鉢	—	—	—	棒状工具による洗削と刺突による文様 / 注36.11(旧H29号位)	—	绳文後期・称名寺	口縫部片
	44	H54号住居跡	須恵器・壺	16.6 柱23	4.4 —	—	織錦成型。天井部切削後、凹輪削り、つまみ黏り付け / 灰褐色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注36.21(旧H30号位)	南北合	9C 後半	完形
	45	H54号住居跡	須恵器・壺	12.8	7.2	3.8	織錦成型。右肩部切削後未調整 / 灰褐色 / 砂粒 (～5mm) 多量含む / 注36.21(旧H30号位)	東合子	9C 後半	完形
	46	H54号住居跡	須恵器・壺	(12.0)	(7.0)	3.5	織錦成型。右肩部切削後未調整 / 灰褐色 / 砂粒 (～5mm) 多量含む / 注36.33, 74, カクラン(旧H30号位)	南北合	9C 後半	1/4以下残存 / 底裏面に墨書き有
	47	H54号住居跡	須恵器・壺	—	—	—	織錦成型。右肩部切削後 / 白灰色 / 砂粒 (～0.5mm) 少量含む / 注36.11(旧H30号位)	—	9C 後半	底端破片 / 表面に墨書き有
	48	H54号住居跡	須恵器・壺	(12.0)	(7.0)	3.3	織錦成型。右肩部切削後未調整に付いて黄褐色 / 砂粒 (～0.5mm) 少量含む / 内部一部保材着 / 注36.50(旧H30号位)	南北合	9C 後半	1/4以下残存 / 底裏面に墨書き有
	49	H54号住居跡	須恵器・壺	(13.0)	—	—	織錦成型 / 灰色 / 砂粒 (～1.0mm) 少量含む / 注36.14(旧H30号位)	南北合?	9C	口縫部片
	50	H54号住居跡	須恵器・壺	(13.0)	—	—	織錦成型 / 灰黄色 / 砂粒 (～1.0mm) 少量含む / 注36.60, C.1, D.1(旧H30号位)	南北合	9C	口縫部片
	51	H54号住居跡	須恵器・壺	(13.0)	—	—	織錦成型 / 灰黄色 / 砂粒 (～1.0mm) 少量含む / 注36.43, C.4(旧H30号位)	南北合	9C	口縫部片
	52	H54号住居跡	須恵器・甕	—	7.0	—	織錦成型。底脚部軸部のへら削り付 / 灰褐色 / 砂粒 (～0.5mm) 少量含む / 注36.カクラン(旧H30号位)	—	9C	底脚破片
	53	H54号住居跡	土師器・甕	(12.4)	(8.0)	3.2	外腹下位から底脚部位のへら削り / 灰褐色 / 砂粒 (～0.5mm) 少量含む / 注36.23, 29, 32(旧H30号位)	相模型	9C 中葉	1/4以下残存
	54	H54号住居跡	土師器・甕	(13.8)	—	3.2	外腹下位から底脚部位のへら削り / 灰褐色 / 砂粒 (～0.5mm) 少量含む / 注36.29(旧H30号位)	相模型	9C 中葉	1/4以下残存
	55	H54号住居跡	土師器・甕	(19.0)	—	—	粘土組積上。口縁部模様で、脚部外側面方向へのへら削り。脚部内側面で明赤褐色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注36.46, B.6(旧H30号位)	—	9C	口縫部片
	56	H54号住居跡	土師器・甕	20.6	—	—	粘土組積上。口縁部模様で、脚部外側面方向へのへら削り。脚部内側面で明赤褐色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 脚下平底に深掘り / 口縁カット / 注36.13, 5.8～12.5, H.1(旧H30号位)	—	9C	底脚欠損
	57	H54号住居跡	陶器・天日茶碗	(13.0)	—	—	織錦成型 / 跡輪 / 楔形周辺 / 砂粒 (～1.0mm) 少量含む / 注36.カクラン(旧H30号位)	瀬戸・美濃	18C	口縫部片
	58	H54号住居跡	磁器・皿	(11.0)	(7.0)	1.8	織錦成型 / 型埴輪付け。コバルト釉 / 注36.カクラン(旧H30号位)	—	1880年代～	1/4以下残存
	59	H54号住居跡	磁器・瓶口	(11.0)	(7.0)	1.8	織錦成型 / 取付け。高台から翼状無輪 / 注36.カクラン(旧H30号位)	瀬戸・美濃	1810年代～	1/4以下残存
	60	H54号住居跡	磁器・急須	—	—	—	織錦成型。深蒸し穴舟乳頭。注36.11付 / コバルト釉埴付け。高台から翼状無輪 / 注36.21(旧H30号位)	—	1870年代～	注口縫片
	61	H54号住居跡	瓦	4.7	4.9	1.6	瓦片表面に打厲穴付。感溝 / 注36.カクラン(旧H30号位)	—	近世～	—
	62	H54号住居跡	土製品・人形	2.7	2.5	—	型合せ成形(前後合せ) / モチフ:女性 / 注36.B.1(旧H30号位)	—	18C 前半	底脚破片
	63	H54号住居跡	土製品・文鏡	(17.2)	8.0	—	側面吸水孔付 / 瓦 / 注36.3トレH2(旧H30号位)	—	奈良・平安	下部欠損
21 回	64	土坑3	土製品・瓦塊	—	—	1.8	閏社基部の一部分 / 瓦片多量 / 注36.3D2	—	近世	—
	65	土坑3	陶器・鉢	(16.0)	—	—	織錦成型 / 灰褐色 / 淡黄色 / 砂粒 / 注36.2D2	瀬戸・美濃	18C 後～19C	口縫部片
	66	土坑3	政製器・罐	—	3.7	—	—	—	近世～	刃脚片
	67	P4	須恵器・壺	(13.0)	—	—	織錦成型 / 淡黄色 / 砂粒 (～1mm) 少量含む / 注36.F.4	南北合	9C 後～10C	口縫部片
	68	遺構外	土器・灰遺り	—	—	—	粘土組積上。内側模様。複合窓井指輪付。側面に径1cmの焼成前乳頭 / 相模色 / 外面は黒色焼結 / 内面と穿孔部に保材着 / 注36.1トレH1	—	19C～	脚部片
	69	遺構外	磁器・茶碗	(11.6)	4.4	4.8	織錦成型 / 型埴輪付け。コバルト釉 / 注36.1トレH1	—	1880年代～	1/2以下残存
	70	遺構外	須恵器・皿	(6.0)	—	—	織錦成型。脚部切削後未調整に付いて黄褐色 / 砂粒 (～1mm), 海藻地計量含む / 注36.3トレH4	南北合	9C～10C	底部片
	71	遺構外	須恵器・甕	—	—	—	粘土組積上。外面部引き締め / 白灰色 / 砂粒 (～3mm) 多量含む / 注36.3トレH2	南北合	奈良・平安	側面片 / 侧縫隙部分, 軸縫隙部分
	72	遺構外	陶器・天日茶碗	—	4.5	—	織錦成型。高台は口輪削りによる削り出し / 跡輪 / 黑褐色 / 注36.3トレH2	—	17C 後半	底部片
	73	遺構外	陶器・甕	—	—	—	粘土組積上 / 跡輪 / 明赤褐色 / 注36.3トレH2	—	近世～	口縫部片
	74	遺構外	瓦製品・刀子	—	3.2	—	注36.3トレH2	—	—	—
	75	遺構外	瓦製品・刀子	—	1.0	—	注36.3トレH2	—	—	—

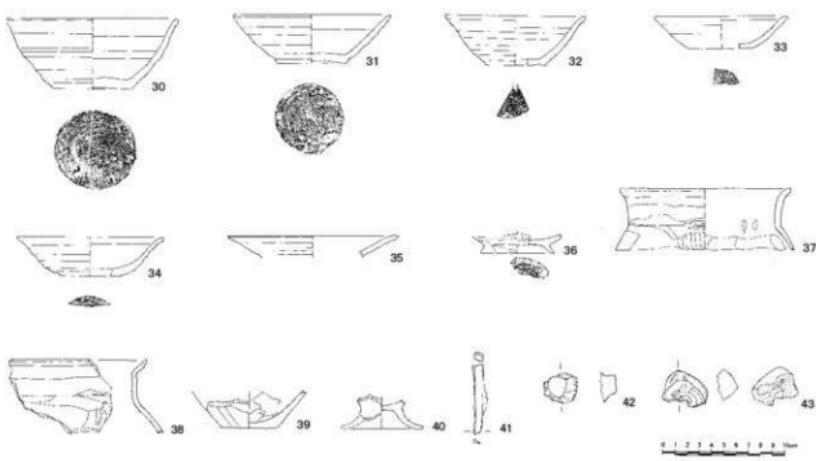


第 18 図 川崎遺跡第 26 地点 H52 号住居跡出土遺物① (1/4)

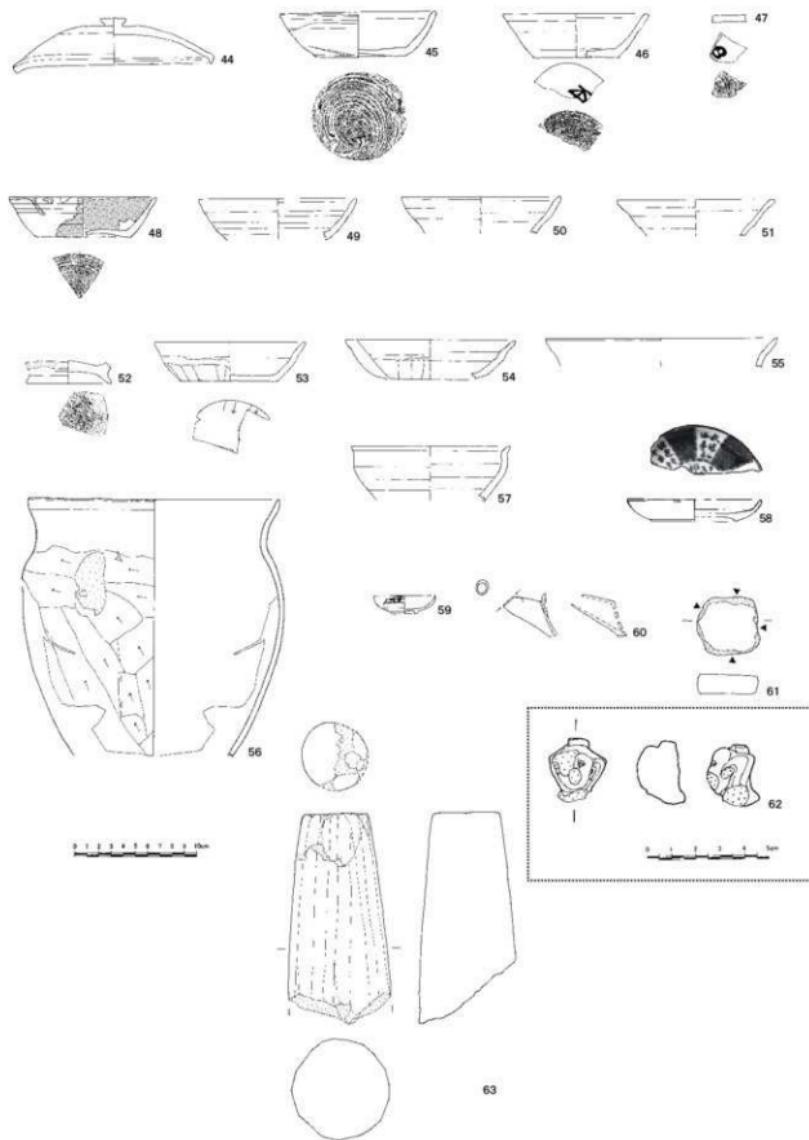
H52号住居跡



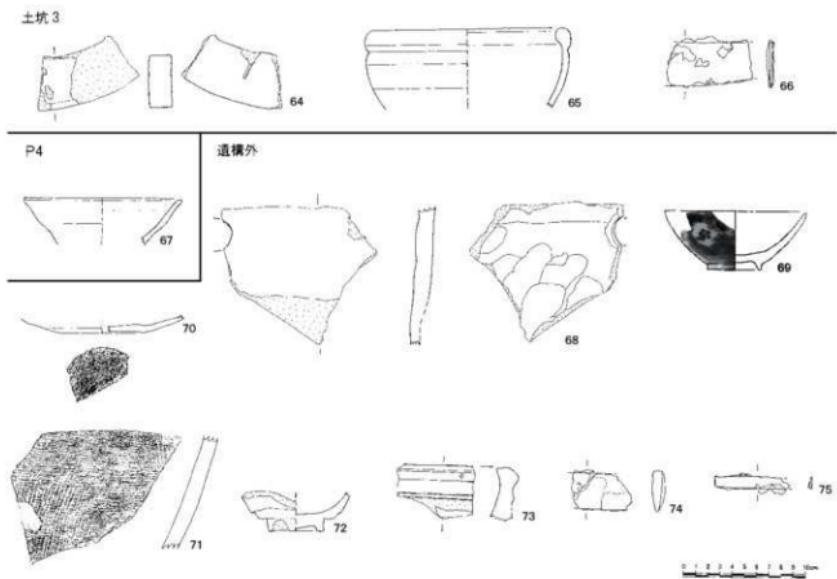
H53号住居跡



第19図 川崎遺跡第26地点 H52号住居跡出土遺物②・H53号住居跡出土遺物 (1/4・2/3)



第 20 図 川崎遺跡第 26 地点 H54 号住居跡出土遺物 (1/2・1/4)



第21図 川崎遺跡第26地点土坑・ピット・遺構外出土遺物 (1/4)

IV 川崎遺跡第27地点

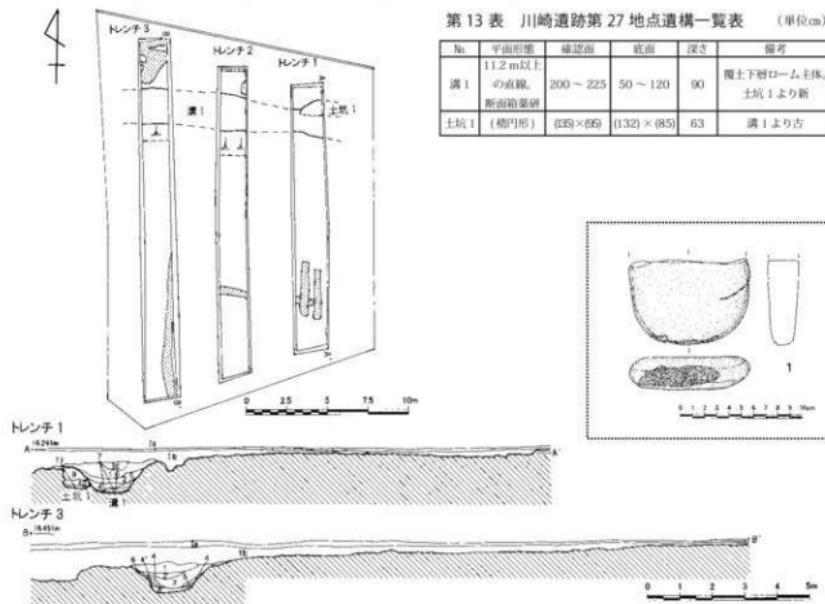
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年3月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南端、一段高い台地上に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年5月15日から同月21日まで行なった。調査区に幅約2mのトレンチを3本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、溝を検出した。遺構の性格を確認するため検出部分のみ調査した。溝を検出した北側は斜面となっており、確認面まで90cmを測る。建築による遺構への影響がないため工事立会いとし、写真撮影・平板測量による全測図・遺構図面作成等記録保存を行ない、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

(2) 遺構と遺物

【溝】調査区の北側は段切りされ、本調査区はコンクリートブロックで囲ったうえ斜面を盛土している。



第22図 川崎遺跡第27地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、出土遺物(1/4)

その北端で東西方向の溝を1条検出した。断面形態は箱築研形を呈する。検出した溝の長さは11.2mで東西ともトレンチ確認面よりも外へ延びる。縦りの強い暗褐色土と黒褐色土が交互に堆積し、最下層にはロームブロック主体の層がある。本地点の50m東側の第21地点においても東西方向の「V」字形の溝を検出している。21地点の北側にも本地点とは一連の段切りが認められ、段切りと溝の関連が伺われる。

溝の東側第1トレンチで土坑と重複関係にあり、土坑1より新しい。

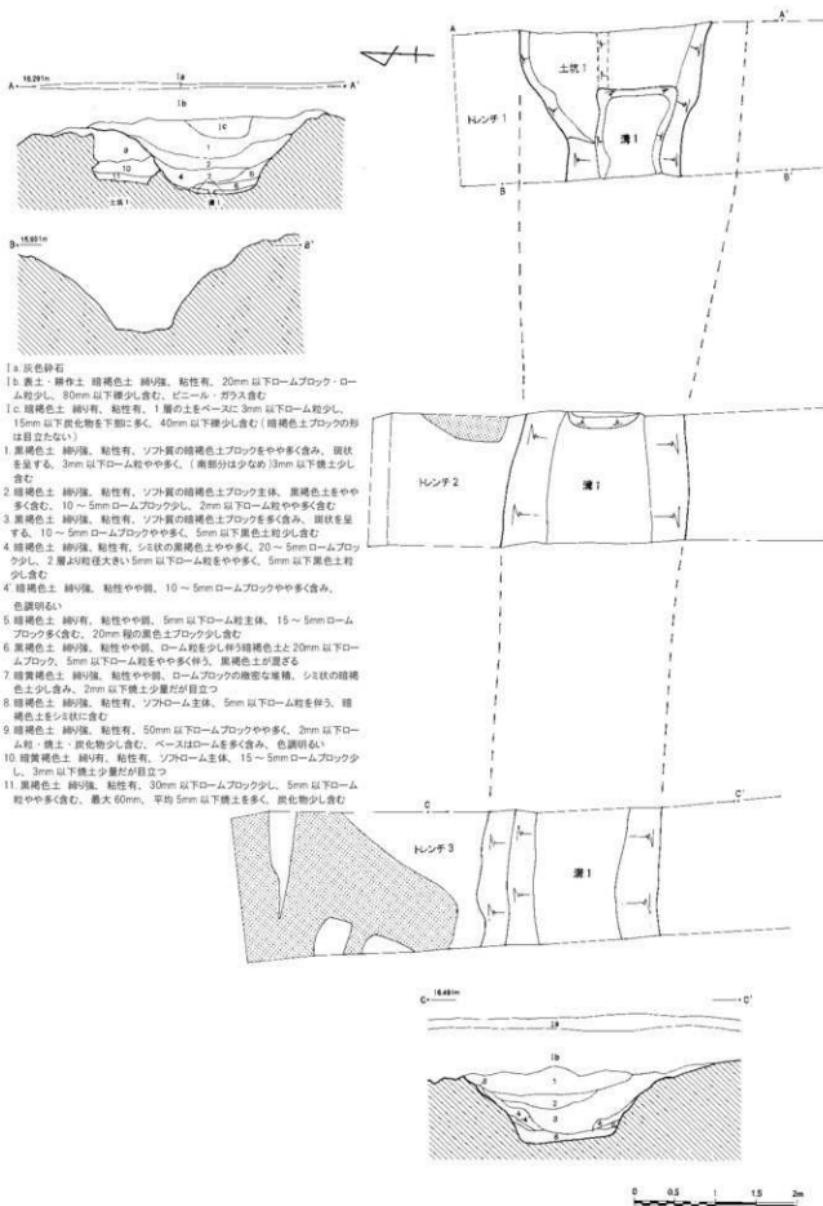
縄文土器1片と敲石1点を検出した。敲石は長9.9×幅7.0×厚2.7cmの砂岩製。その他に遺物はないが、土質から判断すると時期は古代以降と思われる。

【土坑】調査区北東、トレンチ1内で検出。溝1により南側を削られ、北側はトレンチ外へ伸びるが、未調査であるため、全体の形態は不明。検出部分の平面は弧を描き、底面は平坦、壁は垂直に立ち上がる。縦りの強い暗褐色土と黒褐色土で、間にソフトロームを挟む。

出土遺物はないが、土質から判断すると縄文時代と思われる。

第13表 川崎遺跡第27地点遺構一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
溝1	11.2m以上の直線。 断面箱築研	200~225	50~120	90	覆土下層ローム主体。 土坑1より新
土坑1	(楕円形)	638×695	(132)×(85)	63	溝1より古



第23図 川崎遺跡第27地点溝1・土坑1 (1/60)

V 川崎遺跡第28地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年6月20日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い平坦面に立地し、隣接地では古代の住居跡等を検出している。申請地の北側の一部は個人住宅建設に伴い1978年5月に調査済みで、井戸2基・溝1条・地下坑1基を検出した。だが、申請地の南側は未調査のため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年7月4~9日にかけ行なった。幅約2mのトレンチを3本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで40~50cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は2008年7月10日から同年8月8日まで、試掘調査で確認した遺構の場所を重機で表土除去後、調査を行なった。調査の結果、奈良・平安時代の住居跡3軒、近世以降の溝状遺構、土坑を検出し、写真撮影・全測図作成・平板および造り方測量による遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H 55号住居跡（旧H 31 a号住居跡）

【位置】調査区の南西に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。56号住居跡と重複し、同住居跡を壊して構築する。イモビツによって一部壊され、南側もブロック塀の下に入り規模・形態不明。6.5m北東側にH57号住居跡、4m南側にH52号住居がある。

【形状】主軸方位はN-19°-E、北壁東端に竈を備える。平面形態は方形か長方形、規模は主軸方位の南北が2.33m以上、東西3.90m、確認面からの深さ0.15mである。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外へ僅かに張り出して掘られている。右側の袖部に粘土が僅かに残る。奥行き0.88m、幅0.84m、深さ0.12m。

【床・壁】住居跡西側の遺存状況は良好だが、東側は擾乱を受ける。貼床の土層はローム主体、暗褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。

【出土遺物】4点出土したのみである。須恵器壺、土

師器甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から8世紀中~後半代と推定される。

② H 56号住居跡（旧H 31 b号住居跡）

【位置】調査区の南西に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。H55号住居と重複し、同住居跡に壊される。イモビツによって一部壊され、南側もブロック塀の下に入り規模・形態不明。6.5m北東側にH57号住居跡、4m南側にH52号住居跡がある。

【形状】主軸方位はN-18°-E、平面形態は方形か長方形、規模は南北4.04m以上、東西3.25m、確認面と床面はほぼ同レベルである。

【周溝】北壁と東壁壁際に浅い溝が巡る。西壁際は土層断面で確認できた。幅12~24cm、深さ2~7cm。

【床・壁】住居跡中央の床面は硬化する。貼床の土層はローム主体、暗褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、中央を残し、周囲が深くなる。

【出土遺物】西壁際に土師器が出土したのみである。須恵器壺、土師器甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から8世紀中~後半代と推定される。

③ H 57号住居跡（旧H 32号住居跡）

【位置】調査区の中央東側に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。6.5m南西側にH55号住居跡とH56号住居跡、11.5m南側にH54号住居跡、3.5m東側にH58号住居跡がある。

【形状】主軸方位はN-105°-E、東壁南寄りに竈を備える。平面形態は長方形、規模は主軸方位の東西3.57m、東西2.95m、確認面からの深さ0.24mである。覆土はローム粒を含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外に張り出して掘られている。右側の袖部に粘土が残る。袖からの奥行き1.15m、幅1.05m。竈内部の幅0.50m。深さ0.41m。

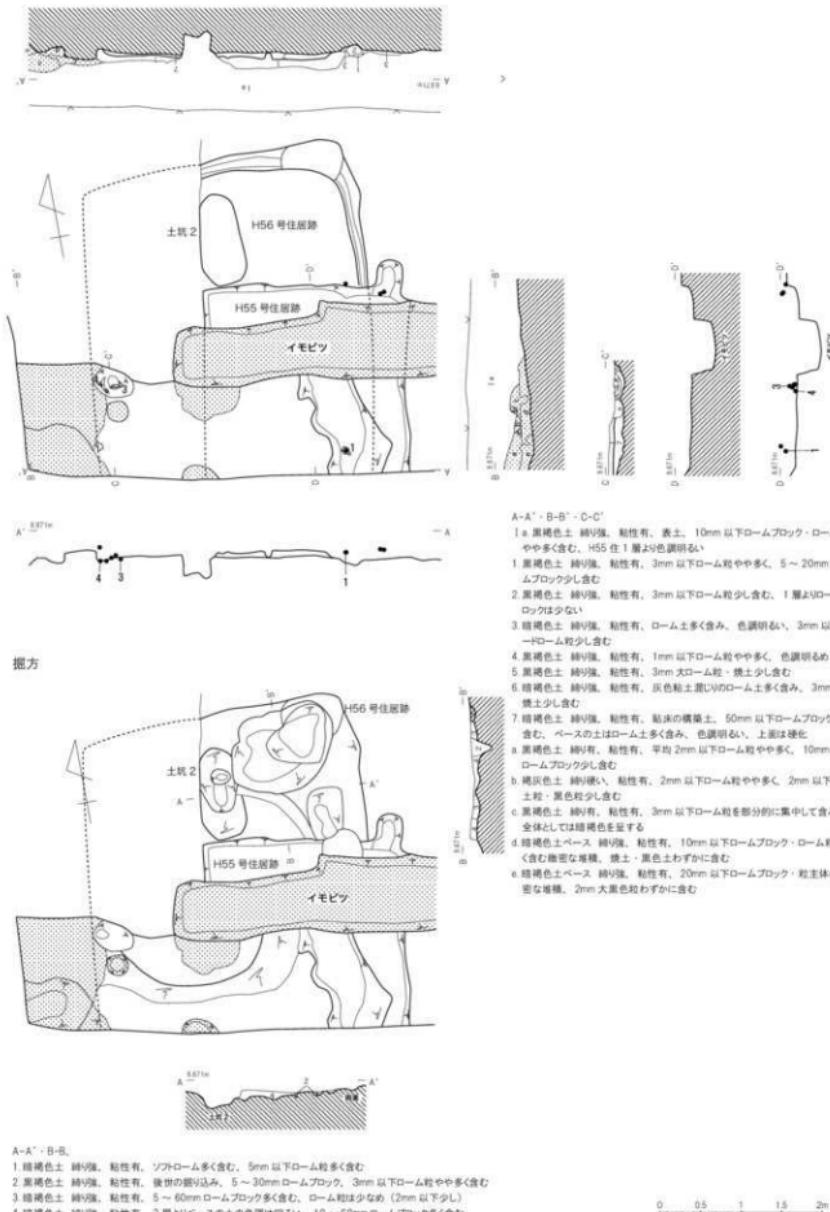
竈の手前に窪みがある。

【周溝】竈がある東壁を除き壁際に溝が巡る。幅12~25cm、深さ5~10cm。

【床・壁】貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、中央が若干高いものの、全体に浅く平坦に掘られている。

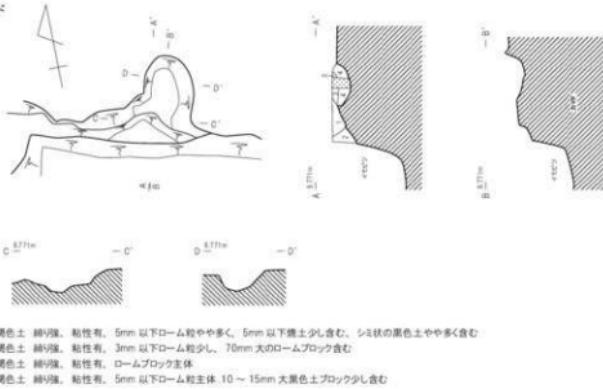
【出土遺物】住居全体から少量出土している。須恵器壺・蓋・甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から8世紀中~後半代と推定される。



第24図 川崎遺跡第28地点 H55・H56号住居跡・掘方 (1/60)

カマド



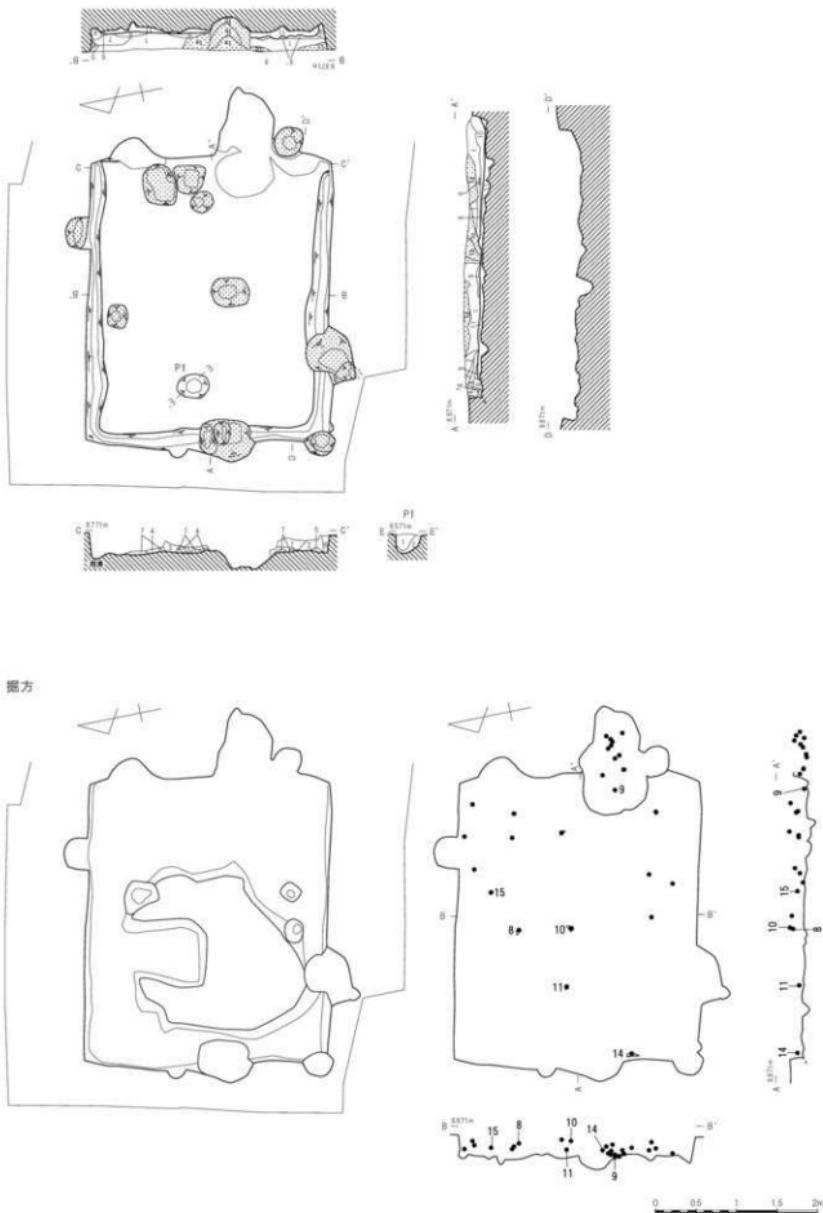
1. 黒褐色土 糯り強、粘性有。5mm以下ローム粒や多く、5mm以下鐵土少し含む。シミ状の黒色土や多く含む
 2. 黒褐色土 糯り強、粘性有。3mm以下ローム粒少し、70mm大のロームブロック含む
 3. 黄褐色土 糯り強、粘性有。ロームブロック生体
 4. 緑褐色土 糯り強、粘性有。5mm以下ローム粒主体 10~15mm 大量鐵土ブロック少し含む

0 0.5 1m

第25図 川崎遺跡第28地点 H55号住居跡竪（1/30）

第14表 川崎遺跡第28地点出土遺物観察表 (単位:cm)

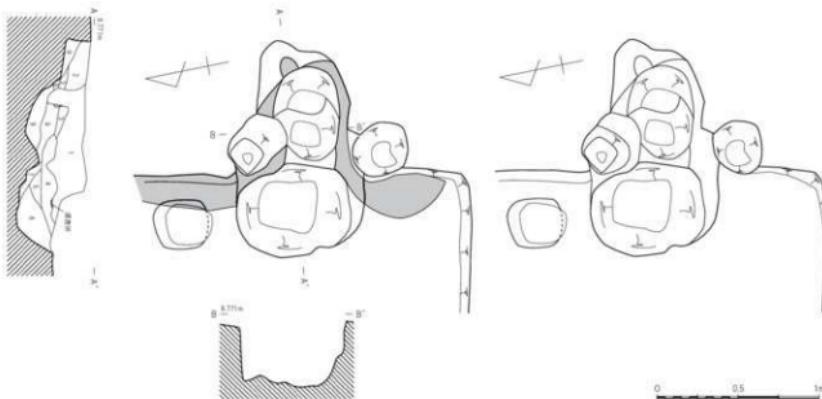
回数 番号	出発場所	遺物名	種別・器種	口径・幅 径	底径・ 幅	高さ・ 厚	技法・文様 / その他	石材・発生地 産地	推定年代・ 時期	残存 / 留 意
1	H55号住居跡	須恵器・环	(12.5) 8.0	—	3.9	—	織織成形、回転式切削外周側面凹凸削り / 灰白色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注36.1(田H33.1号件)	産地不明	8C後半	1/4以下残存
2	H55号住居跡	須恵器・环	—	(7.0)	—	—	織織成形、回転式切削外周側面 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 浅黄褐色 / 注36.1(田H33.1号件)	南北企?	9C	底部
3	H55号住居跡	土師器・壺	(23.0)	—	—	—	粘土埴燒土、口縁部横擦でにぶい・淡褐色 / 砂粒・角閃石 (~0.5mm) 多量含む / 注36.2(田H33.2号件)	—	9C	口縁部
4	H55号住居跡	土師器・壺	(22.0)	—	—	—	粘土埴燒土、口縁部横擦でにぶい・赤褐色 / 砂粒・角閃石 (~0.5mm) 多量含む / 注36.2(田H33.2号件)	—	9C	口縁部
5	H55号住居跡	瓦片土器	—	—	—	—	粘土埴燒土、外周部きぬぎめ / 淡灰褐色 / 砂粒・角閃石 (~0.5mm) 多量含む / 注36.1(田H33.1号件)	—	—	側面部
6	H57号住居跡	陶土器・ 鉢	—	—	—	—	灰土輪として削りを逆さまにした付加条脚文 / 表土に食入鐵土含む / 注36.1(田H32.1号件)	説文前期・側面部輪 / 注36.7と同 注36.2(田H32.2号件)	—	—
7	H57号住居跡	陶土器・ 鉢	—	—	—	—	連続爪形文を平行に施文する / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 注36.1(田H32.1号件)	説文前期・黒 浜・側面部輪 / 注36.6(同 注36.2(有尾系))	—	—
29	H57号住居跡	須恵器・ 壺	(16.0)	—	—	—	織織成形、口縁部側面曲線 / 淡黄色 / 砂粒 (~1mm) 少量含む / 注36.1(田H32.1号件)	南北企	8C後半	口縁部
8	H57号住居跡	須恵器・ 壺	(13.4)	8.0	3.2	—	織織成形、右回転式切削外周整 / 灰褐色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注36.2(田H32.2号件)	南北企	8C後半	3/4以上残存
9	H57号住居跡	須恵器・ 壺	(15.7)	(10.2)	3.8	—	織織成形、右回転式切削外周整 / 灰褐色 / 砂粒 (~0.5mm) 少量含む / 注36.1(田H32.1号件)	南北企	8C後半	1/4以下残存
10	H57号住居跡	須恵器・ 壺	(17.2)	—	—	—	織織成形、右回転式切削外周整 / 灰褐色 / 砂粒 (~0.5mm) 少量含む / 注36.2(田H32.2号件)	南北企	8C後半	底部
11	H57号住居跡	須恵器・ 壺	(7.0)	—	—	—	織織成形、右回転式切削外周整 / 灰褐色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注36.2(田H32.2号件)	南北企	8C後半	底部
12	H57号住居跡	須恵器・ 壺	(—)	—	—	—	織織成形、右回転式切削外周整 / 灰褐色 / 砂粒 (~0.5mm) 多量含む / 注36.2(田H32.2号件)	東金子	8C後半	底部
13	H57号住居跡	須恵器・ 壺	(—)	—	—	—	粘土埴燒土上、織織調型 / 頭部に自然輪 / 灰色 / 砂粒 (~3mm) 多量含む / 注36.1(田H32.1号件)	南北企	良好・平安	頭部破片
14	H57号住居跡	須恵器・ 壺	(—)	—	—	—	粘土埴燒土上、外周部切削 / 灰色 / 砂粒 (~3mm) 多量含む / 注36.1(田H32.1号件)	東金子	良好・平安	頭部
15	H57号住居跡	須恵器・ 壺	(14.4)	—	—	—	粘土埴燒土上、外周部切削 / 織織調型 / 灰色 / 砂粒 (~3mm) 多量含む / 注36.8. D 注36.1(田H32.1号件)	南北企	良好・平安	底部
16	土坑2	須恵器・ 環	12.2	7.5	3.6	—	織織成形、右回転式切削外周調整 / 斜オーリーブ / 灰色 / 砂粒 (~5mm) 多量含む / 注36.2D付近	南北企	8C後半	完形
17	土坑2	土器・ かわらけ	(6.0)	—	—	—	織織成形、右回転式切削外周調整 / にぶい・淡褐色 / 砂粒 (~0.5mm) 少量含む / 注36.2D付近	—	15~16C	底部
18	土坑2	須恵器・ 壺	(—)	—	—	—	粘土埴燒土上、口縁部横擦で / 口縁部側面 / 砂粒 (~3mm) 多量含む / 注36.14. 15	南北企	良好・平安	底部
19	土坑2	土師器・ 壺	(21.0)	—	—	—	粘土埴燒土上、口縁部横擦で / 口縁部側面 / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 舞石含む / 注36.2. 3. 5. 7. —13. 16~18. 26~32. 34. 35. 37. 38. 42. 43	—	9C	口縁部
20	土坑2	土師器・ 壺	(20.8)	—	—	—	粘土埴燒土上、口縁部横擦で / 口縁部側面 / 砂粒 (~1mm) 多量含む / 舞石含む / 注36.14. 15	—	9C	口縁部
21	遺構外	陶器・切目皿	(10.0)	(4.4)	2.5	—	織織成形、口縫部斜削 / 切目 / 斜オーリーブ / 灰色 / 砂粒 (~5mm) 多量含む / 注36.14. 15	瀬戸・美濃	18C第3~ 19C第3	完形
22	遺構外	陶器・切目皿	10.0	4.3	2.2	—	織織成形、底部斜削 / 斜オーリーブ / 灰色、全面施釉後底部の輪引き取り。粗 い小穴 / 入れ穴 / 口縫部斜削 / 注36.14. 15	瀬戸・美濃	18C第3~ 19C第3	1/2以下残存
23	遺構外	陶器・切目皿	(10.2)	4.2	2.2	—	織織成形、底部斜削 / 斜オーリーブ / 灰色、口縫から内面全面施釉 / 灰色 / 見 込込みと内面に施釉の当たる部分 / 舞石含む / 注36.15	瀬戸・美濃	18C第3~ 19C第3	1/2以上残存
24	遺構外	土器類・ 印彌土器	3.8	3.8	1.4	—	球状土器を柱状工具に挿んで、半円に押しつぶす。板からはみ出した 部分を、斜めに押す / 灰褐色 / 注36.11	—	—	完形
25	遺構外	石製品・鉛石	(8.2)	3.2	1.2	—	重積 37.0kg / 側面の一部が残る。裏面は剥離 / 注36.11	瀬戸岩	近世~	鐵片
26	遺構外	石製品・鉛石	(8.2)	—	—	—	重量 64.10kg / 側面は1面。裏面にタガキ殻が残る / 注36.13	瀬戸岩	近世~	—



第26図 川崎遺跡第28地点 H57号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)

カマド

掘方



A-A'-B-B'

- 1-a 黒褐色土 細り緻。粘性有。5mm ロームブロック、2mm 以下ローム粒少し含む
- 1-b 黒褐色土 細り緻。粘性有。5 ~ 15mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒や多く含む
- 1-c 黒褐色土 細り緻。粘性有。20mm 以下ロームブロック多し含む
- 1-d 黒褐色土 細り緻。粘性有。2mm 以下ローム粒少し~や多く。佛土わずかに含む。灰色味がある
- 1-e 黒褐色土 細り緻。粘性有。2mm 以下ローム粒多く。10mm 大ロームブロック少し含む。浜色味がある
- 1-f 黒褐色土 5mm 以下ローム粒少し含む
- 1-g 黒褐色土 平均 20mm 以下ロームブロック多し含む
- 1-h 黒褐色土 細り緻。粘性有。上層より色調或く灰色味つよい。2mm 以下ローム粒少し~や多く。3mm 以下佛土わずかに含む。5 ~ 20mm 大ロームブロック少し含む
- 2 黒褐色土 細り緻。粘性有。5mm 以下ローム粒や多く含む。浜色味がある
- 3 黒褐色土 細り緻。粘性有。3mm 以下ローム粒や多く含む。灰色味がある
- 4 黑褐色土 細り緻。粘性有。3mm 以下ローム粒や多く含む。灰色味がある
- 5 灰色土 細り緻。粘性有。15mm 程のロームブロック含む
- 6 灰褐色土 細り緻。粘性有。ローム土多し含む。酸化して硬直している
- 7 黑褐色土 細り緻。粘性有。5mm 以下ローム粒多く。佛土わずかに含む
- 8 灰黃褐色土 細り緻。粘性有。3mm 以下ローム粒含む
- 9 黑褐色土 細り緻。粘性有。3mm 以下ローム粒多く含む
- 9 黑褐色土 細り緻。粘性有。5 ~ 20mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒や多く含む。浜色の覆土
- 10 灰灰褐色土 細り緻。粘性有。灰色粘土含み。3mm 以下ローム粒多く。黒褐色土少し含む
- 11 黄褐色土 黒褐色土 細り緻。粘性有。ローム主体。買入するように黒褐色土が混ざり。黒褐色土には 5mm 以下ローム粒や多く含む。粘床構築土

C-C' (東壁際)、細り緻い土が広く堆積していた)

- 1 黑灰褐色土 細り緻。粘性有。灰色粘土主体。酸化著しく。褐色味あり。15mm ロームブロック・2mm 以下佛土・5mm 大黑色土粒わずかに含む
- 2 灰灰褐色土 細り緻。粘性有。灰色粘土主体。酸化土 (上層より色調或く褐色) 多し含む酸化した植物痕のような黒褐色土多く。2mm 以下佛土・5mm 以下ローム粒や多く含む
- 3 灰灰褐色土 細り緻。粘性有。灰色粘土主体。3mm 以下ローム粒多く含む。5 ~ 10mm 黑褐色土少し含む
- 4 黑褐色土 細り緻。粘性有。粘土混じりローム土主体。5mm 大黑褐色土や多く含む。粘床の土に似る
- 5 黑褐色土 細り緻。粘性有。粘土混じりローム土主体。5 ~ 10mm ローム土少し含む
- 6 黑褐色土 細り緻。粘性有。粘土混じりの黒褐色土。5 ~ 10mm ロームブロック。2mm 以下ローム粒や多く含む
- 7 地山一面に近いが、酸化した細~黒褐色土粒や多く含む

P1 E-E'

- 1 黑褐色土 細り緻。粘性有。5 ~ 10mm ロームブロックや多く含む
- 2 黑褐色土 細り緻。粘性有。20mm 以下ローム粒主体

カマド A-A'

- 1 黑褐色土 細り緻。粘性有。5 ~ 10mm ロームブロックや多く含む。5mm 以下佛土少し含む。酸化土が多く。ボンボルしている
- 2 黑灰褐色土 細り緻。粘性有。3mm 以下ローム粒多く。5 ~ 20mm ロームブロック少し含む
- 3 灰色土 細り緻。粘性有。シルキ質灰色粘土主体。5mm 以下ローム粒・佛土少し含む
- 4 黑灰褐色土 細り緻。粘性有。シルキ質灰色粘土主体。5mm 以下ローム粒・佛土多く含む
- 5 黑褐色土 細り緻。粘性有。5mm 以下ローム粒や多く含む
- 6 黑灰褐色土 細り緻。粘性有。5 ~ 50mm ロームブロック。3mm 以下ローム粒多く含む
- 7 黑褐色土 細り緻。粘性有。20 ~ 60mm ロームブロック。3mm 以下ローム粒多く含む
- 8 黑灰褐色土 細り緻。粘性有。5mm 以下ローム粒や多く含む
- 9 灰灰褐色土 細り緻。粘性有。5 ~ 40mm ロームブロック多く含む

H1 ~ 9 層、粘土混じり

第 27 図 川崎遺跡第 28 地点 H57 号住居跡竪 (1/30)

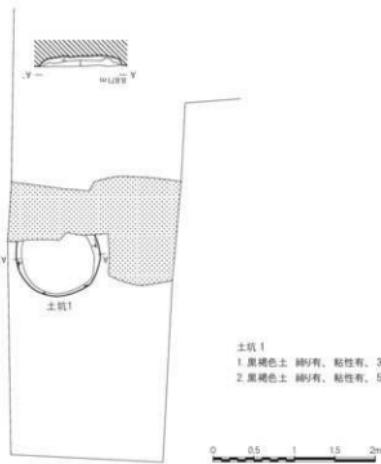
③土坑

土坑2はH 56号住居内にあり、住居に伴う貯蔵穴の可能性もある。須恵器環・甕、土師器甕等が出土した。

第15表 川崎遺跡第28地点遺構一覧表 (単位cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑1	円形	104 × (70)	86 × (65)	22	
土坑2	楕円形	111 × 55	45 × 24	29	56号住居の貯蔵穴か? 土師器甕出土

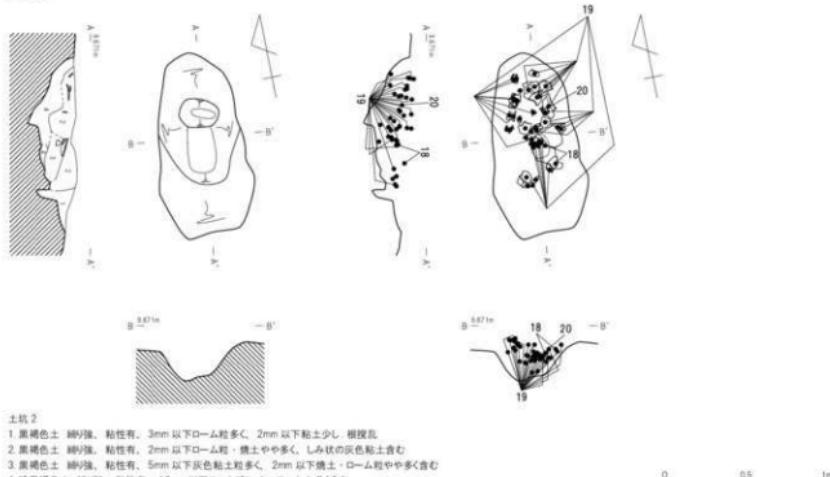
土坑1



土坑1

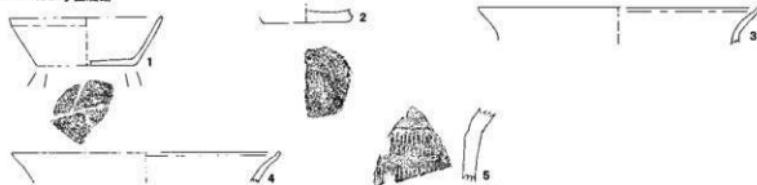
1. 黒褐色土 細引強、粘性有、3mm以下ローム粒少し、鐵土わずかに含む、2層より色調明るい
2. 黒褐色土 細引強、粘性有、5~10mmロームブロック、3mm以下ローム粒少し含む

土坑2

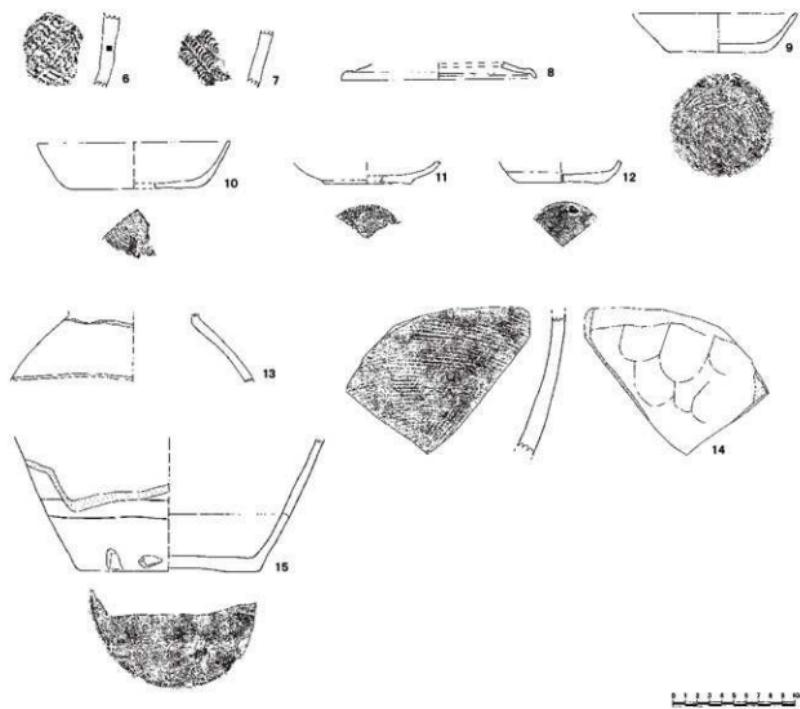


第28図 川崎遺跡第28地点土坑1 (1/60)、土坑2 (1/30)

H55・H56 号住居跡

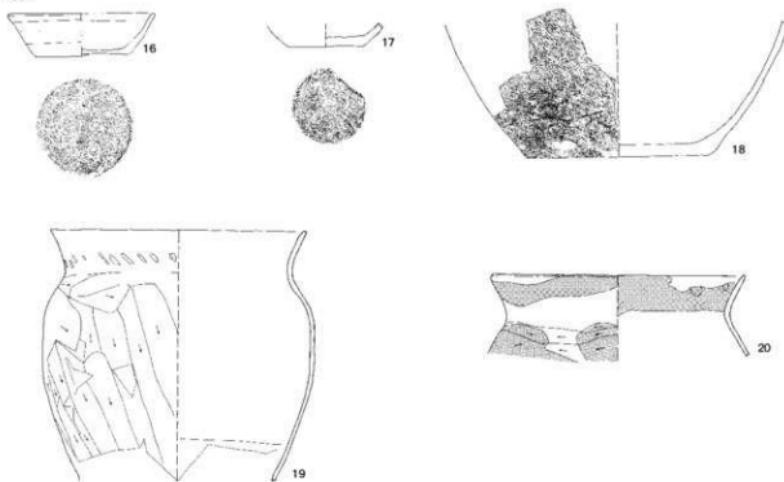


H57 号住居跡

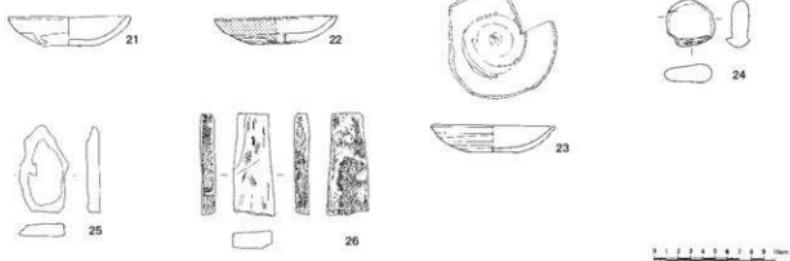


第 29 図 川崎遺跡第 28 地点 H55・H56・H57 号住居跡出土遺物 (1/4)

土坑 2



遺構外



第30図 川崎遺跡第28地点土坑・遺構外出土遺物 (1/4)

VI 川崎遺跡第 29 地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 6 月 25 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い平坦面に立地し、隣接地では古代の住居跡等を検出している。申請地の北側の一部は個人住宅建設に伴い 1978 年 5 月に調査済みで、溝 1 条を検出した。だが、申請地の南側は未調査のため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 7 月 9 ~ 11 日にかけ行なった。調査区南側を重機により表土除去後、人力による表面精査を行ったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで 40 ~ 50 cm と浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は 2008 年 7 月 14 日から同年 8 月 22 日まで行なった。調査の結果、奈良・平安時代の住居跡 2 軒、溝 3 条、土坑、ピットを検出し、写真撮影・全測図作成・平板および造り方測量による遺構図面作成等記録保存を行なったうえ理め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H 58 号住居跡（旧 H 33 号住居跡）

【位置】調査区の南西隅に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。住居跡の西側と南側はブロック塀の下に入り規模不明。3.5 m 西側に H57 号住居跡、0.8 m 東側に H59 号住居跡、7.0 m 南側に H60 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 98° - E、東壁南側に竈を備える。平面形態は方形か長方形を呈する。規模は主軸方位の東西は 2.14 m 以上、南北 2.05 m 以上、確認面からの深さ 0.16m である。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外に張り出して掘られているが、奥壁から煙道部は搅乱で壊される。袖の粘土は僅かに残る。幅は 0.65 m を測る。近世以降の搅乱が著しい。

【周溝】北壁と東壁際に浅い溝が巡る。幅 22 ~ 26 cm、深さ 8 ~ 11 cm。

【床・壁】竈手前部分の床面は硬化する。貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、周囲が深くなる。

【出土遺物】竈内から多量に出土した。須恵器坏、土師器壞・台付壺等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から 9 世紀前半と推定される。② H 59 号住居跡（旧 H 34 号住居跡）

【位置】調査区の南側に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。溝 1 に竈の一部や近世以降の搅乱で床面が壊されている。0.8 m 西側に H58 号住居跡、5.2 m 南側に H60 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 16° - E、北壁東端に竈を備える。平面形態は方形、規模は主軸方位の南北 3.78 m、東西 3.72 m、確認面からの深さ 0.12m である。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外に張り出して掘られている。左側の袖部に粘土が残る。左壁が一部焼けて赤化する。奥壁は焼けていない。袖からの奥行き 0.71 m、幅 0.90 m。竈内部の幅 0.50 m。深さ 0.39 m。竈内に粘土と焼土が堆積する。竈の手前に窪みがある。

【床・壁】貼床の上層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は、凹凸が著しい。

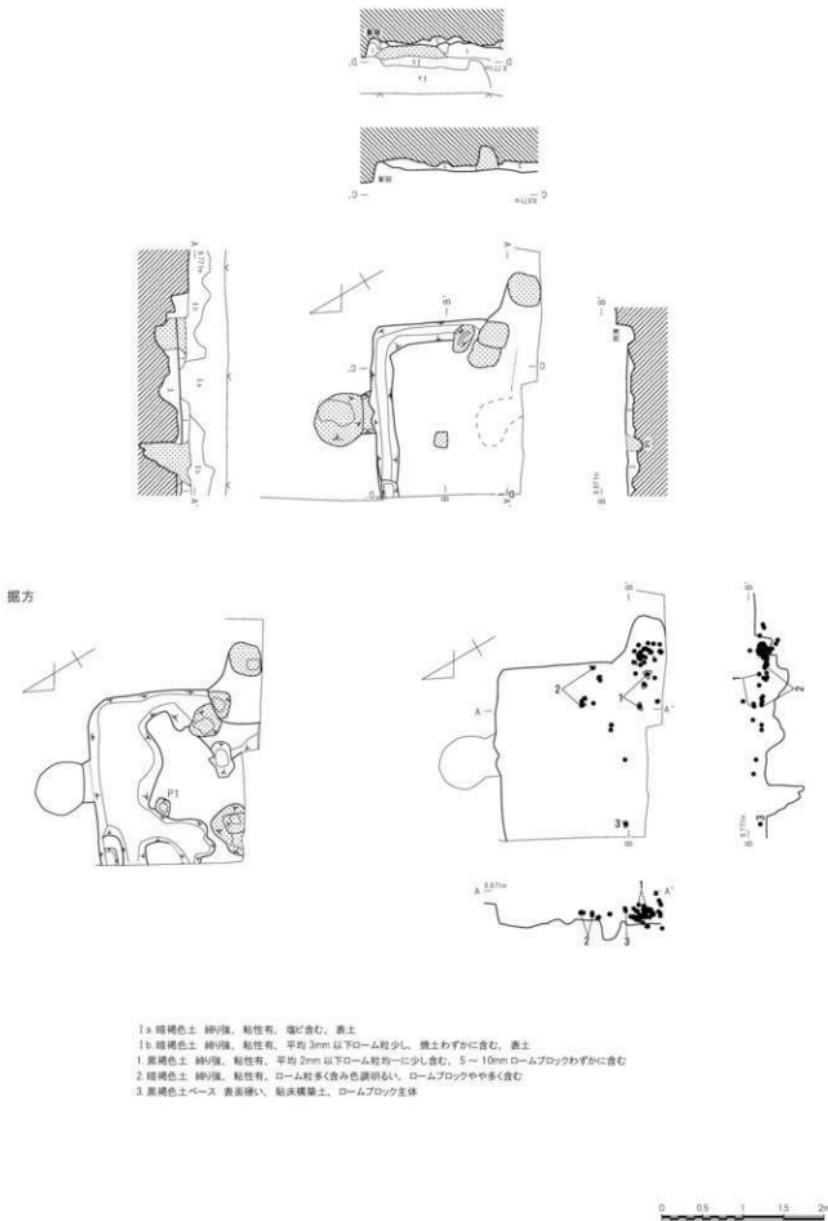
【出土遺物】竈内に集中箇所がある。須恵器坏、土師器壞等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から 9 世紀前半と推定される。③ 溝

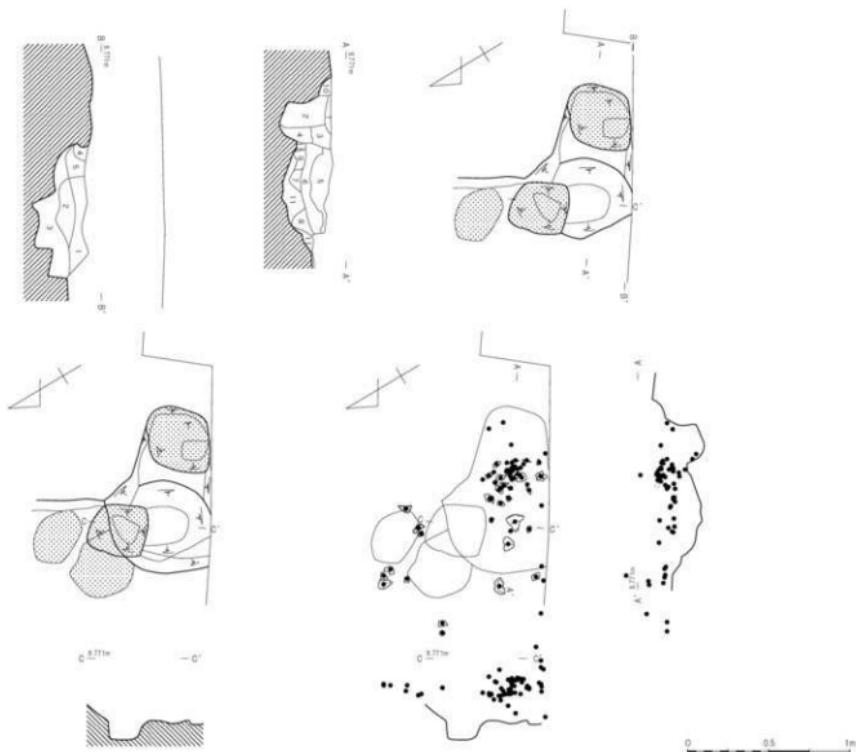
南北方向の溝が走る。溝 1 は出土物から近世以降。溝 2 は出土物から平安時代。

第 16 表 川崎遺跡第 29 地点遺構一覧表 （単位cm）

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
溝 1a	南北方向 16.5 m 以上の直線、断面駆け跡状	55 ~ 145	22 ~ 95	15 ~ 34	東側に掘り込みあり
溝 1b	南北方向 6.2 m 以上の直線、断面「U」字状	62 ~ 84	25 ~ 38	26 ~ 44	溝 1a より旧
溝 2	南北方向 9 m 以上の直線、断面「U」字形	50 ~ 70	15 ~ 40	15 ~ 30	南側が深い、断面「U」字形、須恵器出土、平安時代



第31図 川崎遺跡第29地点 H58号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)



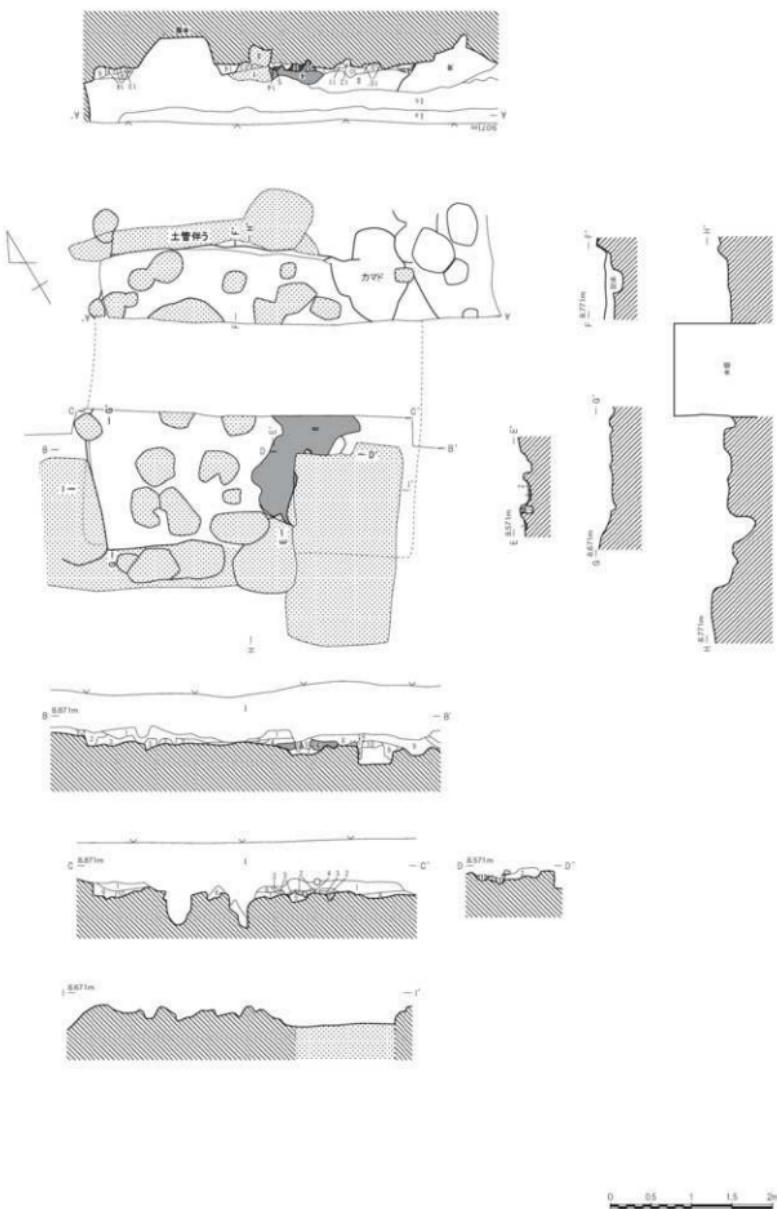
A-A'

1. 暗褐色土 細砂有、粘性有。5mm以下ローム粒少し含む
2. 暗褐色土 細砂有、粘性やや弱。5~20mmロームブロック、3mm以下ローム粒やや多く含む
3. 暗褐色土 細砂有、粘性有。10mm以下ロームブロック、2mm以下ローム粒少し、土筋轍有、3mm大炭化物わずかに含む
4. 暗褐色土 細砂強、粘性やや弱。20mm以下ロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く含む
5. 暗褐色土 細砂強、粘性有、粘土分多含み、色調明るめ。2~10mm 粒土やや多く、5mm以下ローム粒少し含む
6. 黒褐色土 細砂強、粘性有。5mm以下ローム粒多く、5mm以上は鐵土少し、30mm 大灰色粘土少し含む
7. 黑褐色土 細砂強、粘性有。平均2mm以下ローム粒やや多く含み、色調明るい
8. 黑褐色土 細砂強、粘性有。レバ状の暗褐色土粒み色調暗い、5mm以下ハドローム粒少し含む
9. 黑褐色土ベース 細砂強、粘性有。20mmを多く含み黃褐色がかる。
10. 暗褐色土 細砂強、粘性有。ローム粒多く含み黄褐色がかる。1~5mmハドローム粒やや多く含む
11. 黑褐色土ベース 細砂強、粘性有。ロームブロック(大型) 多く含む

B-B'

1. 黑褐色土 細砂強、粘性有。2mm以下ローム粒少し、5mm以下鐵土。40mm 大ロームブロックわずかに含む
2. 暗褐色土 細砂強、粘性有、粘土混じりの黒褐色土。色調明るめ。5~10mmロームブロック、2mm以下ローム粒やや多く、3mm以下鐵土少し含む
3. 黑褐色土ベース 細砂有、粘性有。30mm以下ロームブロック主体
4. 黑褐色土 細砂有、粘性有。2mm以下ローム粒、5mm以下鐵土やや多く含む
5. 暗灰褐色土 細砂強、粘性有。灰色粘土主体。2~10mmソフト質ローム少し含む

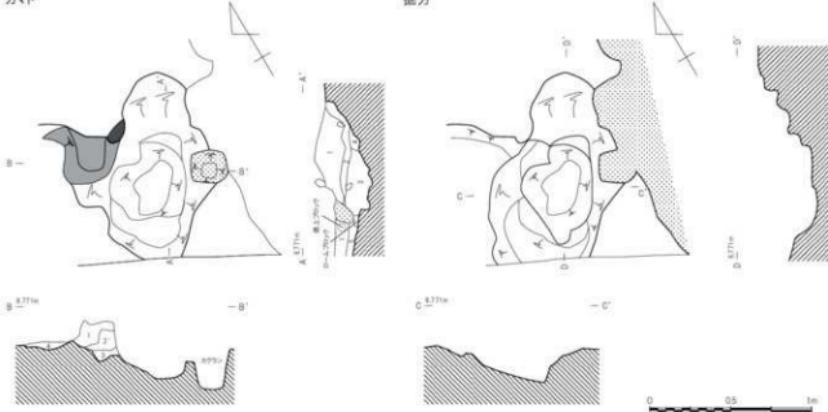
第32図 川崎遺跡第29地点 H58号住居跡竪（1/30）



第33図 川崎遺跡第29・30地点 H59号住居跡 (1/60)

カマド

掘方



方A'-A'

1. 黒褐色土 粘り有。粘性有。しみ状の灰色粘土含む。3mm以下焼土や多く、3mm以下ローム粒少く含む。10mm 大ロームブロック、15mm 大焼土ブロックわずかに含む
2. 赤褐色土 粘り強。粘性有。灰色粘土ベースに焼土分含み、赤味帯びる。2mm以下焼土・ローム粒やや多く含む
3. 横灰土 粘り強。粘性有。5~20mm ローム粒多く含む。5~10mm 烧土やや多く含む
4. 赤褐色土 粘り強。粘性有。燒土主体 上面は焼化している
5. 黑褐色土 粘り弱い。粘性有。3mm以下ローム粒少く含む。3mm以下焼土わざかに含む

方B'-B'

1. 黒褐色土 粘り強。粘性有。灰色粘土主体。1~5mm 烧土少く含む。焼土と20mm 大ロームブロックをわざかに含む。黒褐色土 (直径50mm) が根拠
2. 黑褐色土 粘り強。粘性有。しみ状の灰色粘土含む。1~5mm 烧土やや多く含む
3. 黑褐色土 粘り強。粘性や弱。被剥したローム土多く含み。黄色味がかる。最大30mm。平均2mm以下焼土多く含む
4. 黑褐色土 粘り強。粘性有。3mm以下ローム粒少く含む。粘土構造土

H59号住居跡 A-A'

- 1a. 黑褐色土 粘り強。粘性有。ローム土多く含む表土
- 1b. 黑褐色土 粘り強。粘性有。ロームブロック・灰白色土・砂など含む表土及び複数
- 1c. 黑褐色土 粘り強。粘性有。2mm以下焼土少く含む。10mm 大ロームブロック・ローム粒・焼土すかに含む。下層にしみ状の黒褐色土を含む
1. 黑褐色土 粘り強。粘性有。ローム土を下部にやや多く含み。色調明るい。2mm以下ローム粒・15mm 大焼土少く含む
2. 黑褐色土 粘り強。粘性有。5mm以下ローム粒やや多。灰色味がある
3. 黑褐色土 粘り強。粘性有。3mm以下ローム粒・5~10mm ロームブロック少し。5mm 大焼土わざかに含む
4. 黑褐色土 粘り強。粘性有。しみ状の灰色粘土少く含み。色調明るい。2mm以下ローム粒少し。10mm 大ロームブロック・5mm 大焼土少く含む
5. 黑褐色土 粘り強。粘性有。粘土混じローム土多く含み。黄灰色味あり。5mm以下ローム粒・焼土やや多く含む
6. 赤褐色土 粘り強。粘性有。粘土混じローム土ベースに5mm以下焼土多く含む
7. 黑褐色土 粘り強。粘性有。2mm以下ローム粒やや多く含む。1~3mm 烧土少く含む
8. 黑褐色土 粘り強。粘性有。3mm以下ローム粒やや多く含む。而満土か?
9. 黑褐色土 粘り強。粘性有。5mm以下ローム粒多く含む

H59号住居跡 B-B'

10. 黑褐色土 粘り強。粘性有。しみ状の灰色粘土多く含む。2mm以下ローム粒やや多く。2~10mm 烧土少く含む
10. H59号住居跡 5 層に鉛
11. 黑褐色土 粘り強。粘性や弱。20mm 大。しかし3mm以下で被熱・焼化したローム土多く含む
12. 黑褐色土ベース 粘り強。粘性有。2mm以下ローム粒主体
13. 黑褐色土 粘り強。粘性有。ローム混じの黒褐色土。5mm 大ロームブロックやや多く含む。ロームベース全体に火灰に入するまで堆積する
14. 黑褐色土ベース 粘り強。粘性有。ローム混じの黒褐色土ベースに20mm以下ロームブロック主体。5mm以下焼土少く含む。粘土構造土

C-C'

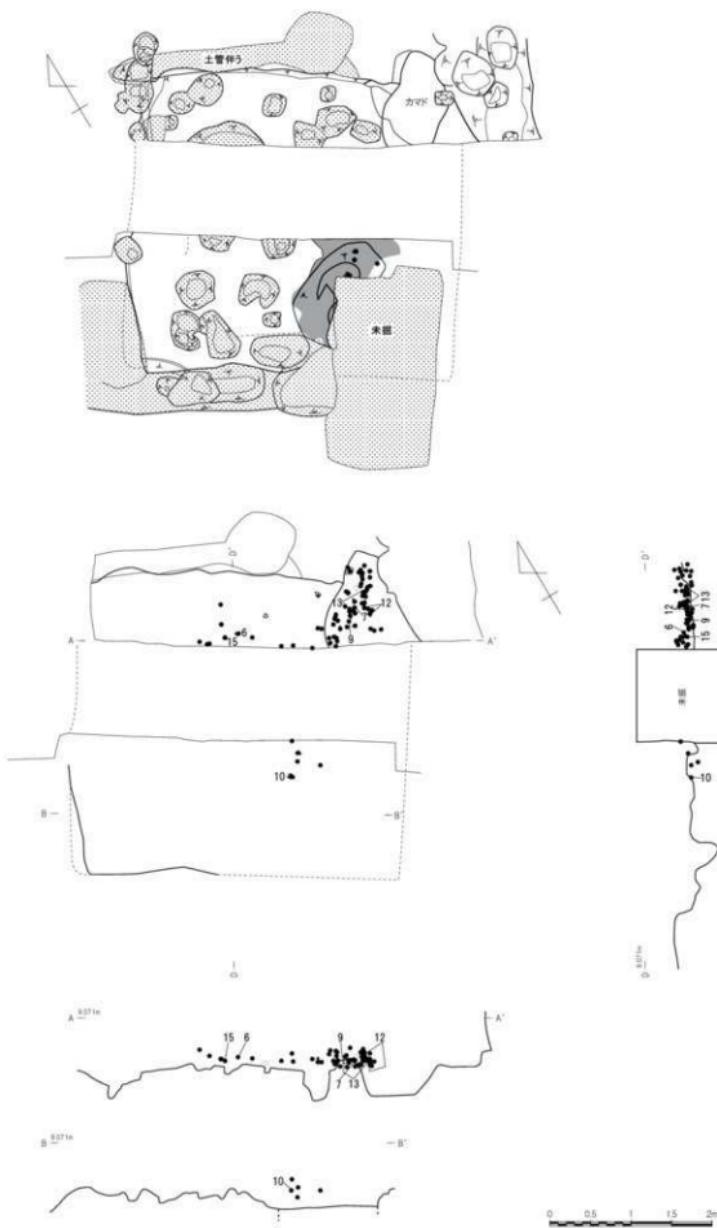
1. 黑褐色土 粘り強。粘性有。3mm以下焼土少く含む。5~10mm ロームブロック少し。
2. 黑褐色土ベース 粘り強。粘性有。灰色粘土多く含む
3. 黑褐色土 粘り強。粘性有。5~10mm ローム粒多く含む。ロームブロックが多く。5mm以下黑色土やや多く含む
4. 黑褐色土ベース 粘り強。粘性有。5mm以下ロームブロック多く含む
5. 黑褐色土ベース 粘り強。粘性やや弱。15mm以下ロームブロック主体
6. 黑褐色土 粘り強。粘性有。5mm 大ロームブロック・2mm以下ローム粒少し。1mm 烧土わずかに含む。(見より裏面裏)
7. 黑褐色土 粘り強。粘性有。10mm以下のロームブロック多く含む。ロームの微細な堆積。10~15mm 烧土裏に黒褐色土ブロック少く含む
8. 黑褐色土 粘り弱い。粘性有。10~20mm ロームブロックやや多く。3mm以下ローム粒少し。黒褐色土わざかに含む
9. 黑褐色土 粘り弱い。粘性有。5mm以下ローム粒多く含む。ロームまじの黒褐色土ベース (横構造で見る裏面裏に似る)
10. 黑褐色土ベース 粘り強。粘性有。20mm以下ロームブロック・ローム土多く含む

D-D'

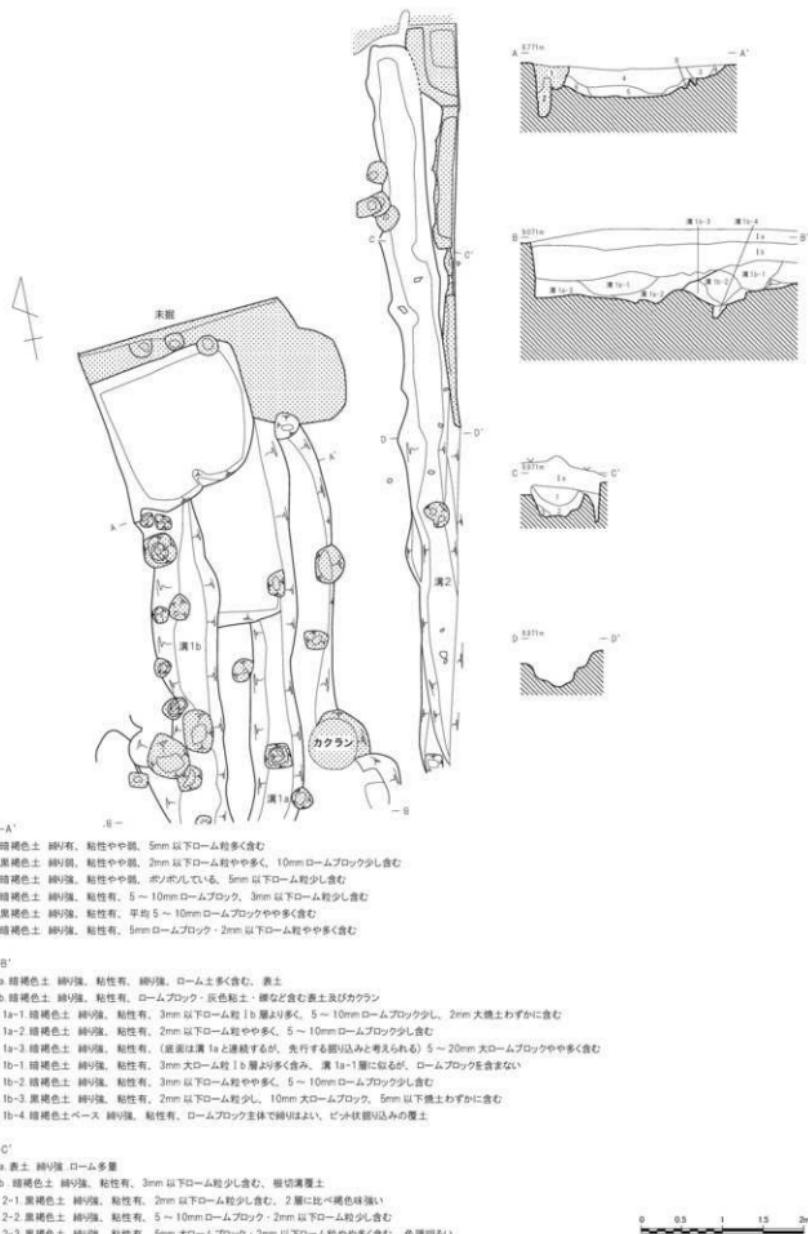
1. 黑褐色土 粘り有。粘性有。灰色粘土主体。黒褐色土・ロームブロック混じ。2mm以下焼土少く含む。ビット状の網目混入
2. 黑褐色土 粘り強。粘性有。10~30mm ロームブロック・5mm以下ローム粒多く含む。5mm以下焼土少し。上面に3~10mm 烧土多く含む
- E-E'
1. 黑褐色土 粘り強。粘性有。しみ状の灰色粘土含み。黄灰色味あり。10mm 大焼土・3mm以下焼土少く含む。2mm以下ローム粒やや多く含む
2. 黑褐色土 粘り強。粘性有。3mm以下ローム粒やや多く。10mm 大焼土・3mm以下焼土粒少く含む

第34図 川崎遺跡第29・30地点 H59号住居跡竈 (1/30)

掘方



第35図 川崎遺跡第29・30地点H59号住居跡掘方・遺物出土状況図(1/60)

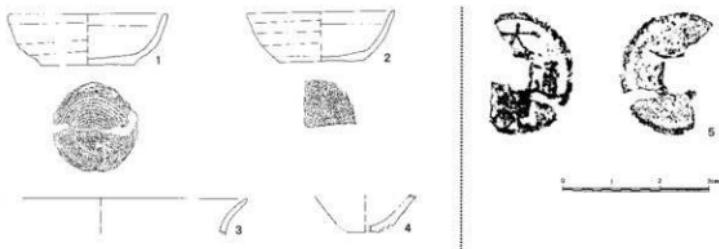


第36図 川崎遺跡第29地点溝1・2 (1/60)

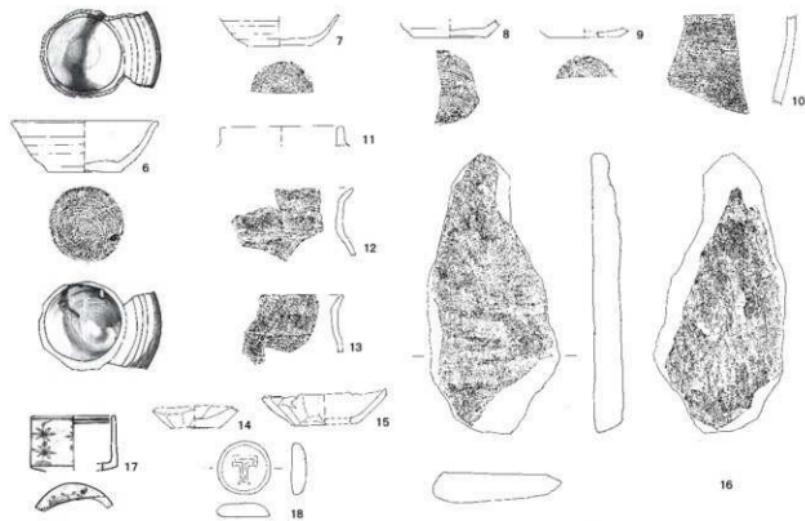
第17表 川崎遺跡第29地点出土遺物観察表 (単位cm)

出所 番号	器種 番号	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	高さ・ 厚	種類・文様 / その他	石材 / 確定生産地	推定年代・時期	残存 / 破壊
	1 H58 号住居跡	調理器・环	(13.1)	7.6	4.2	礫織成形。底部右側に斜め切削痕。頬張黄色 / 砂粒(～0.5mm)	東金子	9C 前半	1/2以上残存
	2 H58 号住居跡	調理器・环	(12.2)	6.8	4.1	礫織成形。底部右側に斜め切削痕 / 底部 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 注36.6, 111(旧H33号作)	南箕北	9C 前半	1/4以上残存
	3 H58 号住居跡	土器器・甕	(21.0)	—	—	粘土組成土。口縁部横模様で / 色白 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 注36.1(旧H33号作)	—	9C	脚部接合部
	4 H58 号住居跡	土器器・ 台付甕	—	—	—	粘土組成土。内外面削りに赤い赤褐色 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 口縁部に保付着 / 注36.4(旧H33号作)	—	9C	脚部接合部
	5 H58 号住居跡	甕・瓶	外径 2.55	身径 0.69	0.16	直 1.18g 黄褐色 / 大根(通)實 / 小平底 / 注36.1(旧H33号作)	—	1107年初跡	1/2以上残存
	6 H59 号住居跡	調理器・环	(12.2)	6.8	4.1	礫織成形。底部右側斜め切削痕 / 頬張黄色 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 口縁部及び底部の外側の一部に保付着 / 注36.4, 111(旧H36号作)	東金子	9C 前半	1/4以上残存
	7 H59 号住居跡	調理器・环	—	(5.2)	—	礫織成形。底部右側斜め切削痕 / 底色 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 注36.28(旧H34号作)	南箕北	9C 前半	底部
	8 H59 号住居跡	調理器・环	—	(6.0)	—	礫織成形。底部右側斜め切削痕 / 頬張黄色 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 注36.49(旧H36号作)	東金子	9C 前半	底部
	9 H59 号住居跡	調理器・环	—	(5.6)	—	礫織成形。底部右側斜め切削痕 / 赤色 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 注36.49(旧H36号作)	東金子	9C 前半	底部
	10 H59 号住居跡	調理器・甕	—	—	—	粘土組成土。外側削り込み / 赤褐色 / 砂粒(～3mm) 多量含む / 注36.47(旧H36号作)	南箕北	奈良・平安	脚部片
	11 H59 号住居跡	调理器・ 瓶	(10.2)	—	—	礫織成形。底部右側斜め切削痕 / 底色 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 注36.47(旧H36号作)	南箕北	9C	脚部片
	12 H59 号住居跡	土器器・甕	—	—	—	粘土組成土。口縁部横模様で、側面外底模様の方へへたり / 色白 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 注36.30, 40(旧H34号作)	東金子	9C	口縁部片
	13 H59 号住居跡	土器器・甕	—	—	—	粘土組成土。口縁部横模様で、側面外底模様の方へへたり / 色白 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 注36.30, 40(旧H34号作)	—	9C	口縁部片
	14 H59 号住居跡	土器器・甕	—	4.0	—	粘土組成土。内外面削り込みのハラ削り / 色白 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 注36.3(旧H36号作)	—	9C	底部分
37 回	15 H59 号住居跡	土器器・甕	—	5.2	—	粘土組成土。内外面削り込みのハラ削り / 色白 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 注36.3(旧H36号作)	—	9C	底部分
	16 H59 号住居跡	石製品・陶磚	(22.7)	(9.6)	2.0	直 807g 斜面に楕円方向の工具跡(幅 1.4cm) / 注36.3(旧H36号作)	—	中世	—
	17 H59 号住居跡	器器・筒形陶	(7.0)	—	—	礫織成形 / 筒形 / 外面草花文。口縁内面二重縁模 / 注36.4(旧H34号作)	肥前	1810～ 1840年代～	1/4以下残存
	18 H59 号住居跡	ガラス製品・ 石織り	4.4	4.4	1.2	空吹成形 / 緑色半透明 / T字形の空吹文様 / 注36.4(旧H36号作)	—	1910～ 1930年代	完形
	19 潟 1	土器器・甕	—	(4.0)	—	粘土組成土。内外面削り込みのハラ削り / 明赤褐色 / 砂粒(～1mm) 多量含む / 注36.1M1	—	9C～10C	底部分
	20 潟 1	陶器・志野面	(13.0)	—	2.7	礫織成形 / 志野面 / 志野面 / 淡黄褐色 / 注36.1Mベルト	瀬戸・美濃	16C 末～17C 代	1/4以下残存
	21 潟 1	器器・環状陶	(5.7)	—	—	礫織成形 / コロナド受け付 / 注36.1M1	肥前	1870年代～	底部分
	22 潟 2	鍋文土器・鉢	—	—	—	LRL 鍋文を横位に施文 / 鉢土に食物織維含む / 注36.2M2	繩文初期・羽田 綱文系	—	脚部片
	23 潟 2	鍋文土器・鉢	—	—	—	LRL 鍋文を横位に施文 / 鉢土に食物織維含む / 注36.2M2	繩文初期・羽田 綱文系	—	脚部片
	24 潟 2	調理器・甕	—	6.8	—	礫織成形。底部右側斜め切削 / 高台付付 / 内外面削り込みの 保付着 / 底部黄色 / 注36.2M10	不明	9C 後半～10C	底部分
	25 造構外	調理器・甕	(17.0)	—	—	礫織成形。底部右側斜め切削 / 内外面削り込みのハラ削り / 色白 / 砂粒(～5mm) 多量含む / 注36.1D	不明	9C～10C	1/4以下残存
	26 造構外	陶器・土瓶	—	5.8	—	礫織成形 / 陶器 / 既往保付着 / 底色 / 注36.8B	近代	—	底部分
	27 造構外	器器・急須	(6.0)	—	—	礫織成形 / コロナド受け付 / 調理器文 / 注36.4(2)	—	1870年代～	1/2以下残存
	28 造構外	器器・小鉢	(6.6)	(3.0)	4.0	礫織成形 / クロム青磁 / 明赤褐色 / 注36.4(2)	1890年代～	1/2以下残存	—
	29 造構外	器器・小鉢	(7.6)	(3.8)	3.5	礫織成形 / 頸部斜め付け / 緑色 / 注36.1D	1890年代～	1/2以下残存	—
	30 造構外	陶器・皿	—	(8.8)	—	礫織成形。外高台 / 内台内側斜め灰陶輪(黃褐色) / 内面型押し / 外面沈泡 / 淡赤褐色 / 注36.4(3)	瀬戸・美濃	17C 後半～ 18C 前半	底部分
	31 造構外	器器・皿	—	(8.8)	—	礫織成形 / 高台に於て被焼印「〇」有 / 注36.4(1)	肥前	1780～ 1860年代	底部分
	32 造構外	土器・鉢	—	(30.0)	—	礫織成形 / 砂器 / 赤色粘土(～1mm)、金雲母(～0.5mm) 多量 / 注36.1D	近世	—	口縁部片
	33 造構外	土器・焰壺	—	—	—	礫織型日成形。底部縮縫。口縁は内倒するに赤い赤褐色 / 磐石(～0.5mm) 多量 / 外面保付着 / 注36.1D	—	18C 後半	口縁部片

H58号住居跡



H59号住居跡



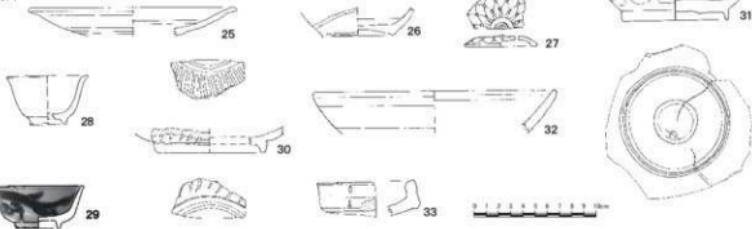
満1



満2



遺構外



第37図 川崎遺跡第29地点 H58・H59号住居跡・満・遺構外出土遺物 (1/1・1/4)

VII 川崎遺跡第30地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年7月4日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い平坦面に立地し、隣接地では古代の住居跡等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年7月17日に行なった。調査区を重機により表土除去後、人力による表面精査を行ったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで40~50cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなつた。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は2008年7月18日から同年9月5日まで行なつた。調査の結果、奈良・平安時代の住居跡4軒、溝5条、井戸3基、土坑、ピットを検出し、写真撮影・全測図作成・平板および遺り方測量による遺構図面作成等記録保存を行なつたうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H60号住居跡（旧H35号住居跡）

【位置】調査区の西側に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。住居跡の西側はブロック塀の下に入り南側も近世土坑で壊される。7.0m北側にH58号住居跡、4.3m南側にH61号住居跡、8.0m東側にH62号住居跡がある。

【形状】主軸方位はN-104°-E、東壁中央に窓を備える。平面形態は長方形を呈する。規模は主軸方位の東西が2.94m、南北2.32m、確認面からの深さ0.26mである。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【窓】燃焼部は壁外に張り出して掘られているが、奥壁から煙道部は搅乱で壊される。右側の袖部に僅かに粘土が残る。袖からの奥行き1.41m、幅0.88m。窓内部の幅0.55m。深さ0.52m。

窓の手前に窓みがある。また、窓右手前の床は薄く粘土が広がり、硬化している。

【周溝】窓の右側の東壁を除き壁際に溝が巡る。幅15~22cm、深さ10cm。

【床・壁】窓手前部分の床面は硬化する。貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は周囲が深くなる。

【出土遺物】窓内とその手前部分から多量に出土した。

須恵器壺・蓋・高台付碗、土師器甕・台付甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から9世紀前半と推定される。
② H61号住居跡（旧H37号住居跡）

【位置】調査区の南側から26地点にかけて位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。住居跡中央をまたぐブロック塀の下は未調査である。2.6m東側にH53号住居跡、3m西側にH54号住居がある。

【形状】主軸方位はN-16°-E、北壁中央やや東寄りに窓を備える。平面形態は方形、規模は主軸方位の南北4.15m、東西4.14m、確認面からの深さ0.21mである。覆土はローム粒を多量に含む黒褐色土。

【窓】燃焼部は壁外に張り出して掘られている。右側の袖部に粘土が残る。左壁の一部が焼けて赤化する。袖からの奥行き0.88m、幅1.40m。窓内部の幅0.95m。深さ0.29m。

燃焼部の中央に支脚が直立状態で出土した。

窓の手前に窓みがある。

【焼土】窓の左手前に100×58cmの楕円形範囲で床面が焼け、赤化している。

【周溝】窓のある北壁と南壁を除き壁際に浅い溝が巡る。幅15~32cm、深さ4cm。

【床・壁】窓手前の床面が硬化する。貼床の土層はローム主体、暗褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は、北西部や窓手前に深い掘りこみがある。

【出土遺物】窓内とその手前に集中する。須恵器壺・高台付碗・甕、土師器甕・台付甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から9世紀代と推定される。

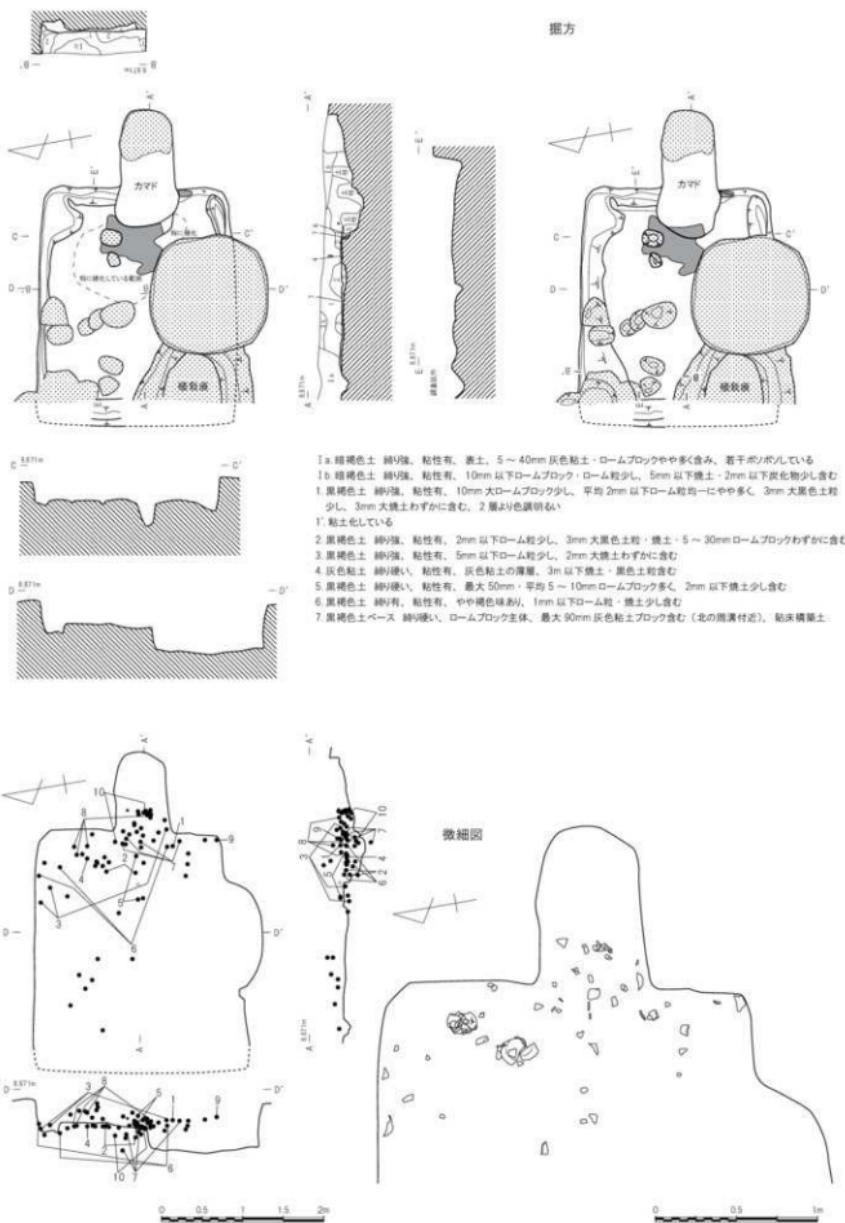
③ H62号住居跡（旧H38号住居跡）

【位置】調査区の東側に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。溝3や井戸2によって壊されている。また、住居跡の東側は調査区域外で範囲の確認はできなかつた。8.0m西側にH60号住居跡、3.5m南側にH53号住居跡がある。

【形状】西壁の方位はN-5°-Eである。平面形態は方形か長方形を呈する。規模は南北3.75m、東西1.05m以上、確認面からの深さ0.17mである。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【周溝】北壁から西壁、南壁にかけて壁際に溝が巡る。幅18~25cm、深さ10cm。

【床・壁】床面の残りは搅乱のため良くない。貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は、凹凸がある。



【出土遺物】遺物の出土は少ない。須恵器壺、土師器甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から9世紀前半と推定される。

④井戸

いずれの井戸も完掘していない。井戸2は溝3・4より古い。井戸3の埋土を観察すると、東側からの流れ込みが多く、西側に疊・砂が集中して堆積している。

⑤土坑

土坑1は調査区北東隅にある。周溝らしき窪みが廻るため、住居跡の可能性もある。

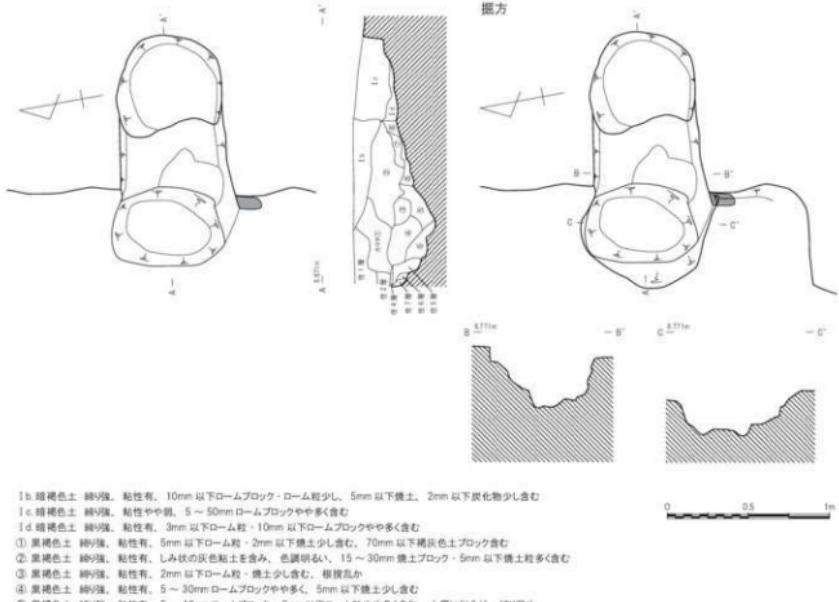
土坑2は縄文時代の土坑。壁は垂直で、足掛け穴らしき横穴もある。貯蔵穴の可能性がある。

土坑3は南壁の土層中で確認した。平面形は不明である。

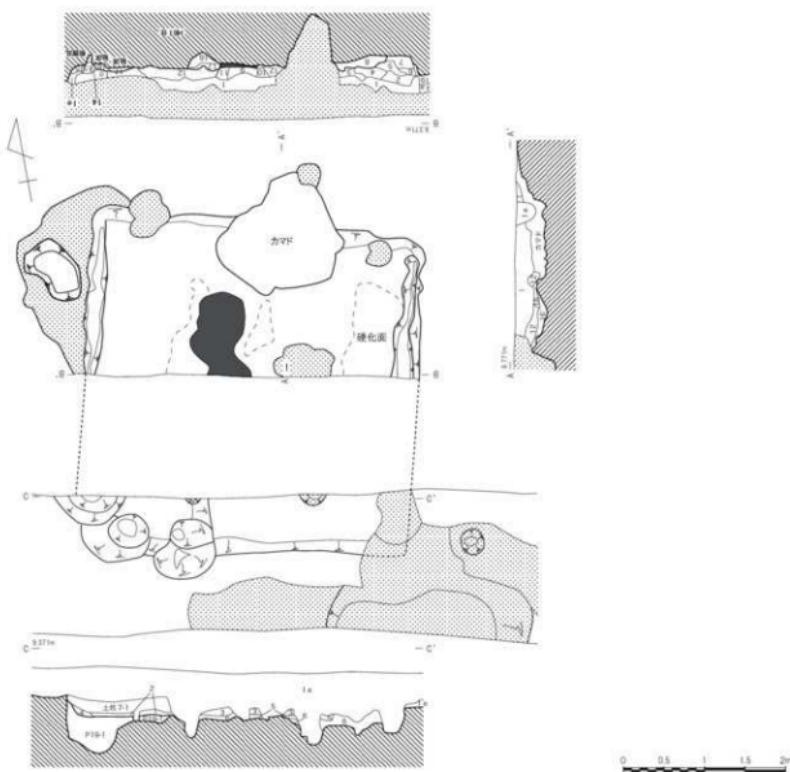
土坑4は掲乱の下から検出した。26地点の土坑4、6とあわせて掘立柱跡の可能性もある。

⑥溝

溝1、4、5は南北方向、溝3は東西方向に配置する。溝3は井戸2より新しく、井戸3から東へ向かう。溝4は溝3と井戸2より新しく、井戸2から南へ向かう。



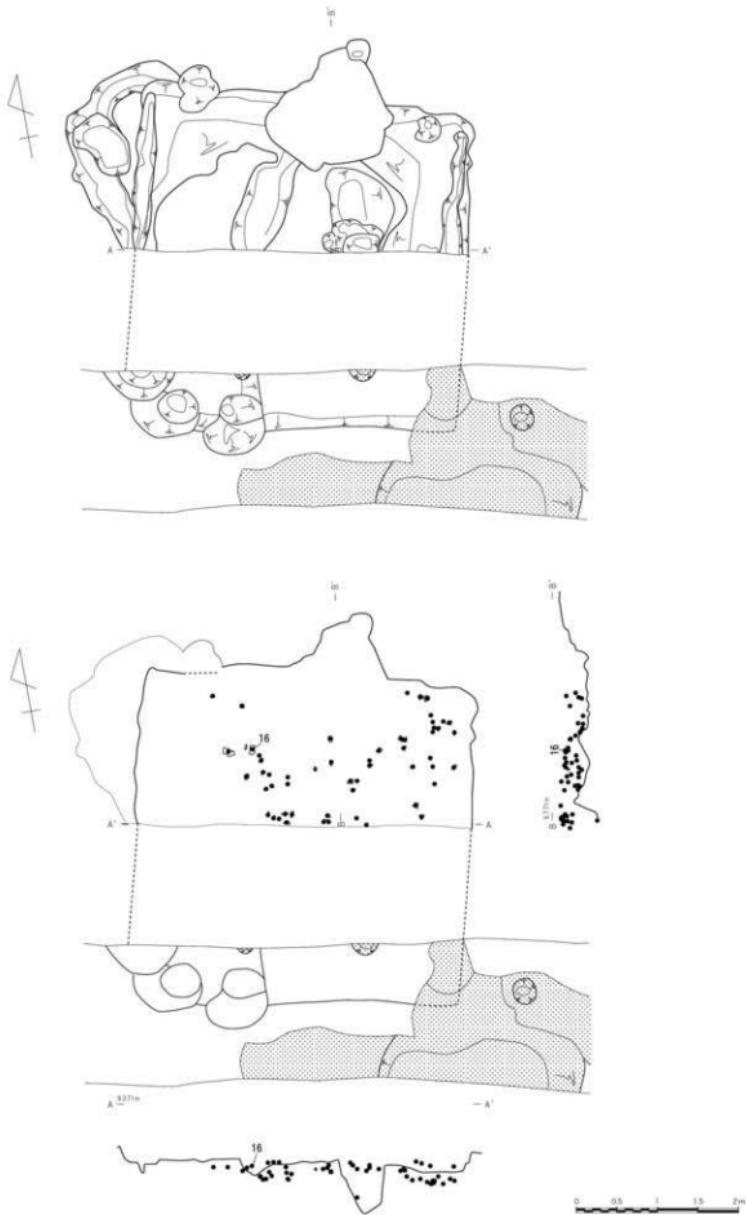
第39図 川崎遺跡第30地点H60号住居跡竪（1/30）



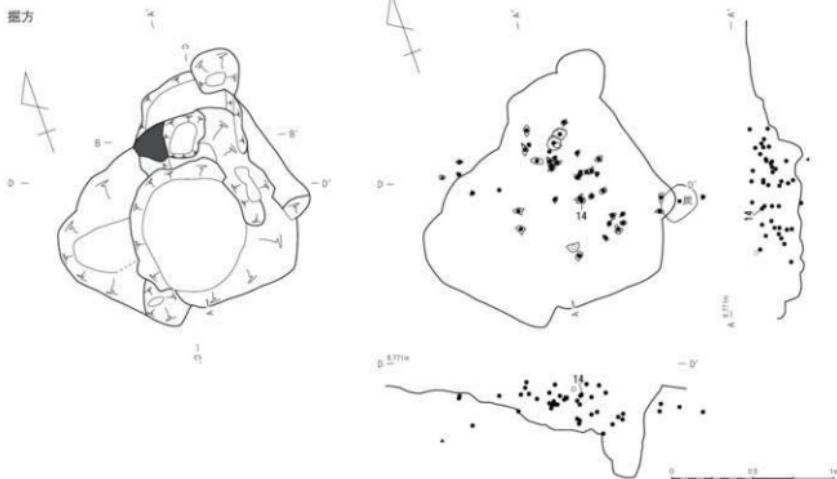
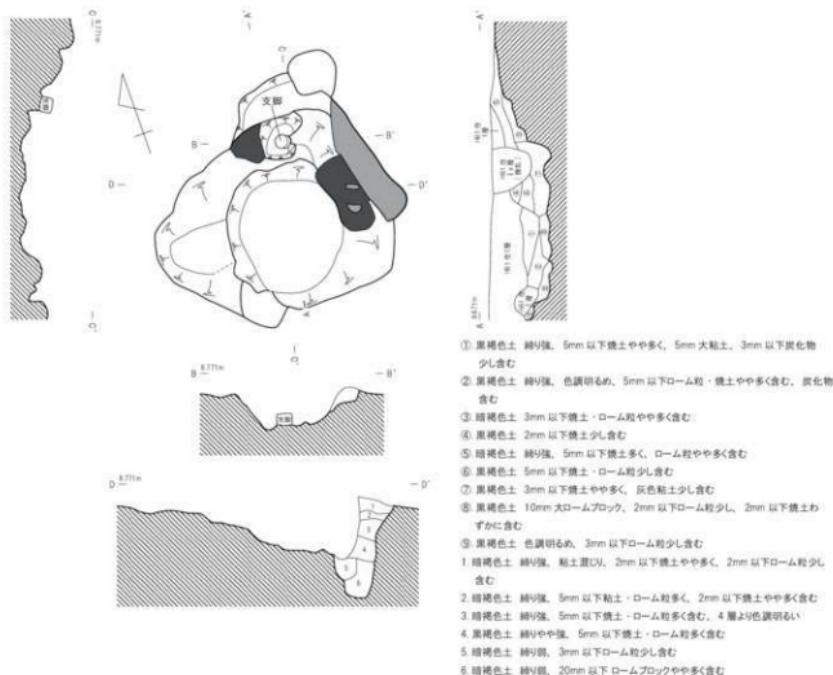
- A-A', B-B'
- 1 畳より厚り頭、ピット状の復原。焼土ブロックやカマド3・5層と同様な5mm以下焼土粒多く含む。燒土を2枚1層土ブロック含む
 - 2 黒褐色土 西側の地山（新移築土）と同じ土をブロック状に含む。北の複瓦の覆土
 - 3 ベースはH61住1層土、焼土後、5~10mm炭化物含む。北の複瓦の覆土
 - 4 黑褐色土、灰褐色有り複数のブロックが多く、2mm以下ローム粒少し含む
 - 5 黑褐色土、紺り有、粘性有、2mm以下ローム粒、燒土や多く、5~10mm炭化物少し含む
2~12層より色調暗い。紺り強い
 - 6 黑褐色土、1層より厚り頭、Pit状の復原。焼土ブロックやカマド3・5層と同様な5mm以下焼土粒多く含む
 - 7 黑褐色土、紺り有、粘性有、1層より色調暗い。3mm以下ローム粒・5mm以下焼土や多く含む
(20mm大ロームブロックわずか)
 - 8 黑褐色土、紺り有、粘性有、色調は2層に似るがローム粒少ない。5mm以下焼土少し含む
 - 9 黑褐色土、紺り有、粘性有、2層より黒色味強い。5mm以下焼土や多く含む
 - 10 黑褐色土、紺り有、粘性有、焼土は硬化している。5~10mmロームブロックや多く、底平ら灰色粘土ブロック含む。接合部で再構築した粘床の土
 - 11 黑褐色土、紺り有、粘性有、3mm以下ローム粒、焼土少し含む
 - 12 黑褐色土、紺り有、粘性有、10mm大ロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む
 - 13 黑褐色土、紺り有、粘性有、土壁は硬化している。5~10mmロームブロックや多く、大粒土ブロック2~10mm 烧土少し含む
 - 14 黑褐色土、紺り有、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く含む。周溝覆土
 - 15 黑褐色土、紺り有、粘性有、灰褐色あり、2mm以下ローム粒少し含む
 - 16 黑褐色土、紺り有、粘性有、硬化している。ローム粒の黒褐色土で色調明るい。20mm以下ロームブロック含むが、粒形不明瞭。底床の土
 - 17 黑褐色土ベース 紺り有、粘性有、硬化している。最大60mmロームブロック多く含む。ベースの黒褐色土中に3mm以下ローム粒少し含む
 - 18 黑褐色土ベース 紺り有、粘性有、硬化している。ローム粒多く含む黒褐色土・黒褐色土・ロームブロックが混じて現状を呈する
 - 19 黑褐色土ベース 紺り有、粘性有、硬化している。ローム土主体。黄褐色味あり、ロームブロック多く含む
 - 20 黑褐色土、紺り有、粘性有、2mm以下ローム粒多く、1mm以下炭化物少し含む
- C-C'
- 1 黑褐色土、紺り有、粘性有、5~10mmロームブロックやや多く、3mm以下ローム粒少し。燒土わずかに含む。表土
 - 1 黑褐色土、紺り有、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、3mm以下焼土少し含む
 - 2 灰褐色土、紺り強化。粘性有、2mm以下ローム粒多く、2mm以下焼土やや多く含む。3mm以下炭化物少し含む
 - 3 灰褐色土、紺り強化。粘性有、2mm以下焼土多く。3mm以下ローム粒やや多く含む
 - 4 灰褐色土、紺り強。粘性有、3mm以下ローム粒やや多く含む
 - 5 灰褐色土、紺り強。粘性有、色調明るい。ローム土、5mm以下ローム粒多く含む
 - 6 黑褐色土、紺り強。粘性有、10mm以下ロームブロック・粒を多く含む。2mm以下焼土少し含む。若干ボロボロしている
- D-D'
- 1 黑褐色土、紺り強。粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、2mm以下焼土わずかに含む。周溝覆土。ただし接合部で焼土の

第40図 川崎遺跡第30地点 H61号住居跡 (1/60)

掘方



第41図 川崎遺跡第30地点 H61号住居跡掘方・遺物出土状況図 (1/60)

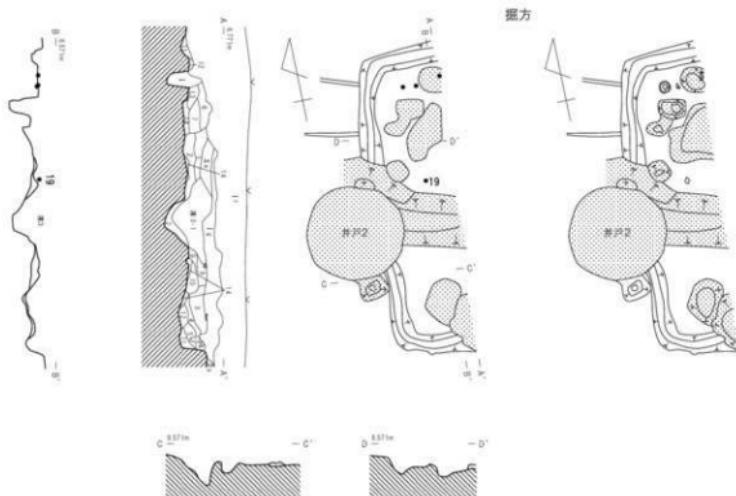


第42図 川崎遺跡第30地点 H61号住居跡竈 (1/30)

第18表 川崎遺跡第30地点遺構一覧表 (単位cm)

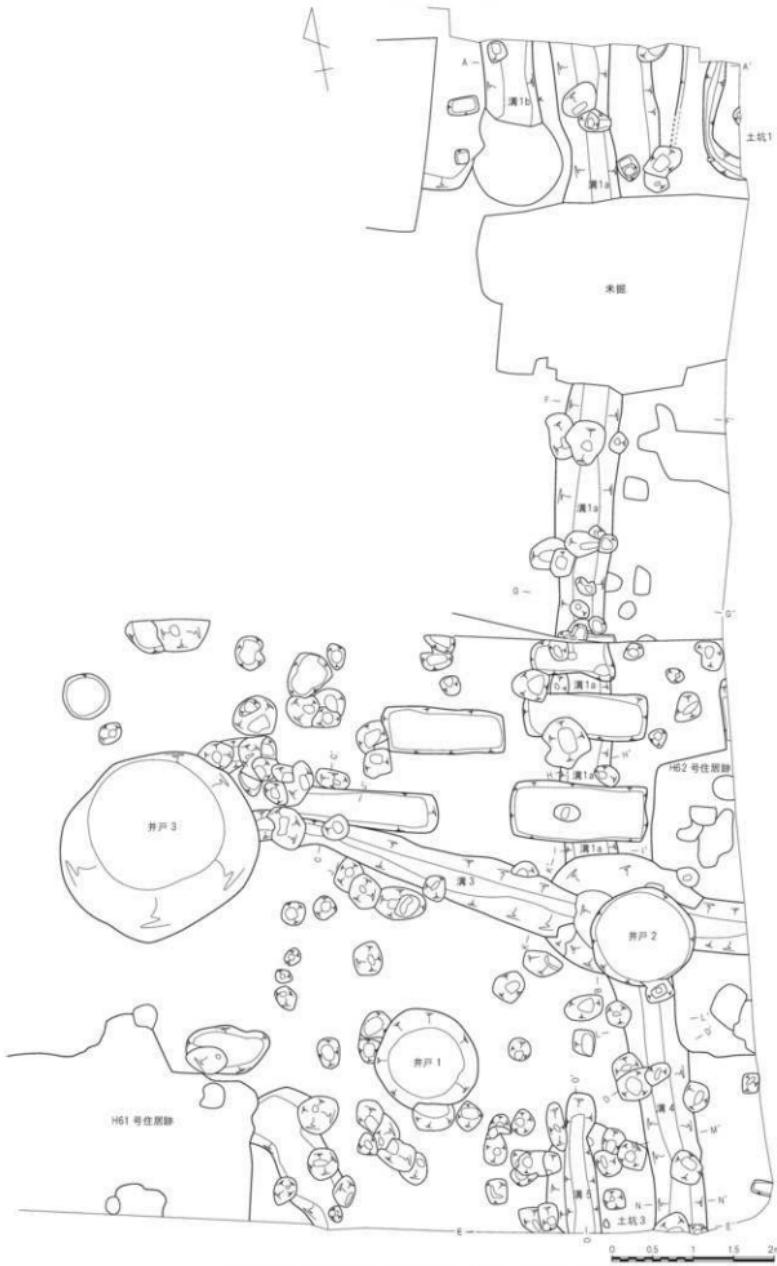
No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
井戸1	円形	128 × 120	88 × 87	(90)	未完盤
井戸2	円形	124 × 122	107 × 114	(110)	未完盤。溝34.3cmL H38住より新
井戸3	円形	218 × 245	157 × 164	(90)	ロームの流れ込み有
土坑1	(楕円形)	(142) × (43)	(135) × (40)	26	未完盤。東側から 圓溝有
土坑2	圓丸方形	131 × 117	76 × 70	122	壁に横穴有。圓文 時代
土坑3		130 × -	120 × -	28	清壁の土炒付に焼出
土坑4	椭円形	18 × 53	56 × 31	63	圓乱下より焼出

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
溝3	南北6m以上	55 ~ 65	13 ~ 25	20 ~ 36	東側低い。溝4上 り付。井戸2、溝1、 H38住より新
溝4	南北3.2m以 上の直線。断 面緩やかな 「V」字形	60 ~	24 ~	13 ~ 22	井戸2、 溝3より新
溝5	南北5.2m以 上の直線。断 面「U」字形	53 ~	20 ~	40	H29号住居跡より 新



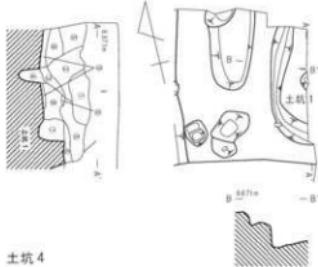
- 1 黒褐色土 細り有。粘性有。比重を多く含み、色調明るい
 2 緑褐色土 細り有。粘性有。灰白色あり。2mm以下礁土粒多く含む。炭化物わずかに含む
 3 黒褐色土 細り有。粘性有。2mm以下ローム粒・礁土少しがち
 4 黒褐色土 細り有。粘性有。3mm以下ローム粒・礁土やや多く含む
 5 黒褐色土 細り有。粘性有。5mm以下ローム粒や多く。礁土多く含む
 6 黒褐色土 細り有。粘性有。2mm以下ローム粒や多く。礁土少し含む。下層(7)より灰色味強
 7 黒褐色土 細り有。粘性有。2mm以下ローム粒や多く。礁土少し含む。6層よりローム粒程小
 8 黒褐色土 細り有。粘性有。2mm以下ローム粒多く含む。下層(9)より灰色味あり
 9 黒褐色土 細り有。粘性有。2mm以下ローム粒や多く含む。炭化物わずかに含む。若干灰色味あり
 10 黒褐色土 細り有。粘性有。2mm以下ローム粒や多く含む。粒径小さめ。炭化物わずかに含む
 11 黒褐色土 細り有。粘性有。3~5mmローム粒や多く含む。(固瀬の層土)
 12 黒褐色土ベース 細り有。粘性有。5~30mmロームブロックや灰く。2mm以下ローム粒多く含む。(鉄床の土)
 13 黒褐色土ベース 細り有。粘性有。灰色粘土・礁土多く含み赤灰色味強め。礁土
 14 黒褐色土ベース 細り有。粘性有。硬化している。20mm以下ロームブロック多く含む。ベースの土は灰色粘土じみの黒褐色土(鉄床の土)
 15 黒褐色土 細り有。粘性有。5~20mmロームブロック。3mm以下ローム粒や多く含む
 16 緑褐色土 細り有。粘性有。灰色味あり。10mm以下ロームブロック・粒・粘土ブロック少し含む
 17 黒褐色土 細り有。粘性有。灰色味あり。3mm以下ローム粒少しがち。粘土・礁土わずかに含む
 18 黒褐色土 細り有。粘性有。灰色味ある硬いブロック多く。2mm以下ローム粒少しがち

第43図 川崎遺跡第30地点 H62号住居跡・掘方 (1/60)

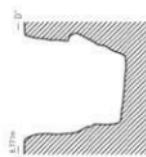
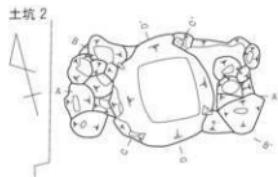


第44図 川崎遺跡第30地点溝・土坑・ピット (1/60)

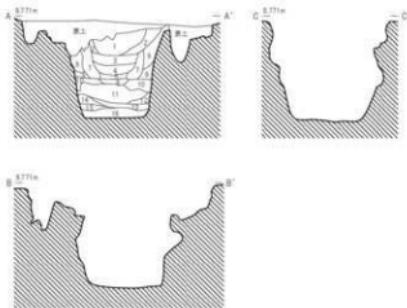
土坑 1



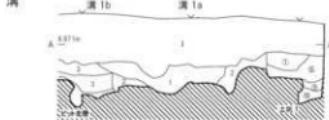
土坑 2



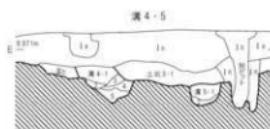
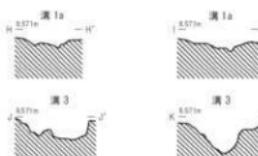
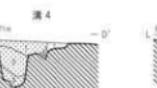
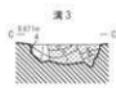
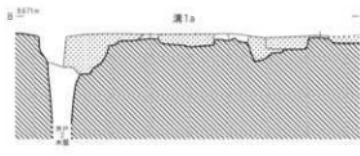
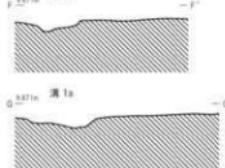
土坑 4



溝



溝 1a



第45図 川崎遺跡第30地点土坑 (1/60)

土坑 1

- ① 黒褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒少し含む
- ② 黒褐色土 細り強、粘性有。5mm 以下ローム粒やや多く、10 ~ 30mm ロームブロック、80mm 大粒少し含む
- ③ 黒褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒少し、40mm 厚ローム主体層を中程に挟む
- ④ 黒褐色土 細り強、粘性有。10mm ロームブロック、2mm 以下ローム粒少し。(ヨリシ) ソフトロームブロック含む
- ⑤ 黒褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒を均一にやや多く、5mm 大ロームブロック少し含む
- ⑥ 暗褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒をやや多く、黒色土粒少し含む
- ⑦ 暗褐色土ベース 細り強、粘性有。最大 100mm、10 ~ 30mm ロームブロック多く含む。黒褐色土少し含む
- ⑧ 暗褐色土ベース 細り強、粘性有。60mm 以ロームブロック主体、ベースの土は黄褐色みがある
- ⑨ 暗褐色土 細り強、粘性有。黒褐色土混じりで色調暗め、2mm 以下ローム粒少し。(ムラがある)、5 ~ 10mm 以下黒色土少し、下部に 10 ~ 20mm ロームブロックや多く含む

土坑 2

- 1 黒褐色土 細り強、粘性有。縄文時代の土質、2mm 以下ローム粒少し。其化物わずかに含む
- 2 暗褐色土 細り強、粘性有。3mm 以下ローム粒やや多く、其化物少し含む
- 3 暗褐色土 細り強、粘性有。上層より 3mm 以下ローム粒多く、5 ~ 10mm ロームブロック少し含む
- 4 黒褐色土 細り強、粘性有。5mm 以下ローム粒やや多く含む
- 5 暗褐色土ベース 細り強、粘性有。5 ~ 10mm ロームブロック主体
- 6 黑褐色土 細り強、粘性有。ローム土、3mm 以下ローム粒多く含み、色調明るい
- 7 暗褐色土 細り強、粘性有。3mm 以下ローム粒多く含む
- 8 暗褐色土 細り強、粘性有。ローム土ベース、3mm 以下ローム粒多く含む
- 9 黄褐色土 細り強、粘性有。ローム土ベース、20mm 以下ロームブロック主体。縄はよい
- 10 黑褐色土 細り強、粘性有。包含物少ない、15mm 以下ロームブロック少し含む
- 11 黑褐色土 細り強、粘性有。ローム土主体、非常に弱い、5mm 以下黒褐色土粒やや多く含む
- 12 暗褐色土ベース 細り強、粘性有。40mm 以下ロームブロック主体
- 13 黑褐色土 細り強、粘性有。5mm 以下ローム粒含む
- 14 黄褐色土 細り強、粘性有。ローム土ベース、15mm 以下ロームブロック多く含む
- 15 黑褐色土 細り強、粘性有。しみ状のローム土やや多く含む
- 16 暗褐色土 細り強、粘性有。ローム分多く含み。色調明るい、下部は黒色み強い

土坑 4

- 1 黒褐色土 細り強、粘性有。3mm 以下ローム粒やや多く含む
- 2 暗褐色土 細り有。粘性有。最大 70mm、平均 5 ~ 10mm ロームブロック、5mm 以下ローム粒やや多く含む
- 3 暗褐色土 細り強、粘性有。5 ~ 25mm ロームブロックやや多く、3mm 以下ローム粒少し含む。全体にローム分含み、色調暗め
- 4 暗褐色土 細り有。粘性有。10 ~ 30mm ロームブロックを部分的に集中して含む。5mm 以下ローム粒少し含む

ピット

- 1 暗褐色土 細り強。5 ~ 10mm ロームブロックやや多く含む
- 2 暗褐色土 細り強。5 ~ 10mm ロームブロック少し含む。1 層より色調暗く、縄河弱め
- 3 暗褐色土 細り強。粘性有。5 ~ 20mm ロームブロック多く含む。2 層より色調明るい

第 4

- 1 黒褐色土 平均 1mm 以下ローム粒やや多く、3 ~ 10mm ロームブロック少し含む

第 4-1b

- 1 暗褐色土 細り有。粘性有。5 ~ 10mm ロームブロック・粒均一に少し含む。色調暗め
- 2 暗褐色土ベース 細り有。粘性有やや弱、第 4-1a に認められる。ピットもしくは土状の埋り込み覆土、最大 80mm ロームブロック、5mm 以下ローム粒多く、ソフトローム土多く含む
- 3 暗褐色土ベース 細り強、粘性有。色調暗め、5mm 以下ローム粒少し含む
- 4 黑褐色土 細り強、粘性有。5 ~ 10mm ロームブロック、2mm 以下ローム粒少し含む

第 4-5

- 1a ローム土主体、30 ~ 60mm 僅含む、建物基礎
- 1b 黒褐色土 細り有。粘性有。5 ~ 10mm ロームブロック多く含む
- 1c 底色土多し含む
- 1d 黑褐色土 細り強、粘性有。5 ~ 10mm ロームブロックやや多く、3mm 以下焼土少し含む
- 2d 暗褐色土 細り強、粘性有。3mm 以下ローム粒少し含む。縄文時代の土

第 4

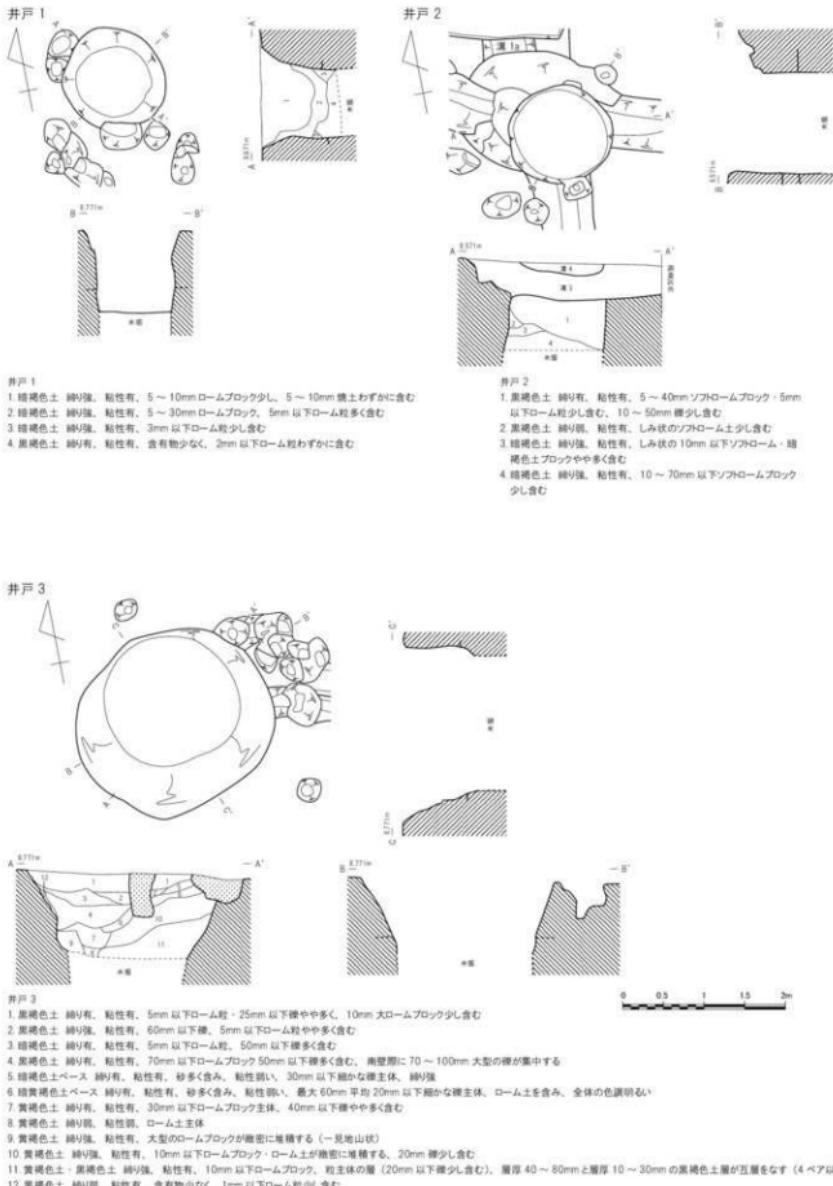
- 1 黒褐色土 5 ~ 10mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒少し含む
- 2 黑褐色土 5mm 以下ローム粒やや多く含む。1 層より色調重み強い
- 3 暗褐色土 10 ~ 20mm ロームブロック多く含む
- 4 黑褐色土 最大 50mm 平均 10mm 以下ロームブロック少し含む
- 5 黑褐色土ベース 細り強、60mm 以下ロームブロック主体

第 5

- 1 黒褐色土 2mm 以下ローム粒少し、燒土わずかに含む。(土坑 3 に比べ色調重み強い)
- 2 黑褐色土 5 ~ 20mm ロームブロック少し含む。1 層より色調暗い

土坑 3

- 1 黑褐色土 5mm 以下ローム粒やや多く、3mm 以下燒土少し含む

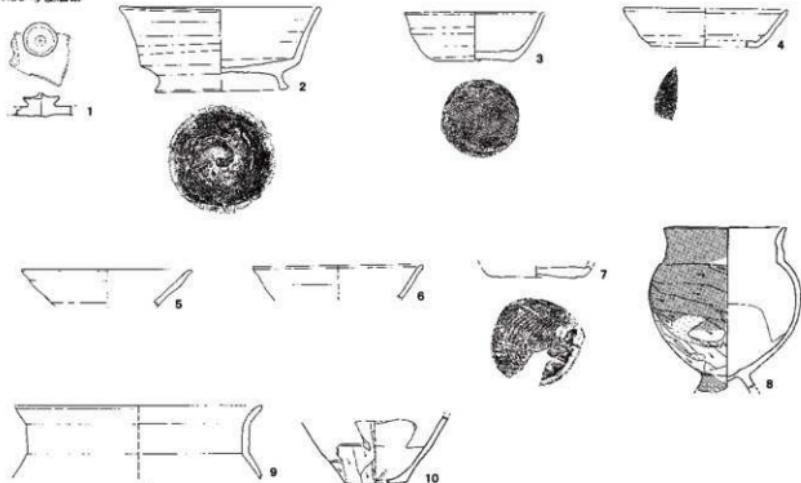


第46図 川崎遺跡第30地点井戸 (1/60)

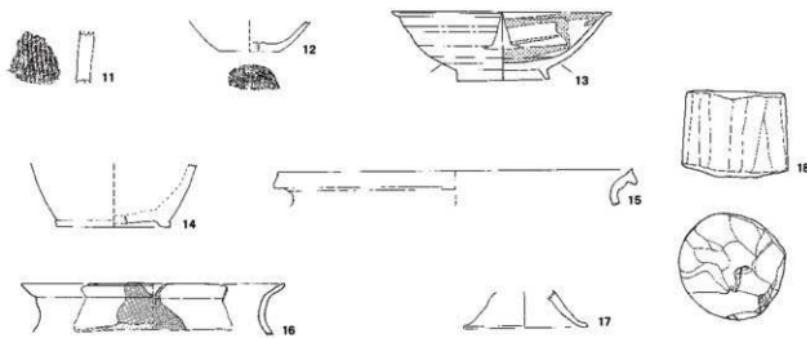
第19表 川崎遺跡第30地点出土遺物觀察表 (単位cm)

回収 番号	測量 番号	遺物名	種別・部機	口径・ 長	底径・ 幅	高さ・ 厚	経法・文様・その他	石材・鑄定生 産地	推定年代・時期	残存・備考
1	H60号住居跡	須恵器・壺	—	つぶら 径30	—	—	縦縫成形。天井部折切、側面削り出し、つまみ輪付き/灰色/砂粒(～1mm) 少量含む。表面削多量含む/注33.1(旧H35号付)	両比企	BC後半	つまみ部分
2	H60号住居跡	須恵器・壺	16.8	11.0	7.0	—	縦縫成形。底面削多量含む/注33.1(旧H35号付)	両比企	BC後半～9C前半	3/4以上残存
3	H60号住居跡	須恵器・壺	11.5	6.6	4.0	—	縦縫成形。底面削多量含む/注9.10、25(旧H35号付)	両比企	9C前半～中葉	完形
4	H60号住居跡	須恵器・壺	(13.5)	(8.6)	3.1	—	縦縫成形。底面削後未調整/にふ・黄色/砂粒(～5mm)少量含む/注 4.48.6(旧H35号付)	—	9C	1/4以下残存
5	H60号住居跡	須恵器・壺	(14.0)	—	—	—	縦縫成形/底面削色/砂粒(～5mm)少量、表面削多量含む/注36.15; 29、B区(旧H35号付)	両比企	9C	口縁部
6	H60号住居跡	須恵器・壺	(14.0)	—	—	—	縦縫成形。底面削/砂粒(～3mm)少量、表面削多量含む/注36.11; 12、24、C区(旧H35号付)	両比企	9C	口縁部
7	H60号住居跡	須恵器・壺	—	7.6	—	—	縦縫成形。右側面切削未調整/底面削/砂粒(～1mm)少量含む/注36. 22、31、60、65、カド一割(旧H35号付)	両比企	9C	底部
8	H60号住居跡	土器器・ 台付器	10.2	—	—	—	粘土細粒。側面模様で、側面部面削約10%の割合。側面部面削方向の 側でにふ・白色/砂粒(～1mm)多量/注36.51、55、56	—	9C	口縁部～脚部の 3/4以上残存
9	H60号住居跡	土器器・壺	(22.0)	—	—	—	粘土細粒。側面模様で、側面部面削方向のへり側。側面部面削方向の 腰でにふ・白色/砂粒(～1mm)多量、難輪含む/注36.1(旧H35号付)	—	9C	口縁部
10	H60号住居跡	土器器・壺	(5.0)	—	—	—	粘土細粒。外側面方角へり削り、内側面方角の側でにふ・白色/砂 粒(～1mm)多量、外側保付唇/注36.42、63(旧H35号付)	—	9C	底部
11	H61号住居跡	陶土器・ 鉢	—	—	—	—	—	—	—	平安早朝
12	H61号住居跡	須恵器・壺	(5.0)	—	—	—	縦縫成形。右側面切削未調整/底面削色/砂粒(～3mm)少量含む/ 注36.8(旧H35号付)	両比企	9C	底部
13	H61号住居跡	陶器・灰塙	(17.8)	7.5	5.7	—	縦縫成形。右側面削多量/底面削/砂粒(～3mm)少量含む/ 2段階削り直し、かご輪(少少)/底面削/砂粒(～3mm)多量含む/注36.60.3; B区カド(旧H37号付)	9C	中葉～	1/2以下残存/ 930式
14	H61号住居跡	須恵器・壺	—	7.5	5.7	—	縦縫成形/底面削色/砂粒(～3mm)多量含む/注36.カドマフ3.11、B区カ ラソン(旧H37号付)	—	8C～9C	1/2以下残存
15	H61号住居跡	須恵器・壺	(29.0)	—	—	—	縦縫成形。口縁部削り直される/底面削色/砂粒(～1mm)少量含む/注36. H5.1(旧H37号付)	両比企	8C～9C	口縁部
16	H61号住居跡	土器器・壺	(21.5)	—	—	—	粘土細粒。口縁部模様で/褐色/砂粒(～1mm)多量、難輪含む/注36.H1(B) H37号付	—	9C	口縁部
17	H61号住居跡	土器器・ 台付器	—	(10.1)	—	—	粘土細粒。内面模様で/底面削色/砂粒(～1mm)多量含む/注36.H3 (旧H37号付)	—	9C	脚部
18	H61号住居跡	土器器・ 支脚	—	(8.6)	—	—	侧面窓方向のへり削り、底部へり削り/褐色/注36.カド3(旧H37号付)	—	痕跡・平安	上部・脚
19	H62号住居跡	須恵器・壺	12.3	6.3	3.8	—	縦縫成形。右側面切削未調整/底面削色/砂粒(～5mm)多量含む/見込 に「用」の墨書き、注36.3(旧H38号付)	両比企	9C前半	完形
20	土坑1	須恵器・壺	(12.1)	—	—	—	縦縫成形/底面削色/砂粒(～3mm)少量、表面削多量含む/注36.11	両比企	9C	口縁部
21	土坑1	土器器・ 台付器	—	—	—	—	粘土細粒。内面模様で/にふ・白色/砂粒(～1mm)少量、外側保付 唇/注36.5	—	9C	脚部
22	土坑1	土器器・壺	(29.0)	—	—	—	粘土細粒。口縁部模様で。側面部面削方向のへり削り。側面部面削 の側でにふ・白色/砂粒(～1mm)多量、難輪含む/注36.9.10	—	9C	口縁部
23	土坑1	須恵器・壺	(31.2)	—	—	—	縦縫成形。口縁部削り直される/底面削色/砂粒(～3mm)少量含む/注36. 1.2、H9	両比企	8C～9C	口縁部
24	土坑3	陶器・ 鉢始組	(11.8)	(7.2)	2.7	—	縦縫成形。底面削未調整、側面貼り付けで調整。見込みに重ね痕有り。 口縁は外端に痕跡が立ち上がり/口縁に貼り付け、見込みに重ね痕 色/内側保付唇。ターゲット有り/注36.7(旧H38号付)	瀬戸・美濃	17C後半～18C 前半	1/4以下残存
25	土坑3	陶器・ 吉野組	(12.0)	(7.0)	2.1	—	縦縫成形。底面削未調整、側面貼り付けで調整。見込みに重ね痕有り。 口縁は外端に痕跡が立ち上がり/口縁に貼り付け、見込みに重ね痕 色/底面削/注36.3D	瀬戸・美濃	17C後半	1/2以下残存
26	土坑3	陶器・ 天目系碗	—	(4.4)	—	—	縦縫成形。底面削未調整、高台削り出し/高台を除き、黒輪/黑色/注 36.3D	—	17C	底部
27	清1	土器器・ 台付器	—	(11.2)	—	—	粘土細粒。内面模様で/にふ・白色/砂粒(～1mm)多量、難輪含む/注36. 3M	—	9C	脚部
28	清3	須恵器・壺	—	(7.0)	—	—	縦縫成形。右側面切削未調整/にふ・褐色/砂粒(～1mm)少量含む/ 注36.3M8.1C	両比企	8C後半～9C前半	底部
29	清3	磁器・丸皿	—	(3.6)	—	—	縦縫成形。表面丸く削り、見込みに二重崩縫と五枚花?/注36.3M	肥前	1690～1780年代	底部
30	清5	須恵器・壺	(50.0)	—	—	—	縦縫成形。底面削未調整、高台削り出し/高台を除き、黒輪/黑色/注 36.3M	両比企	8C～9C	口縁部
31	道横6	陶器・ 瓦反覆	(8.4)	—	—	—	縦縫成形/底面削/瓦反覆/底面削色/砂粒(～5mm)多量含む/注36.5MB区	京都・信楽	1780～1860年代	1/2以下残存
32	道横6	陶器・ 輪型器	(11.5)	(4.2)	4.4	—	縦縫成形。底面削未調整、高台削り出し。口縫は外筋する/口縫外側か ら内面に重ね輪。(梅香はされない)浅褐色/注36.H3	瀬戸・美濃	17C後半	1/4以下残存
33	道横6	陶器・ 天目系碗	—	(4.3)	—	—	縦縫成形。底面削未調整、高台削り出し/高台を除き、黒輪/黑色/注 36.H3	—	17C	底部
34	道横6	陶器・ 鏡	—	(4.0)	—	—	縦縫成形/八寸(ゆうじゆん)「くらわんか手」。鏡付は無地/注36.H1	肥前	1690～1800年代	底部
35	道横6	道横6	(3.0)	—	—	—	縦縫成形/高台引き抜き/浅褐色/注36.H10	京都・信楽	1780～1860年代	底部
36	道横6	埴輪・ 須恵器	—	—	—	—	粘土細粒。口縫付唇。底面に瓦付。(二重丸か四重丸)褐色/ 36.H12	常滑	中葉	脚部
37	道横6	陶器・ 片口	—	—	—	—	粘土細粒。側面模様。方口部分削り付、口縫に貼付/底部近付を剥き、 外側面削/明治褐色/注36.H3	瀬戸・美濃	18C後半～ 19C前半	1/4以下残存
38	道横6	石器・ チカラ	2.40	1.32	1.02	—	重量 2.5kg/注36.H8	加賀石	昭和	昭和
39	道横6	石器・ 片口	9.0	5.30	2.25	—	重量 11.6kg/兩輪打付法/注36.H5	ホルンフェルス	昭文時代	完形
40	道横6	瓦	7.9	3.0	1.2	—	瓦平手を輪。瓦の表面を残し、残り3面を紙にて利用/注36.H5	—	中葉～	完形
41	道横6	西瓦・ 御器	9.58	2.50	0.74	0.17	重量 3.73kg/踏造/注36.H5	—	中葉～	完形
42	道横6	石器品・ 輪	10.8	7.3	2.9	—	重量 368.57g/注36.H3	解説書	中根	1/4以下残存

H60号住居跡



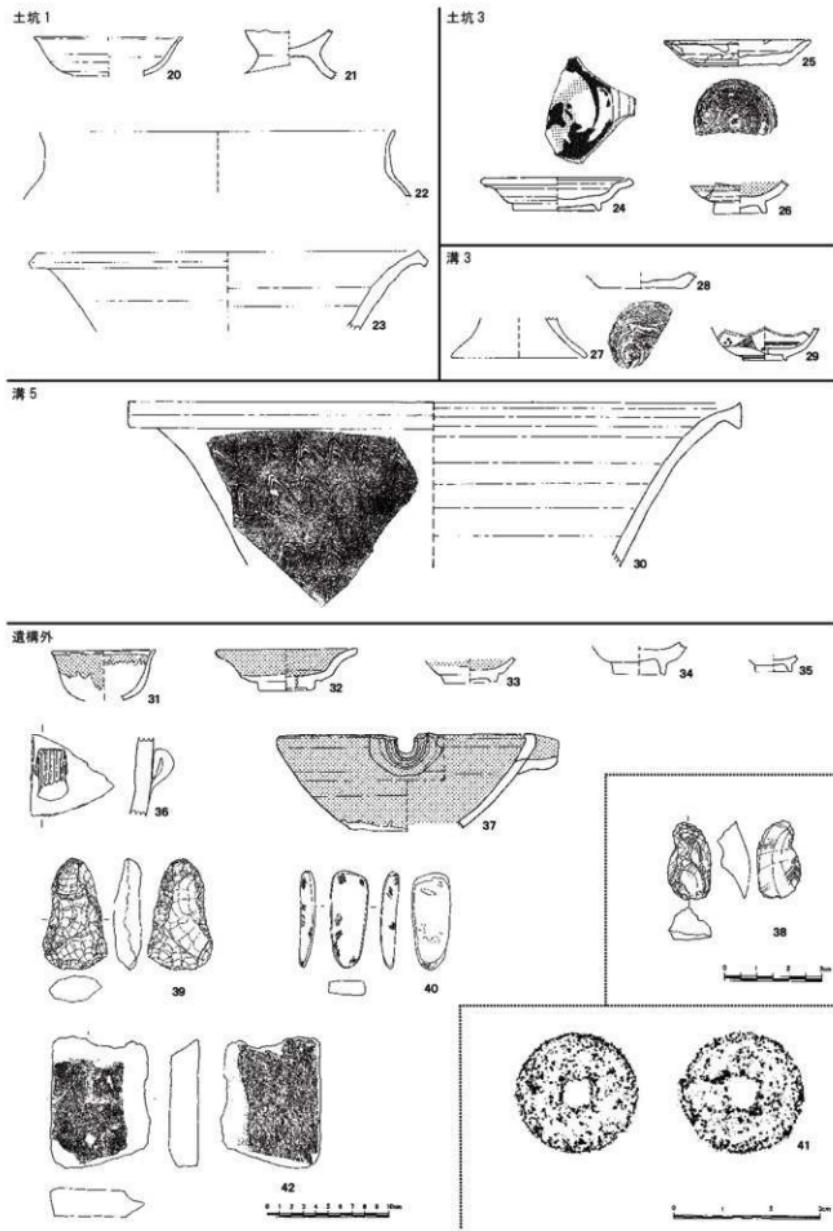
H61号住居跡



H62号住居跡



第47図 川崎遺跡第30地点 H60・H61・H62号住居跡出土遺物 (1/4)



第48図 川崎遺跡第30地点土坑・溝・遺構外出土遺物 (1/4・2/3・1/1)

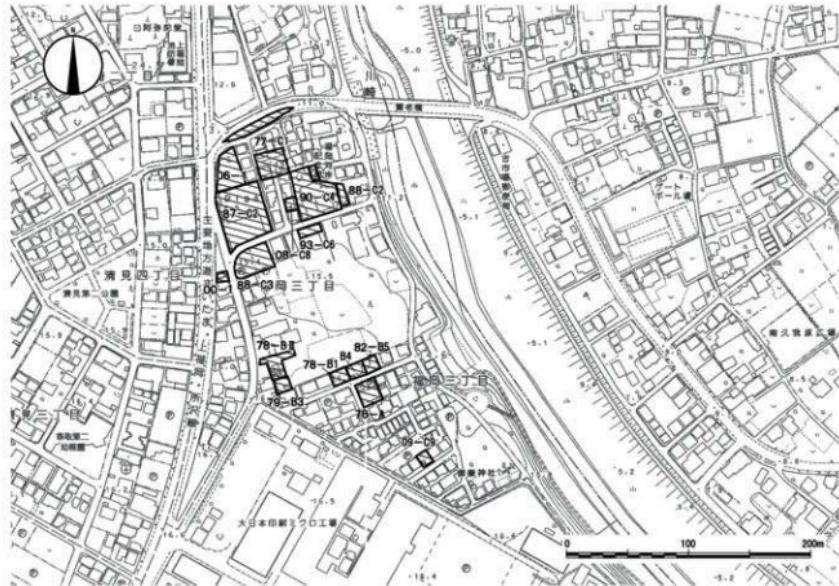
第3章 ハケ遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武藏野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武藏野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北は落差 2 m 程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が北から入る。標高は 14 ~ 16 m を測る。遺跡の範囲は南北 360 m、東西 160 m 以上ある。宅地開発される遺跡中央に畠が残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晚期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976 年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、以来 13ヶ所で調査が行なわれている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構（旧福田屋跡）である。なお、本遺跡は便宜上東西に走る道路によって 3 区分され、南側から A 区、B 区、C 区と呼称されている。



第49図 ハケ遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

II ハケ遺跡 C 区第 8 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅の建替えに伴うもので、原因者より 2009 年 1 月 22 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡北端の台地上に立地し、南側と東側の隣接地で住居跡を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2009 年 3 月 17 日に行なった。幅約 1 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった。調査の結果、調査区全面でコンクリート片等の建築資材やローム土で盛土されていたが、さらに地山を確認するため掘り進めた結果、住居跡らしき遺構覆土を検出したので、一部掘り下げたところ、縄文時代中期の遺構跡 1、奈良・平安時代の溝等を確認した。70 ~ 150 cm 厚の盛土があり、建築による遺構への影響がないため工事立会いとし、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

第 20 表 ハケ遺跡調査一覧表

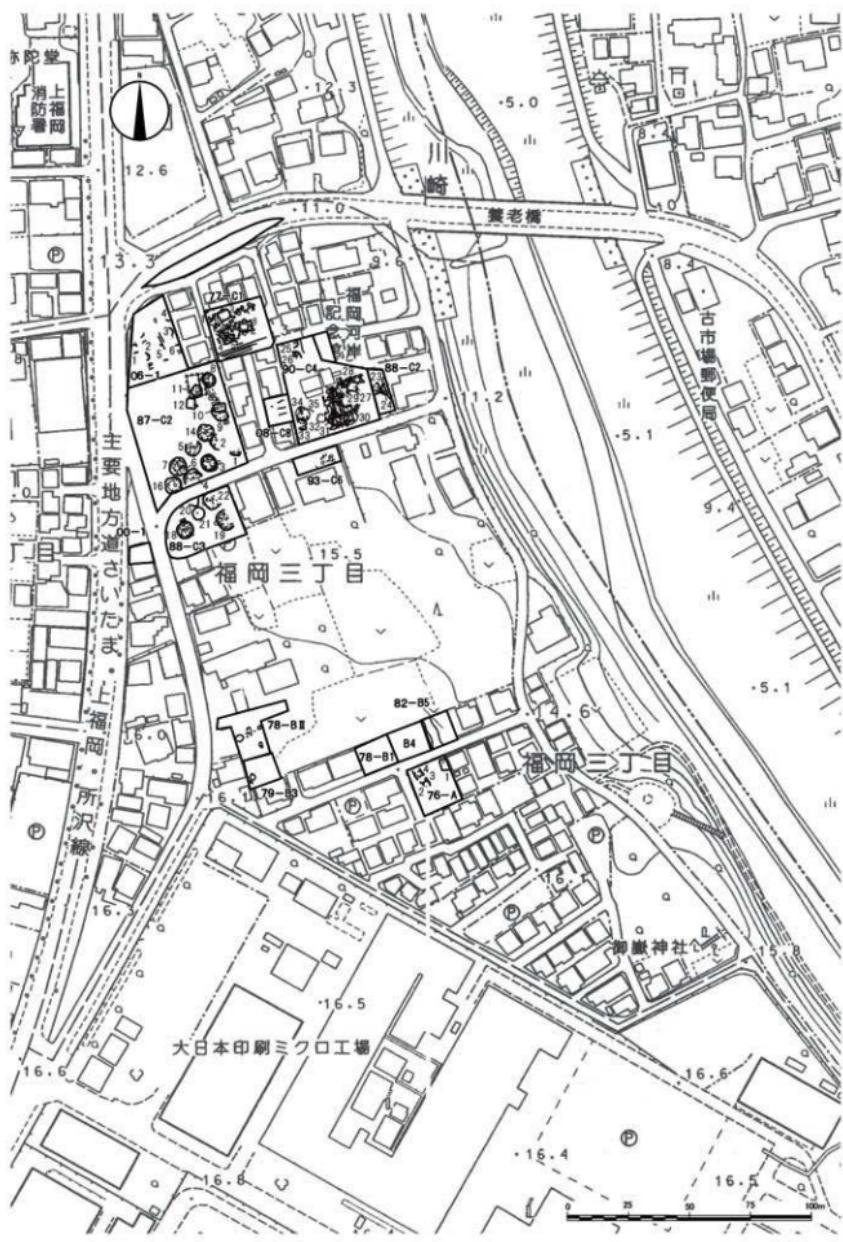
地区 地點	所在地	調査期間 ()	面積 (m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所取報告書
A-1 次	大字中福岡字通見 1228 ~ 2021	1976.9.11 ~ 16	306	個人住宅建設	古墳住居跡 1、堅穴状遺構 3、縄文土器	上福岡古跡調査報告書
C-1 次	大字中福岡字清見 1480 番地	1977.8.2 ~ 27	1,794	宅地造成	縄文住居跡 5、奈良平安住居跡 2、堅穴状遺構、土坑。即跡	ハケ遺跡調査会 ハケ遺跡 C 地区
B-1 次	小福岡 1228-40	1978.8.28 ~ 9.10	165	個人住宅建設	遺構無し。、調査中期土器片	埋蔵文化財の調査(1)
B-2 次	中福岡 1181-2	1978.9.11 ~ 25	360	住宅建設	土坑 4、灰熱土、土器	埋蔵文化財の調査(1)
B-3 次	中福岡 1228-37	1979.7.20 ~ 31	166		土坑 3、縄文土器	埋蔵文化財の調査(1)
B-5 次	大字中福岡字通見 1228-46	1982.5.10 ~ 17	165		井 1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査(V)
C-2 次	福岡 3-2068 の 1.2	1987.4.16 ~ 5.29	1,900	倉庫住居跡改築	縄文中期住居跡 11、奈良平安住居跡 4、掘立 1	埋蔵文化財の調査(X)
C-3 次	福岡 2-2-1	1988.8.15 ~ 20	627	駁接施設	縄文中期住居跡 4、平安住居跡 2	埋蔵文化財の調査(1)
C-5 次	福岡 3-4-2	1988.10.24 ~ 28	60	施設修理工事	縄文前期住居跡 1	埋蔵文化財の調査(1)
C-4 次	田畠山屋敷地内	1990.6.20 ~ 9.6	500	河岸記念館	旧福岡城石礎跡跡、廻居屋建物跡、(壇石・火薙 3・物置跡・粘土塗りつけ門扉小塙門)・江戸前中期・長方形土坑 12、溝 1・平安住居跡 3・廻居屋建物跡 2、縄文住居跡 3	2 年度教育費観 市史資料編
C-6 次	福岡 3-1189-2056-2	1993.5.6 ~ 18	141	個人住宅建設	縄文中期土坑 6	埋蔵文化財の調査(16)
C-4 次	福岡 3-2069-1 の一部	1994.6.10 ~ 1.31	54	河岸記念館修理 廻居屋建物	縄文中期住居跡 5、土坑 30	埋蔵文化財の調査(17)
C-5 次	福岡 3-1184-8	2000.1.26	100	個人住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査(22)
C-7 次	福岡 3-2	(2006.7.10 ~ 22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺跡検出	市内遺跡群 3
C-8 次	福岡 3-2069-9	(2009. 3.17)	99	個人住宅建設	住居跡検出	市内遺跡群 6
C-9 次	福岡 3-1257-7.1259-1	(2010. 2.2 ~ 4)	120	個人住宅建設	土坑 1、縄文木 1	未報告

第 21 表 ハケ遺跡縄文時代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率 ()	平面形 ()	規模	剖面			時期	備考	文献
						地床	壁 厚	石門 厚			
1	1977	C 地区 1 号住	1/4 (円形)		600 ×		○		加曾利 E II		ハケ遺跡 C 地区
2	"	C 地区 4 号住	完掘	楕円形	6000	○			加曾利 E I	"	"
3	"	C 地区 5 号住	完掘	1 方形	400 × 500	○			品磯	"	"
4	"	C 地区 6 号住	(完掘)			○			加曾利 E I	7 住と重複	"
5	"	C 地区 7 号住				○	○		加曾利 E I	"	"
6	1987	C 地区 2 号 1 号住	1/3			○			加曾利 E I		埋蔵文化財の調査 X
7	"	C 地区 2 号 2 号住	西 1/2	楕円台形		○	○		加曾利 E I	通気孔出土	"
8	"	C 地区 2 号 3 号住	完掘	楕円形	720 × 600	○	○		加曾利 E I	通気孔、質利多木	"
9	"	C 地区 2 号 4 号住	北 1/2			○			加曾利 E I	"	"
10	"	C 地区 2 号 5 号住	球状竪窓	円形	629	○			加曾利 E I	"	"
11	"	C 地区 2 号 7 号住	完掘	円形	700	○			加曾利 E I	"	"
12	"	C 地区 2 号 8 号住	完掘	円形		○	○		加曾利 E I	2 列の住居の痕跡	"
13	"	C 地区 2 号 9 号住	完掘	方形	720 ×	○	○		加曾利 E I	10 住と重複	"
14	"	C 地区 2 号 11 号住	完掘	円形	450 × 400	○			加曾利 E I	"	"
15	"	C 地区 2 号 14 号住	完掘	円形	660 × 640	○	○		加曾利 E I	3 度建特丸	"
16	"	C 地区 2 号 16 号住	完掘	圓角方形	670 × 650	○	○		加曾利 E I	"	"
17	1988	C 地区 2 号 18 号住	完掘	円形	650	○	○	○	加曾利 E I	17 住と重複	"
18	"	C 地区 2 号 19 号住	西 2/3	円形	800 × 500	○	○		加曾利 E I	2 列の住居の痕跡	"
19	"	C 地区 2 号 21 号住	完掘	円形	460 ~ 480	○			加曾利 E I	磨石製垂飾品	"
20	"	C 地区 3 号 22 号住	西 4/5	不規形	700	○			加曾利 E I	"	"
21	1990	C 地区 3 号 23 号住	1/4 (方形)						安行 I	床面から土偶	市史資料編
22	"	C 地区 3 号 24 号住	西側削入調査	楕円形						"	"
23	"	C 地区 3 号 25 号住	西側削入 1/4	円形	500				加曾利 E I	"	"
24	"	C 地区 3 号 26 号住	北東削入 1/4	楕円形	600				加曾利 E I	土器片多量出土	"
25	"	C 地区 3 号 28 号住							加曾利 E I	土器片多量出土したため住居とした	"
26	"	C 地区 3 号 29 号住							加曾利 E I	"	"
27	"	C 地区 4 号 30 号住							移行 I	土器片多量出土のため住居とした	"
28	"	C 地区 4 号 31 号住							移行 I	土器片多量出土のため住居とした	"
29	"	C 地区 4 号 34 号住	一部	楕円形	560				加曾利 E I	"	"
30	"	C 地区 4 号 35 号住	一部 (円形)		8800 × 700	○			加曾利 E I	"	"

第 22 表 ハケ遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率 ()	平面形 ()	規模	剖面			時期	備考	文献
						カマド 位置	石 柱 位置	主軸方位			
1	1976	A 地区 LN01	1/2	椭丸形	440 ×	K	北	○	鬼瓦		上福岡市遺跡調査報告書
2	"	C 地区 3 号住	完掘	長方形	470 × 480	K	北	○	BC 3 四平型	"	"
3	"	C 地区 8 号住	完掘	長方形	560 × 388 × 44	K	北	○	BC 4 四平型	"	"
4	"	C 地区 2 号 6 号住	完掘	円形	300 × 280	K	北	○	国分	"	"
5	"	C 地区 2 号 10 号住	完掘	円形	450 × 300	K	北	○	SC 末	"	"
6	"	C 地区 2 号 12 号住	完掘	長方形	400 × 340	K	南東	○	9C 後半	"	"
7	"	C 地区 2 号 15 号住	南東 1/4			○	○		9C 後半	"	"
8	"	C 地区 2 号 16 号住	和行 4 開 × 建物	柴間 2 開	870 × 470		面	面	BC 中型	"	"
9	1988	C 地区 3 号 17 号住	完掘	長方形	350 × 290	K	北東	○	10C 初期		埋蔵文化財の調査 I と市史資料編
10	"	C 地区 3 号 20 号住	南東 1/6			○	○	○	BC 3 四平型	"	"
11	1990	C 地区 4 号 27 号住	完掘	方形	400 × 380	北東	○	○	10C 初期		"
12	"	C 地区 4 号 32 号住				○			10C 初期	古マドの痕跡が確認されたため 自居とした	"
13	"	C 地区 4 号 33 号住	ほぼ完掘	方形	320 × 340	○			8C 3 四平型	カタイ金盒出土	"



第50図 ハケ遺跡遺構分布図 (1/2,000)

(2) 遺構と遺物

【住居跡】調査区北東部に位置する。元の表土は削平されたうえ、盛土されており、覆土も削平を受ける。現地表面下120cmで検出した。東西北方向へ覆土範囲は延長しており、南側も溝状遺構で削平される。トレンチ内では70×150cmの範囲に覆土を確認した。

縄文時代中期の土器片を検出しており、覆土の様相

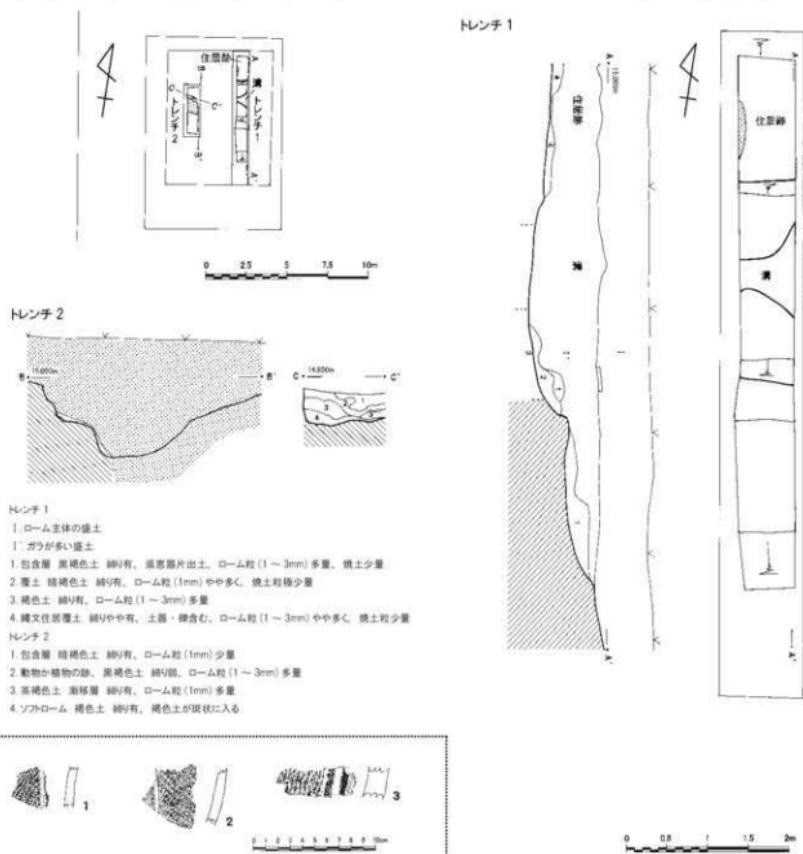
も縄文時代を示す。遺構プラン等は不明である。

【溝状遺構】調査区東部に位置する。元の表土は削平されたうえ、盛土されており、覆土も削平を受ける。現地表面下105cmで検出した。南側では立ち上がりをもつ。

奈良・平安時代の土器片を検出しており、覆土の様相も同時期を示す。遺構プラン等は不明である。

第23表 ハケ遺跡C区第8地点出土遺物観察表 (単位cm)

回収番号	測量番号	遺構名	種別・器種	口径・長 径幅・幅	底径・幅	器高・厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定生産地	推定年代・ 時期	現存 / 備考
SI 回	1	住居跡	圓文土器・鉢	-	-	-	RLR 繩文を羅位に施文後、沈線・砂粒含む / 注No.1トレNo.1	圓文中期・ 加曾利E	圓文中期・ 加曾利E	胸部破片
	2	住居跡	圓文土器・鉢	-	-	-	RLR 繩文を羅位に施文後、沈線開を磨消す / 砂粒含む / 注No.1トレ	圓文中期・ 加曾利E	圓文中期・ 加曾利E	胸部破片
	3	住居跡	圓文土器・鉢	-	-	-	繩文を羅位に施文後、2本組跡帯を貼り付ける / 砂粒多量含む / 注No.1トレ	圓文中期・ 加曾利E	圓文中期・ 加曾利E	胸部破片



第51図 ハケ遺跡C区第8地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/60)、出土遺物(1/4)

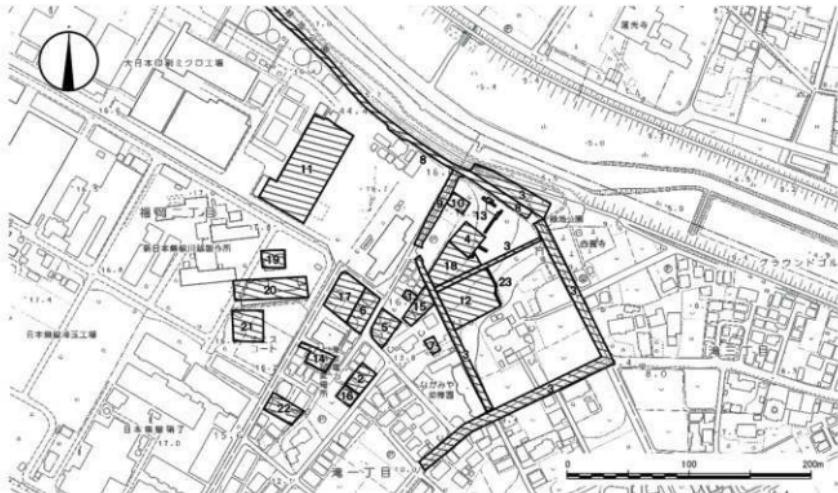
第4章 権現山遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

権現山遺跡は、武藏野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武藏野段丘面のいわゆる川崎台の南東端部に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。また、南側は旧清水という小川が流れる低地で、やはり急傾斜の斜面を形成する。標高は16～18mを測る。遺跡の範囲は南北300m、東西300m以上ある。

周辺の遺跡は、台地続きの北側に縄文時代前期・中期・晚期、古墳時代の集落がある著名な上福岡貝塚、台地下の低地面に縄文時代早期・前期、古墳から奈良・平安時代の集落跡である滝遺跡がある。

権現山遺跡は大正6年に安部立郎氏により「権現山といふ円形古墳」(安部1917)として紹介された。その後、1937年(昭和12年)に山内清男、関野克によって上福岡貝塚が調査された折に作成された遺構配置図には、新河岸川沿いに3群6基の古墳が記述されている。(山内1937)戦後は『埼玉県史』(1951)、『古墳調査報告書一入間地区』(1961)等に古墳の記載がある。しかし、1965年に行なわれた通称「厄病塚」(権現山北古墳群2M・3M)の調査では古墳の確認が得られず、十三塚の可能性が考察されている。



第52図 権現山遺跡の地形と調査区(1/4,000)

一方、通称「権現山」(権現山古墳群2M)は徳川家康が鷹狩りに訪れたという伝承から、1963年に市指定文化財(上福岡市)に指定された。資料上の初見は元禄12(1699)年の「武州入間郡福岡村除地水帳」に「権現社地」の記載があり、塚の上には天保11(1840)年2月造立の「東照神祖命」の石造物が安置される。

その後1982年～1993年までの6次にわたる発掘調査により、古墳時代前期の古墳群(11基)が発見され、「権現山」はいわゆる前方後方墳であることが判明し、2002年3月22日県指定文化財に指定された。

1982年以来23ヶ所で調査が行なわれている。主たる時代と遺構は縄文時代中期の集落、古墳時代前期の方形周溝墓群、古墳時代の集落、奈良・平安時代の集落である。なお、滝遺跡の第3・5・9・10次調査および、1995年と2002年の試掘は権現山遺跡の範囲に入っているため、権現山遺跡1、2、5～7、14、17地点へ変更した。

文献

安部立郎 1917 「川越町付近に於ける石器時代の遺跡分布」『人類学雑誌』32巻2号

山内清男 1937 「福岡構内石器時代遺跡発掘調査報告 付
関野克 住居址略報告」

第24表 権現山遺跡調査一覧表

地点番号	所在地	調査期間()は試掘調査	面積 [m ²]	調査原因	確認された遺構と遺物	収録報告書
1	瀬1-4-15	1980.6.27 ~ 7.3	76	個人住宅	古墳住居跡1、甕(田瀬3次)	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)
2	瀬1-3-21	1980.7.20 ~ 31	330		遺構無し。中世以降陶器片(田瀬5次)	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)
3	瀬3-4-7	1982.1.20 ~ 2.6	50	自転車販賣店(公共事業)	古墳方形周溝墓。壺形土壘、甕文中瀬住居跡1、撫文土器多數	56年度教育要覧
	瀬1-5-4	1982.12.8 ~ 28	200	範囲確認調査	古墳方形周溝墓6、古墳住居跡1	埋蔵文化財の調査(V)/上福岡市史資料編1
4	瀬1-5-4	1983.5.18 ~ 6.28	100	範囲確認調査	古墳住居跡1、方形周溝墓1	埋蔵文化財の調査(VI)
5	瀬1-4-4	1984.5.11 ~ 22	466	住宅建設	溝(田瀬9次)	埋蔵文化財の調査(VII)/上福岡市史資料編1
6	瀬1-3-17	1984.6.1 ~ 12	363	住宅建設	古墳住居跡1、溝4、土坑3(田瀬10次)	埋蔵文化財の調査(VII)/上福岡市史資料編1
7	瀬1-4-2	1984.6.28 ~ 30	33	物置建設	集石2、土坑2(田瀬11次)	埋蔵文化財の調査(VII)/上福岡市史資料編1
8	大字福岡1500	1985.1.20 ~ 2.25		市道整備工事	方形周溝墓2、古墳3、須恵器、壺形土器	59年度教育要覧/上福岡市史資料編1
9	瀬1-4-8	1985.8.9 ~ 9.9	430	範囲確認調査	古墳住居跡2、平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅳ)
10	瀬1-5.9.10	1986.2.10 ~ 22	202	範囲確認調査	古墳周溝墓の前方部の調査	埋蔵文化財の調査(VIII)
11	福岡3-1187-4	1988.6.7 ~ 6.14	3,200	工場増築	古墳1、奈良・平安住居跡4	
12	瀬1-6-7	1989.2.20 ~ 3.6	2,000	農地改善工事	古墳住居跡3、方形周溝4、古墳溝跡1、中世大溝跡1、時期不明溝跡1	埋蔵文化財の調査(11)/上福岡市史資料編1
	瀬1-6-1	1989.5.8 ~	1,724	農地改善工事	方形周溝4	H1年度教育要覧
13	瀬1-5-4	1993.7.7 ~ 8		範囲確認調査	2号墳、11号墳のトレチ調査	上福岡市史資料編1
14	瀬1-3-13	1995.11.27 ~ 30	462	共同住宅	遺構・遺物無し(田瀬試験)	埋蔵文化財の調査(18)
15	瀬1-4-3	1996.4.15 ~ 5.7	396	個人住宅	古墳住居跡1、溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(19)
16	瀬1-3-49	2002.5.29 ~ 30	165	個人住宅	遺構・遺物無し(田瀬試験)	埋蔵文化財の調査(25)
17	瀬1-3-16	2004.5.17 ~ 27	856	範囲確認調査	奈良創穴住居跡2(16、17号)【調査済み】	埋蔵文化財の調査(27)
18	瀬1-5-4	2006.4.25 ~ 27		古墳群保存整備工事		
19	字福岡2-1500-23(工場内)			工場増築		
20	字福岡2-1500-23(工場内)			工場増築		
21	字福岡2-1500-23(工場内)			工場増築		
22	瀬1-3-58 ~ 60			住宅建設		
23	瀬1-6-7	2008.10.23 ~ 29	1,576	古墳群保存整備工事	遺構・遺物無し	

II 権現山遺跡第23地点

(1) 調査の概要

調査は古墳整備事業に伴うもので、ふじみ野市長より2008年10月1日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は古墳群の中にあるため、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年10月23日から同月29日まで行なった。幅約0.5mのトレチ1本を設定し、人力で表土除去後、表面精査を行なった。調査の結果、遺構覆土を検出したので、一部掘り下げたところ、中世以降の土坑3基、集石1基を確認した。調査地は南向きの斜面地で、南側の低地へ向かうにつれ、地山の傾斜が強くなり、南側トレチでは地山を確認していない。建築による遺構への影響がないため工事立会いとし、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。なお、旧石器時代の確認

調査はしていない。

(2) 遺構と遺物

【土坑1】トレチ北側で端部を検出。覆土は軟質な茶褐色土。

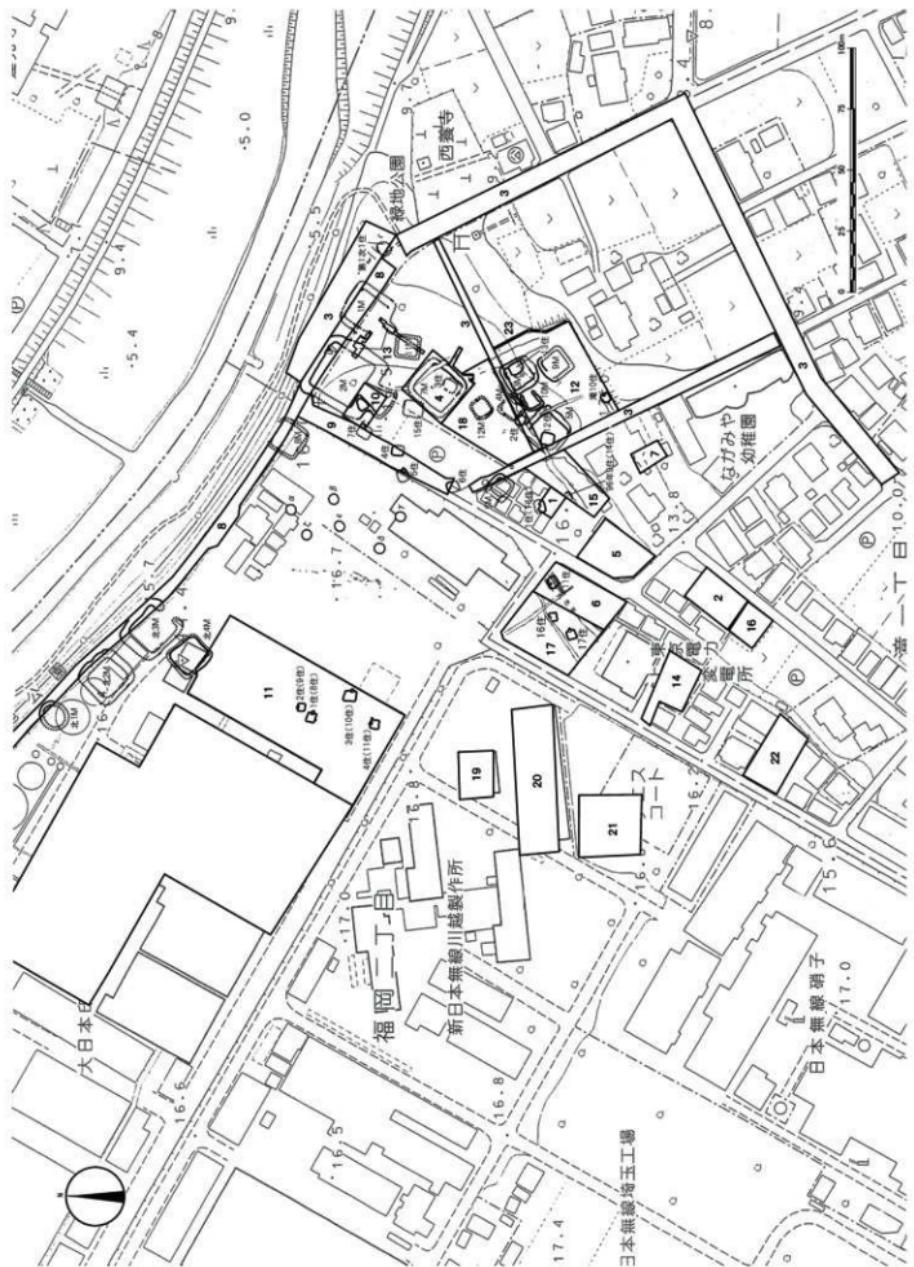
【土坑2】トレチやや北寄りに一部を検出。覆土は軟質な黒褐色土。

【土坑3】トレチ中央に検出。覆土は軟質な黒褐色土。

【集石】トレチ中央で検出、径1~5cmの礫が隙間なく埋る。中世以降。

第25表 権現山遺跡第23地点遺構一覧表 (単位:cm)

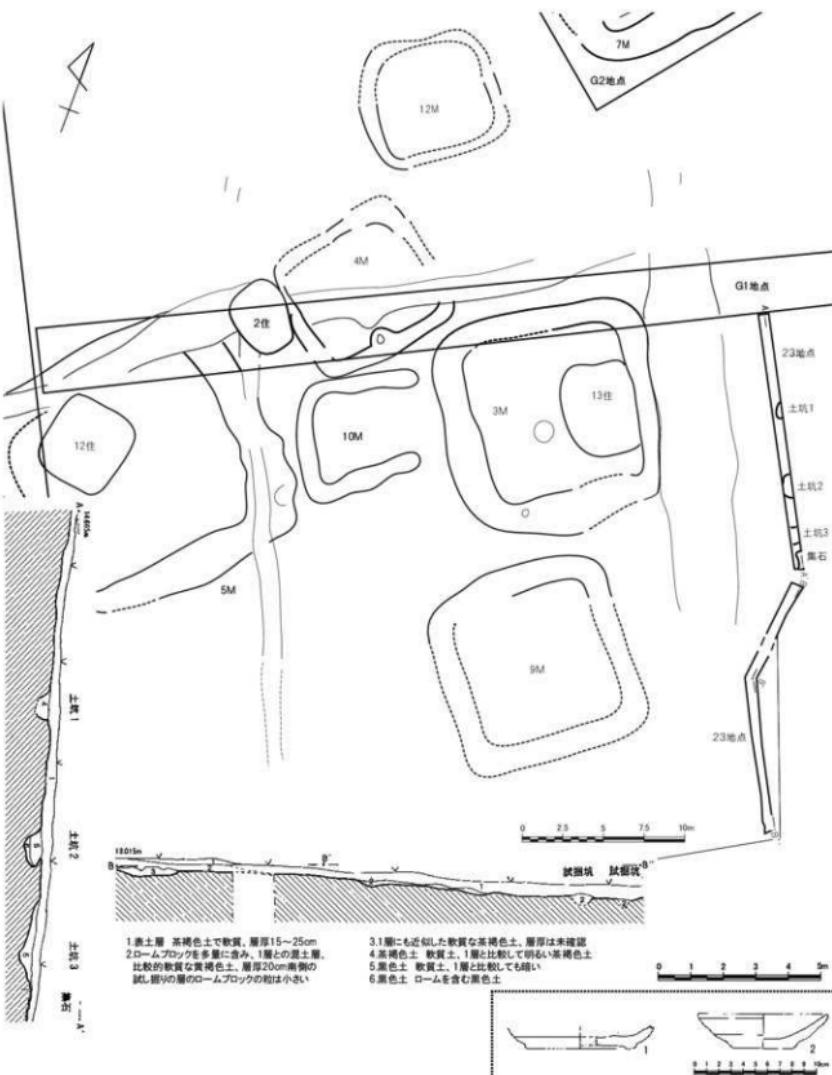
No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑1	(95) × (20)				東側へ伸びる、底は未調
土坑2	(95) × (40)	(75) ×		58	東西側へ伸びる
土坑3	(260) × (40)				東西側へ伸びる、集石より古
集石	(90) × (40)				土坑3より新



第53図 横現山道路の調査 (1/2000)

第26表 権現山遺跡第23地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版番号	記載番号	遺構名	種別・器種	L径・長	底径・幅	高さ・厚	技法・文様・その他	石材 / 推定生産地	推定年代・時期	残存・備考
54 図	1	北側トレンチ	須恵器・鏡	—	(9.0)	—	織轆成型。底面8cm切削高台貼付け / 黄灰色 / 砂粒(~1mm) 少量 / 注記北側トレンチ2		9C	底部
	2	北側トレンチ	土器・ガラス	(10.8)	(5.0)	2.8	織轆成型。底面8cm切削後未調査 / に赤い黄褐色 / 砂粒(~0.5mm) 少量 / 注記北側トレンチ1		16C	1/4以下残存



第54図 権現山遺跡第23地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、出土遺物(1/4)

第5章 亀居遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

亀居遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部に位置している。標高25~26mで現谷底との比高差は5mを測る。本遺跡をのせる北側の台地は急傾斜をなすが、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡の時期は、旧石器時代及び縄文時代中期前葉で、特に後者は周辺では類例の少ない單一集落である。江川南遺の立地とあわせて台地の奥に形成された中期前葉の遺跡のあり方として特異な様相が窺える。遺跡周辺は、土地区画整理事業により区画道路が縱横にとりつけられ、宅地化が進んでいる。

1977年の最初の調査から2010年3月現在まで64地点で調査され、縄文時代中期前半の住居跡16軒、屋外埋甕2基、集石土坑99基、土坑、ピット多数が確認されている。

遺物は阿玉台式、勝坂式土器が主体で一部五領ヶ台上層期の土器片も出土している。

II 亀居遺跡第63地点

(1) 調査の概要

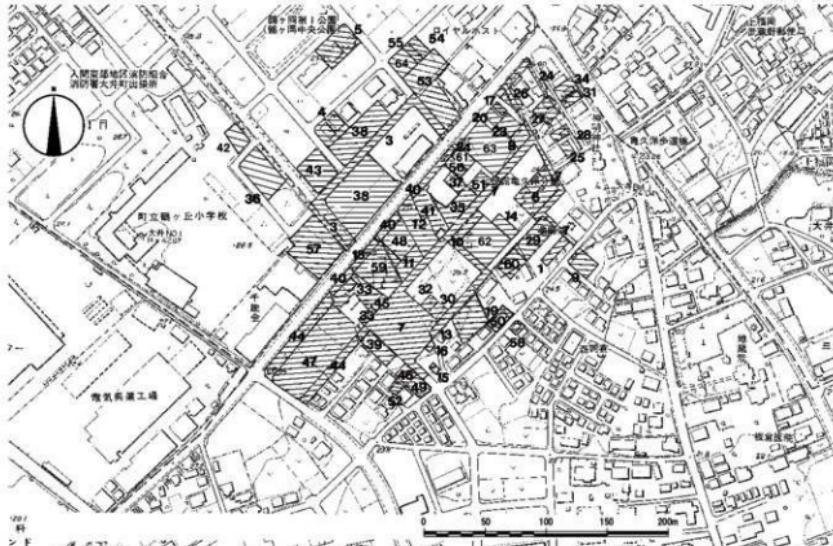
調査はモデルルームの建設に伴うもので、原因者よ

り2008年7月11日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置し、隣接地からは縄文時代の住居跡、集石等遺構が多数検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

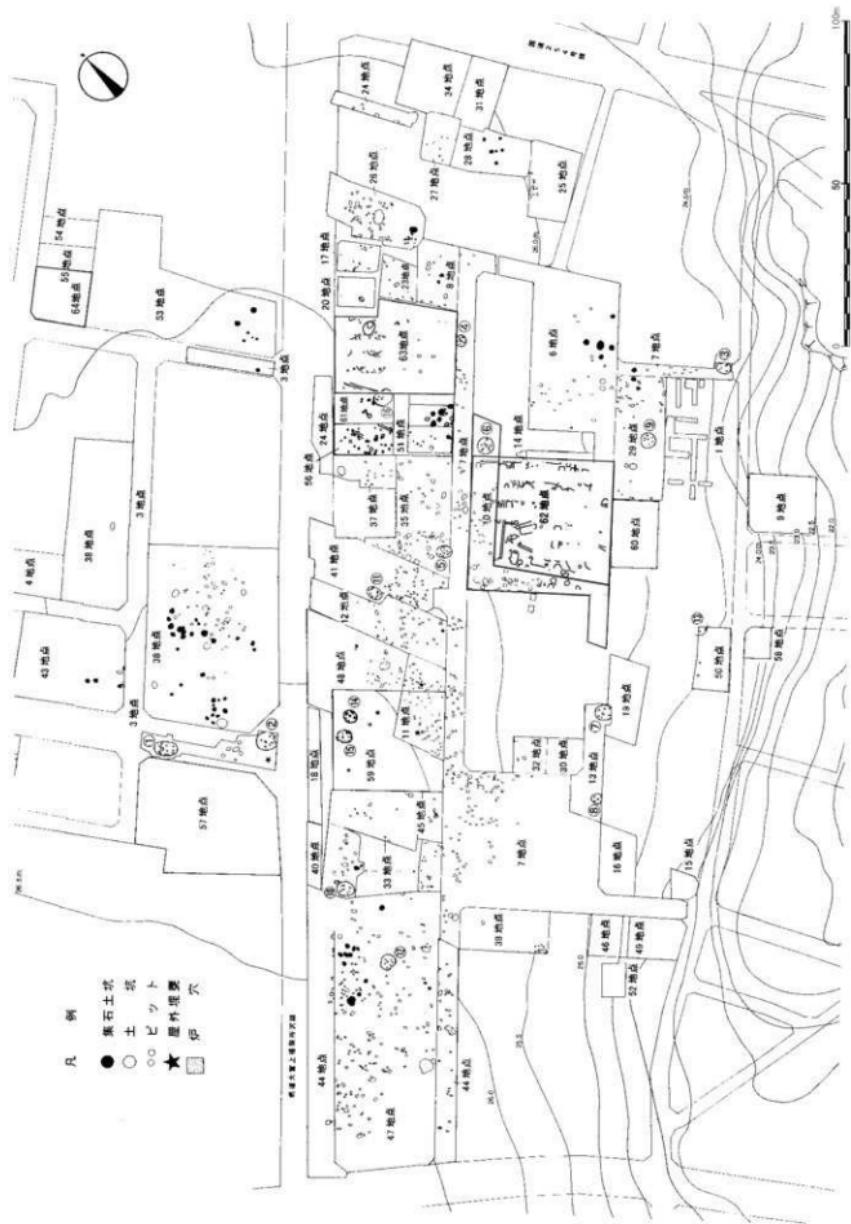
試掘調査は2008年9月17日から同年10月3日及び10月14、15日になった。幅約2mのトレンチ5本を設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、住居跡、土坑等を確認した。確認面まで40~60cmを測るが、建築による遺構への影響がないため工事立会いとし、写真撮影・平板測量による全測図や遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。調査の結果検出した遺構は縄文時代中期の住居跡2軒、土坑3基、ピット29、溝1条である。写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない、重機で埋め戻し調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

【16号住居跡】西側に隣接する第61地点で検出した第16号住居跡の続きを検出した。全体の形状は東西方向に長軸を持つ楕円形を呈し、長軸5.1mである。



第55図 亀居遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第 27 表 龜居遺跡調査一覧表

地點	所在地	調査期間() は試掘調査	面積 (m ²)	調査目的 因 由	遺跡と遺物			所収報告書
					遺跡	上 部	下 部	
1 龜久保 1001	1972	155	農地転用	遺構なし				町史資料編1 調査会報告8集
2 龜久保 1005	1973	350	農地転用	遺構なし				
3 鶴ヶ岡 161-1	1979.11～12	750	区域整理	2 1 6 1				東部遺跡群1 調査会報告8集
4 鶴ヶ岡 2-3	(1984)	1	区域整理	遺構なし				
5 鶴ヶ岡 2-4.3	(1984)	1	区域整理	遺構なし				
6 龜久保 1000	1985	914	区域整理	7 4 30				東部遺跡群1
7 龜久保 999	(1986.8)	2740	区域整理	2 7 84 138				調査会報告8集
8 龜久保 1001	(1986.8)	181	個人住宅	2 3 31				東部遺跡群1
9 龜久保 989-1	(1986.9)	1	宅地整備	遺構なし				
10 龜久保 1010-1	1986.10	650	区域整理	20 17				調査会報告8集
11 龜久保 1013.1	1987.10.13 ～11.13	389	個人住宅	2	73			東部遺跡群1
12 龜久保 101-1	1987.11.16 ～12.16	387	個人住宅	1	48	1		東部遺跡群1
13 龜久保 1007-3	1988.8	242	区域整理	2				調査会報告8集
14 龜久保 999-4	(1988.7.22 ～8.3)	165	個人住宅	遺構なし				東部遺跡群1
15 龜久保 1007	(1989.2)	1	個人住宅	遺構なし				東部遺跡群1
16 龜久保 1007	(1989.2)	45	個人住宅	遺構なし				東部遺跡群1
17 龜居 995-3	1989.9.14～ 18	112	個人住宅	3 8				東部遺跡群1
18 鶴道販帳	1990.3	210	区域整理	遺構なし				東部遺跡群1
19 龜居 1007	1990.3.12～ 26	613	個人住宅	遺構なし				東部遺跡群1
20 龜久保 1001-3	1990.5.21～ 25	118	個人住宅	1				東部遺跡群1
21 龜久保 1001	1990.9.3～ 10	160	個人住宅	10				東部遺跡群1
22 龜久保 1001-4.15	1990.9.14～ 15	1324	区域整理	1 3	3	調査会報告8集		
23 龜久保 995-7	1991.3.12～ 16	162	個人住宅	遺構なし				町内遺跡群1
24 龜久保 1001-4	1992.2.24～315	259	個人住宅	2 60				町内遺跡群1
25 龜久保 995-2	1991.5	249	個人住宅	5				町内遺跡群1
26 龜久保 995-2	1991.12.4～21	475	個人住宅	6				東部遺跡群1
27 龜久保 992-2	1991.7	925	集合住宅	1 2	36	調査会報告8集		
28 龜居 1007	1991.7	116	個人住宅	遺構なし				町内遺跡群1
29 龜久保 995-2.7	1991.9.19	197	個人住宅	遺構なし				町内遺跡群1
30 龜久保 1008.1	1991.12.3～ 9	115	個人住宅	6				町内遺跡群1
31 龜久保 1011.7	1991.12.4～ 1992.4	998	個人住宅	1 3	42			町内遺跡群1
32 龜久保 955-2	(1992.2.13)	634	個人住宅	遺構なし				町内遺跡群1
33 龜久保 1012.7	1993.9.28～ 11.5	470	個人住宅	1 2 7 56				町内遺跡群1
34 鶴ヶ岡 1-2.2	01994.2.17 ～18	798	孔隙井 建設	1	56 ±6.1	1		

地點	所在地	調査期間() は試掘調査	面積 (m ²)	調査目的 因 由	遺跡と遺物			所収報告書
					月 別	集 合 場 所	上 部	
37 鶴久保 1003-2.6	1994.2.18～ 25	566	引越用 住宅		1		13	町内遺跡群1
38 鶴ヶ岡 2-1.2-2.1	(1994.8.22～ 1994.9)	3162	前陣	37 21 29			調査会報告8集	
39 鶴久保 1008-5	(1994.8.26 ～29)	342	前陣 廻遊	1 5 4			町内遺跡群1	
40 鶴久保 1012.5.6	1995.5.5～ 8.4	380	前陣 廻遊	調査なし			調査会報告8集	
41 鶴久保 995.2.3.4	(1995.5.31～ 8.4)	530	前陣 廻遊	1	66		調査会報告8集	
42 鶴ヶ岡 1-3.14	(1995.7.11 ～18)	196	前陣 廻遊	調査なし			町内遺跡群1	
43 鶴ヶ岡 2-3.1	(1995.8.9～ 30)	818	前陣用 住宅	4 2			町内遺跡群1	
44 鶴久保 1013-1	1995.10.22～ 12.4	1.030	前陣	1 7 29 3			調査会報告8集	
45 鶴ヶ岡 1008-5.10.11.5	(1996.5.15～ 17)	619	前陣 廻遊	5 5	5 5		町内遺跡群1	
46 鶴久保 1007.17	(1996.6.24 ～25)	192	分譲宅	調査なし			町内遺跡群1	
47 鶴久保 1013-1	(1996.8.10.7) 1996.8.11.11.11	2.741	前陣用 住宅	1 14 174	174	調査会報告8集		
48 鶴久保 995-19	(1997.1.29～ 29)	858	前陣 廻遊	1	1		町内遺跡群1	
49 鶴久保 1007-14	(1997.11.6 ～10)	214	前陣用 住宅				町内遺跡群1	
50 鶴久保 1007-5	1998.2.22～ 26	197	個人住宅	1 1	1		町内遺跡群1	
51 鶴久保 3 間 4 地	1996.6.15～19	222	個人住宅	6 4 11			町内遺跡群1	
52 鶴久保 14 間 4 地	2000.2.11～21	121	個人住宅				町内遺跡群1	
53 鶴ヶ岡 2-2.8.1	(2000.10.30～ 2001.1.16)	1422	前陣	7			町内遺跡群1	
54 鶴ヶ岡 2-2.8.17	(2001.4.24 ～27)	148	個人住宅				町内遺跡群1	
55 鶴ヶ岡 2-2.8.16	(2001.11.14 ～16)	148	個人住宅				町内遺跡群1	
56 鶴久保 13.14-2.13.14	2002.1.15～ 21	172	個人住宅		38		町内遺跡群1	
57 鶴ヶ岡 1-1.3	2003.4.24～ 28	1.356	前陣				町内遺跡群1	
58 鶴久保 2-9.7.19.24	(2005.4.18)	79	個人住宅				町内遺跡群1	
59 鶴久保 2-10.5	(2005.8.3～ 30)	1.073	前陣用 住宅	2 1 1	1		調査会報告18集	
60 鶴久保 2-1.7.7	(2005.9.16)	293	個人住宅				町内遺跡群1	
61 鶴久保 2-13.4～ 14.7	(2006.10.10～12)	88	個人住宅	1 2 1 5			町内遺跡群1	
62 鶴久保 2-12.3	(2007.11.12～ 26)	1.284	前陣用 住宅	28 28			町内遺跡群1	
63 鶴久保 2-13.5	2008.9.17～ 10.15	998	前陣用 住宅	1			町内遺跡群1	
64 鶴ヶ岡 2-28.19	2008.9.12	907	分譲宅	調査なし			町内遺跡群1	

第 28 表 龜居遺跡住跡一覧表 (単位cm)

住跡番号	調査平面形 ()	規模() は残存値	如			備考	時期	文献
			地 床	埋 石	石 圓			
1号 完盤	椭円形	680 × 445 × 40	○	○	有	テラス状入口有	阿玉台 I 古	東部遺跡群1 調査会報告8集
2号 95% 椭円形	650 × 530 × 40	○ ○	○	○	有	南側未開	阿玉台 II 古	調査会報告8集
3号 90% 圓丸台形	478 × 410 × 25	○ ○				北東部一部未開	阿玉台 II 新	調査会報告8集
4号 95% 椭円形	415 × 365 × 30	○ ○				北端部(城外)	阿玉台 II 新	調査会報告8集
5号 完盤	椭円形	415 × 360 × 30	○ ○			テラス状入口有	阿玉台 I b 古	町内遺跡群1
6号 完盤	円形	446 × 425 × 20	○ ○	○	有	テラス状入口有	勝坂 I 新	調査会報告8集
7号 98% 椭円形	(520 × 470)	○ ○				床面全面的に削平	阿玉台 I b 新	調査会報告8集
8号 完盤	椭円形	(440 × 350)	○ ○			床面北半削平	阿玉台 I b 新	調査会報告8集
9号 完盤	不整円形	480 × 470 × 30	○ ○			柱穴内に豊土器	阿玉台 II 古	調査会報告8集
10号 完盤	椭円形	520 × 445 × 32	○ ○			テラス状入口有	阿玉台 I b 古	町内遺跡群1
11号 完盤	椭円形	482 × 333 × 30	○ ○		有	テラス状入口有・貼床	勝坂 I 古	調査会報告8集
12号 完盤	椭円形	463 × 390 × 25	○ ○				阿玉台 II 古	調査会報告8集
13号 30% (円形)	(380 × ? × 40)	○ ○	未盤			覆土の土量多い	勝坂 I 古	町内遺跡群1
14号 完盤	椭円形	425 × 370 × 20	○ ○		有		勝坂 I 新	調査会報告8集
15号 完盤	椭円形	486 × 400 × 30	○ ○		有	床面中央部稍亂	勝坂 I 新	調査会報告8集
16号 25% (椭円形)	510 × ? × 50	○ ○	未盤	踏土六 丁		埋設時に上縁はめ込む	阿玉台 II 古	町内遺跡群1

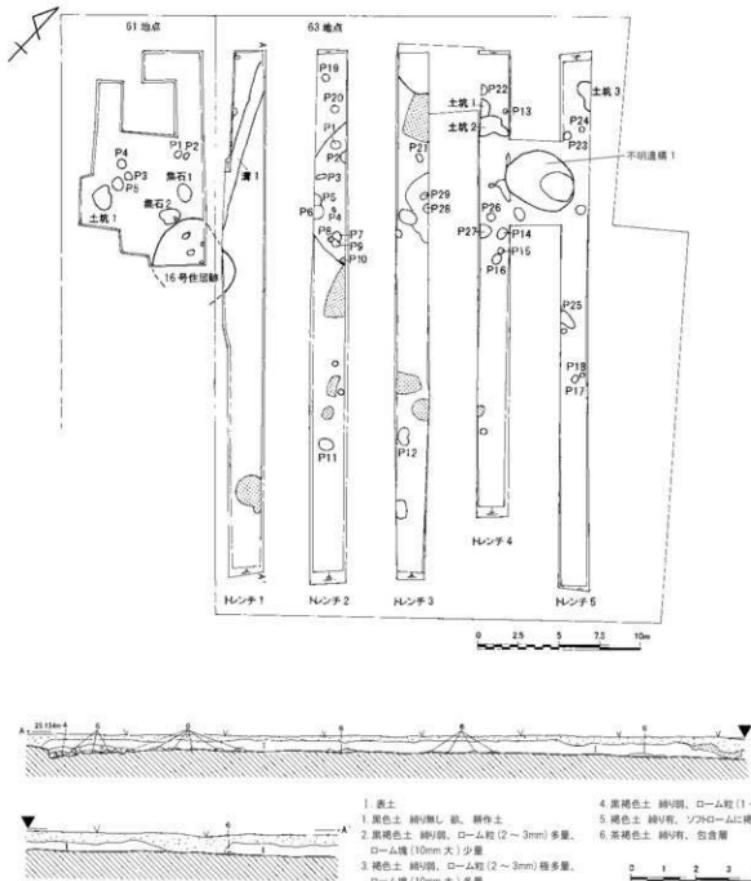
本地点で検出した部分は保護層が確保されたため未調査であるが、61 地点の調査では炉体土器を検出しておらず、住居の時期は阿玉台 II 式期である。(2008「埼玉県ふじみ野市 市内遺跡群 3」参照)

【不明遺構（住居跡）】調査区北側、トレーンチ 4 と 5 の中間に位置する。16 号住居跡と 18 m、南西の 4 号住居跡と 25m 離れる。遺構プランを確認したうえで、深さを確認するため、牛蒡耕作の時に機械で掘ら

れたトレーチャー跡をサブトレーンチとして掘り、調査した。全体の形状は東西方向に長軸を持つ楕円形を呈し、長軸 4.1 m、短軸推定 3.2 m、深さ 16 cm である。中期前半の土器破片を検出した。

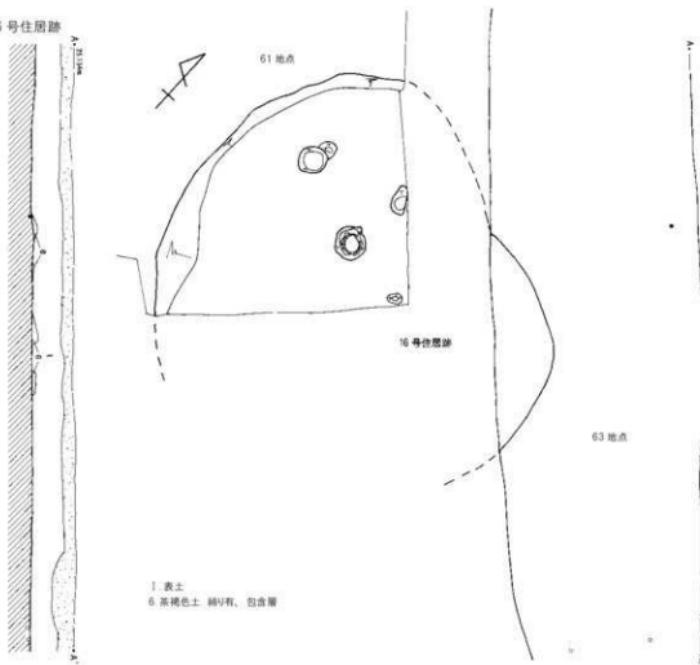
【溝 1】調査区西北、南北方向に位置する。区画整理前の土地境と平行しており、3 m 西側にある。

【土坑 1】土坑 2 は焼土粒を少量含む。土坑 3 から土器出土。

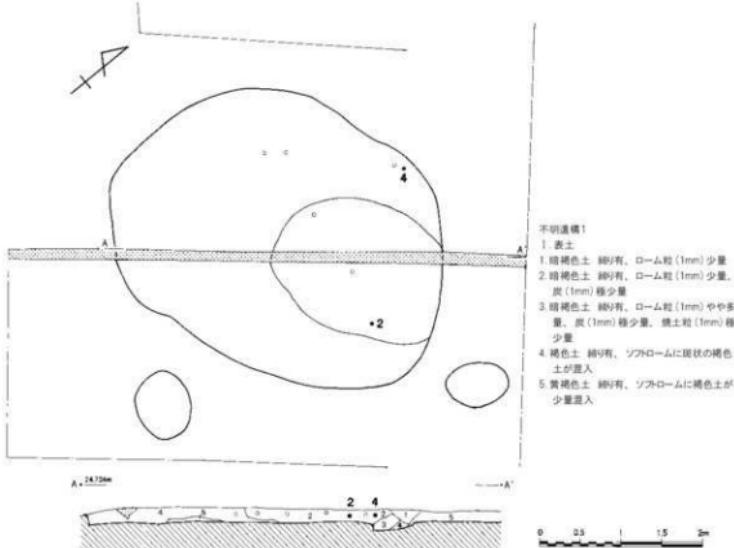


第 57 図 龜居遺跡第 63 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)

16号住居跡



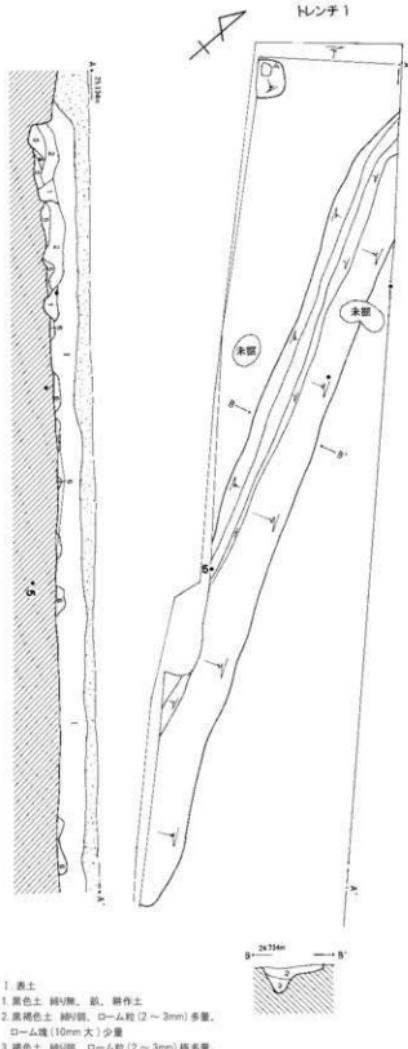
不明遺構 1



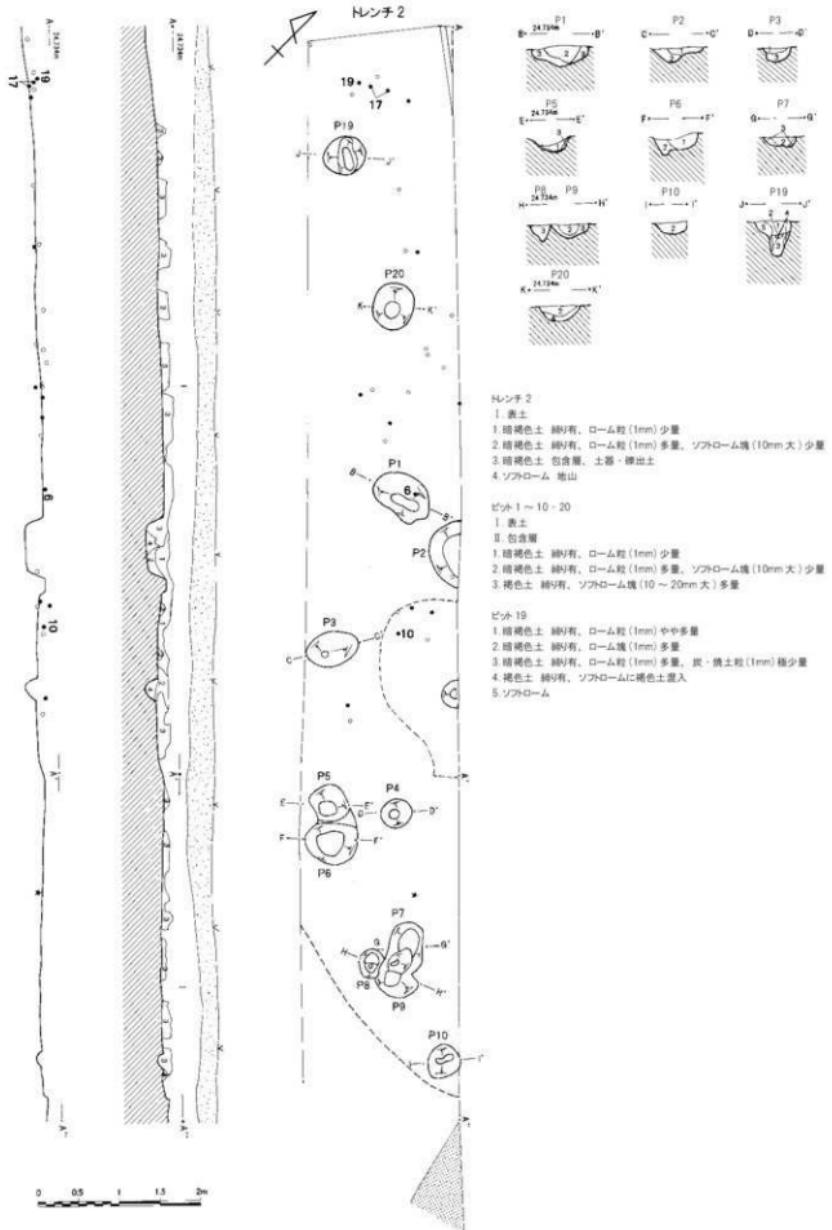
第58図 亀居遺跡第63地点 16号住居跡・不明遺構 (1/60)

第29表 龜居遺跡第63地点遺構一覧表 (単位cm)

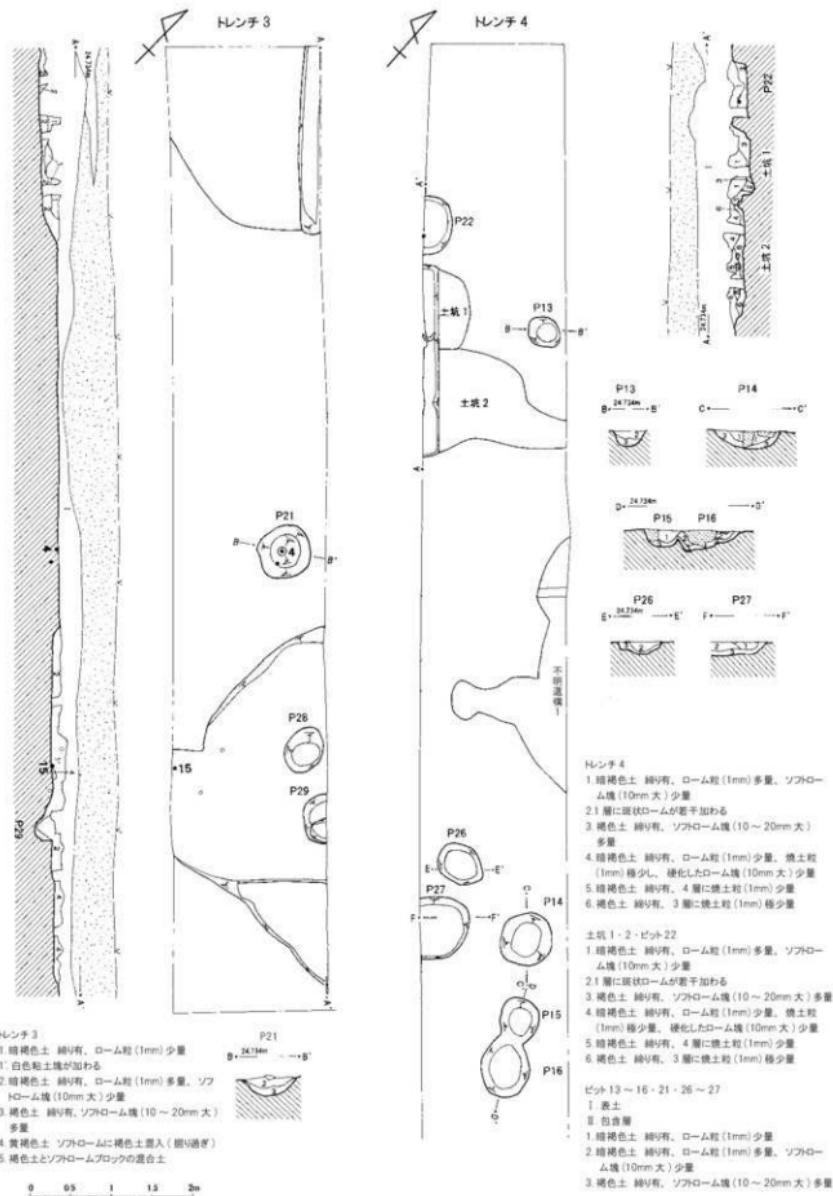
No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
溝1	南北10.0m 以上の直線、 北側に東に 曲がる、断 面「V」字、 重複溝1、 「片堀塗」	75 ~ 80	10 ~ 16	25 ~ 31	覆土下層ローム主体、 土坑1より新
土坑1	(椭円形)	103 × (57)	80 ×	22	土坑2より古
土坑2	不整形	075 ×	135 ×	15	土坑1より新、 焼土粒含む
土坑3	(椭円形)	140 × (84)	122 × (74)	20	東へ続く、土器出土
P1	椭円形	76 × 50	34 × 14	25	土器1、2トレ
P2	(椭円形)	(80) × (36)	(52) × (22)	22	土器1、2トレ
P3	椭円形	65 × 42	8 × 8	17	2トレ
P4	円形	38 × 35	12 × 12	21	土器2、2トレ
P5	隅丸方形	46 × 42	20 × 16	22	2トレ
P6	椭円形	63 × 50	32 × 30	27	2トレ
P7	椭円形	64 × 45	14 × 4	35	P8と合併、2トレ
P8	椭円形	50 × 40	20 × 18	19	P7と合併、2トレ
P9	椭円形	36 × 25	5 × 5	23	2トレ
P10	円形	38 × 38	25 × 6	19	2トレ
P11	椭円形	127 × 96	32 × 8	63	2トレ
P12	不整形	89 × 82	25 × 10	28	3トレ
P13	隅丸方形	38 × 36	25 × 20	18	4トレ
P14	円形	65 × 62	40 × 33	22	黒曜石1
P15	円形	50 × 48	32 × 28	19	P16より新
P16	椭円形	70 × 60	52 × 40	18	P15より古
P17	円形	52 × 42	12 × 7	26	P18と同時期
P18	椭円形	55 × 45	45 × 30	11	P17と同時期
P19	円形	50 × 46	30 × 9	46	2トレ
P20	円形	60 × 48	20 × 18	21	2トレ
P21	円形	62 × 62	42 × 35	22	土器2.3トレ
P22	(椭円形) 半円	72 × (35)	56 × (30)	19	縁1、4トレ
P23	(椭円形)	(52) × 42	(42) × 16	25	5トレ
P24	円形	30 × 30	18 × 15	35	5トレ
P25	椭円形	105 × 65	×	27	縁1、5トレ
P26	椭円形	60 × 45	44 × 32	15	4トレ
P27	(椭円形)	76 × (58)	63 × (52)	12	4トレ
P28	椭円形	60 × 45	34 × 25	43	不明遺構内、3トレ
P29	(椭円形) 半円	60 × (28)	18 × (18)	34	不明遺構内、3トレ



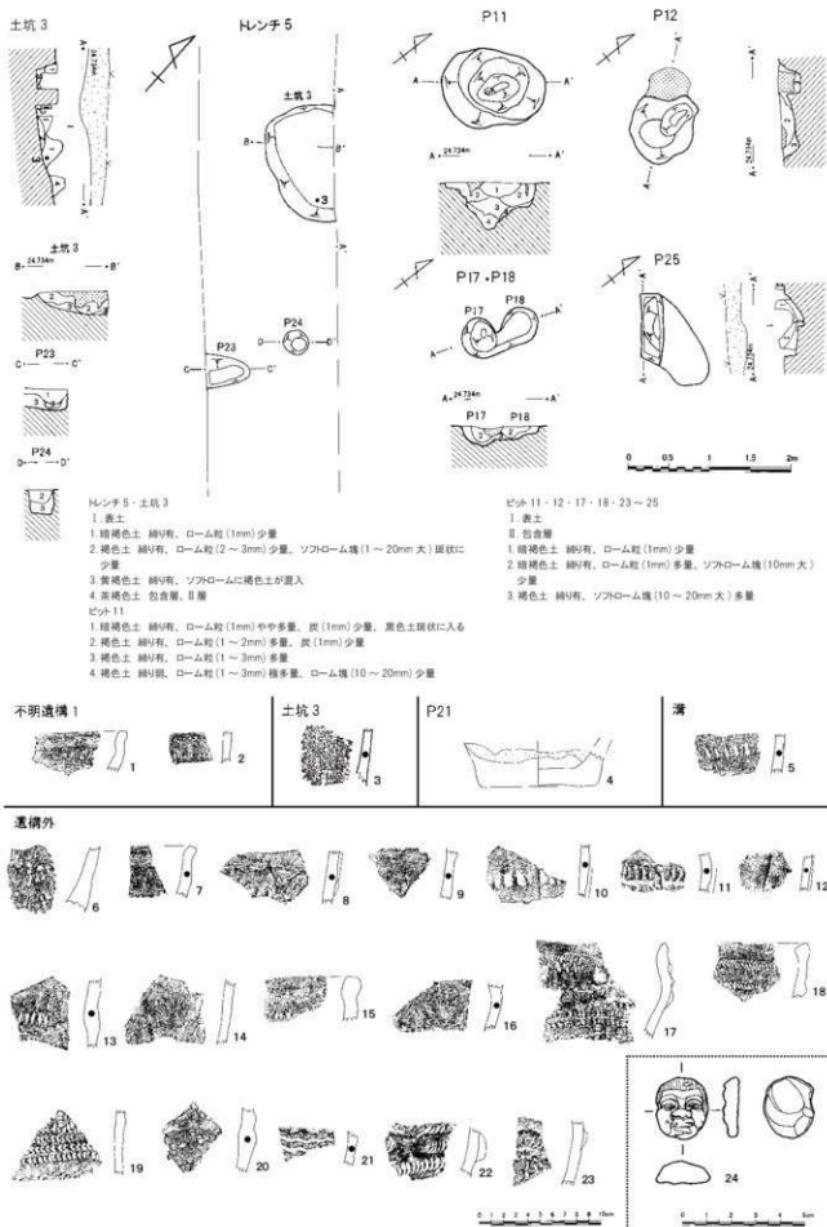
第59図 龜居遺跡第63地点トレンチ1溝 (1/60)



第60図 亀居遺跡第63地点トレンチ2ピット (1/60)



第61図 龜居遺跡第63地点トレンチ3・4ピット (1/60)



第62図 龜居遺跡第63地点トレンチ5ピット (1/60)、不明構造1・土坑・ピット・溝・遺構外出土遺物 (1/4・1/2)

第30表 龜居遺跡第63地点出土遺物觀察表 (单位cm)

回収番号	樹齢番号	遺構名	種別・器種	口径 直径 長 基盤 幅 厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定 生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
1	不明遺構	縄文土器・鉢	-	-	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量 / 注No.SX-2 №.4		縄文中期	口縁部片
2	不明遺構	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 長方形区画の半隆起内側に斜面を造らず / 砂粒少量 / 注No.SX-2 №.1		縄文中期・勝坂I	胴部片
3	土坑3	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 廓・竹管による波状の角押文と直線の角押文。同一工具による交互刺突で作り出された蛇行文が平行に並ぶ / 砂粒。雲母多量含む / 注No.3 №.3B		縄文中期・勝坂I	胴部片
4	P21	縄文土器・深鉢	9.5	-	輪積み成形 / 輪積み部分にヒダ状指痕を留め / 砂粒。板状色子多量含む / 注No.P 21 №.1		縄文中期・阿玉台I b	底部片
5	溝	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 輪積み部分に輪広の網目型を施す / 砂粒。雲母多量含む / 注No.M №.3		縄文中期・阿玉台II	胴部片
6	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量 / 注No.2 №.21		縄文中期	胴部片
7	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 先端斜面の半輪郭部による連續押引き文で、半円文様を描く。口縁隆起下に押文 / 砂粒。雲母多量含む / 注No.2 №.2トレー		縄文中期・阿玉台I b	口縁部片
8	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 輪積み部分にヒダ状指痕を留め。断面三角形の縦帯を貼付ける / 砂粒。雲母多量含む / 注No.3 №.3トレー		縄文中期・阿玉台I b	胴部片
9	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 輪積み部分にヒダ状指痕を留め。断面三角形の縦帯を貼付ける / 砂粒。雲母多量含む / 注No.3 №.3トレー		縄文中期・阿玉台I b	胴部片
10	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 輪積み部分にヒダ状指痕を留め強く施す。断面三角形の縦帯を貼付ける / 砂粒。雲母多量含む / 注No.2 №.2トレー №.26		縄文中期・阿玉台I b	胴部片
11	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 輪積み部分にヒダ状指痕を留め強く施す。断面三角形の縦帯を貼付ける / 砂粒。雲母多量含む / 注No.2 №.2トレー		縄文中期・阿玉台I b	胴部片
12	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 輪積み部分にヒダ状指痕を留め。断面二角形の縦帯を貼付ける / 砂粒。雲母多量含む / 注No.1 №.1トレークラウン		縄文中期・阿玉台I b	胴部片
13	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 輪積み部分に爪形の網目型を施す / 砂粒。雲母多量含む / 注No.3 №.3トレー		縄文中期・阿玉台II	胴部から口縁部片
14	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 縦帶を貼付ける / 砂粒多量含む / 注No.2 №.2トレー		縄文中期・阿玉台	胴部片
15	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 爪形の網目型を施す / 砂粒多量含む / 注No.3 №.3トレー SX №.3		縄文中期・阿玉台II	口縁部片
16	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / ベン先端の半輪郭部による角押文。半円文様を描く。口縁隆起下に押文 / 砂粒。雲母多量含む / 注No.2 №.2トレー		縄文中期・阿玉台I b	口縁部片
17	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 口縁部による横帯 / 砂粒。雲母多量含む / 注No.2 №.2トレー №.3		縄文中期・勝坂I (新道)	胴部から口縁部片
18	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 縦帶を貼付ける。矢羽根工具による三角押文で押さえ。区内にも繩引の三角押文で充填する / 砂粒多量含む / 注No.5 №.5トレー		縄文中期・勝坂I (新道)	口縁部片
19	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 矢羽根工具による三角押文や或状沈殿文を造らせ。縦位の三角押文で充填する / 砂粒多量含む / 注No.2 №.2トレー №.3		縄文中期・勝坂I (新道)	胴部片
20	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / やや複雑な押引文を弧状に貼り / 砂粒。雲母多量含む / 注No.1 №.1トレークラウン		縄文中期・阿玉台II	口縁部片
21	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 弧状の往復文を造る / 砂粒。雲母多量含む / 注No.3 №.3トレー		縄文中期・阿玉台II	胴部片
22	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 縦帶を貼付ける。矢羽根工具による三角押文で押さえ。区内にも繩引の三角押文で充填する / 砂粒多量含む / 注No.3 №.3トレー		縄文中期・勝坂II (藤内)	胴部片
23	遺構外	縄文土器・深鉢	-	-	輪積み成形 / 横円区画の縦帶を輪広の連続網目文で押さえ。その内側も平行筋節沈殿文 / 注文を造らせる。横円区画内は波状沈線を横位に施す / 砂粒多量含む / 注No.1 №.1トレークラウン		縄文中期・勝坂II (藤内)	胴部片
24	遺構外	土製品・麗面子	2.5 2.2 0.8	型押成形 / 裏面に指頭王頭 / 砂粒少量含む / 注No.5 №.1			1790年代～1890年代	完形

Ⅲ 亀居遺跡第64地点

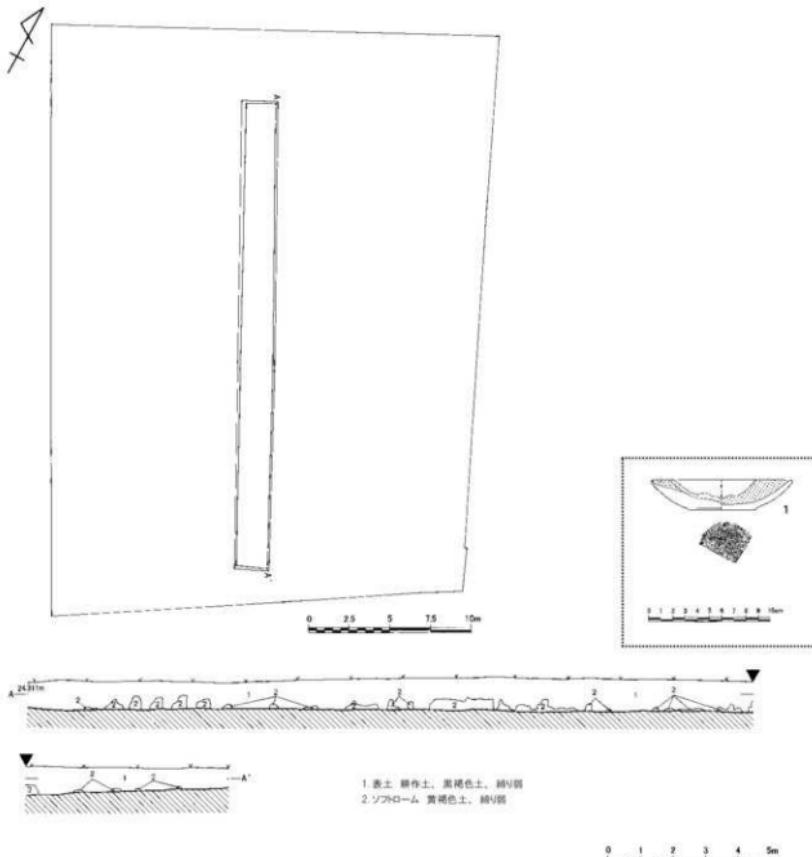
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅の宅地造成に伴うもので、原因者より2008年8月12日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北端に位置し、近隣地からは縄文時代の集石・土坑等遺構が多数検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年9月1、2日に行なった。幅約2mのトレンチ1本を設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで100cmを測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

第31表 亀居遺跡第64地点出土遺物観察表 (単位cm)

回数 番号	用紙 番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 標定生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
63回	1	遺構外	陶器・罐	(11.8)	(5.6)	2.4	埴輪成形 / 灰釉。外面無釉 / 淡黄色 / 注No.1トレ	京都・伝来	19C	1/4



第63図 亀居遺跡第64地点調査区域図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/4)

第6章 松山遺跡の調査

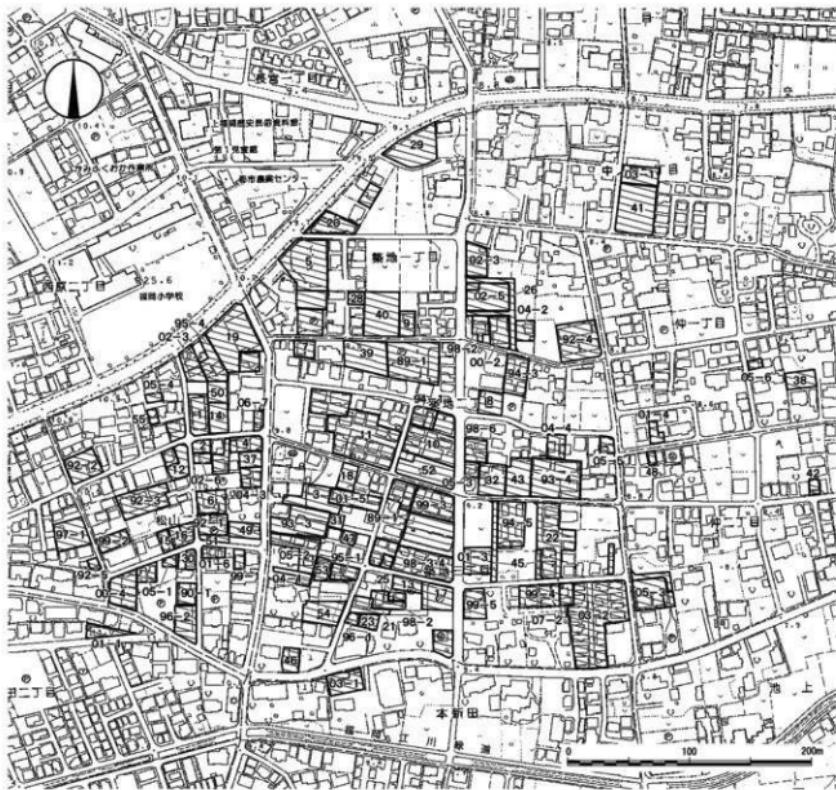
I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武藏野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上ある。宅地開発されるが部分的に畠が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。奈良・平安時代、中世の松山遺跡が接する。また、西方

350m前後に比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

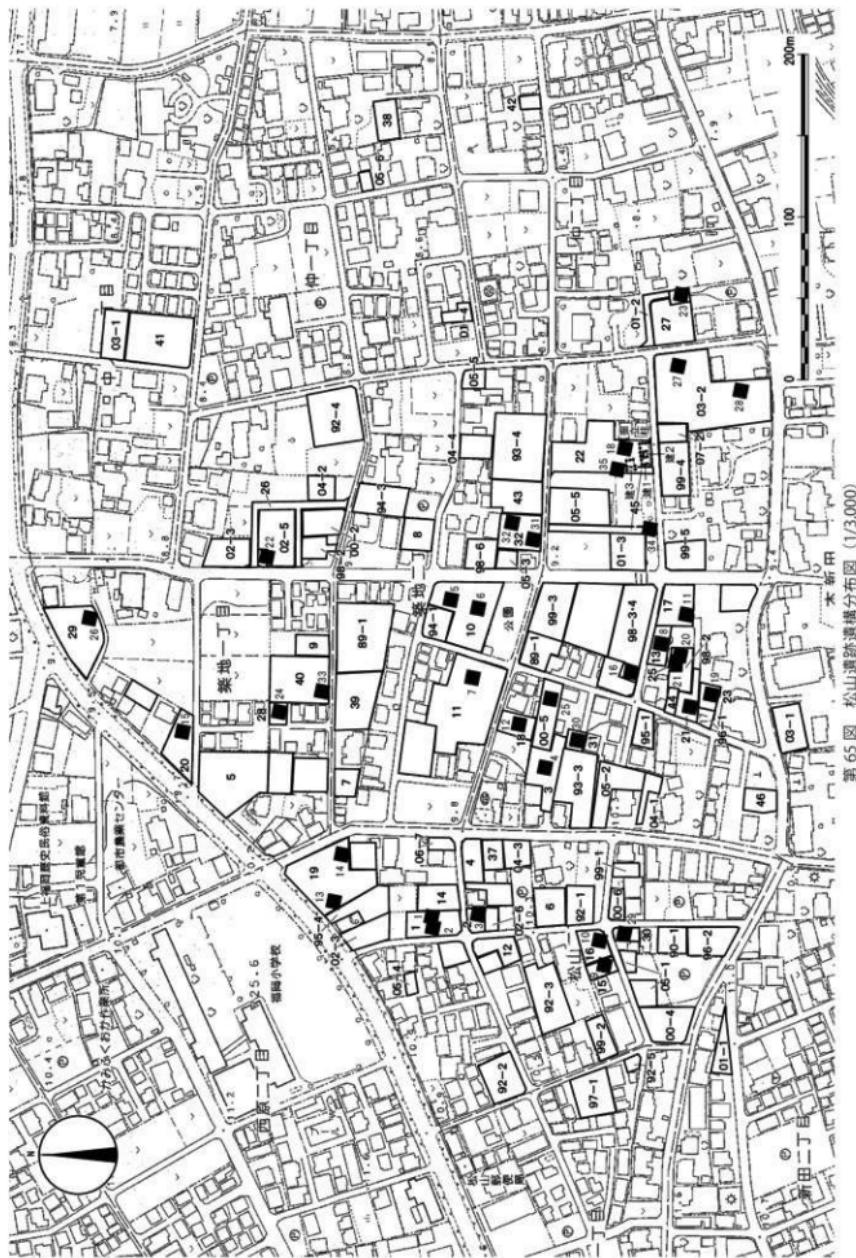
1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより105ヶ所で調査が行なわれている。主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中世以降の溝・井戸跡などである。特に溝・井戸等の中世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行なった。



第64図 松山遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第32表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()	面積 (m ²)	調査区域	確認された遺構 と遺物	所取報告書
1.2	松山2-5-4	(1995.10.14～11.6)	479	住居跡2	石蹴踏面、石蹴踏面(1)	
2.2	松山2-6-7	(1979.4.26～5.1)	161	住居跡1、土蔵跡	石蹴踏面、石蹴踏面(1)	
3.2	等地3-1-20	(1979.8.7～16)	733	住居跡1、土蔵	石蹴踏面、石蹴踏面(1)	
4.2	松山2-7-6,9	(1982.9.13～24)	277	造営場、平安手	石蹴踏面、石蹴踏面(1)	
5.2	等地1-11-16	(1983.4.20～28)	1,461	住居跡	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
6.2	Edu 2-6-16	(1984.8.13～28)	330	住居跡	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
7.2	等地2-3-19	(1986.1.13～21)	237	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
8.2	等地2-4-12	(1986.7.1～8)	319	個人住居跡	平土手跡の跡	所取報告書(1)
9.2	等地1-1-90	(1987.10.3～3)	288	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
1988年 調査	等地3-3-4	(1989.10.19)	370	住居跡	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
1989年 調査	等地2-3-11	(1990.6.27)	1,342	共同住居	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
1990年 調査	松山2-2-9	(1990.9.7～12)	304	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
10.2	等地2-2-6	(1991.10.14～18)	450	個人住居	石蹴踏面(1)	所取報告書(1)
11.2	等地2-1-10	(1991.10.18～21)	2,029	毛塗廻廊	石蹴踏面(1), 井戸(1), 陶器(1)	所取報告書(1)
1992年 調査	松山2-6-22,23	(1992.4.13～24)	567	駐車場	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
1992年 調査	等地2-4-7	(1992.5.6～11)	571	駐車場	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
12.2	松山2-3-11	(1992.5.12～20)	393	宅地造成	平土手跡(1)	所取報告書(1)
13.2	等地2-3-12	(1992.5.18～30)	234	宅地造成	平土手跡(1)	所取報告書(1)
14.2	等地2-5-17	(1992.5.21～30)	432	宅地造成	平土手跡(1)	所取報告書(1)
1992年 調査	松山2-3-31,33	(1992.6.12～18)	871	宅地造成	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
1992年 調査	等地1-3-17	(1992.6.5～11)	599	共同住居	遺構、石蹴踏面(1)	所取報告書(1)
1993年 調査	等地1-1-34	(1992.10.30,11)	556	共同住居	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
1993年 調査	等地2-3-1	(1993.4.5～16)	571	駐車場	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
15.2	松山2-3-41	(1993.4.19～28)	148	個人住居	平土手跡(1)	所取報告書(1)
17.2	等地3-2-19	(1993.5.10～24)	597	駐車場	古墳早期の跡	所取報告書(1)
16.2	等地2-3-43,44	(1993.5.12～15)	156	個人住居	平土手跡(1)	所取報告書(1)
1993年 調査	等地3-11-31	(1993.10.15～29)	209	共同住居	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
1993年 調査	等地2-2-2	(1993.10.22～24)	1,246	共同住居	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
1993年 調査	等地2-1-16	(1993.11.1～7)	290	駐車場	石蹴踏面(1), 井戸(1)	所取報告書(1)
19.2	等地3-2-16	(1993.11.7～12)	1,531	貸付賃貸	平土手跡(1), 池(1)	所取報告書(1)
1994年 調査	等地2-2-3	(1994.5.30～31)	310	分譲住宅	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
20.2	等地2-4	(1994.6.4～7)	539	共同住居	石蹴踏面(1), 井戸(1), 道路(1), 建築物(1)	所取報告書(1)
1994年 調査	等地2-4-7	(1994.8.8～12)	532	毛塗廻廊	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
1995年 調査	等地3-1-10	(1995.5.10～19)	203	宅地造成	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
1995年 調査	等地3-2-2	(1995.5.10～19)	542	宅地造成	古墳早期の跡(1)	所取報告書(1)
1995年 調査	等地3-2-3	(1995.5.10～27)	253	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
21.2	等地3-2-23	(1995.10.17～20)	378	在施敷地	古墳早期の跡(1)	所取報告書(1)
1995年 調査	松山2-5-16	(1995.12.2)	413	宅地造成	遺構、遺物無し	所取報告書(1)
1996年 調査	等地2-2-1	(1996.2.22～24)	480	宅地造成	石蹴踏面(1), 立柱痕(1)	所取報告書(1)
1997年 調査	松山1-4-17	(1997.3.31～40)	591	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(2)
22.2	等地3-4-15,23	(1997.12.15～24)	419	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(2)
1998年 調査	等地3-2-12,24	(1998.4.1～6)	240	宅地造成	石蹴踏面(1)	所取報告書(2)
1998年 調査	等地3-2-23	(1998.4.17,22,26)	520	宅地造成	遺構、遺物無し	所取報告書(2)
1998年 調査	等地3-3-1	(1998.4.20～25)	922	毛塗廻廊	中古建物跡	所取報告書(2)
1998年 調査	等地2-2-18	(1998.5.11～14)	120	個人住居	立柱痕(1), 井戸(1)	所取報告書(2)
1998年 調査	等地1-3-8	(1998.5.16～21)	1,166	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(2)
1998年 調査	松山2-3-10	(1998.4.1～6)	166	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(2)
1999年 調査	松山2-3-3	(1999.5.6～12)	340	宅地造成	立柱痕(1), 施工跡(1)	所取報告書(3)
1999年 調査	等地1-3-8	(1999.6.1～7)	167	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(3)
24.2	等地3-2-40	(1999.8.18～21)	565	宅地造成	立柱痕(1)	所取報告書(3)
1999年 調査	等地2-5-6	(1999.8.1～4)	363	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(3)
25.2	等地3-22,3-2,3	(1999.8.3～12)	240	個人住居	立柱跡の跡(1)	所取報告書(3)
1999年 調査	松山2-3-10	(1999.8.4～16)	166	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(3)
26.2	等地2-3-3	(1999.8.5～12)	1,126	個人住居	立柱跡(1), 井戸(1)	所取報告書(3)
1999年 調査	等地3-3,4-15	(1999.6.22～24)	778	宅地造成	遺構、遺物無し	所取報告書(3)
1999年 調査	等地3-5,5-2	(1999.8.8～11)	745	ビルド・平安手(1)	石蹴踏面(1)	所取報告書(3)
1999年 調査	等地3-5-28	(1999.8.6～9)	931	個人住居	遺構(1), 朝日(1)	所取報告書(3)
2000年 調査	松山2-3-21	(2000.1.31～2)	627	宅地造成	石蹴踏面(1)	所取報告書(3)
22.2	等地3-4,10	(2000.6.12～23)	697	共同住居	立柱跡(1), 井戸(1)	所取報告書(3)
22.2	等地2-2-5	(2000.10.30～31)	502	共同住居	遺構、遺物無し	所取報告書(3)
22.2	等地2-1-28	(2001.2.8～23)	165	個人住居	立柱跡(1)	所取報告書(3)
2000年 調査	等地3-3-8	(2001.2.8～13)	614	ビルド・平安手(1)	朝日(1), 井戸(1)	所取報告書(3)
2000年 調査	松山2-4-17	(2001.3.22)	174	宅地造成	遺構、遺物無し	所取報告書(3)
地點	所在地	調査期間 ()	面積 (m ²)	調査区域	確認された遺構 と遺物	所取報告書
2001年 調査	Edu 2-4-53	(2001.4.12～13)	204	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(4)
2001年 調査	等地2-1-10	(2001.5.30～7.26)	168	宅地造成	近代化跡(3)	所取報告書(4)
2001年 調査	等地3-4-10	(2001.5.10～15)	434	共同住居	遺構、遺物無し	所取報告書(4)
2001年 調査	等地3-1-2,3,34	(2001.9.12)	604	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(4)
2001年 調査	等地1-2-8	(2002.5.26～29)	978	宅地造成	遺構(1), 井戸(1)	所取報告書(4)
2002年 調査	等地5-5,5-6	(2002.7.11)	248	宅地造成	遺構(1), 井戸(1)	所取報告書(5)
29.2	等地1-8,10-10	(2002.8.2～8)	36	個人住居	立柱(1), 井戸(1)	所取報告書(5)
2002年 調査	松山2-5	(2002.8.5)	358	宅地造成	遺構、遺物無し	所取報告書(5)
2002年 調査	等地1-5,8	(2002.8.20～21)	479	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(5)
2002年 調査	等地3-1,2,25,30	(2002.8.22～26)	640	宅地造成	立柱(1), 井戸(1), 廃窓(1)	所取報告書(5)
2002年 調査	松山2-6-5	(2002.9.8)	147	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(5)
2003年 調査	等地1-13,23	(2003.4.16～21)	1,080	共同住居	遺構、遺物無し	所取報告書(6)
2003年 調査	等地5-3,5	(2003.8.19～20)	2,578	宅地造成	立柱(1), 井戸(1)	所取報告書(6)
30次	等地2-2-3	(2003.10.3～10)	142	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(6)
2004年 調査	等地5-1,16,32	(2004.4.22～29)	976	宅地造成	遺構、遺物無し	所取報告書(7)
2004年 調査	等地1-3,27	(2004.4.29)	165	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(7)
2004年 調査	松山2-1,6	(2004.6.16)	309	宅地造成	遺構、遺物無し	所取報告書(7)
2004年 調査	等地2-3,6,27	(2004.8.5)	280	個人住居	遺構、遺物無し	所取報告書(7)
2004年 調査	等地3-4,12	(2004.9.6～8)	911	宅地造成	遺構(1)	所取報告書(7)
2005年 調査	等地2,4-4,9 ～1	(2005.4.6～7)	313	土地分譲	遺構、遺物無し	内需地図
2005年 調査	等地3-1,4-9	(2005.4.19～21)	165	個人住居	遺構、遺物無し	内需地図
2005年 調査	等地2-1,6	(2005.4.21～23)	120	個人住居	古墳(1), 井戸(1)	内需地図
2005年 調査	等地2-5,23	(2005.8.30～31)	567	宅地造成	平土手(1), 井戸(1)	内需地図
32次	等地3-1,4-9 ～1	(2005.9.8～9)	132	個人住居	平土手(1), 井戸(1)	内需地図
2005年 調査	等地2-3,6	(2005.10.31)	125	個人住居	遺構、遺物無し	内需地図
2005年 調査	等地4-2,23	(2005.10.20～21)	161	個人住居	遺構、遺物無し	内需地図
2005年 調査	等地1-4,6	(2005.11.14)	108	個人住居	遺構、遺物無し	内需地図
2005年 調査	等地2-5-21	(2006.2.28)	109	個人住居	遺構、遺物無し	内需地図2
37	松山2-6,10,13	(2006.4.1～3)	228	個人住居	遺構、遺物無し	内需地図3
38	等地1-4,10,13,14	(2006.5.29～30)	2,176	宅地造成	遺構、遺物無し	内需地図3
39	等地2-3,10	(2007.1.10～23)	937	宅地造成	遺構、遺物無し	内需地図3
40	等地1-5,9	(2007.2.21～23)	1,047	宅地造成	立柱(1), 建築残骸(1)	内需地図3
41	等地1-7,2-1	(2007.2.21～23)	1,281	宅地造成	中古建物(1), 建築残骸(1)	内需地図3
42	等地2-3,5	(2007.2.27)	1,08	個人住居	遺構、遺物無し	内需地図3
43	等地2-7,11 ～5	(2007.4.11～24)	668	分譲宅	施設(1), 井戸(1)	内需地図4
44	等地3-12,14	(2007.6.9～11)	132	個人住居	遺構、遺物無し	内需地図6
45	等地4-1,2,8	(2008.1.23～20)	399	宅地造成	立柱(1), 井戸(1)	内需地図6
46	等地3-12,15	(2008.9.4～20)	1,008	個人住居	立柱(1), 井戸(1)	内需地図6
47	等地3-1,5-2	(2009.5.11～12)	121	個人住居	ピット(1)	内需地図7
48	等地2-2,4	(2009.7.31)	677	個人住居	遺構(1)	内需地図7
49	等地1-6,14,42	(2009.10.27～28)	449	宅地造成	立柱(1), 井戸(1)	内需地図7
50	等地2-3,3,7	(2009.11.27～12.1)	297	分譲住宅	池(1), ピット(1)	内需地図7
51	等地3-2,22,23,28	(2010.5.10～12)	360	個人住居	遺構(1), 船形(1)	内需地図7
52	等地2-2,4	(2010.8.26～9.3)	694	分譲住宅	土(1), 亂石(1)	内需地図7
53	等地3-1,11	(2010.9.10～21)	305	個人住居	立柱(1), 乱石(1)	内需地図7
54	等地3-1,6-7,10-12	(2010.10.4～11.3)	940	宅地造成	立柱(1), 亂石(1), 井戸(1)	内需地図7
55	等地2-4,4-2	(2011.1.18～31)	226	個人住居	立柱(1), 亂石(1), 井戸(1)	内需地図7



第33表 松山遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

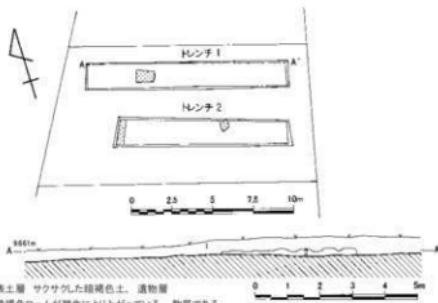
住居 番号	調査 年度	調査名	調査 平地面 率 (%)	規模	約 マツダ 面積 cm ²	設置場所	カマド 位置	削溝	主軸方位	時期	備考	文献
1	1978	第1次1号住居	完掘 正方形	390 × 380	K 東	110 × 75	○			国分施平		埋蔵文化財の調査1
2	"	第1次2号住居	完掘 台形	360 × 320	K 東	120 × 85	○			国分施平	"	
3	1979	第2次3号住居	2/3 (方形)	350 × 310	K 北	100 × 100	○	△	14 - E	国分施平		埋蔵文化財の調査2
4	"	第3次1号住居	完掘 方形	530 × 475	K 北	200 × 100	○	△	14 - E	国分施平		埋蔵文化財の調査3
5	1991	第10次5号住居	完掘 台形	230 × 350	K 北-東	○	○			9C_2半期		埋蔵文化財の調査14
6	"	第10次6号住居	2/3 方形	340 × 300	K 東	○	○			9C_2半期	"	
7	"	第11次7号住居	完掘 正方形	400 × 400	遺存状態悪い		○			8C_4半期		"
8	1992	第13次8号住居	3/4 (方形)	400 ×				N - 10 - E		8C_3半期		埋蔵文化財の調査15
9	1993	第15次9号住居	完掘 長方形 方形	440 × 350 420 × 310 260 × 300	K 東-北	210 × 210 210 × 210 80 × 65	○			9C_1半期	鉄錆型削溝出土	埋蔵文化財の調査16
10	"	第16次10号住居	1/3 正方形	560 × 560	K 北	130 × 80	○			8C_4半期	"	
11	"	第17次11号住居	完掘 方形	600 × 600	K 北	○	○			7C_4半期	頭骨土師陶土	"
12	"	第18次12号住居	完掘 方形	400 × 320	K 北	○	○			8C_4半期	"	と市街
13	1994	第19次13号住居	完掘 長方形	450 × 300	K 北	○	○	N - 5 - E		松山遺跡第19次 調査報告		
14	"	第19次14号住居	完掘 正方形	450 × 500	K 東-北	○	○	N - 5 - E		9C_1半期	土跡出土	
15	"	第20次15号住居	長方形	370 × 470	K 北西	70 × 70	○			7C_4半期	松山遺跡第20次調査	
16	1995	7年試掘(2)16号住居						N - 20 - W		6C		未報告
17	"	第21次17号住居	完掘 長方形	480 × 400	K 北	○				7C_4半期	埋蔵文化財の調査19	
18	1997	第22次18号住居	完掘 長方形	240 × 460	K 東	90 × 60	○	N - 90 - E		8C末	埋蔵文化財の調査20	
"	"	第22次1号発掘 部分	長方形	東西5.5m南北2.7m						8C末~9C初	"	
"	"	第22次2号発掘 部分	長方形	東西2.6m南北2.7m						8C末~9C初	"	
"	"	第22次3号発掘 部分	長方形	南北2.4m 南北3.3m						8C末~9C初	"	
19	1998	第23次19号住居	4/5 長方形	260 × 290		○	N - 30 - W			8C後半	土跡高島出土	埋蔵文化財の調査21
20	1999	第25次20号住居								8C初出	頭骨土師陶	市史遺史編
21	"	第25次21号住居								8C初出		未報告
22	2000	第26次22号住居	完掘 台形	360 ×	K 北	○				7C後半	14年度実施, 損失住居	埋蔵文化財の調査23
23	"	第27次23号住居	完掘 台形	600 × 720	K 北	○				8C半	"	
24	2001	第28次24号住居	1/2 (台形)	340 ×	K 北西	○				8C中盤		埋蔵文化財の調査24
25	2000	12年度試掘5	2/3									埋蔵文化財の調査23
26	2002	第29次26号住居	完掘 長方形	420 × 360	K 北	○				7C後半		埋蔵文化財の調査25
27	2003	15年度試掘27号住居	一部 (土器保存)								プランの確認	埋蔵文化財の調査26
28	"	15年度試掘28号住居	1/2 (土器保存)								プランの確認	"
29	"	第30次29号住居	完掘 長方形	360 × 420	K 東	○				9C半	"	
30	2005	第31次30号住居	完掘 長方形	360 × 600	K 北	○				土跡出土	山内遺跡帶1	
31	"	第32次31号住居	完掘 長方形	380 × 330 ×	K 東	○	S - 65 - E			9C中盤	"	
32	"	第32次32号住居	1/2 (長方形)	南北4.0m × 南北3.3m以上	K 東	○	S - 85 - E				"	
33	2006	45地点H33号住居	完掘 方形	445 × 420	K 北	98 × 154	○	N - 5 - E		8C後半	山内遺跡帶3	
34	2008	45地点H34号住居	完掘 方形	364 × 361	K 東	122 × 125	○	N - 96 - E			山内遺跡帶6	
35	2008	45地点H35号住居	1/2 (方形)	504 × (222)		○				損失住居	山内遺跡帶6	

II 松山遺跡第44地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2008年4月9日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南側に立地し、南側と東側の隣接地で奈良・平安時代の住居跡を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年6月9日から同11日まで行なった。幅約2mのトレンチ2本を設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかつたため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで40~60cmを測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第66図 松山遺跡第44地点遺構配置図(1/300)、
土層図(1/150)

Ⅲ 松山遺跡第45地点

(1) 調査の概要

調査は道路築造及び上下水道敷設工事に伴うもので、ふじみ野市長より2008年3月14日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地し、東側の隣接地で奈良・平安時代の掘立柱建物跡と住居跡を検出しているため、都市計画課と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年9月4日から同9月30日まで行った。調査区は西側の道路予定地を45地点A区、東側の道路予定地を45地点B区とした。敷地内に残土置き場を確保しながら重機により表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認した。また、表土より頁岩製の剝片を1点検出したので、旧石器時代の確認調査のため2×2mのグリッドを6ヵ所設定し、調査を行なったが遺構・遺物の検出はなかった。確認面まで50cmを測る。写真撮影・平板による全測量図及び造り方測量による遺構図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

【H 34号住居跡】調査区Aの南端に位置し、遺跡全体の分布では南東部に位置する。溝状遺構(イモビツ)に北側部分を壊されている。

主軸方位はN-96°-E、東壁南寄りに竈を備える。平面形態は方形、規模は主軸方位の東西が3.61m、南北3.64m、確認面からの深さ0.43mである。

竈は粘土を貼り付け、竈の左右両壁奥および底部、煙道の一部が焼けて赤化する。奥壁には煙道が径12cmの横穴として残っていた。竈覆土からは土師器甕が1個体分破片の状態で出土した。

住居中央部には小ピットが4箇所集中し、北側壁際にも1箇所ある。

周溝は東壁の竈の北側を除き壁際に巡る。

床面は全体に硬化し平坦である。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、四隅が深くなる以外ほぼ平坦に掘られている。

【H 35号住居跡】調査区Bの北端に位置し、遺跡全体の分布では南東部に位置する。南側に3棟の掘立柱建物跡がある。

住居跡の南側半分の検出で、北側は道路崩壊の恐れがあり拡張できず、未調査である。竈も未検出である。

東西5.04m、確認面からの深さ0.39mである。東西の軸方位はN-95°-Eである。

床面直上に炭化材が多量に出土した。南西隅から中央に向って出土した幅10cm前後、長さ2.2mの炭化材は垂木か梁の部材と思われる。樹種同定の結果は「クリ」である。また、「イネ科」の炭化材も並列した塊の状態で検出した。屋根や壁の部材として使用されたと思われる。

住居南側の壁際に焼土が散在していた。特に南側中央には径40cm前後、厚さ8cmの焼土塊を検出したが、床面は焼けておらず、炭化材の出土とあわせて、住居焼失時に伴うものと思われる。

周溝は壁際に巡る。

床面は全体に硬化し平坦である。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、周辺が深くなるが、中央部にも一部窪みがある。

【1号掘立柱建物跡】調査区Bの南端に位置し、遺跡全体の分布では南東部に位置する。平成9年度の22次調査で検出した5間×3間の1号掘立柱建物跡の西側柱穴列にあたる。今回検出した柱穴3基のうち、P2、P3は前回調査済みで、P1のみ今回初検出である。

東西の軸方位はN-96°-Eである。東西12.3m、南北5.8mを測る。

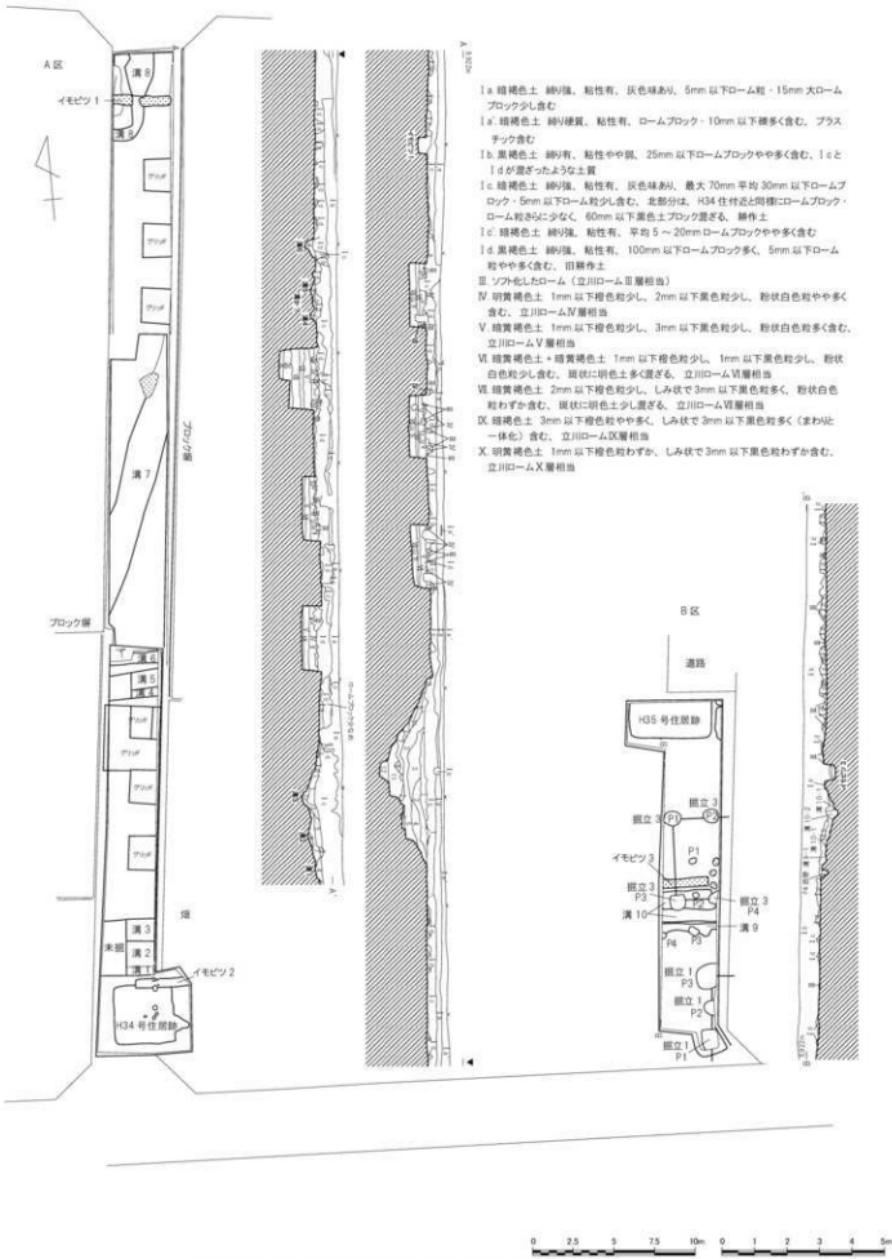
暗褐色土とロームを交互に埋め版築されている。柱穴の芯心間はP1-P2が1.7m、P2-P3が2.0mである。

【3号掘立柱建物跡】調査区Bの中央に位置し、遺跡全体の分布では南東部に位置する。平成9年度の22次調査で検出した3号掘立柱建物跡の西側柱穴列にあたる。今回検出した柱穴は、暗褐色土とロームを交互に埋め版築した中に径20~32cmの柱跡が残る。

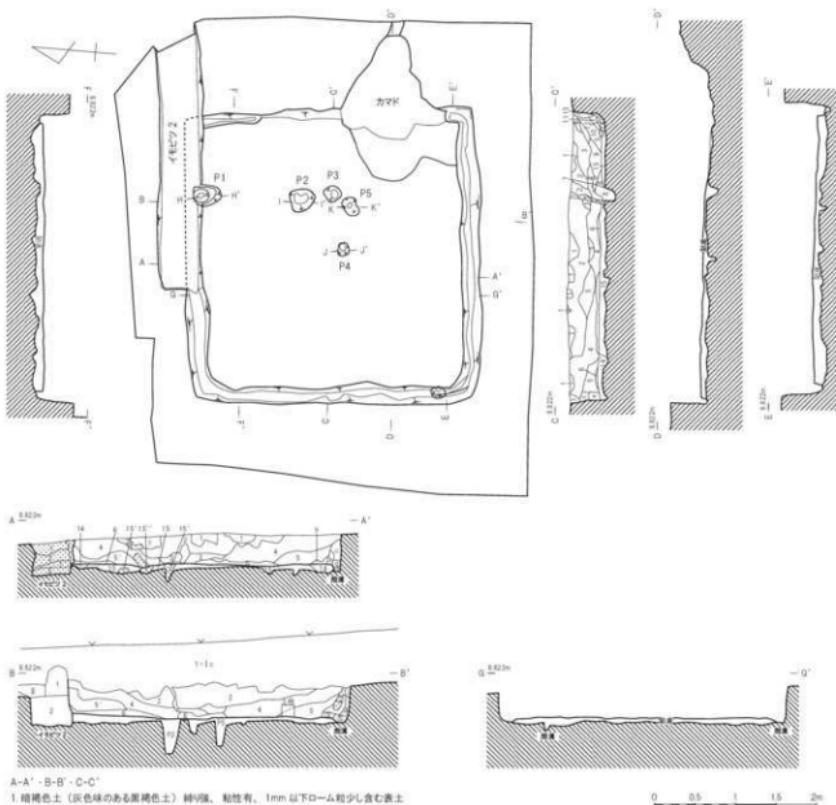
東西の軸方位はN-96°-Eである。柱穴の芯心間はP1-P2間とP3-P4間がともに2.45m、南北方向はP1-P3が5.16m、P2-P4が5.08mである。

【溝】溝1~3、4~6は東西方向の溝でA区検出。ほぼ併行関係にあり、溝1~3と4~6は13.5m離れる。また、溝8・9も東西方向の溝で、溝1~3の30m東の延長線上に位置する。

溝7はA区で検出した南北方向の溝で幅2m前後、深さ1.4mの深い薬研堀で一度埋没後に掘り返しが認められる。本調査区西の平成13年度調査(3)や平



第67図 松山遺跡第45地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)



A-A' - B-B' - C-C'

1. 結褐色土 (灰色系のあら黒褐色土) 細り強、粘性有。1mm 以下ローム粒少し含む表土
2. 黒褐色土 細り強、粘性有。1mm 以下ローム粒均一に少し含む

2. 層より若干ローム粒多い

3. 黒褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒や多く含む

4. 結褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒や多く含む。H34 住居土の主体

5. 黒褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒や多く含む (根冠クランクのソフトローム層を立つ)

6. 結褐色土 細り強、粘性有。3mm 以下ローム粒多く含み色調明るい。しみ状に黒褐色土含む

7. 黒褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒多く含む

8. 結褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒多量。10mm 以下ローム粒極少量

9. 結褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒や多量。2mm 以下土壤粒極少量

10. 結褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒多量。1mm 以下灰少量。カドスゾウの土の影響有

11. 結褐色土 細り強、粘性有。1mm 以下ローム粒多量。1mm 以下粘土粒少量。カマツズソウの土の影響有

12. 黒褐色土 細り強、粘性有。1mm 以下ローム粒少量。カマツズソウの土の影響有

13. 黑褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒主体。結褐色土混入

14. 結褐色土 細り強、粘性有。ソフトローム土主体。5 ~ 25mm ローム粒多量

15. 黑褐色土 細り強、粘性有。5mm 以下ハーローム粒少く含む

16. 黑褐色土 細り強、粘性有。5mm 以下ハーローム粒多量

17. 黑褐色土 細り強、粘性有。5mm 以下ハーローム粒少く含む

18. 結褐色土 ローム粒多量

イモビツ 2 B-B'

1. 結褐色土ベース 細り有。粘性有。30mm 以下ロームブロック多く含む

2. 結褐色土 細り強、粘性有。ローム層じりの黒褐色土で色調明るい。20mm 以下ロームブロック。5mm 以下ローム粒多く含む

ベルト A-A' - C-C'

3. 結褐色土 細り強、粘性有。3mm 以下ローム粒。ローム土を多く含む

4. 黑褐色土 細り強、粘性有。10mm 大量黒褐色土を斑状に多く含む

5. 黑褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒多く含む。根根直のローム土立つ

6. 結褐色土 細り強、粘性有。1mm 以下ローム粒。ローム土多く含み色調明るい

7. 黑褐色土 細り強、粘性有。ハーロームブロック (A-A')。ソフトロームブロック (C-C') 含む。5mm 以下ローム粒もし含む

用渠部分 B-B'

- ① 結褐色土 細り強、粘性有。5mm 以下ローム粒わずかに含む

- ② 結褐色土 細り強、粘性有。1mm 以下ローム粒。ローム土多く含む。色調明るい。3mm 以上ハーローム粒少く含む。ベルト A-A' に対応

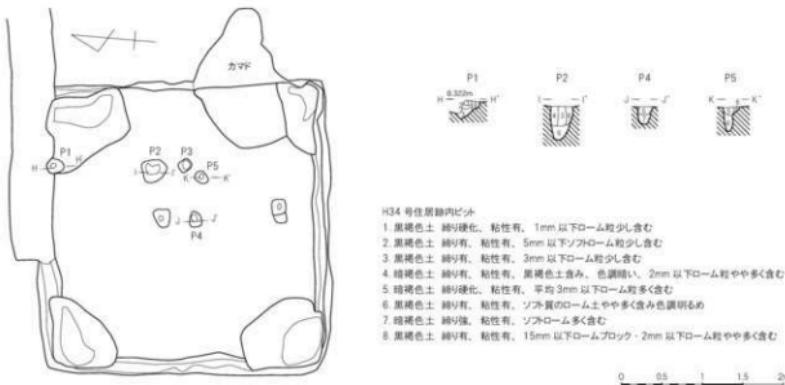
- ③ 結褐色土 細り強、粘性有。10mm 大量黒褐色土を斑状に多く。しみ状にソフトローム土含む。ベルト A-A' に対応

- ④ 結褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒。ローム土を多く含むが。⑦ 層より少ない

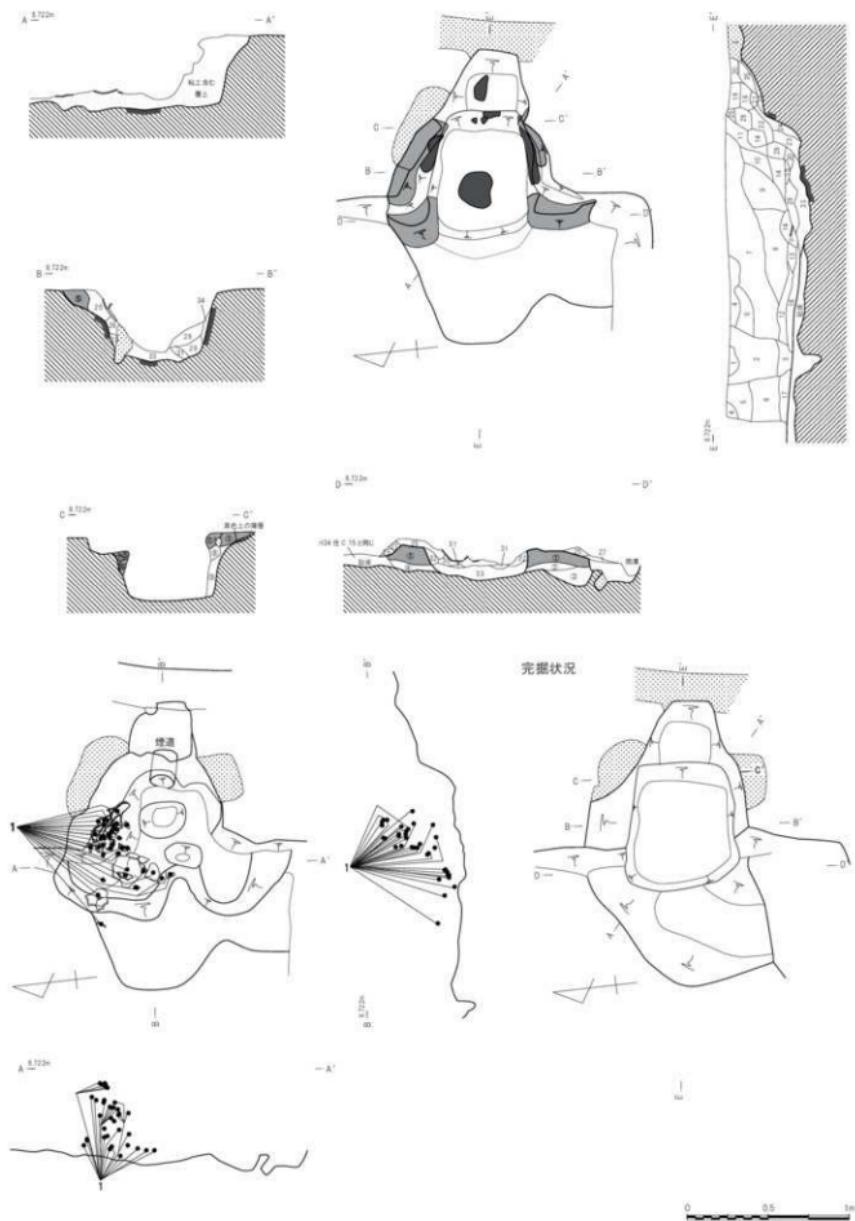
- ⑤ 結褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒多量

第 68 図 松山遺跡第45地点 H34号住居跡 (1/60)

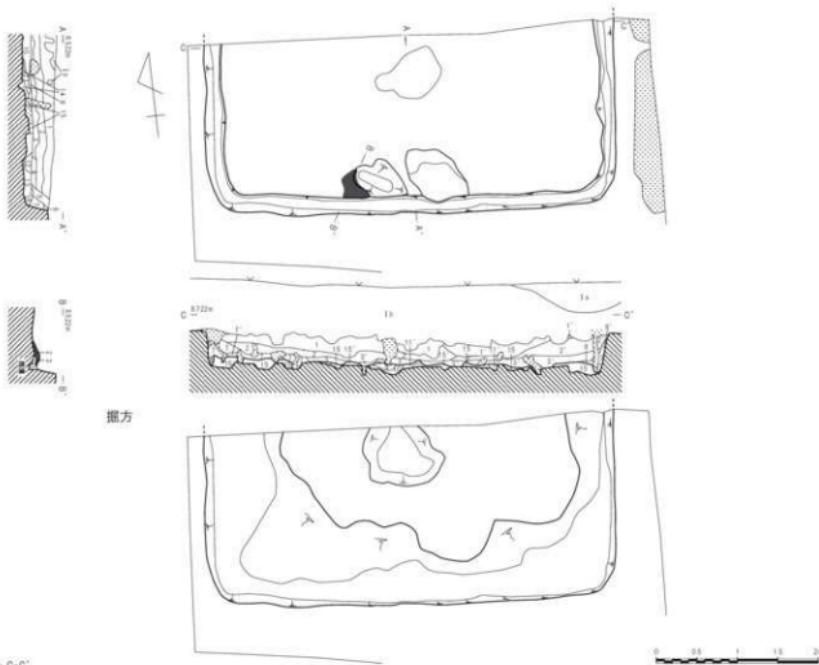
掘方



第 69 図 松山遺跡第 45 地点 H34 号住居跡掘方 (1/60)



第70図 松山遺跡第45地点H34号住居跡窓 (1/30)



掘方

A-A' - C-C'

1a. 緑褐色土 細引強。粘性有。壤土・ローム土多く含む

1b. 緑褐色土 細引強。粘性有。壤土・耕作土・瓦色味がある。2mm以下ローム粒少し含む

1'. 黒褐色土 細引強。粘性有。1mm以下ローム粒少いに少し。3mm以下焼土わずかに含む

1". 黒褐色土 細引強。粘性有。1層より色調明るい。2mm以下ローム粒少し。5~10mmロームブロック・3mm以下焼土・5mm大炭化物わずかに含む

2. 黒褐色土 細引強。粘性有。2mm以下ローム粒1層よりや多く含む。ベースの土の色調は1層より暗い

2'. 黒褐色土 細引強。粘性有。1層より色調明るい。1mm以下ローム粒や多く。1mm以下焼土・1~10mm炭化物少しあむ

2". 黑褐色土 細引強。粘性有。2mmローム粒少し。2~5mm炭化物少しあむ

3. 緑褐色土 細引強。粘性有。ローム土入りの黒褐色土。2mm以下細かなローム粒多く含む。炭化物・5mm以下焼土少しあむ

3'. 緑褐色土 細引強。粘性有。し状にコトブキ質のロームブロック・5mm以下ハーフローム粒や多く。5mm以下焼土・最大60mm・平均2~15mm炭化物も比較的多く含む

4. 黒褐色土 細引強。粘性有。5~10mmロームブロックなし。1mm以下ローム粒や多く。炭化物・5mm以下焼土少しあむ

5. 緑褐色土 細引強。粘性有。1mm以下細かなローム粒や多く。1mm以下焼土少しあむ

6. 緑褐色土 細引強。粘性有。2mm以下ローム粒多く含む

6'. 緑褐色土 細引強。粘性有。1mm以下ローム粒少しあむ

7. 緑褐色土 細引強。粘性有。5~30mm被熟したロームブロック・2mm以下ローム粒・2mm以下焼土やや多く含む

7'. 緑褐色土 細引強。粘性有。7層土ベース・しみ状に黑色土・最大10mm・平均2mm以下焼土多く含む

8. 緑褐色土 細引強。粘性有。ソフロームのローム粒多く含み。色調明るい。1mm以下ローム粒多く。1mm以下焼土少しあむ

9. 緑褐色土 細引強。粘性有。灰色粘土混じり。5mm以下ローム粒や多く。3mm以下焼土・炭化物少しあむ

9'. 黄褐色土 細引強。粘性有。灰色粘土を伴う10層を覆うように堆積。40mm以下ロームブロック・ローム土主体。しみ状の緑褐色土含む

10. 黄褐色土 細引強。粘性有。50mm以下ロームブロック主体。20mm以下灰色粘土・ローム粒や多く含む。3mm以下焼土少しあむ

11. 灰色土 細引強。粘性有。灰色粘土主体。3mm以下ローム粒・炭化物少しあむ

11'. 緑褐色土 細引強。粘性有。1mm以下ローム粒多く含み色調明るい。1mm以下炭化物・焼土少しあむ

12. 黑褐色土 細引強。粘性有。ローム土多く含む

13. 黄褐色土 細引強。粘性有。ソフロームベースに50mm以下ロームブロック主体。南壁中央付近に特徴的に見られた

14. 黄褐色土 細引強。粘性有。しみ状の灰色粘土やや多く含む

15. 黄褐色土 細引強。粘性有。ソフロームベースにロームブロック多く含む

15'. 黄褐色土 細引強。粘性有。ローム土主体。しみ状の黒褐色土や多く。2mm以下炭化物少しあむ

B-B'

1. 緑褐色土 細引強。粘性有。5mm以下ロームや多

2. 赤褐色土 細引強。粘性有。20mm以下焼土ブロック主体。黄灰色土や多く。黒褐色土少しあむ

3. 緑褐色土 細引強。粘性有。黄灰色味があるローム土主体。3mm以下焼土や多く含む

第71図 松山遺跡第45地点 H35号住居跡・掘方 (1/60)

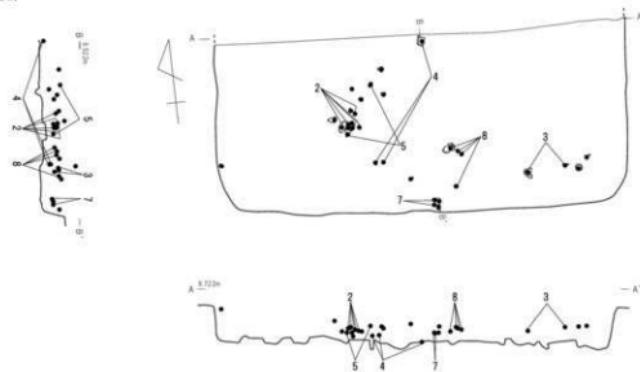
成11年度調査(5)でも延長部分と思われる同様な溝が検出されている。

溝8は南北方向から東西方向へL字形に曲がる。

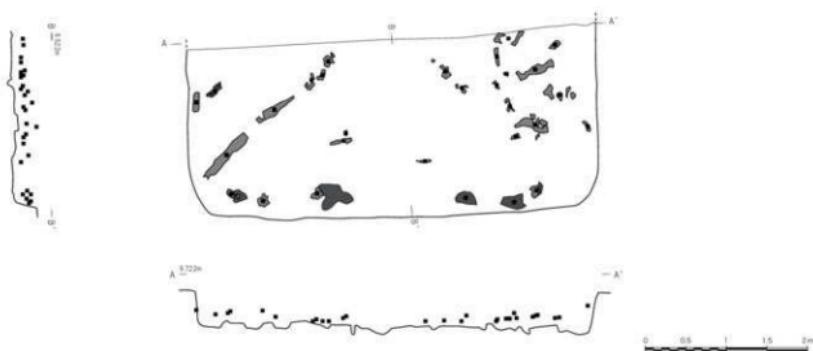
いずれの溝も出土遺物はなく、時期不明である。

【溝状遺構】調査区南端で、断面「U」の長方形土坑を検出した。いわゆるイモ類を貯蔵する「イモビツ」と思われる。

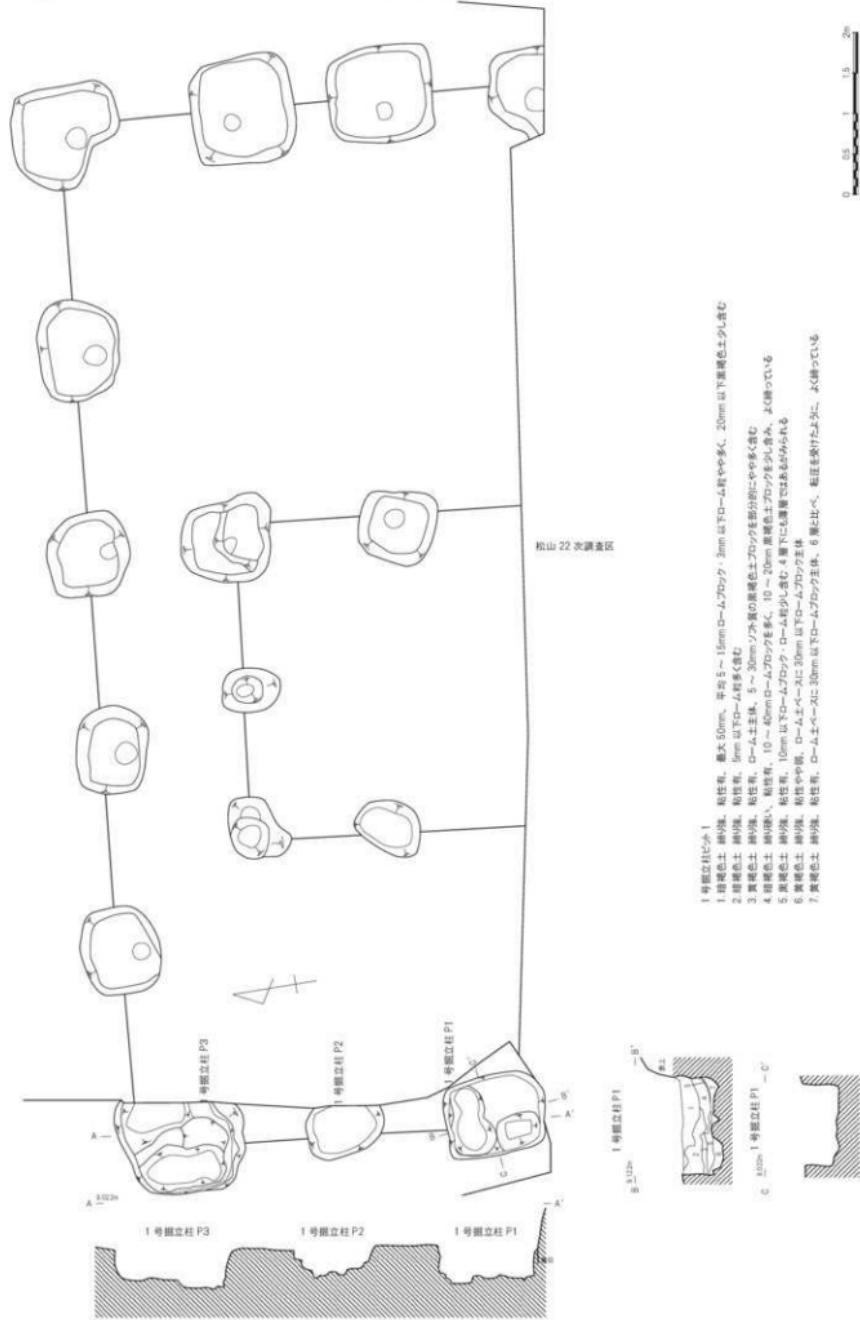
遺物



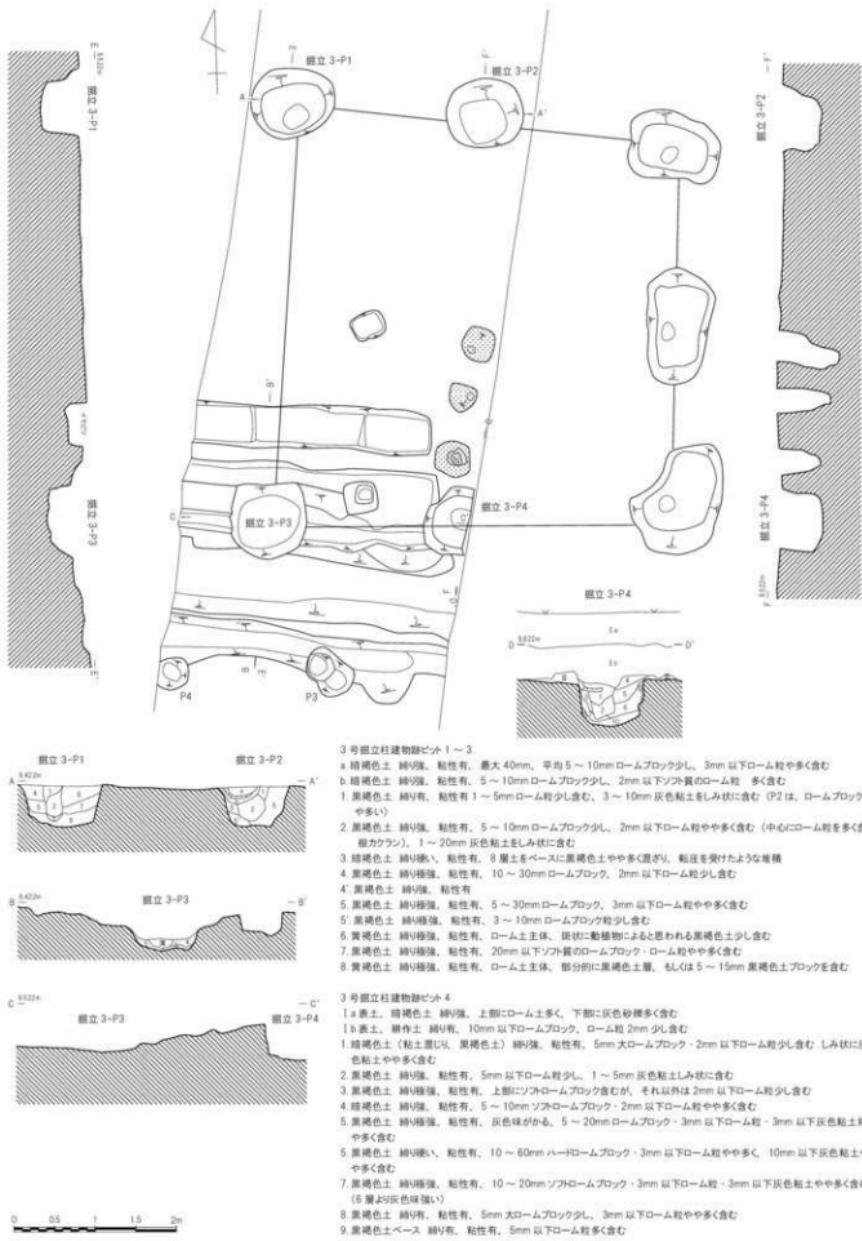
炭化物



第72図 松山遺跡第45地点 H35号住居跡遺物・炭化物出土状況図 (1/60)

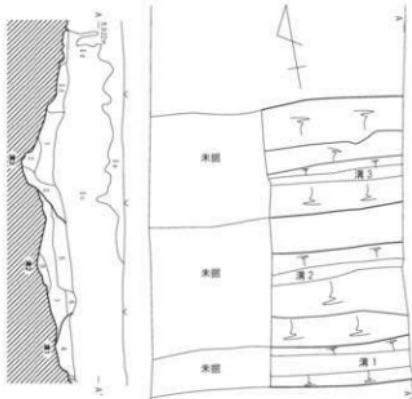


第73図 松山遺跡第45地点 1号柱立柱建物跡 (1/60)



第74図 松山遺跡第45地点3号掘立柱建物跡 (1/60)

溝 1 ~ 3

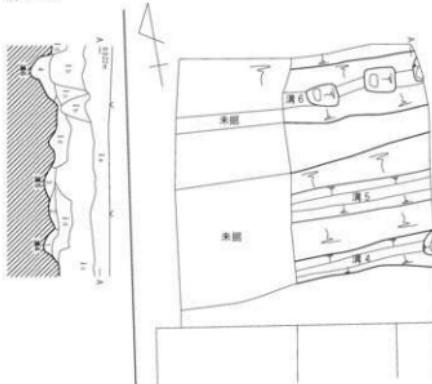


- 1a 細粒土 細り強、粘性有。灰色味あり。5mm以下ローム粒・15mm 大ロームブロック少し含む
1b 黒褐色土 細り有、粘性やや弱。25mm以下ロームブロックやや多く含む。1cと1d
が混ざったような土質
1c 細粒土 細り強、粘性有、灰色味あり。最大70mm、平均30mm以下ロームブロック・
ローム粒さらに少なく、60mm以下黒色土ブロック混ざる 粘性土
1d 黒褐色土 細り強、粘性有。100mm以下ロームブロック多く、5mm以下ローム粒
や多く含む、旧耕作土

溝 1 ~ 3

- 溝 3 1. 黒褐色土 細り有、粘性有。10mm以下ロームブロック・ローム粒少し含む
(別側)のみ
溝 3 2. 細粒土 細り有、粘性やや弱。平均5~10mmロームブロック少し含む
溝 3 3. 細粒土 細り有、粘性やや弱。最大90mm、平均25mm以下ロームブロック
やローム粒やや多く含む。溝 2 覆土より色濃暗い
溝 4 1. 黒褐色土 細り強、粘性有。ソフローム質で10mm以下のロームブロック、
ローム粒やや多く含む
溝 2 1. 細粒土 細り有、粘性有。5mm以下ソフローム粒やや多く含む。黒褐色土
含む
溝 2 2. 黑褐色土ベース 細り有、粘性有。5~25mmロームブロック、5mm以下ローム
粒多く含む
溝 2 3. 黑褐色土ベース 細り有、粘性有。2mm以下ローム粒やや多く含む

溝 4 ~ 6



溝 4 ~ 6

- 溝 4 1. 黒褐色土 細り有、粘性有。10~50mmハーロームブロック多く含む
2. 細粒土 細り有、粘性有。5~10mmロームブロックやや多く含む。ベース
の土はローム土を含み、色調明るめ。底面の起伏重い
溝 5 3. 細粒土 細り有、粘性有。20~50mmロームブロックやや多く、5mm以下
ローム粒少し含む
溝 6 4. 黒褐色土 細り有、粘性有。5mm以下ローム粒少し含む。南北壁間にローム
ブロック張る

第75図 松山遺跡第45地点溝1~6 (1/60)